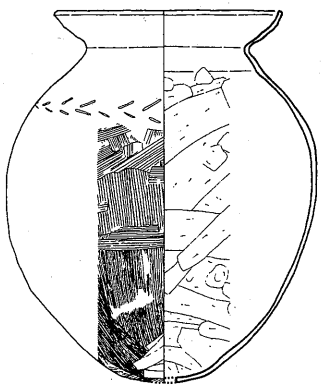
太宰府市の文化財　第35集

太宰府
佐野地区遺跡群 VII

フケ遺跡第1・2・3・4次調査報告



1997

太宰府市教育委員会

太宰府佐野地区遺跡群VII（太宰府市の文化財第35集）正誤表

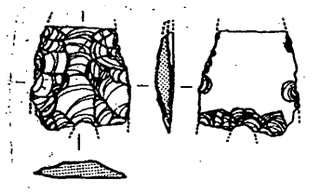
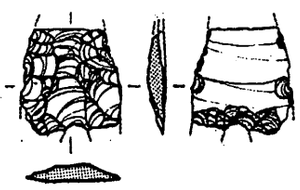
ページ	行(NO)	誤	正
15			85以下は1SB245
16		1SX001	1SK001
16	スケール	1m	50cm
17		1SX010	1SK010
17	スケール	1m	50cm
19	1行目	46.327.50	-46.327.50(1SK217)
55	S-44	2SD044	2SX044
69			162.163の左肩に2SK033を挿入
69			164の左肩に2SK095を挿入
70			189の左肩に2SX047を挿入
77			9の左肩に2SX012を挿入
106	22	(S-92)	(S-111)
106	28	R-001	R-006
106	29	(S-92)	(S-111)
110	318	甕	壷
110	319	甕	壷
110	321	甕	壷
110	322 (底径)	9.0	-
110	333 (底径)	4.2	4.2*
111	364 (底径)	-	4.3
111	393 (底径)	-	4.2
111	395 (底径)	-	18.2*
112	454 (高さ)	3.2	4.0
112	455	(S-3)	(S-5)
112	460	(S-112)	(S-23)
112	460 (高さ)	4.1+	3.9+
113	25 (図版番号)	60	61
113	26 (図版番号)	60	61
113	30	R-059	R-058
113	34 (図版番号)	60	61
114	52	○	○を消す
114	62	24−2	消す
114	66 (高さ)	3.0	3.0+
114	77	25−2	26−2
114	79	25−2	26−2
114	80	25−2	26−2
115	90	○(内面はけ)	○(内面けずり)
116	132	R-032	R-051
116	151	28−2	消す
116	155	2SD035(S-35)	2SD042(S-42)
117	193	S-174	S-74
117	202	坏	蓋
117	202	R-018	R-011

ページ	行(NO)	誤	正
117	203	甕	坏a×c
117	203	R-003	R-018
118	206	R-002	R-003
118	207 (口径)	9.0*	-
118	207 (高さ)	4.1+	2.4+
118	235	白磁皿IV	白磁皿III
120	1	(S-1)灰色粘土	大溝
120	2	(S-1)灰色粘土	大溝
120	3	(S-1)灰色粘土	大溝
120	4	(S-1)灰色粘土	大溝
120	5	(S-1)灰色粘土	大溝
120	6	(S-1)灰色粘土	大溝
120	6	■型土器	瓦器型土器
120	10	国産陶器	国産陶器　近世
121	37	(S-92)	(S-111)
121	39	(S-94)	(S-108)
121	39	R-001	R-004
121	42	(S-92)	(S-111)
121	43	(S-92)	(S-111)
122	326	(S-110上層)	(S-110)
122	327	(S-110上層)	(S-110)
122	328	(S-110上層)	(S-110)
122	382	(S-93)	(S-112)
122	382	R-001	R-005
124	(2SD011)	R-003	R-005
124	(2SD011)	R-004	R-006
124	3SK006	(S-16)	(S-6)

宝満山遺跡群II（太宰府市の文化財第34集）正誤表

ページ	行(NO)	誤	正
24	11	17	18
38	右上	暗黄褐土	明黄褐土

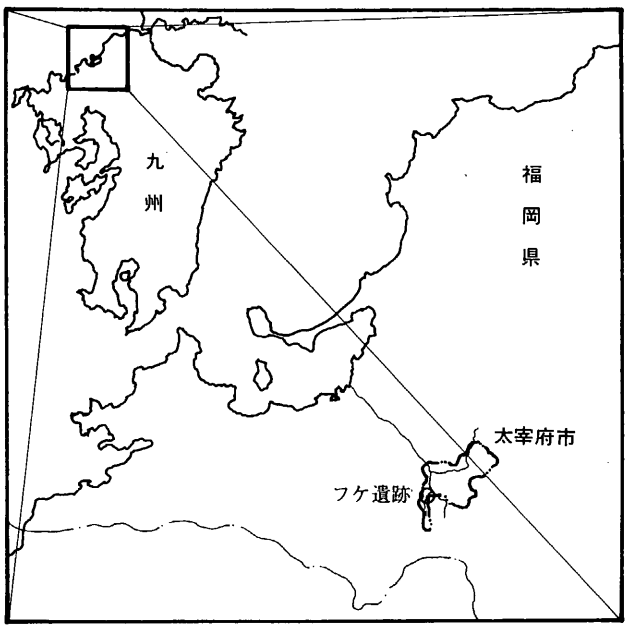
太宰府市の文化財　第33集　辻遺跡　正誤表

P	行	誤	正
34	Fig.26-2		
50	27	蓋c3 (1)	蓋c3 (2)
50	30	「麿」と読むか。	釈読不明。
50	31	坏a (2)	坏a (1)
50	32	釈読不明。	「麿」と読むか。

太宰府市の文化財　第35集

太宰府
佐野地区遺跡群 VII

フケ遺跡第1・2・3・4次調査報告



1997

太宰府市教育委員会

序

太宰府市の大字向佐野、大佐野地区では土地区画整理事業に伴う発掘調査が昭和62年来よりおこなわれており、今回の報告はその一連の調査の中で大字大佐野字フケでおこなわれたものを収録したものです。

本報告が弥生時代から古墳時代にかけての地域相研究の一助として、また広く文化遺産の保存と啓発に活用していただければ幸いに存じます。

調査及び整理に参加されました作業員の皆様、調査にご理解ご協力いただきました地権者をはじめとする区画整理事業に係われた皆様に対し厚く御礼申し上げます。

太宰府市教育委員会
教育長　長野治己

例　言

1.　本書は昭和63年度から平成3年度までに太宰府市教育委員会が調査した佐野地区遺跡群内での区画整理事業に伴う発掘調査に関係する調査の成果をまとめたものである。

2.　本書に掲載した調査は、第1次（昭和63年度）、第2次、第3次（平成3年度）、第4次（平成5年度）の4地点の緊急調査である。

3.　本書に掲載した発掘調査の原因、期間、面積、担当者などは各調査の報告部分に記載している。

4.　遺構の実測は各調査担当者がおこなった。写真撮影は狭川真一・城戸康利・山村信榮が、調査区全景の空中写真は（有）空中写真企画がおこなった。

　また遺構全体図は、写真測量による作図をアジア航測株式会社に委託した。

5.　遺構の実測には国土調査法第II座標系を利用した。したがって本書に示される方位は特に注記のない限りG.N.（座標北）を示している。

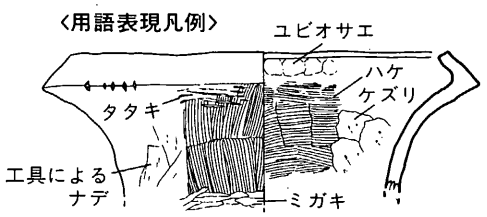
6.　遺物の実測は山村の他、森田レイ子、山本麻里子、酒井美保子、鶴味加代子、白水文恵、松隈里恵子、相川寿美子、上村英士、塩地潤一がおこない調査担当者が検査の上必要部分を補足した。また遺物写真撮影は山村がおこなった。

7.　図版の浄書は主として実測者と狭川、中島恒次郎、宮崎亮一、谷由紀子が分担しておこなった。

8.　本書の執筆は山村と狭川が、編集は上村、谷の協力のもと山村がおこなった。

9.　本書に使用した図、写真、遺物については一括して太宰府市教育委員会が太宰府市文化ふれあい館で収蔵、管理している。

10.　調査報告の手法については既刊の報告を参照されたい。



目次

（1）フケ遺跡第1次調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

（2）フケ遺跡第2次調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54

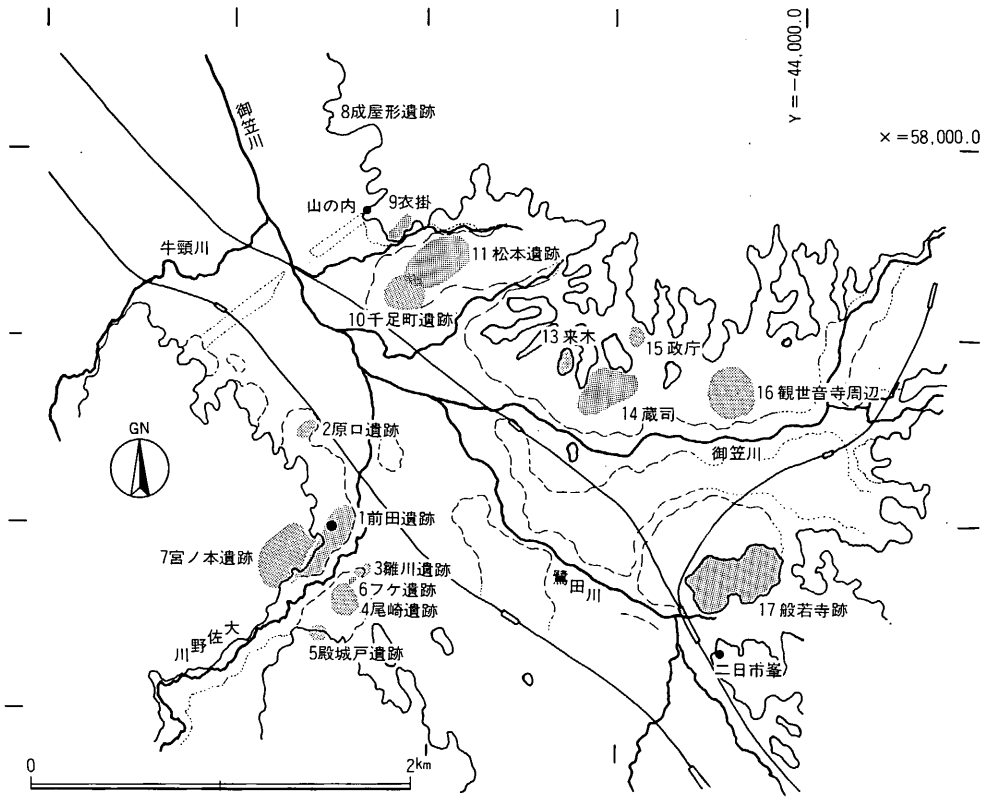
（3）フケ遺跡第3次調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74

（4）フケ遺跡第4次調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78

（5）総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

（6）フケ遺跡出土遺物一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83

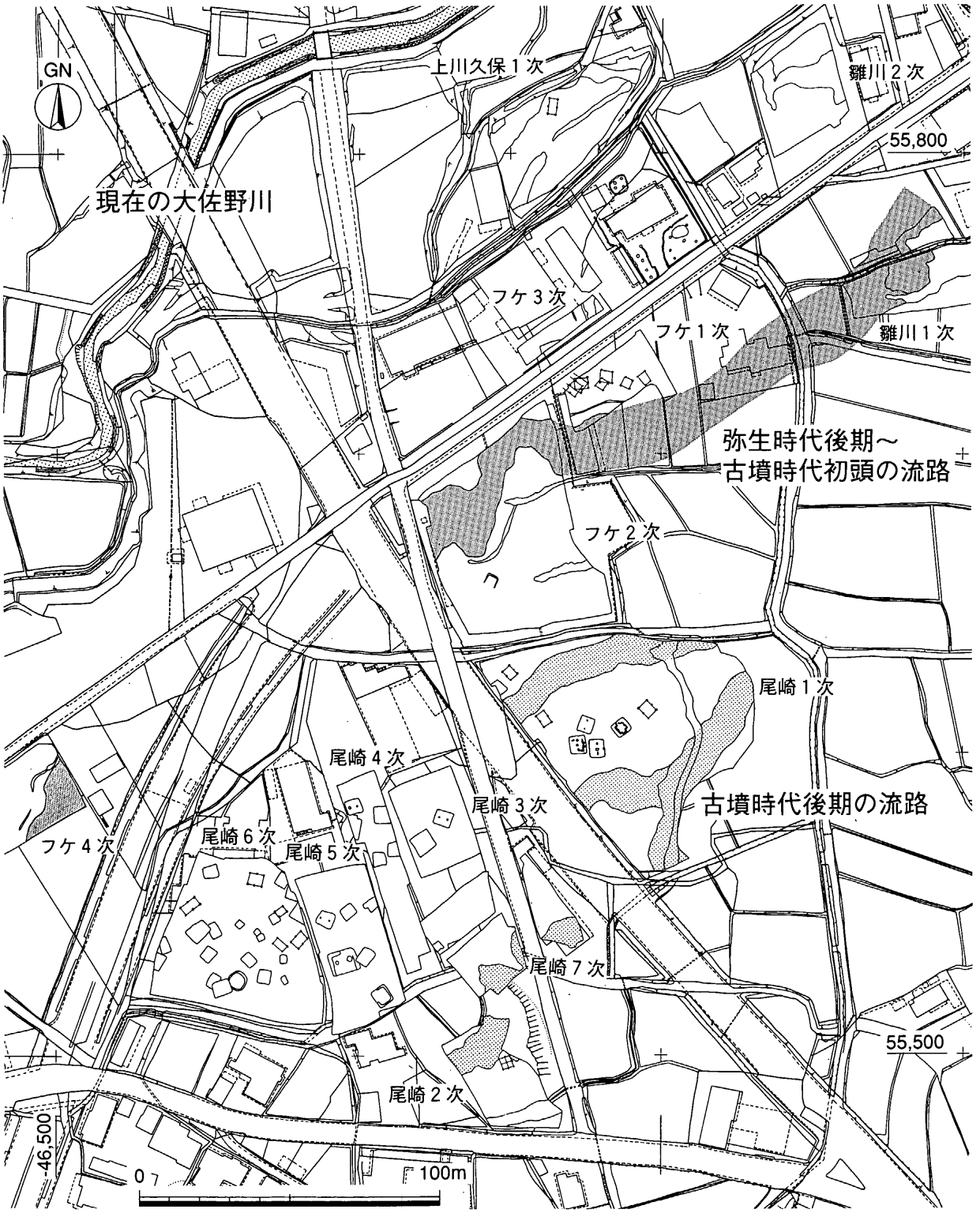
（7）フケ遺跡出土遺物観察表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106



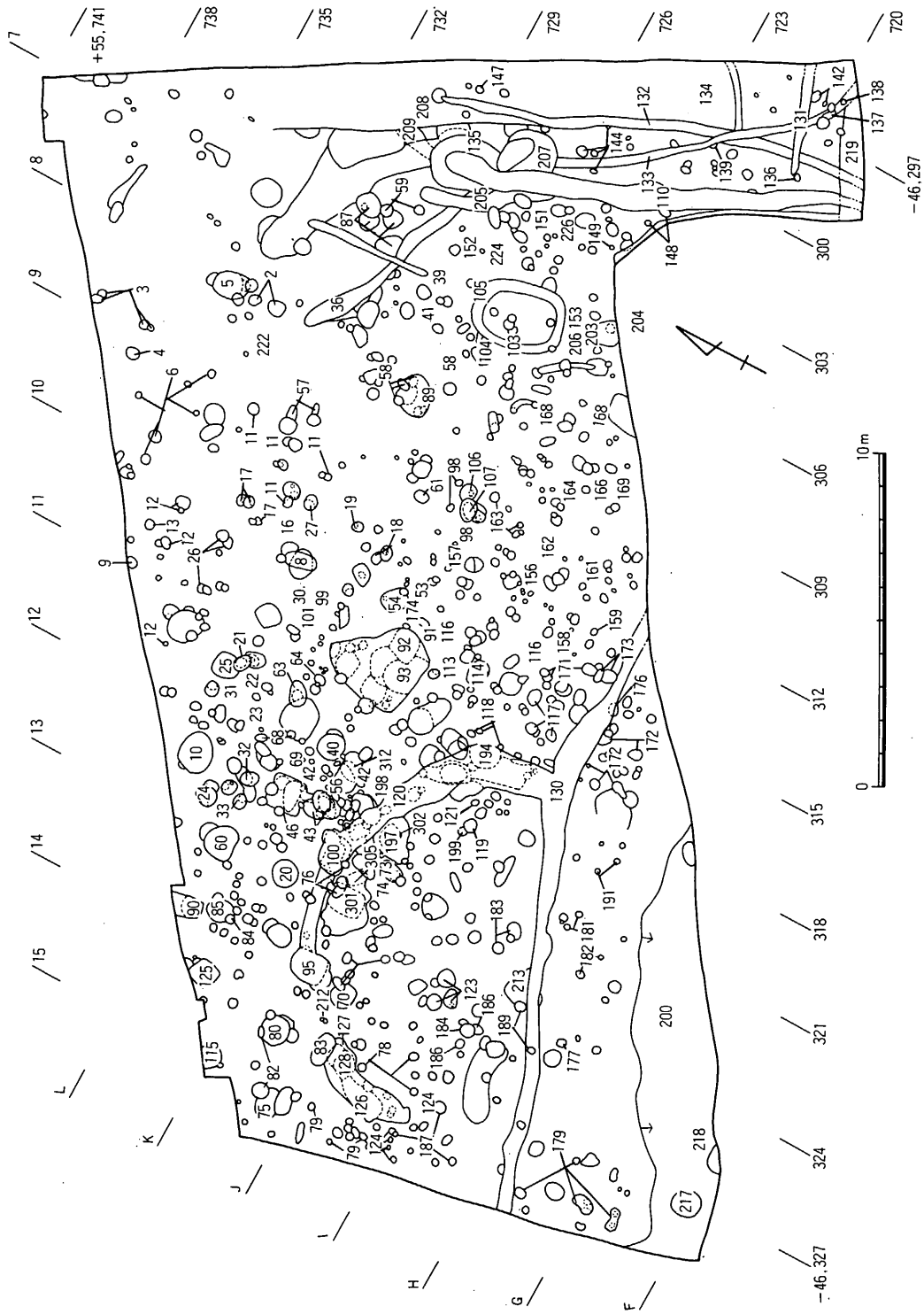
太宰府市弥生時代遺跡一覧

			前期			中期		後期			古墳	
		夜臼	板付1	板付2古	板付2新	須玖1	須玖2	前	中	後	前期	
1	前田遺跡（住居）	+	○	●	○		○	○	○	●	○	
	前田遺跡（墳墓）									○		
2	原口遺跡（住居）				●							
3	雛川遺跡（集落）							+	○	●	○	低湿地
4	尾崎遺跡（住居）			+						●	○	
5	殿城戸遺跡（墳墓）						○	+				小児甕棺
6	フケ遺跡（集落）			+			+			○	●	掘立柱建物
7	宮ノ本遺跡（墳墓）										●	獣帯鏡、珠文鏡
8	成屋形遺跡（住居）	○										
9	衣掛（墳墓）				+	+	○	+	+	+	+	甕棺、石棺墓？
10	千足町遺跡（集落）				○	●						
11	松本遺跡（住居）					○	●				○	土壙
	松本遺跡（墳墓）						○	+	+			小児甕棺、石蓋土壙墓
13	来木（墳墓？）				○	+	+	+	+	+	+	石棺墓？
14	蔵司（散布地）	○	○	○	○	+	○			+		
15	政庁（集落）				○	○						
16	観世音寺周辺		+	+	+					+	○	
17	般若寺跡（集落）				○							貯蔵穴
18	吉ヶ浦遺跡（集落）					○				○		
	吉ヶ浦遺跡（墳墓）						●	●				甕棺、木棺

第1図　太宰府市周辺の弥生時代遺跡（1/40,000）



第2図　調査地周辺の既調査地(1/2,000)



第3図　フケ遺跡第1次調査遺構略測図（1/200）

フケ遺跡第1次調査遺構番号台帳(1)

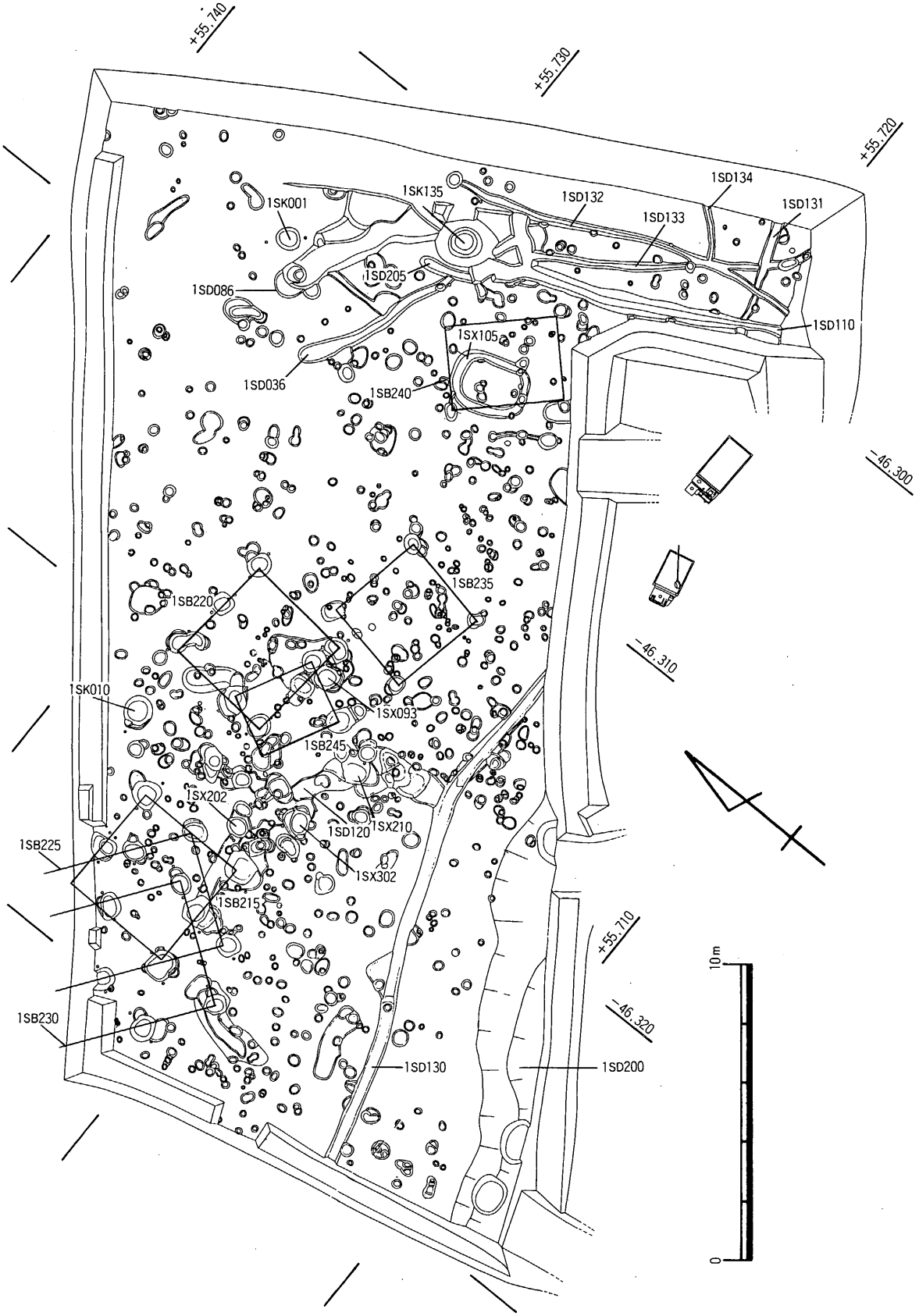
S－番号	遺構番号	種別	古→新	地区
1	1SK001	ピット		N7
2		ピット群		N8
3		ピット群		O8
4		ピット		
5		ピット		N8
6		ピット		N9
7		ピット		M9
8		土壙		L10
9		ピット		N9
10	1SK010	ピット		L12
11		ピット群		M9
12		ピット群		M10
13		ピット		N10
14		ピット		L11
15	1SB220f	ピット		L10
16		ピット		L10
17		ピット群		N9
18		ピット　柱痕あり		K9
19		ピット　柱痕あり		L9
20	1SB225a	ピット		K13
21		ピット　柱痕あり		L11
22		ピット		L11
23		ピット群		L11
24		ピット　柱痕あり		L12
25	1SB220e	ピット		L11
26		ピット群		M10
27		ピット　柱痕あり		L9
28		ピット		M10
29		ピット群		M11
30	1SB220a	ピット	30→8	L10
31		ピット　柱痕あり		L11
32		ピット　柱痕あり		K12
33		ピット　柱痕あり		K12
34		ピット　柱痕あり		L9
35	1SB245d	ピット		K11
36	1SD036	溝		M7
37		ピット　柱痕あり		M7
38		ピット群		M7
39		ピット群		L7
40	1SB220d	ピット		K11
41		ピット群		L7
42		ピット群		K12
43		ピット群		K12
44		ピット		K12
45		ピット		K11
46		ピット	46→44	K12
47		ピット		K11
48		ピット	45→10	L12
49		ピット		L11
50	1SB245e	ピット		K11
51		ピット　S-49の柱痕か？		L11
52		ピット群　柱痕あり		K10
53		ピット	54→53	K10
54	1SB235d	ピット群	54→53	K10
55		ピット		K11
56		ピット		K9
57		ピット群		M8
58		ピット群		L8
59		ピット群		M6
60	1SB215a	ピット		K13

S－番号	遺構番号	種別	古→新	地区
61		ピット		K9
62		ピット		
63		ピット		K11
64		ピット		K11
65	1SB230a	ピット		J13
66		ピット		K11
67		ピット		K11
68		ピット群		K11
69		ピット		K11
70	1SB225b	ピット		J13
71		ピット群		I12
72		ピット		I12
73		ピット		J12
74		ピット群		J12
75	1SB230c	ピット		J15
76		ピット群		J12
77		ピット群		J13
78		ピット群		I14
79		ピット群		I15
80	1SB215d	ピット　（掘り方は1SB225cと共有）		J14
81		ピット		I14
82		ピット群		J14
83		ピット		J14
84		ピット群		K13
85	1SB225f	ピット		K13
86	1SD086	溝		N7
87		ピット群		M6
88		ピット		L7
89		土坑？		
90	1SB215f	ピット		K13
91		溜まり？		K10
92	1SB220b	ピット		K10
93	1SX112	ピット		K10
94	1SB220c	ピット		K10
95	1SB215c	ピット		J13
96	1SD120	溜まり		J14
97	1SD120	溜まり 弧状		J13
98		ピット		K8
99		ピット群		K10
100		ピット		J12
101		ピット群		K10
102		ピット群		L8
103		ピット群		L8
104	1SB240d	ピット		L8
105	1SX105	環状溝		K7
106		ピット	5→1	L9
107	1SB235a	ピット		L9
108	1SB220	ピット		K10
109	1SB245	ピット		K10
110	1SD110	溝		K～M5
111	1SB220	ピット		K10
112		ピット		K10
113		ピット群		J10
114	1SB235c	ピット		J10
115	1SB225d	ピット		J10
116		ピット群		J10
117		ピット群		I10
118		ピット群		I10
119		ピット		I11
120	1SD120	溝	120→130	
121		ピット		I11
122		ピット		J12

フケ遺跡第1次調査遺構番号台帳(2)

S－番号	遺構番号	種別 古→新	地区
123		ピット	I12
124		ピット	H14
125	1SB230d	ピット	K14
126		土壙	I14
127	1SD001	土壙？	I14
128	1SB230b	ピット	I14
129		ピット	I11
130	1SD130	溝 120→130	ﾗｲﾝ
131	1SD131	溝 133→131	J4
132	1SD132	溝 132→133	4ﾗｲﾝ
133		溝	5ﾗｲﾝ
134	1SD134	溝	J4
135	1SK135	土壙	L5
136		ピット	L4
137		ピット	I3
138		ピット	I3
139		ピット	J4
141		ピット	K5
142		ピット群	I3
143		ピット	J4
144		ピット	I3
146		ピット群	K5
147		ピット	M5
148		ピット群	K5
149		ピット	K5
151		ピット群	L6
152	1SB240a	ピット群	L6
153		ピット群	K6
154		ピット	K9
156		ピット群	J9
157		ピット群	J9
158		ピット群	I9
159		ピット	I9
161		ピット群	L8
162	1SB235b	ピット群	J9
163		ピット群	J8
164		ピット群	J8
166		ピット群	J8
167		ピット群	J8
168		ピット群	J7
169		ピット群	J8
171		ピット群	I9
172		ピット群	H10
173		ピット群	I9
174		ピット群	K10
176		ピット	I10
177		ピット	G13
178		ピット	G13
179		ピット群	G14
181		ピット群	H12
182		ピット群	H12
183		ピット群	H12
184		ピット	H13
186		ピット群	H13
187		ピット群	H14
188		ピット群	H13
189		ピット群	H13
191		ピット群	H11
192		ピット	J11
193	1SD120	ピット	J11
194	1SD120	ピット	J11
196		ピット群	J11

S－番号	遺構番号	種別 古→新	地区
197		ピット	J12
198		ピット	J12
199		ピット	I11
200	1SD200	溝	ラインG
201		ピット	J12
202	1SX202	ピット	J12
203		土坑	J6
204	1SB240c	ピット	J6
205	1SD205	溝	L6
206		ピット群	J6
207		土坑	L5
208		落ち	M5
209		溝	M5
210		ピット	J11
211		ピット	H11
212	1SX112	ピット	J14
213		ピット	H12
214		ピット	H15
215		掘立柱建物	K14
216		ピット	P6
217	1SK217	土坑	F14
218	1SK218	土坑	F13
219		溝？	I4
220		掘立柱建物	K10
221		ピット	O6
222		ピット	N8
223		ピット	M7
224		ピット	L6
225		掘立柱建物	K13
226		ピット群	K6
230		掘立柱建物	J14
235		掘立柱建物	J9
240		掘立柱建物	K6
245		掘立柱建物	K11
301	1SB215b	ピット	J12
302		ピット	J12
303	1SB245a	ピット	K10
304	1SB245b	ピット	J11
305		ピット	
306		ピット群	
307		ピット	J11
308		ピット	
309		ピット 309→80	J14
310		ピット	K13
311		ピット 311→43	K12
312		ピット 312→55→50	K11



第4図　フケ遺跡第1次調査遺構図（1/200）

(1) フケ遺跡第1次調査

調査地は、太宰府市大字大佐野字フケ109-1、109-4に所在する。調査は平成元（1989）年1月17日から2月23日まで実施した。調査対象面積は800㎡で、調査は狭川真一、城戸康利、山村信榮が担当した。

1．遺構検出状況

調査区は大佐野川に沿った東西に延びる自然堤防上にあり、高位の北側では山側（西側）から供給された花崗岩風化土に由来する粘土質と砂質の堆積地盤からなり、南側は低くなりながら漸次砂地盤に移行している。遺構の検出環境は表土である灰色の旧耕作土（灰色土）下の遺物包含層（黒褐土）を除去した時点で大半の遺構プランは認識された。

2．遺構

遺構は調査区の南側にある西から東に流れる1SD200に沿って東西に帯状に集中し、北側は多少希薄である。自然堤防の背の中央の高位部が帯状に利用されていると解される。掘立柱建物、土坑、溝のほか多くのピット群が検出された。以下遺構の性格別に報告する。

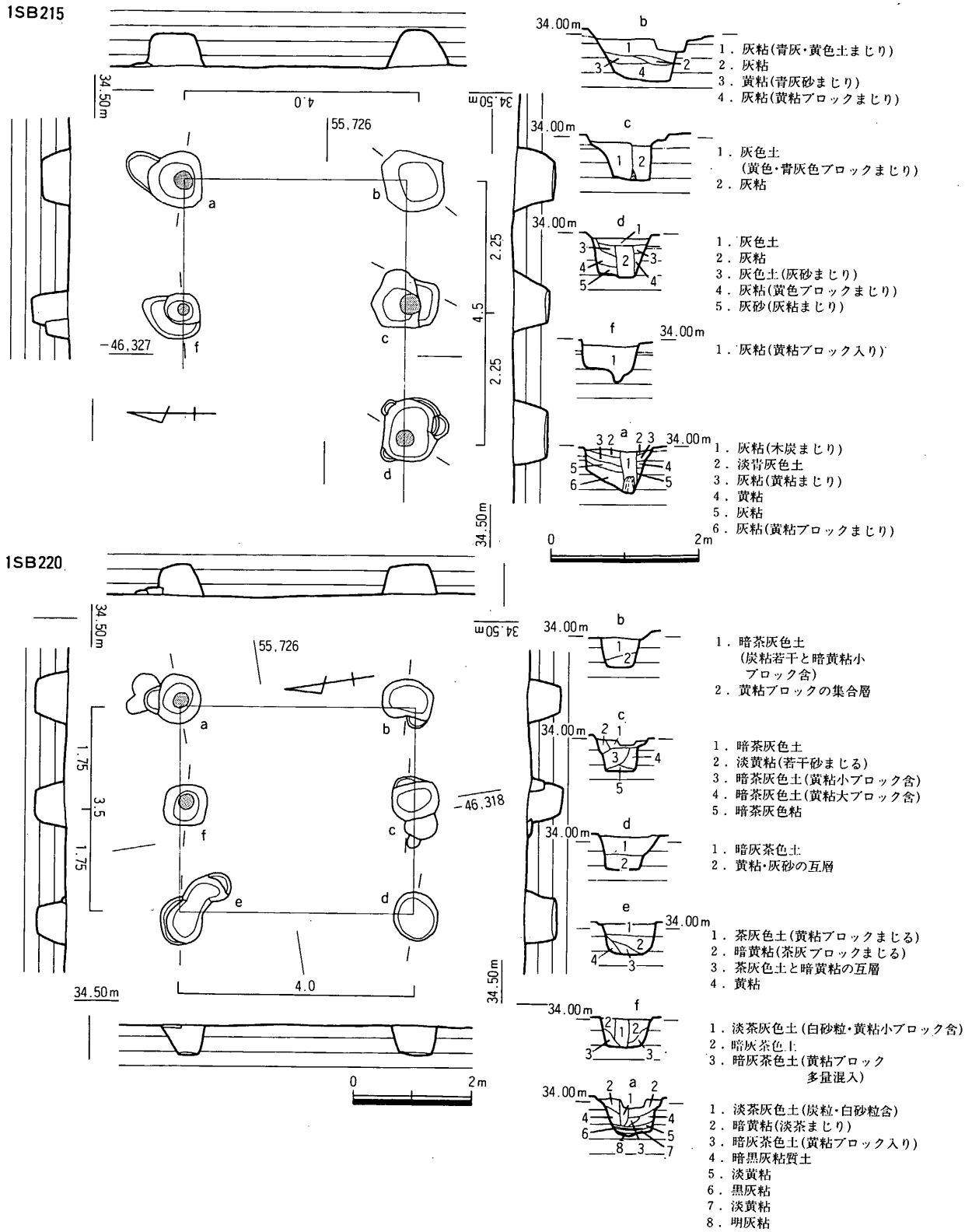
掘立柱建物

1SB215（第5図、Pla.4.5.8）東西2間（4.2m）、南北1間（3.8m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が2.1m・2.1mで、南北列は3.8mである。土層観察では柱穴c,dには柱痕跡が、aには柱材が残されていた。b,fは柱が抜き取られたと考えられる。建物の規模はその一部が調査区域外に延びているが1SB220のプランからこの規模で完結するものと思われる。柱掘り方は概ね方形に近い円形で、直径は 0.8m程度である。深さは遺構面から0.6～0.8mで、掘り方底部の標高にもばらつきがある。建物の主軸方向の振れはN-90° 48′ -Wである。

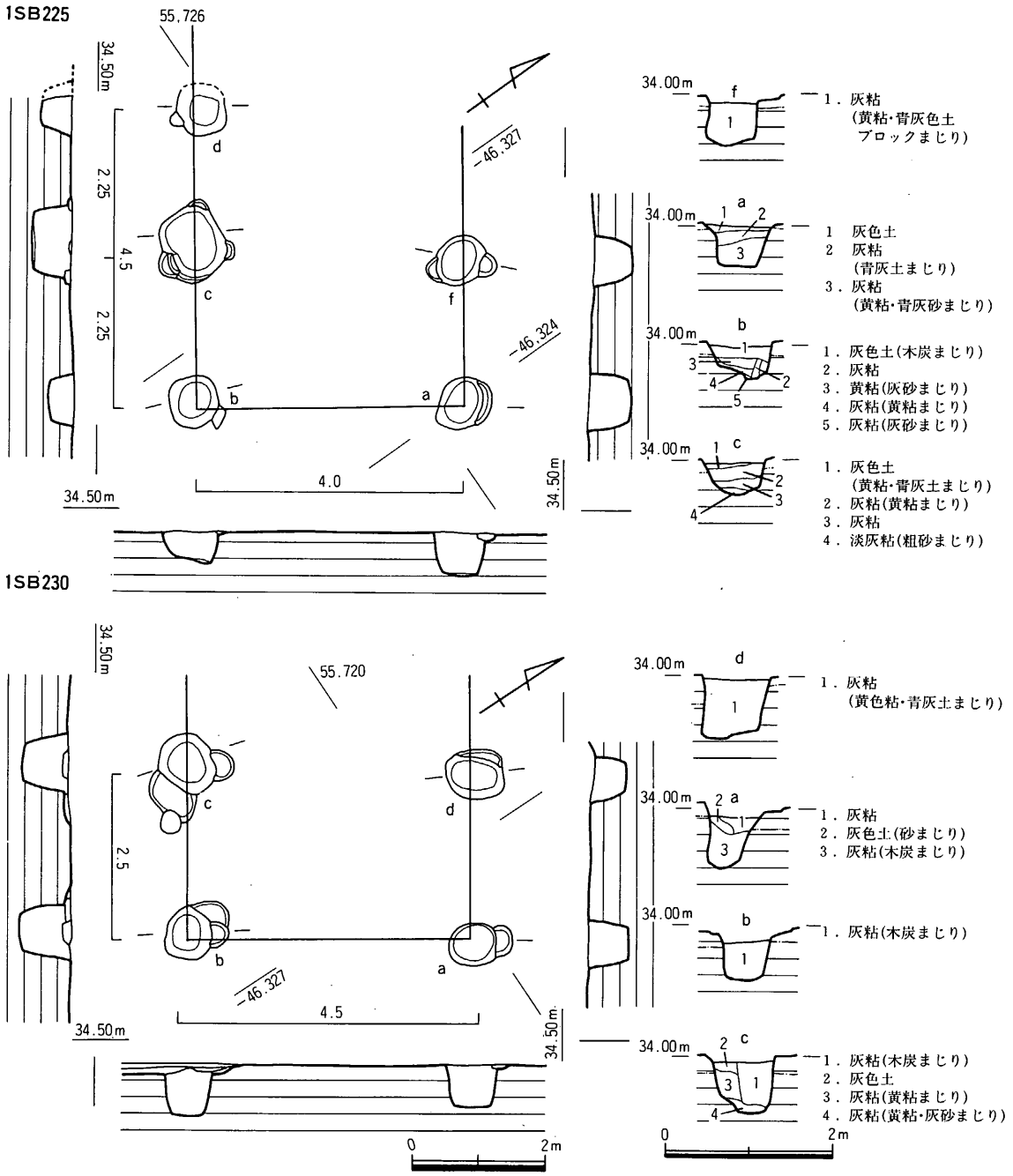
1SB220（第5図、Pla.5.6）東西2間（3.5m）、南北1間（4.0m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が1.5m・1.5mである。土層観察では柱穴a,fには柱痕跡が残されていた。柱掘り方は概ね方形に近い円形で、直径は0.8m程度である。深さは遺構面から0.2～0.6mで、掘り方底部の標高にもばらつきがある。建物の主軸方向の振れはN-79° 48′ -Wである。

1SB225（第6図、Pla.6）東西2間（4.6m）、南北1間（4.0m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が2.3m・2.3mである。柱掘り方は概ね円形で、直径は0.8m程度である。深さは遺構面から0.4～0.6mである。建物の振れは、東南辺の方向から、N-33° 7′ -Eである。

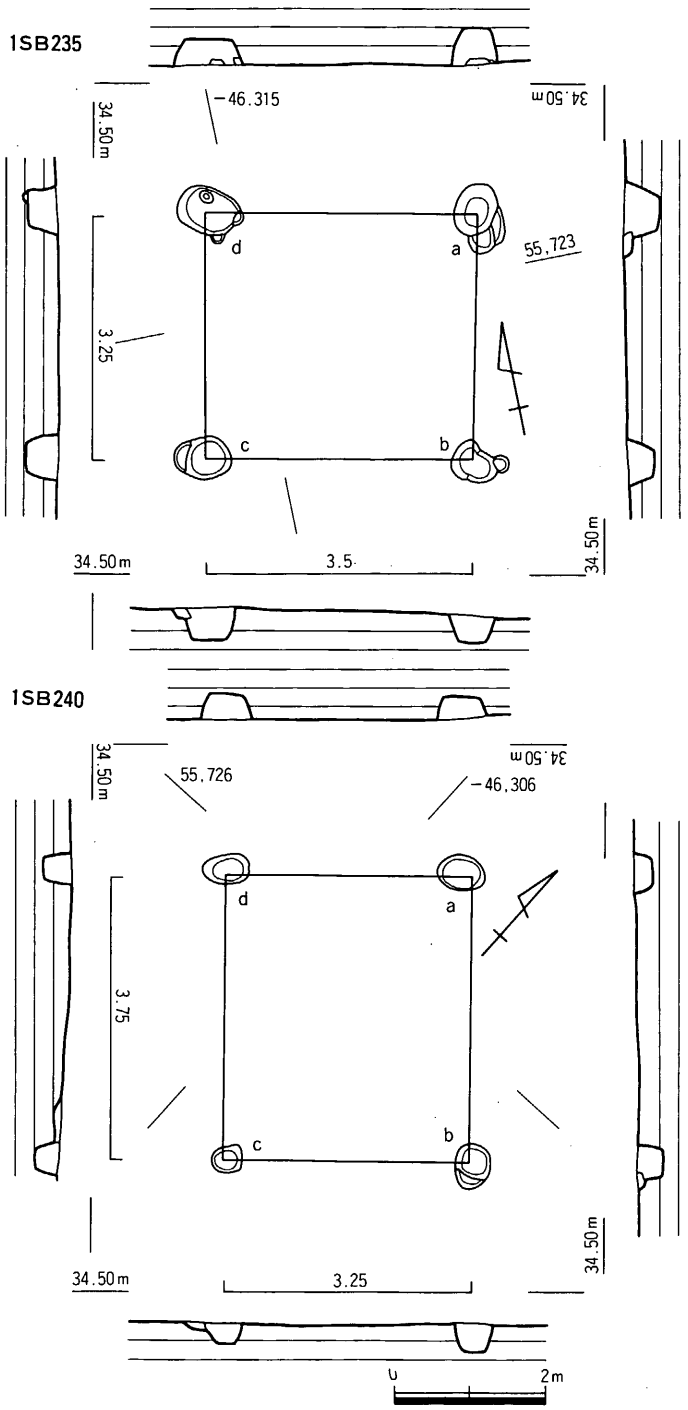
1SB230（第6図、Pla.6.7.8）東西1間（2.5m）以上、南北1間（4.5m）の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね円形で、直径は0.8m程度である。土層観察では柱穴cには柱痕跡が残されていた。深さはおおむね遺構検出面から0.6mである。建物の振れは、東南辺の方向から、N-33°



第5図　1SB215・220実測図（1/100・1/80）



第6図　1SB225・230実測図（1/100・1/80）



第7図　1SB235・240実測図（1/100）

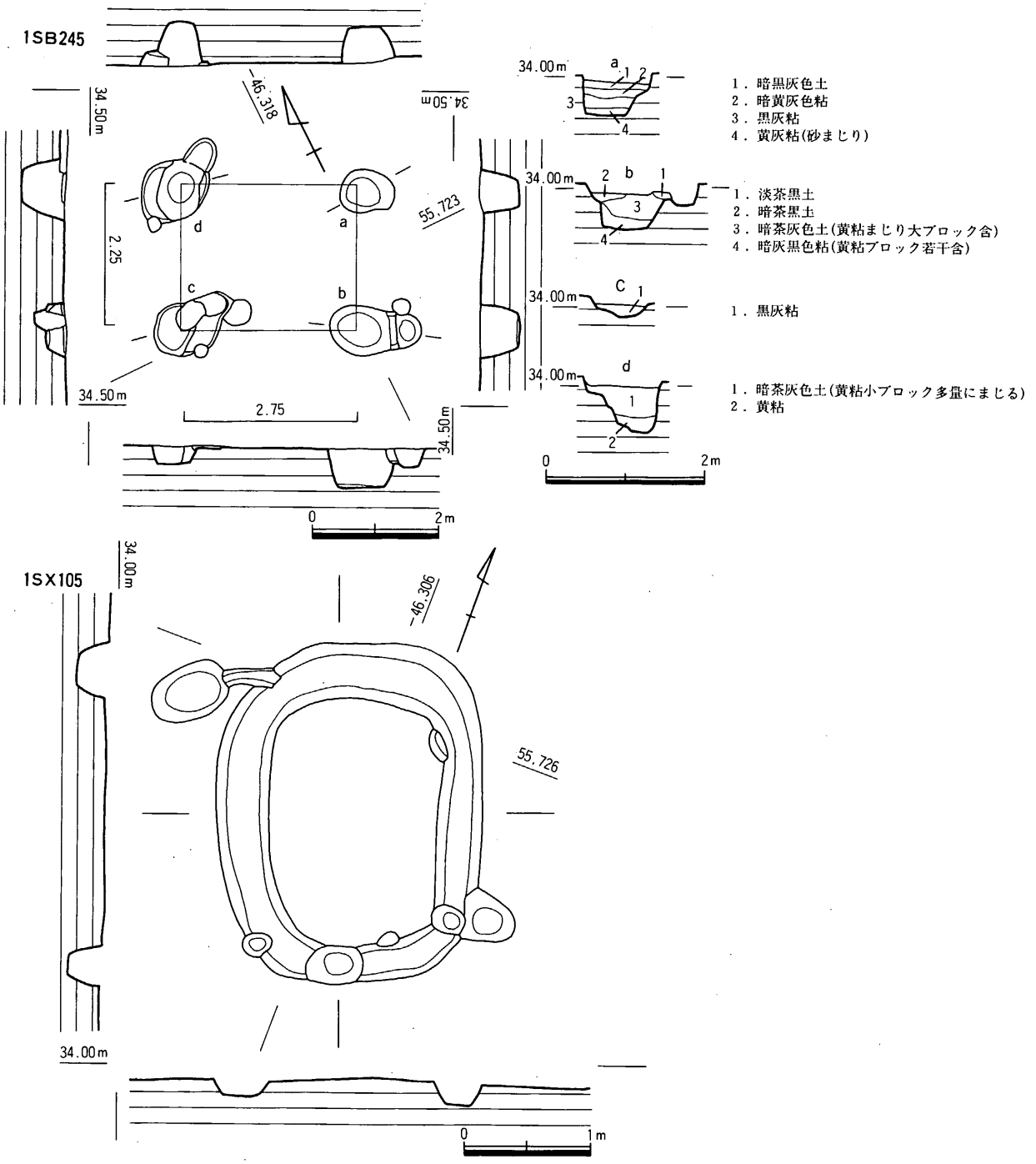
19′-Eである。

1SB235（第7図）東西1間（3.5m）、南北1間（3.3m）の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは概ね遺構検出面から0.3mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-11°19′-Eである。

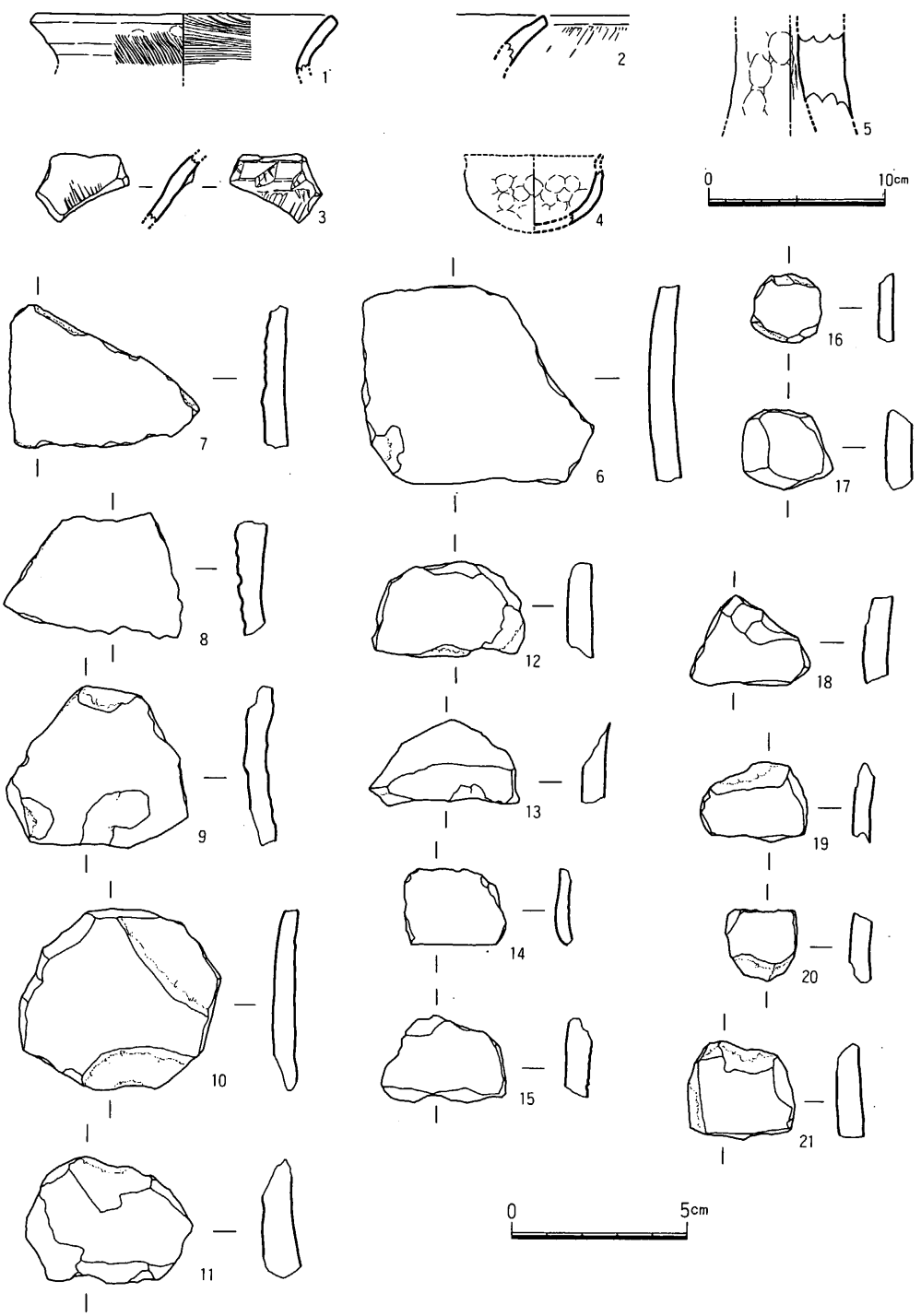
1SB240（第7図）東西1間（3.3m）、南北1間（3.8m）の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは遺構検出面から0.2mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-40°22′-Wである。

1SB245（第8図、Pla.7）東西1間（2.8m）、南北1間（2.3m）の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは遺構検出面から0.1～0.6mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-26°34′-Eである。

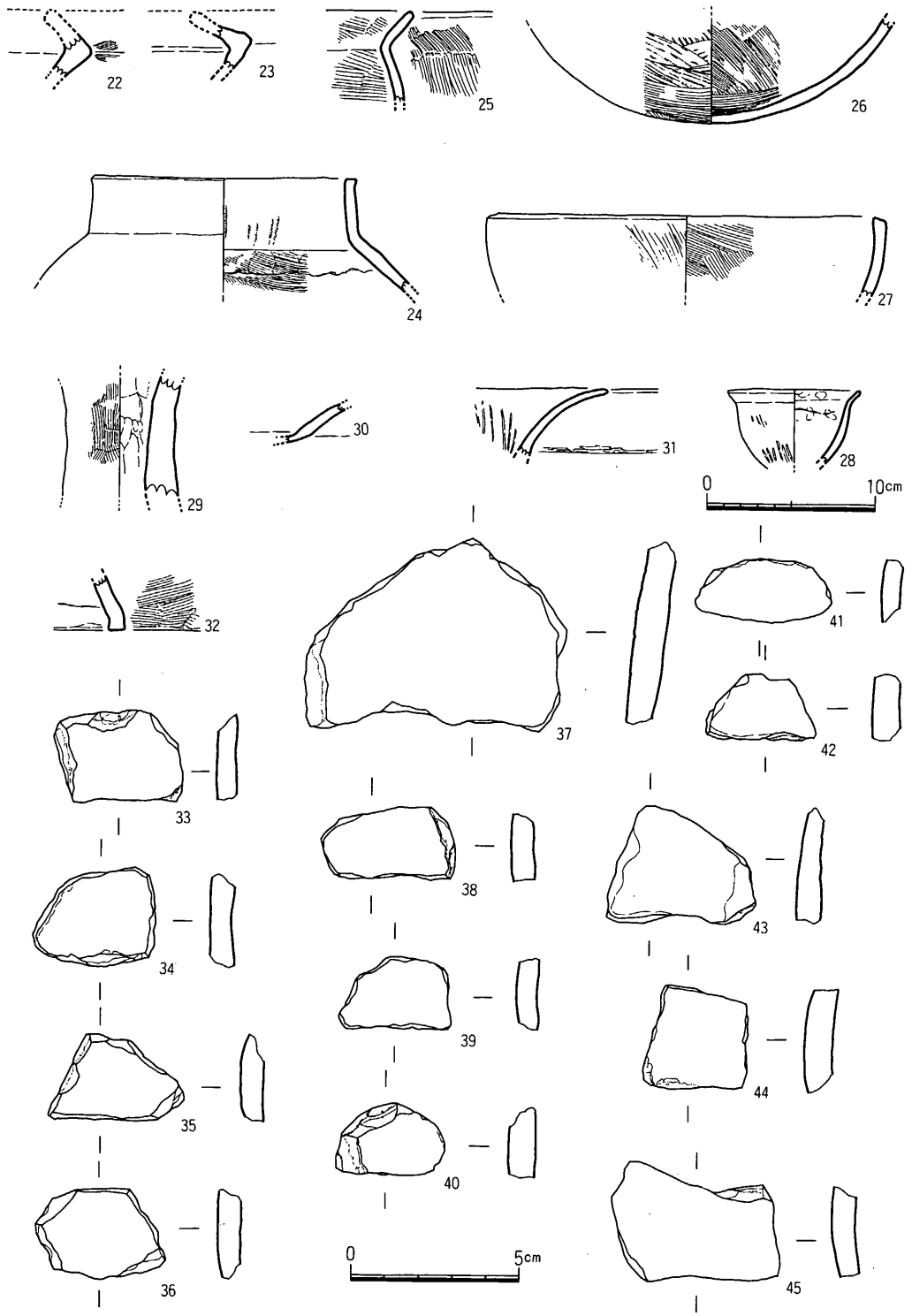
出土遺物は一部に須恵器が混入するものの古墳時代初頭の時期を示す。



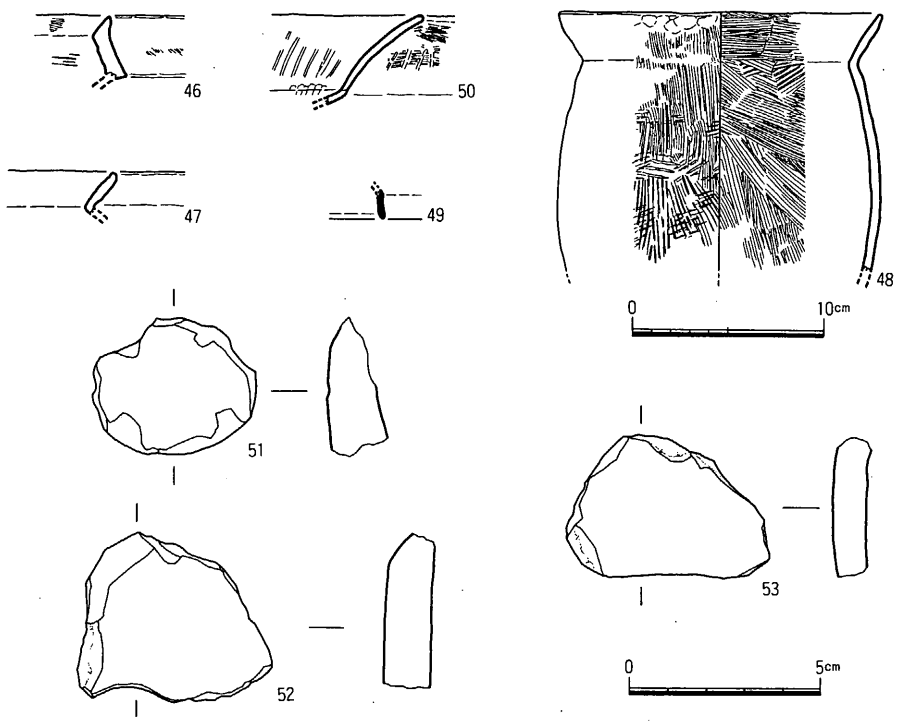
第8図　1SB245(1/100・1/80)・1SX105(1/50)実測図



第9図　フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)1～21



第10図　フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)22～45



第11図　フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)46～53

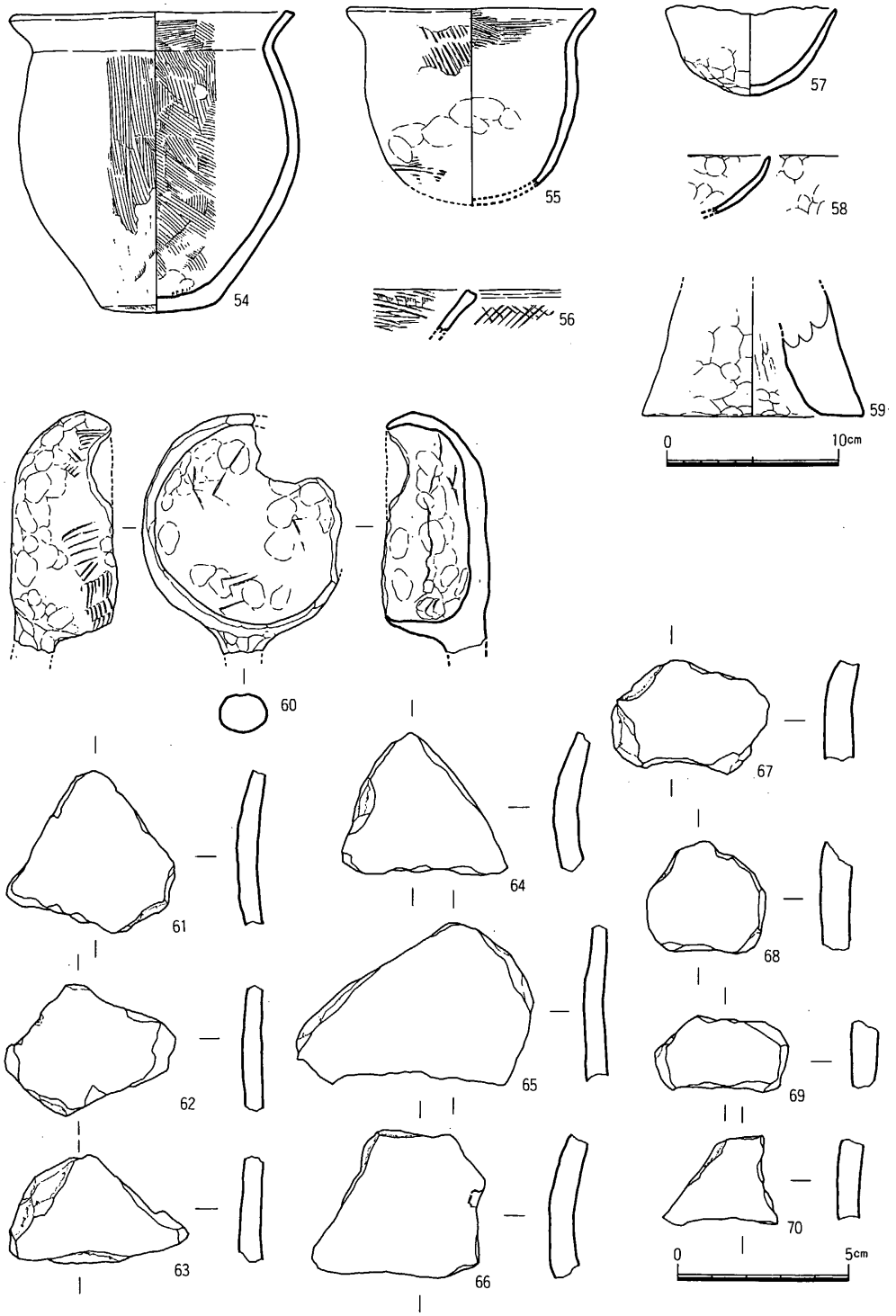
円形周溝状遺構

1SX105（第8図、Pla.9）調査区の東側で検出した。溝が円形に回る遺構で、平面形は方形に近い円形を呈す。溝の外側は長辺2.8m、短辺2.2m。内側は長辺2.0m、短辺1.4m、溝の深さは0.1mを測る。長辺が正方位に沿うような形で溝が穿たれている。溝上や内側に小さなピットがあるが、埋土の土色の違いや切り合い関係から時期的には異なる時代のものと思われる。このような遺構の性格については集落内の祭祀に関わる遺構との意見がある。（片岡宏二「「周溝状遺構」の検討」福岡考古　第14～17号）

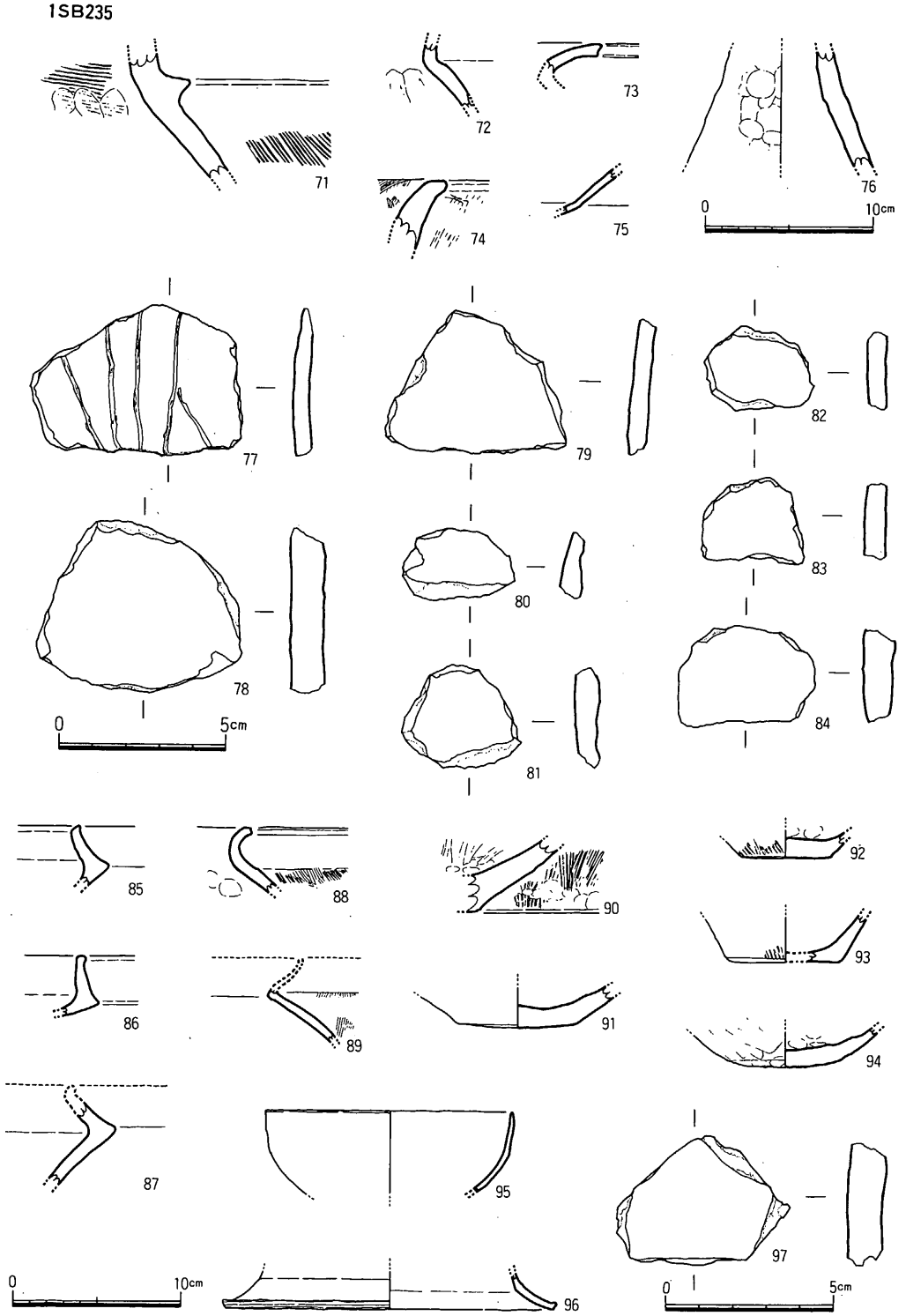
土坑

1SK001（第15図、Pla.10）　調査区の東側で検出した。平面形は方形に近い円形を呈す。南北0.8m、東西0.75m、深さ約0.15mを測る。遺構の上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていないが、破砕した土器を廃棄した遺構と思われる。

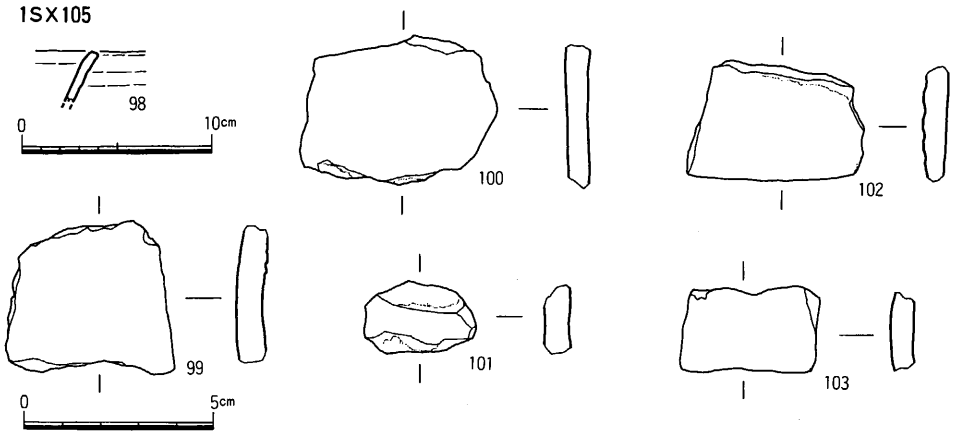
1SK010（第16図、Pla.11）　調査区の中央北よりで検出した。平面形は方形に近い楕円形を呈す。断面形は中央に深い擂り鉢状を呈す。南北2.0m、東西1.9m、深さ約0.6mを測る。土層観察から穴を穿ってしばらくの間、砂や粘土が供給された後に花崗岩礫や炭とともに破砕した土器が廃棄され、黒色の腐植土が漸次遺構を覆ったものと考えられる。出土した土器はいわゆ



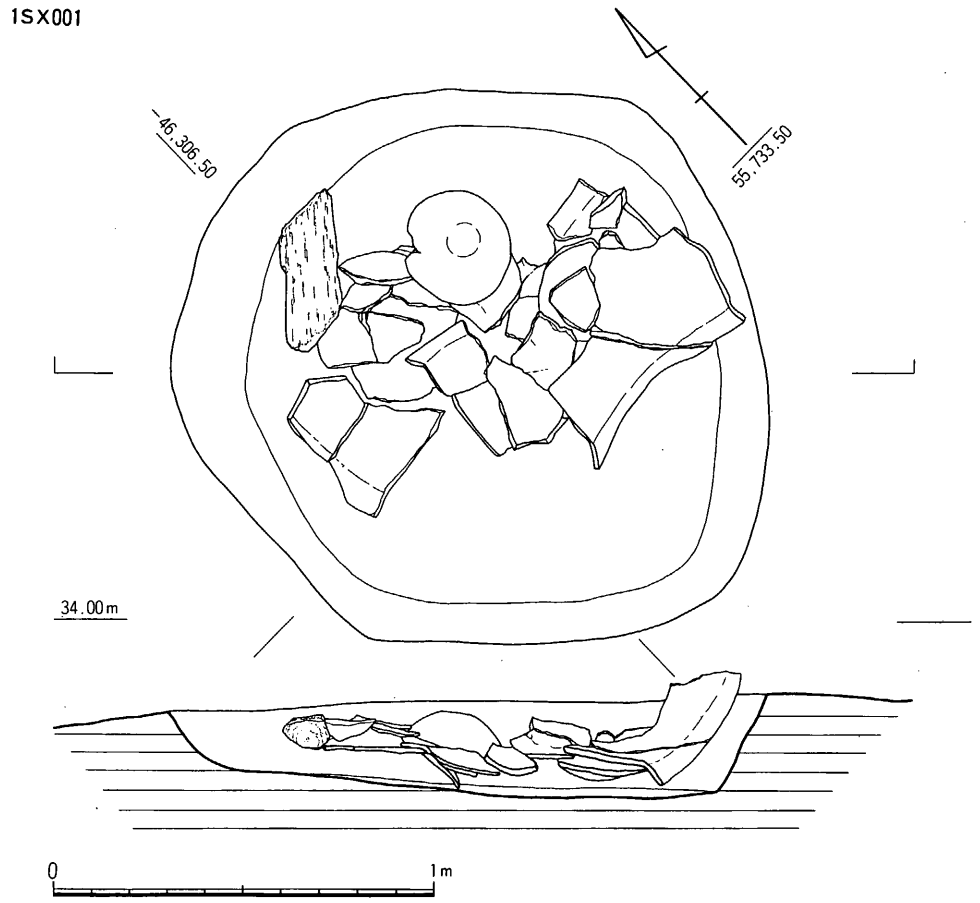
第12図　フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(4)(1/4・1/2)54～70



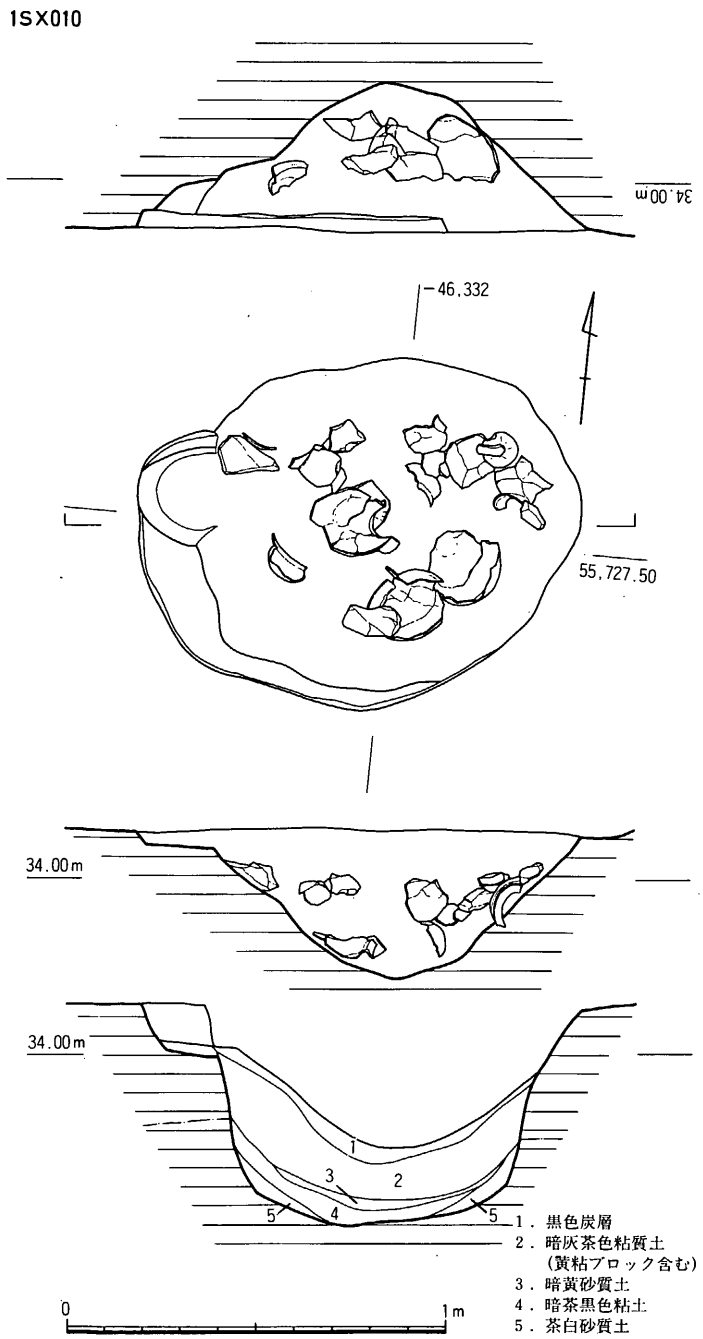
第13図　フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(5)(1/4・1/2)71～97



第14図　フケ遺跡第1次調査円形周溝状遺構出土遺物実測図(1/4・1/2)98～103



第15図　1SK001実測図(1/20)



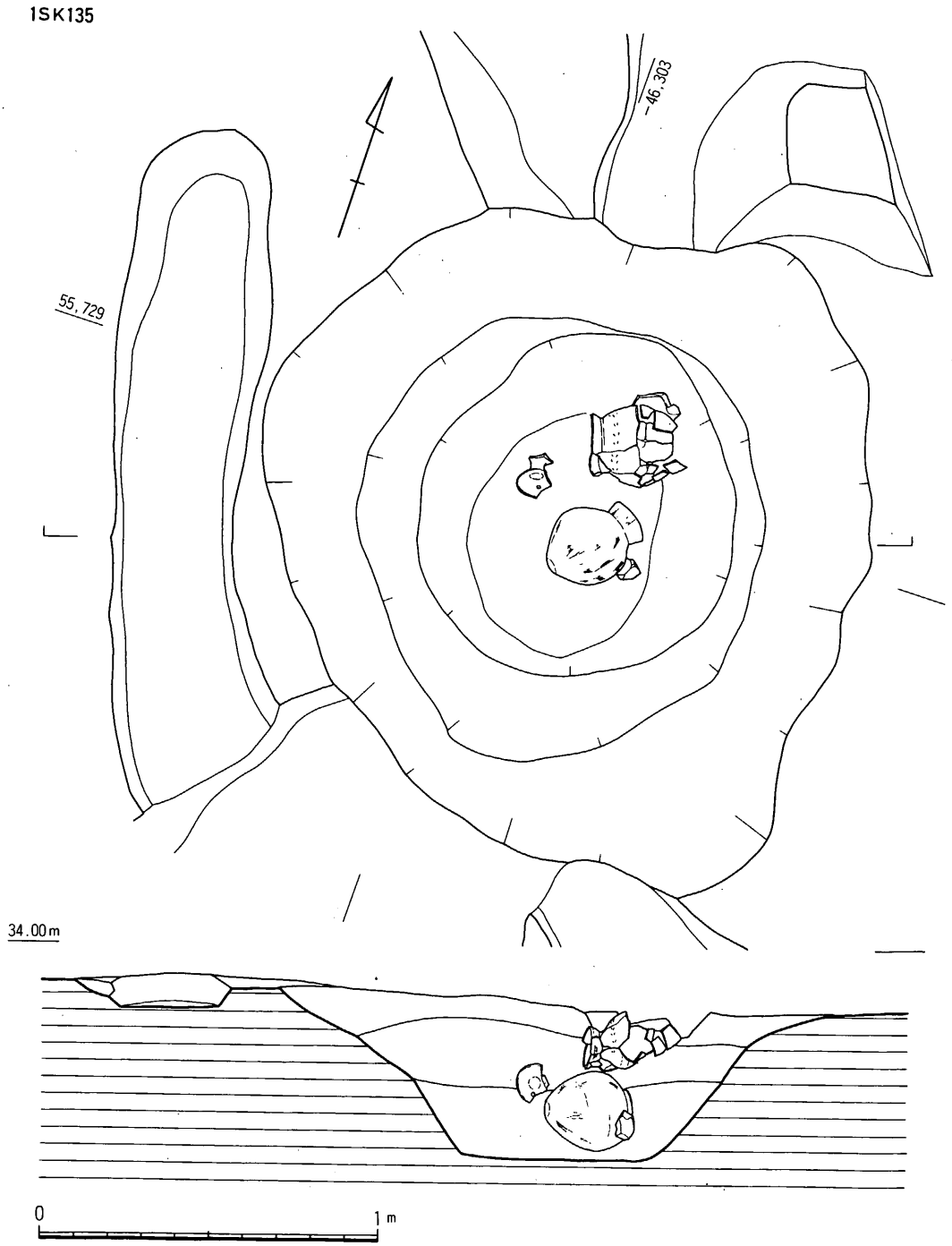
第16図　1SK010実測図(1/20)

る畿内系の古相の布留式土器で占められている。

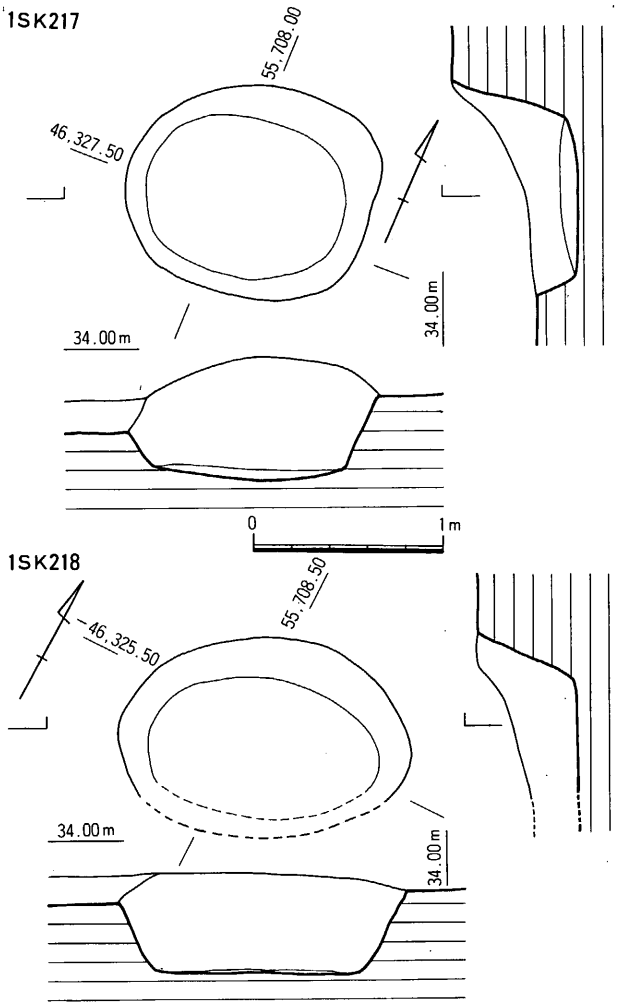
1SK135（第17図、Pla.12）調査区の東側で検出した。平面形は円形を呈す。断面形は中央に深い擂り鉢状を呈し底はやや平坦である。南北0.95m、東西1.2m、深さ約0.5mを測る。1SD205,110に切られる。埋土中には多くの土器片が含まれていたが、特に中央付近には畿内系の完形の壺（V様式系）と甕（布留式系）と坏部と裾が壊された高坏が出土している。底は地盤の粘土層を貫き砂層に達しており、水貯め機能があった可能性も想定される。

1SK217（第18図）　調査区の西南側の1SD200の埋土下で検出した。平面形は楕円形を呈す。南北1.1m、東西1.3m、深さ約0.6mを測る。1SK218とともに雛川遺跡1次1SK050と同様に湿気を利用した堅果類の貯蔵穴であった可能性が高い（雛川遺跡「太宰府・佐野地区遺跡群VI」1996太宰府市教育委員会）。

1SK218（第18図）　調査区の西南側の1SD200の埋土下の1SK217西側で検出した。平面形は楕円形を呈す。南北0.8m以上、東西1.55m、深さ約0.5mを測る。埋土中で堅果類（イチイガシか）



第17図　1SK135実測図(1/20)



第18図　1SK217・218実測図(1/40)

の断片が複数見つかり、湿気を利用した堅果類の貯蔵穴であった可能性を示した。

溝

1SD036（第28図）　調査区の東側で検出した南北方向の溝で、その方向性から1SD133に連なる可能性がある。1SD205,1SK135に切られる。溝の深さは深いところで0.2m ほどである。

1SD086（第28図）　調査区の東側で検出した南北方向の溝である。1SK135に切られる。溝の深さは深いところで0.35m ほどである。

1SD110（第28図）　調査区の東側で検出した南北方向の溝で、その方向性から1SD133に連なる可能性がある。1SD205,1SK135を切る。溝の深さは深いところで0.3mほどである。

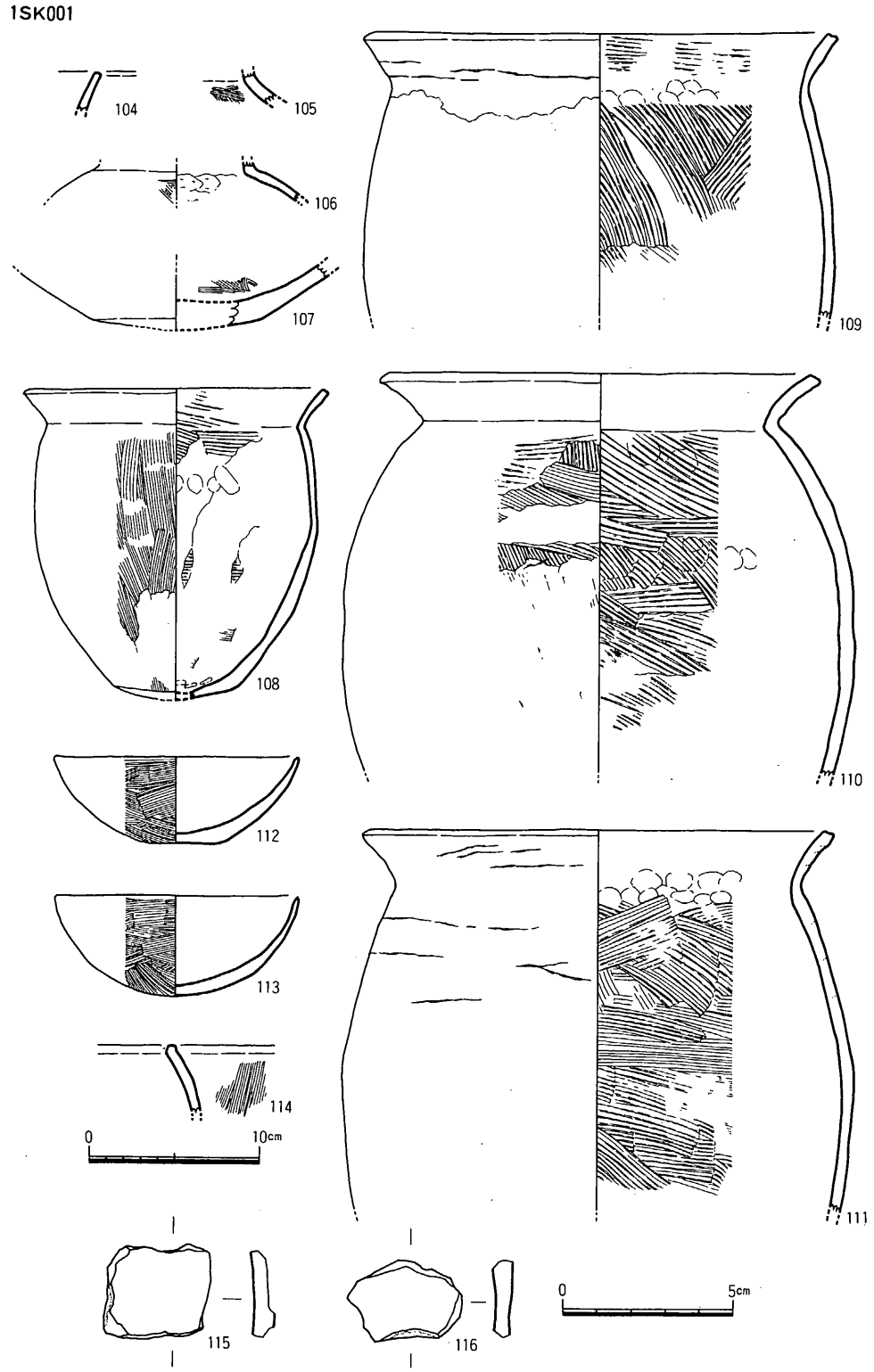
1SD120（第28図）　調査区の西側で検出した。多くの後世のピットに切られ、西側は切れ切れになっている。時期的には今回検出した遺構の中では古い時期に属すものと思われる。直径11mほどの円形を呈していた可能性がある。そういった意味では円形周溝状遺構であった可能性も考えられる。溝の深さは深いところで0.2m ほどである。

1SD130（第28図）　調査区の西側で検出した東西方向の溝で、1SD200に切られる。1SD120との前後関係は土色などの関係でも今一つ明確にできなかった。溝の深さは深いところで0.2m ほどである。

1SD131（第28図）　調査区の東側で検出した東西方向の溝で、1SD133,132を切る新しい遺構である。溝の深さは深いところで0.1m ほどである。

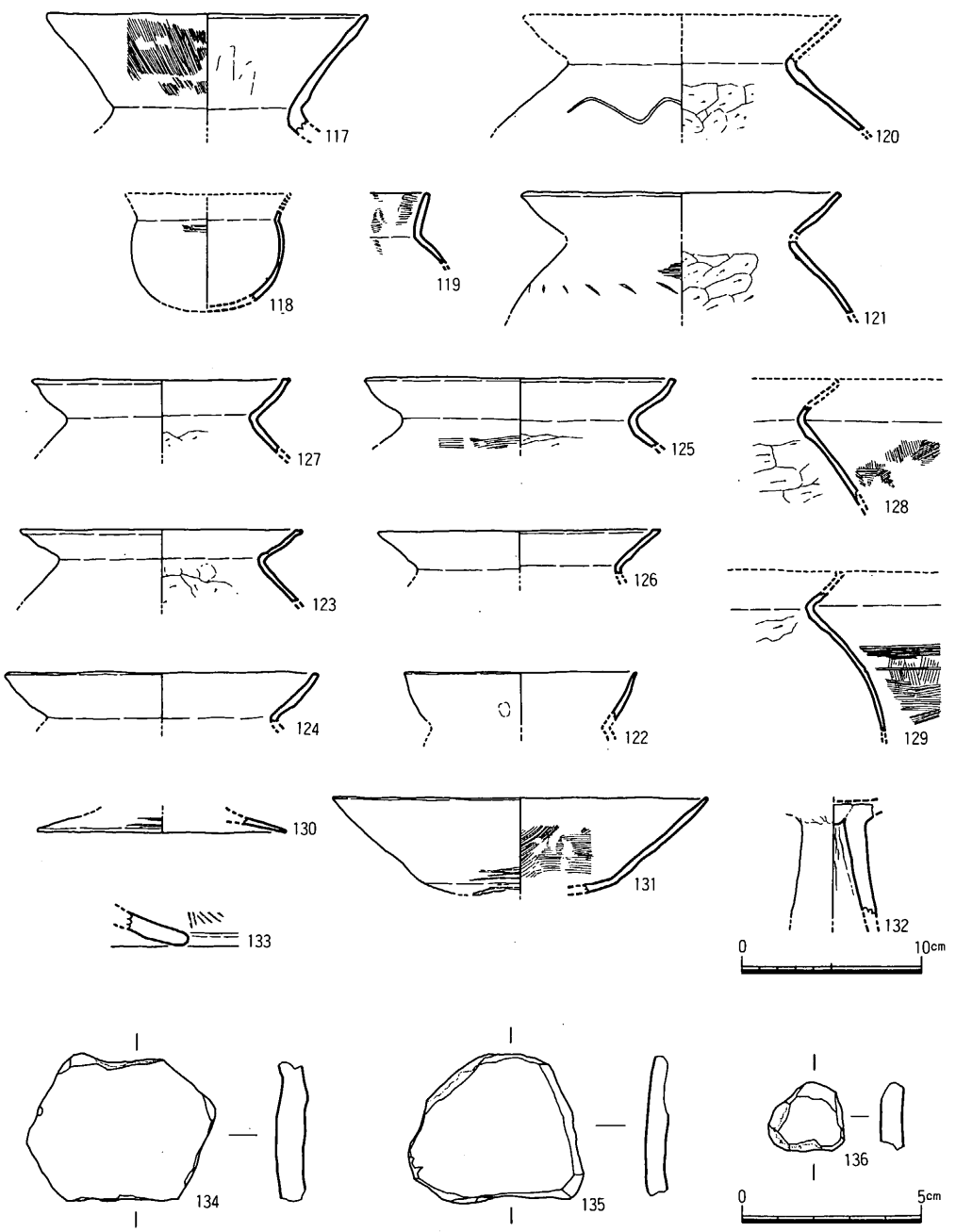
1SD132（第28図）調査区の東側で検出した南北方向の溝で、1SD133,131に切られる。溝の深さは深いところで0.1m ほどである。

1SD133（第28図）調査区の東側で検出した南北方向の溝で、1SD131に切られる。 溝の深さは深いところで0.1m ほどである。



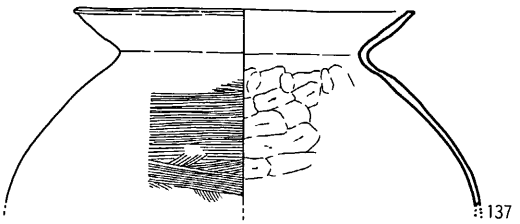
第19図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)104～116

1SK010灰粘

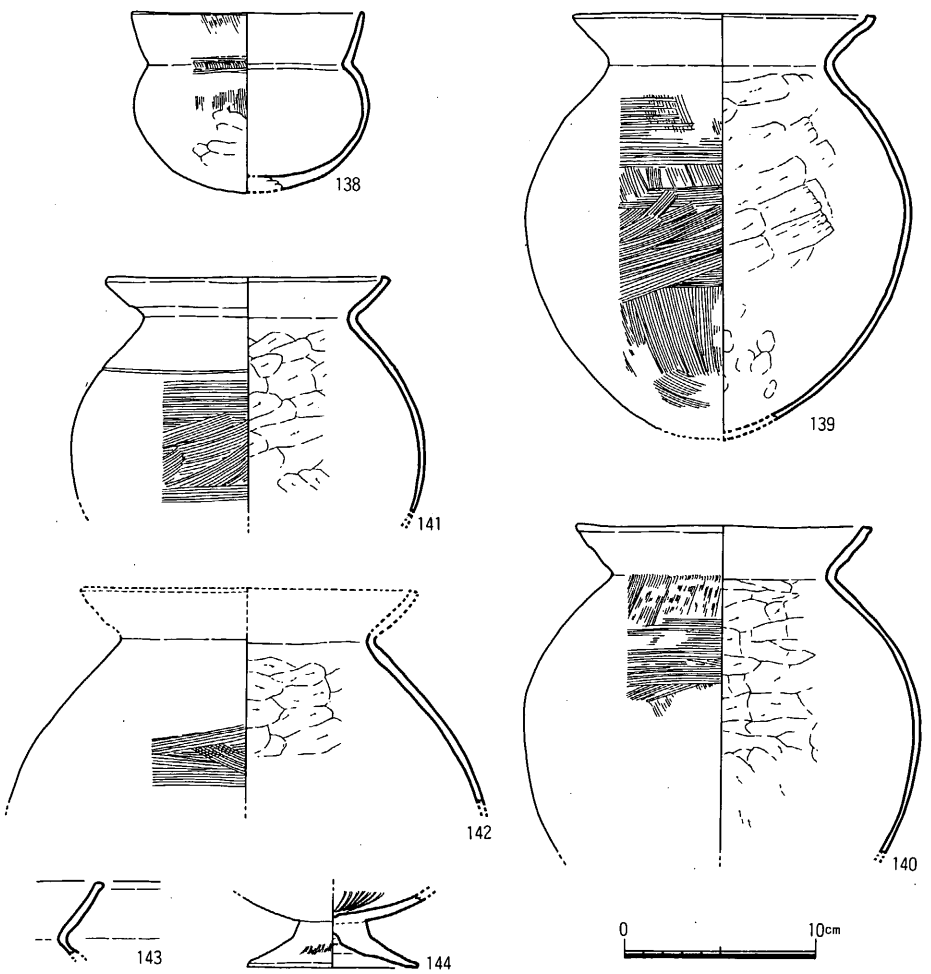


第20図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)117～136

1SK010最下層

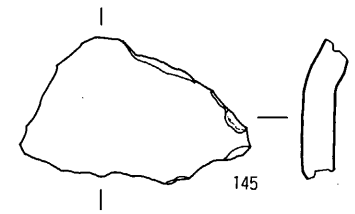


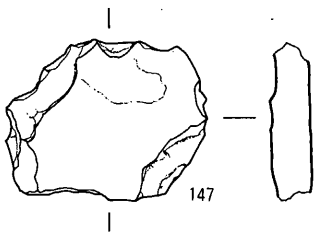
1SK010

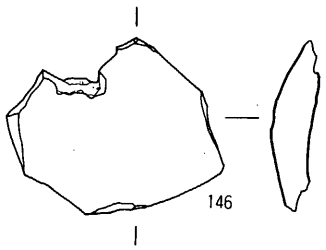


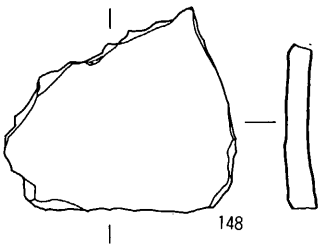
第21図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(3)(1/4)137～144

1SK135黒灰粘

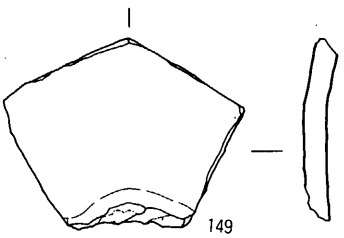


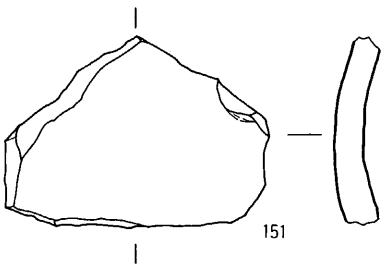


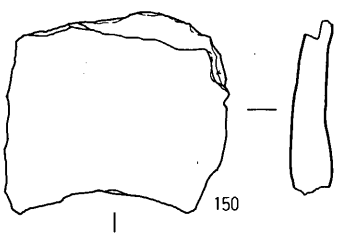




1SK135灰粘

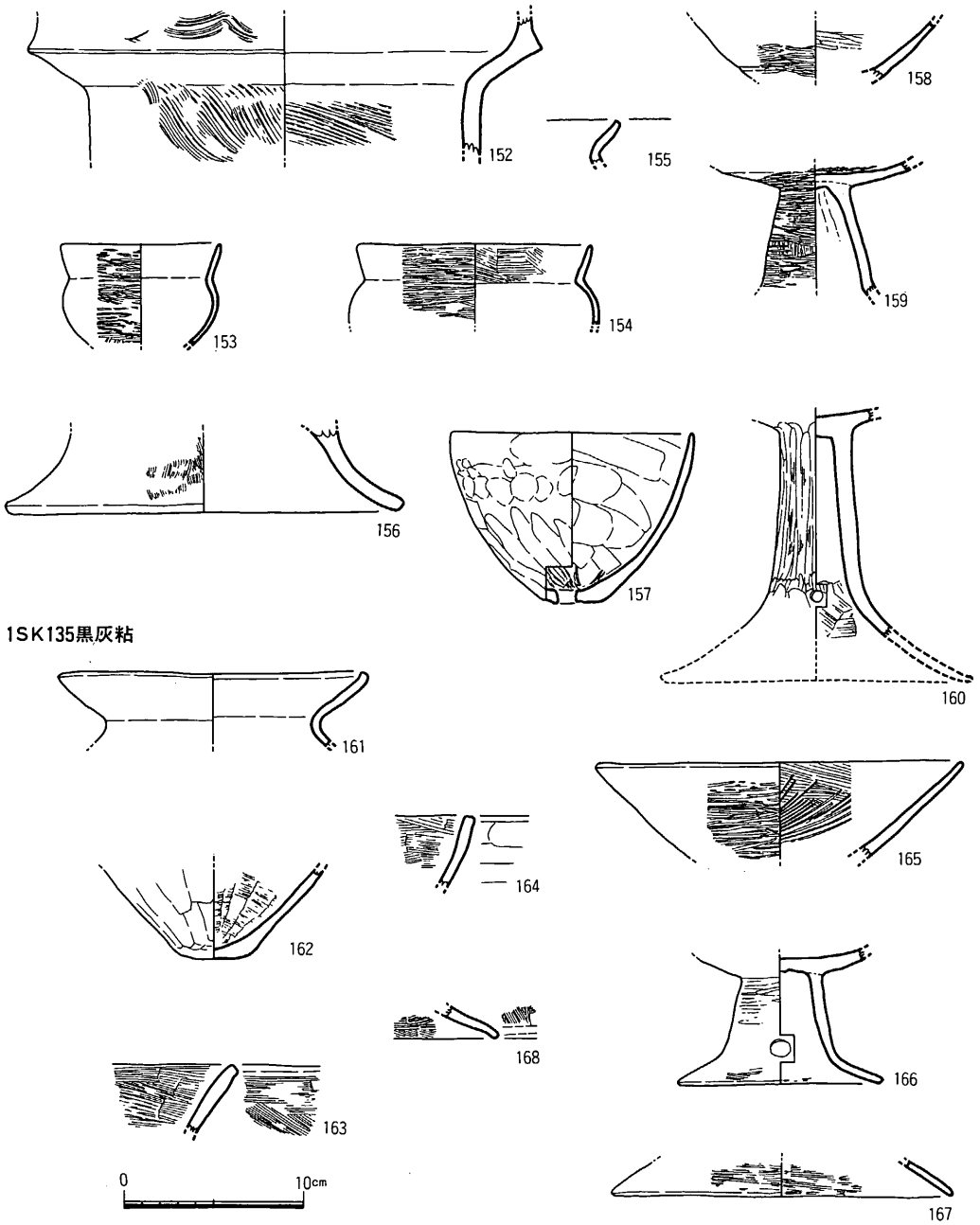




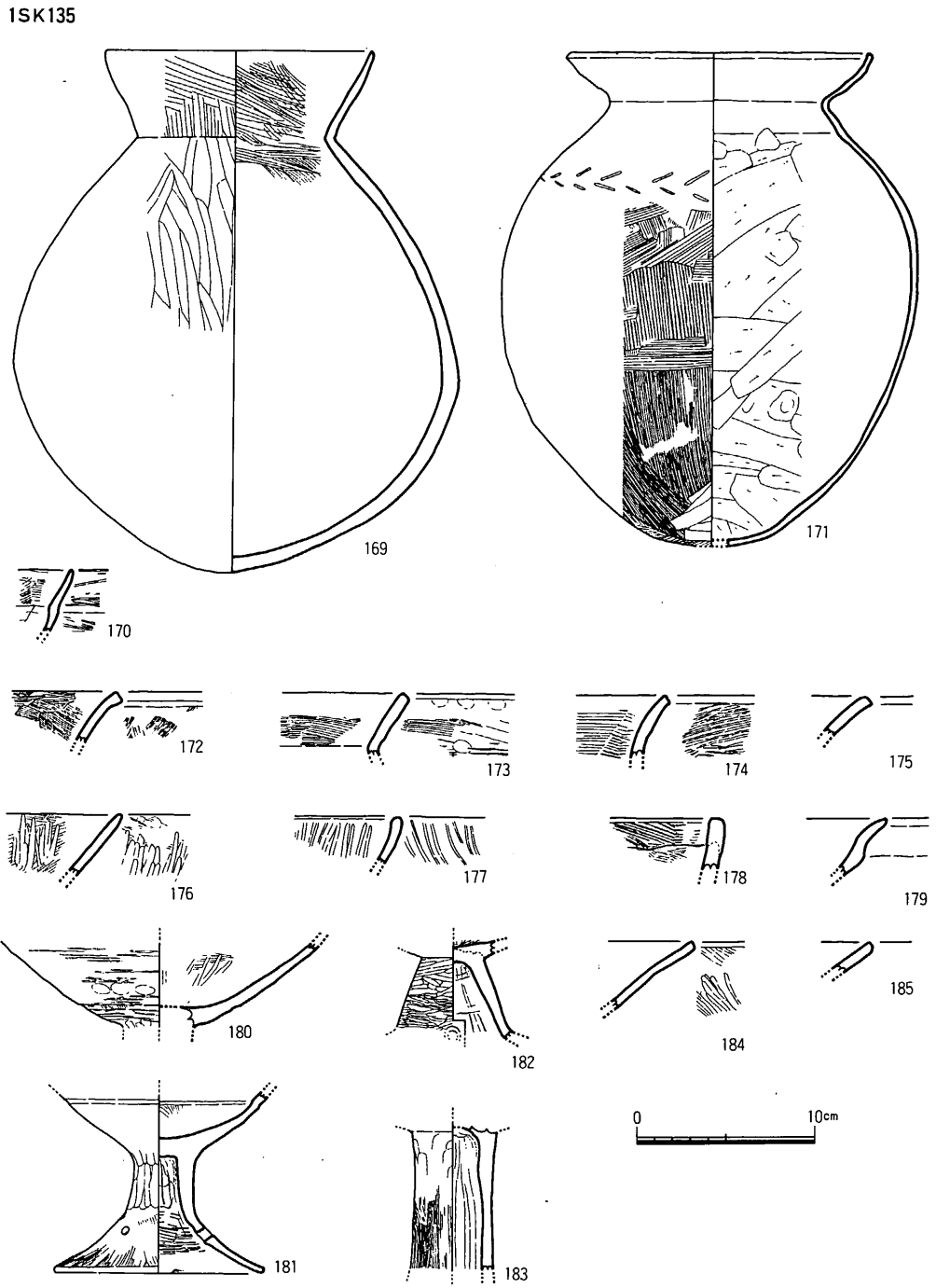


第22図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(4)(1/2)145～151

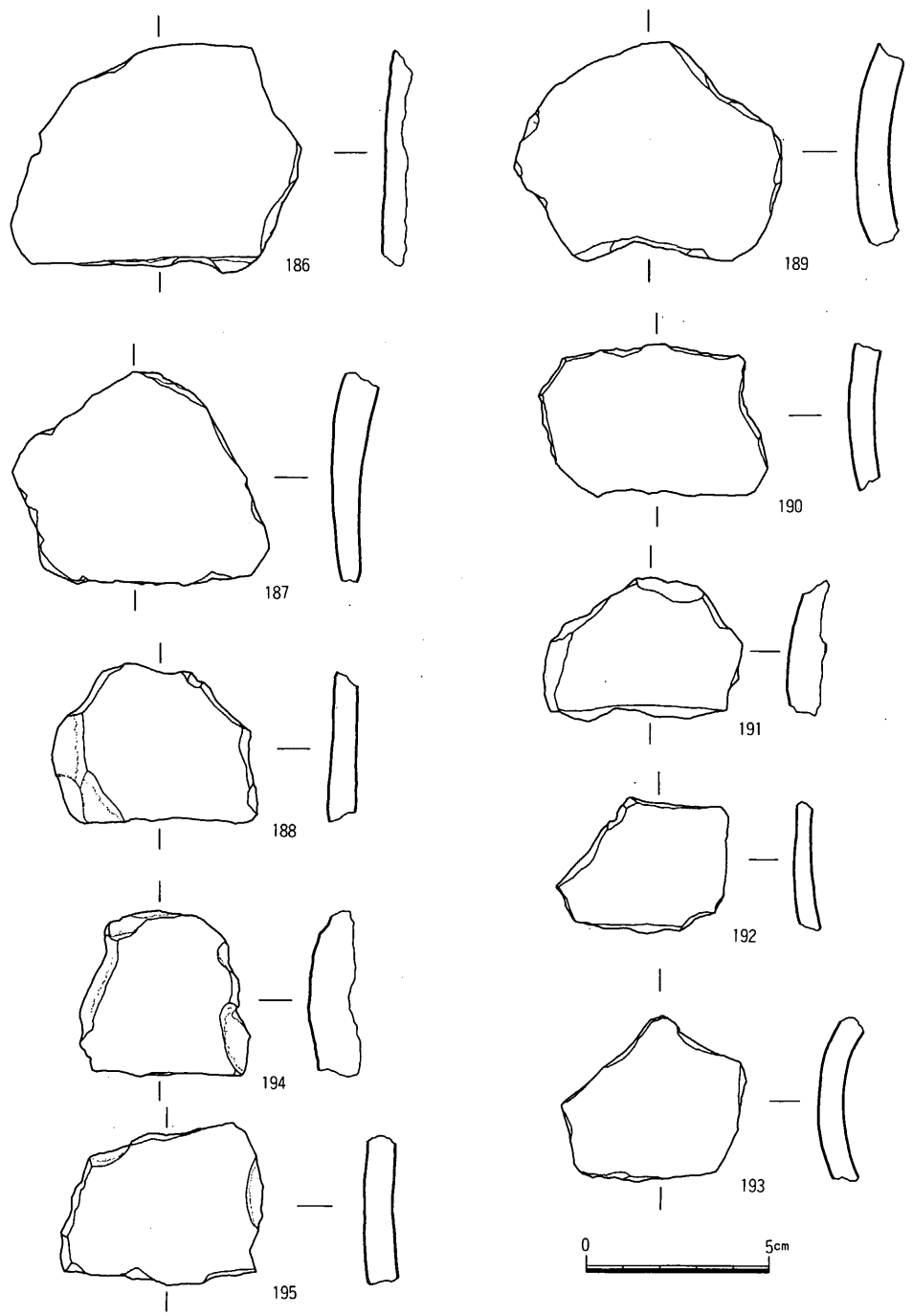
1SK135黒灰色土



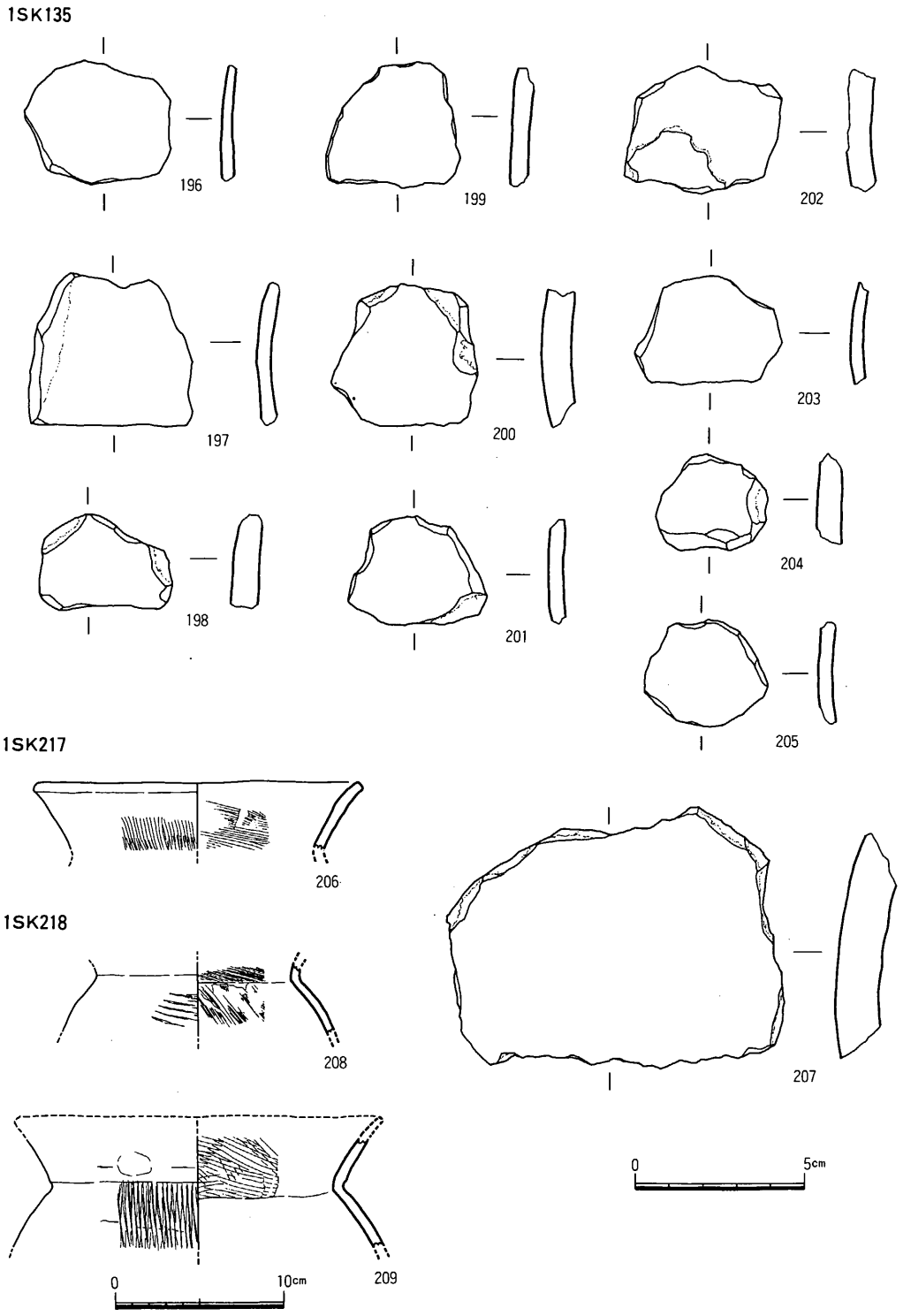
第23図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(5)(1/4)152～168



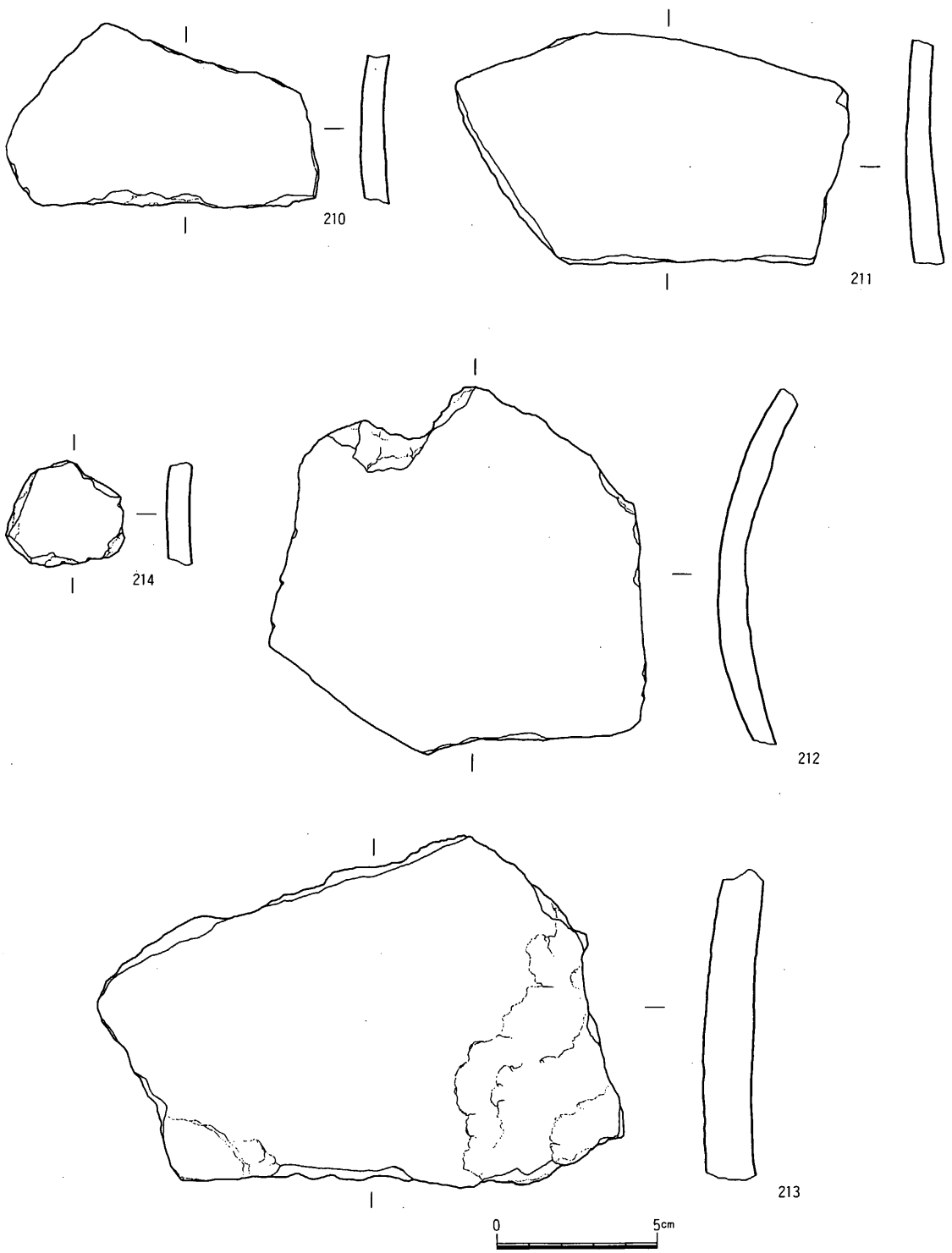
第24図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(6)(1/4)169～185



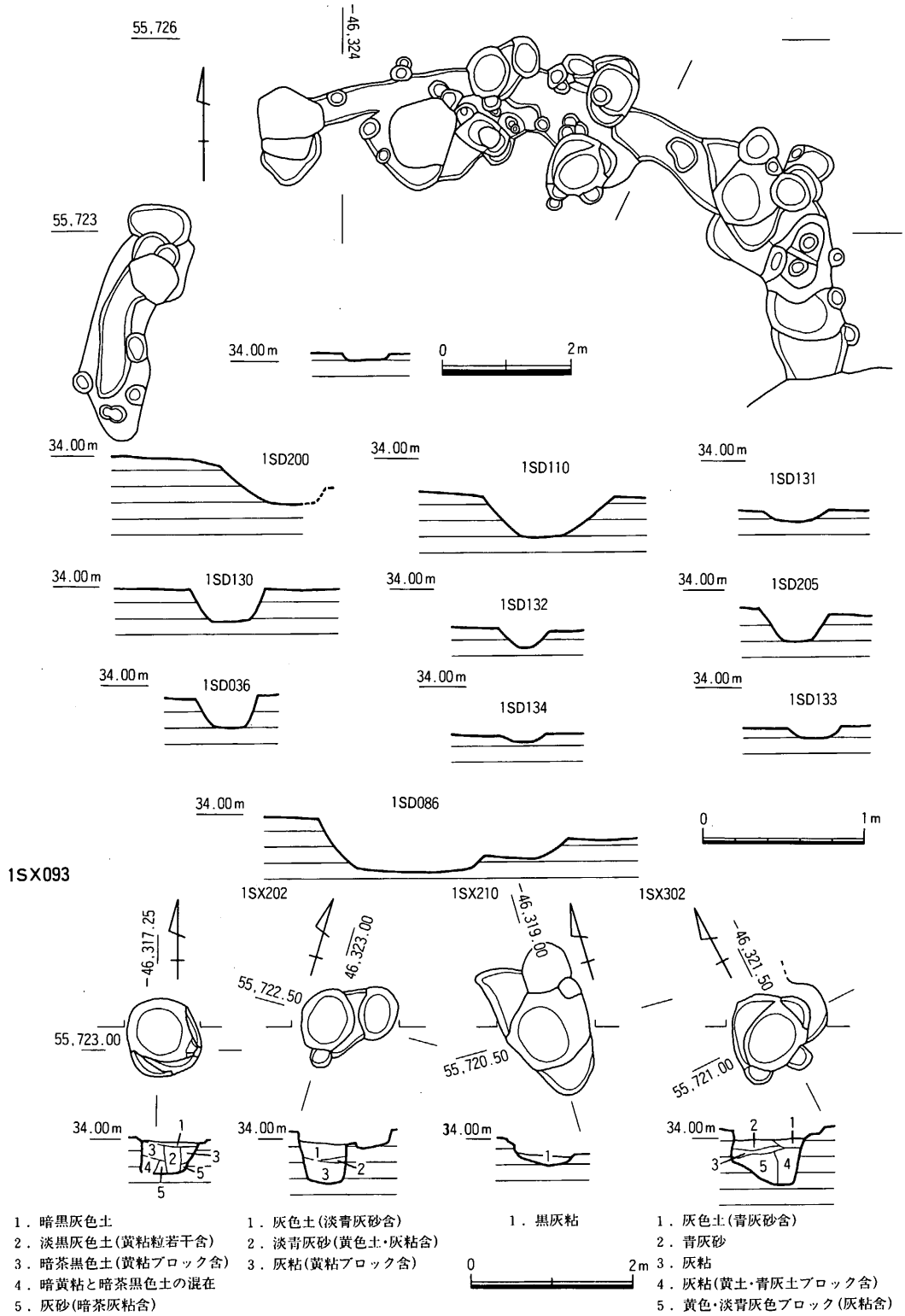
第25図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(7)(1/2)186～195



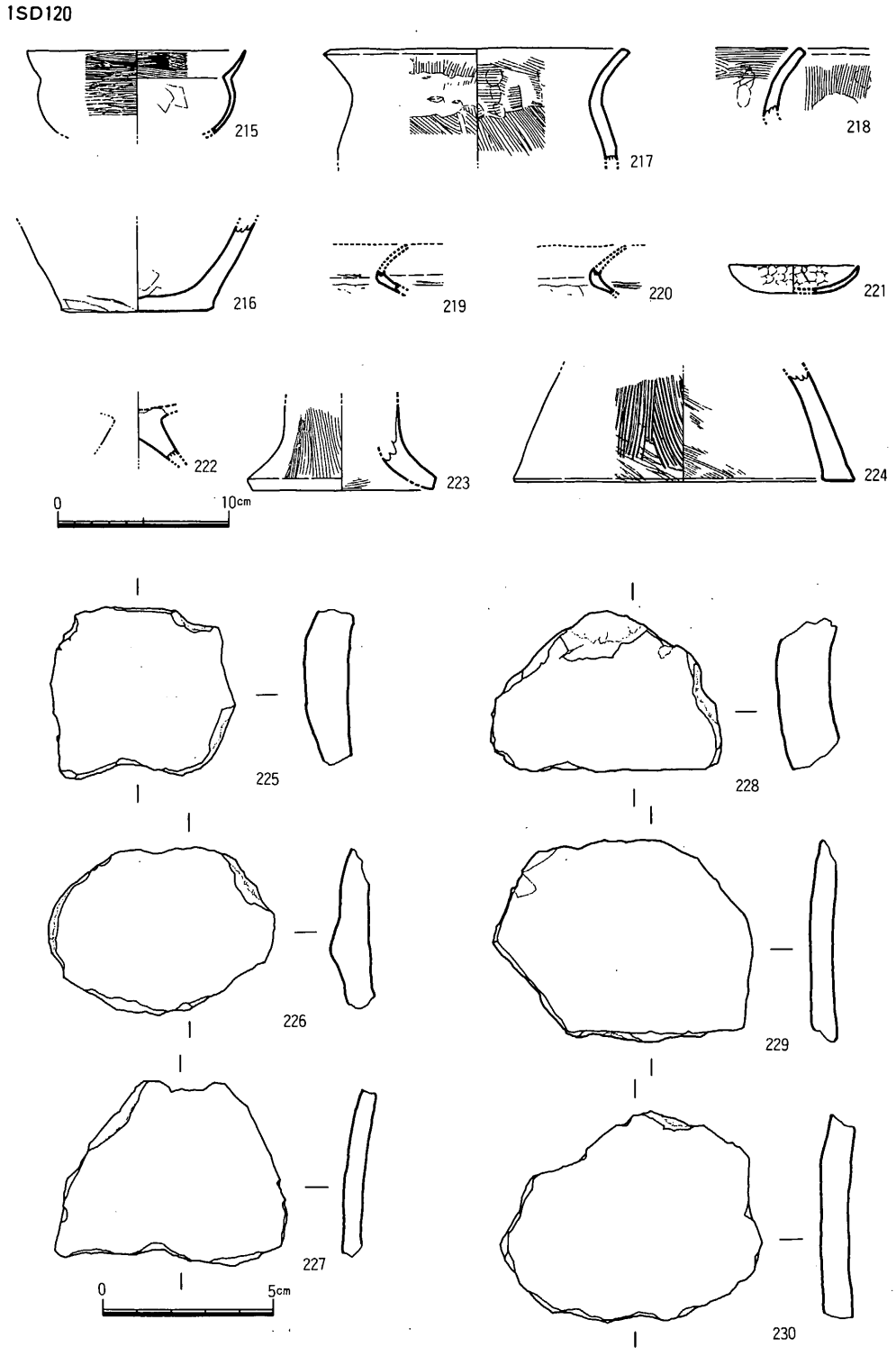
第26図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(8)(1/2・1/4)196～209



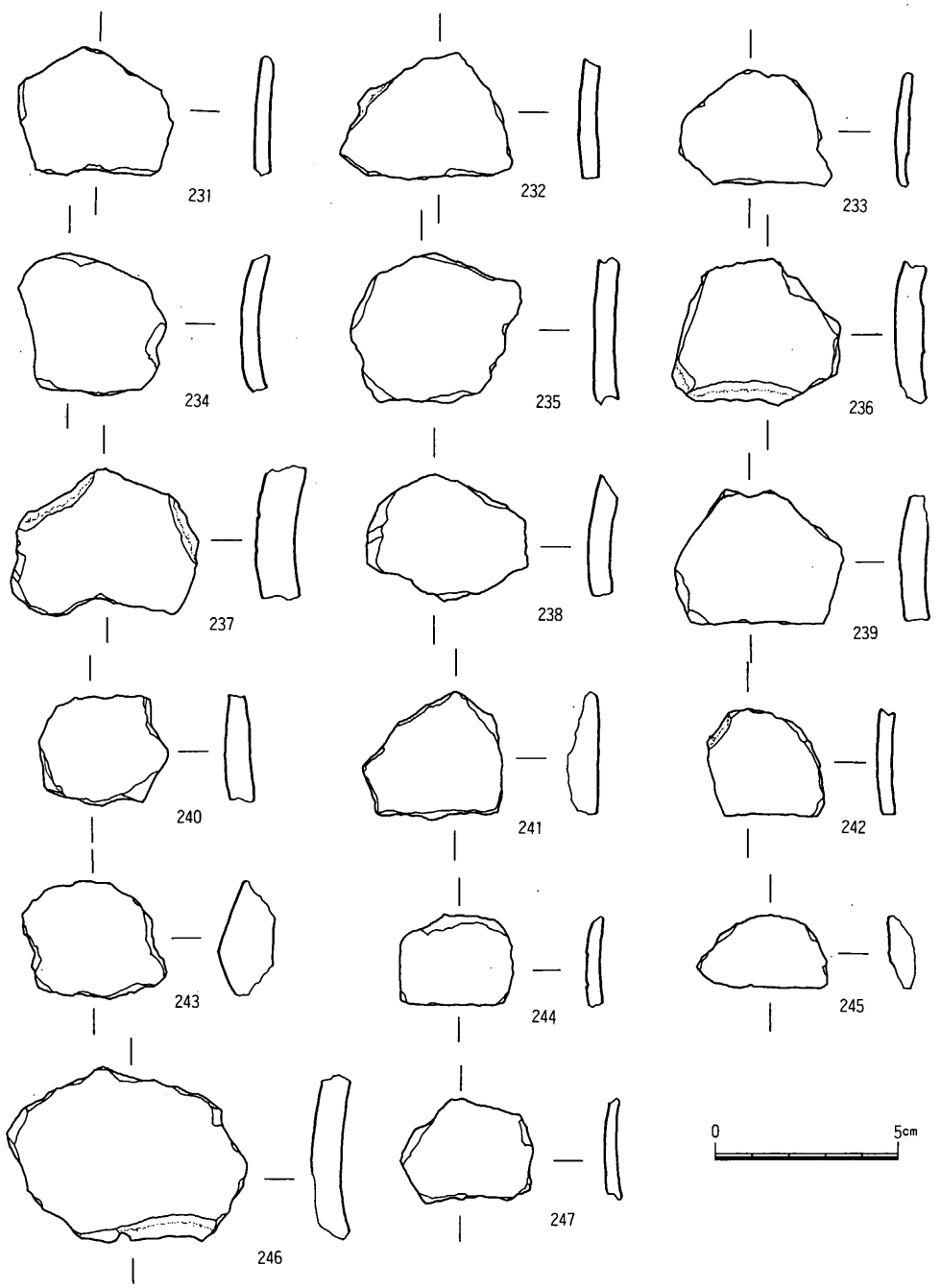
第27図　フケ遺跡第1次調査土壙出土遺物実測図(9)(1/2)210～214



第28図　1SD120実測図(1/100)
1SD036・086・110・130・131・132・133・134・200・205土層観察実測図(1/40)
その他の遺構実測図(1/80)

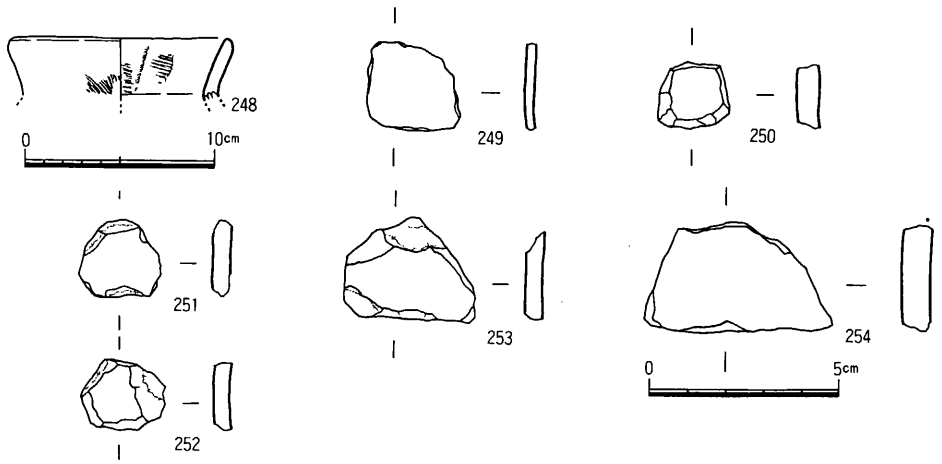


第29図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)215～230

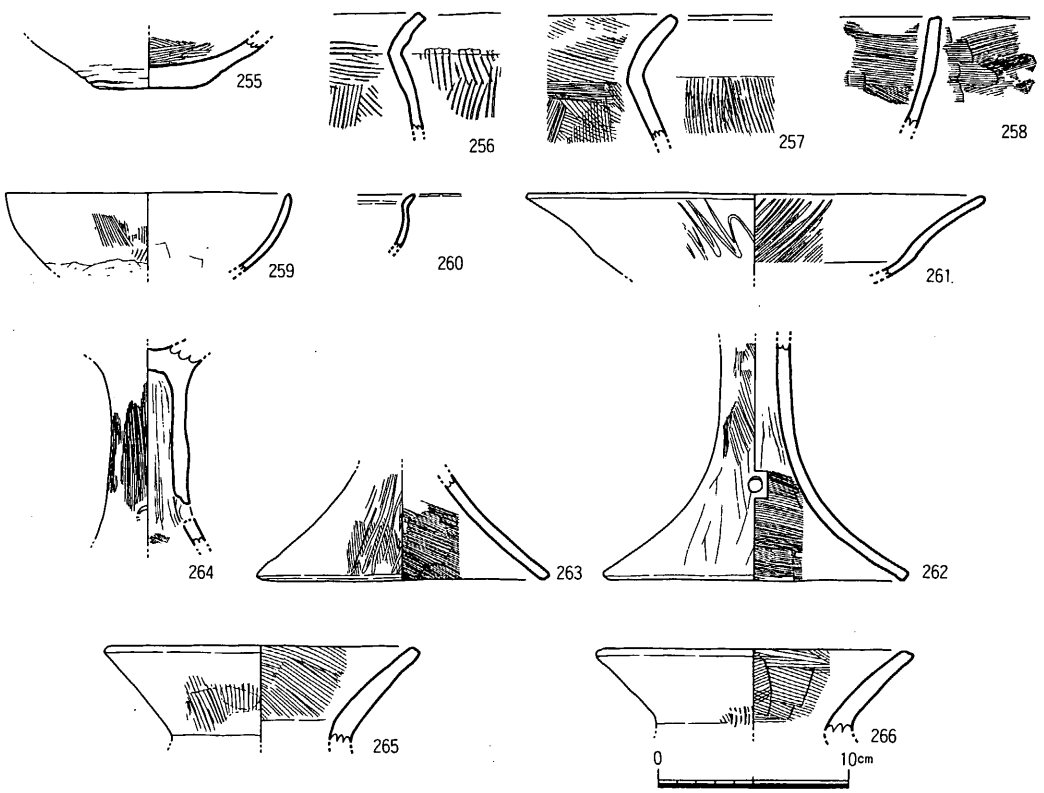


第30図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(2)(1/2)231～247

1SD036



1SD086



第31図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)248～266

1SD134（第28図）調査区の東側で検出した南北方向の溝で、1SD132に切られる。溝の深さは深いところで0.1m ほどである。

1SD200（第28図）調査区の南側で検出した東西方向の溝で、黒褐色の腐植土で覆われて埋没している。溝の深さは深いところで0.1m ほどである。その方向性から雛川遺跡１次1SX001に連なる可能性が高い（第2図参照）。土層観察の所見から土坑1SK217,218はこの溝の埋没とともに埋まっていると理解される。

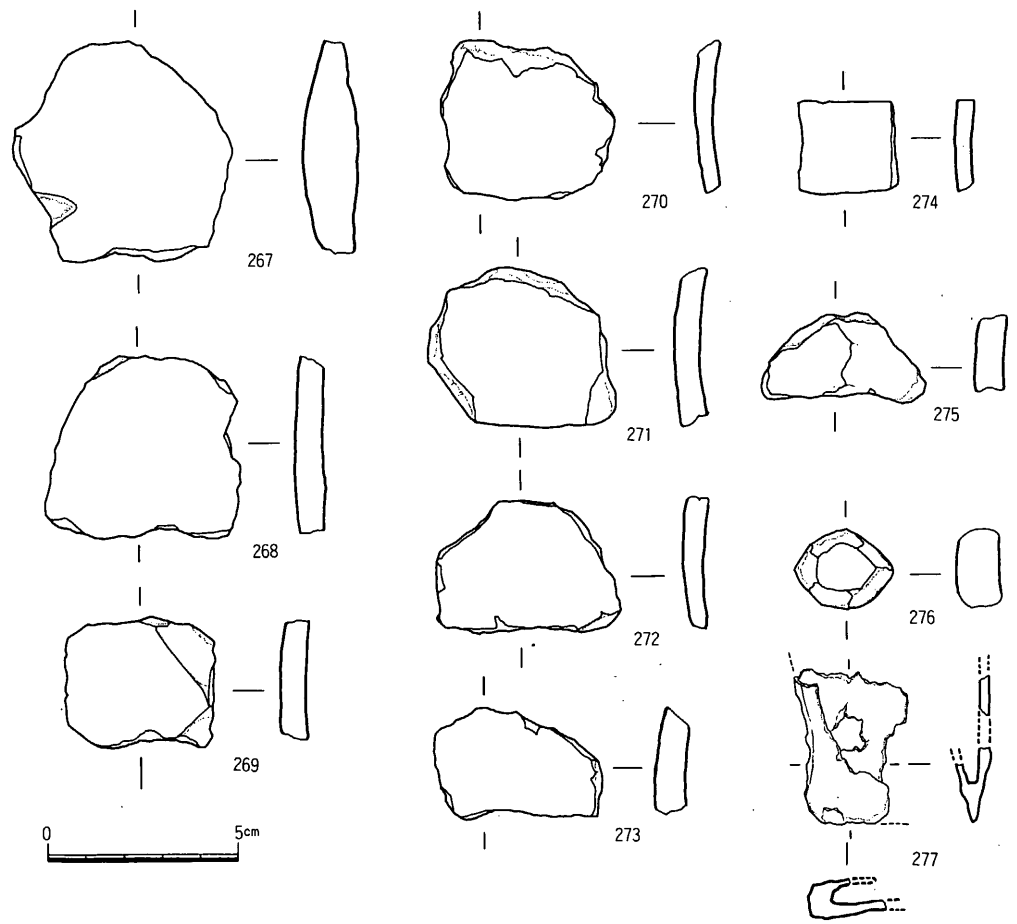
その他の遺構（第28図、Pla.9）

調査区内には今回提示した掘立柱建物の復元案で使用しなかった、それら柱穴と同規模のピットが複数存在する。それらの遺構の土層観察図を提示しておく。

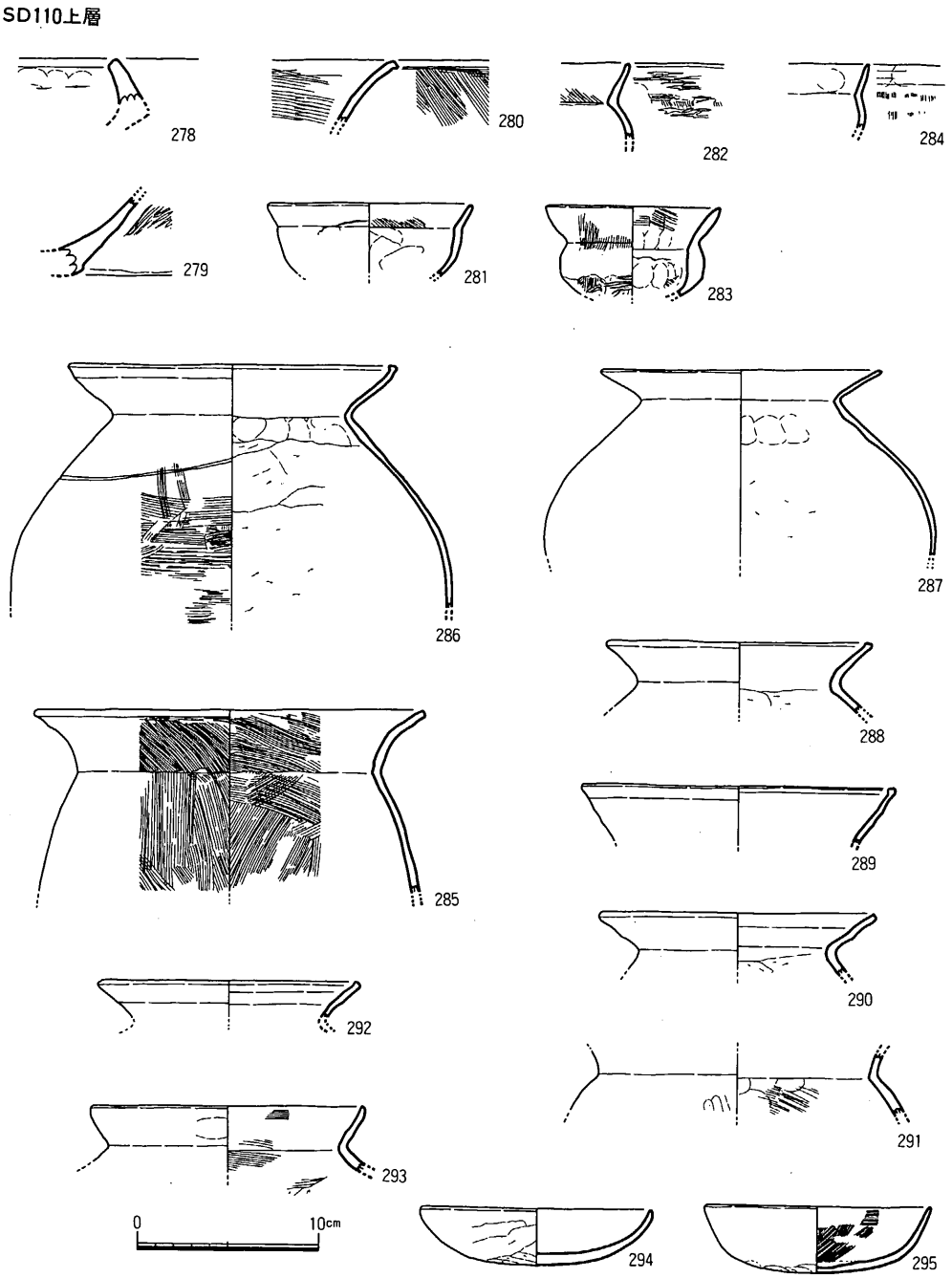
３．遺物

詳細については本文末の観察表を参照のこと。

1SD086

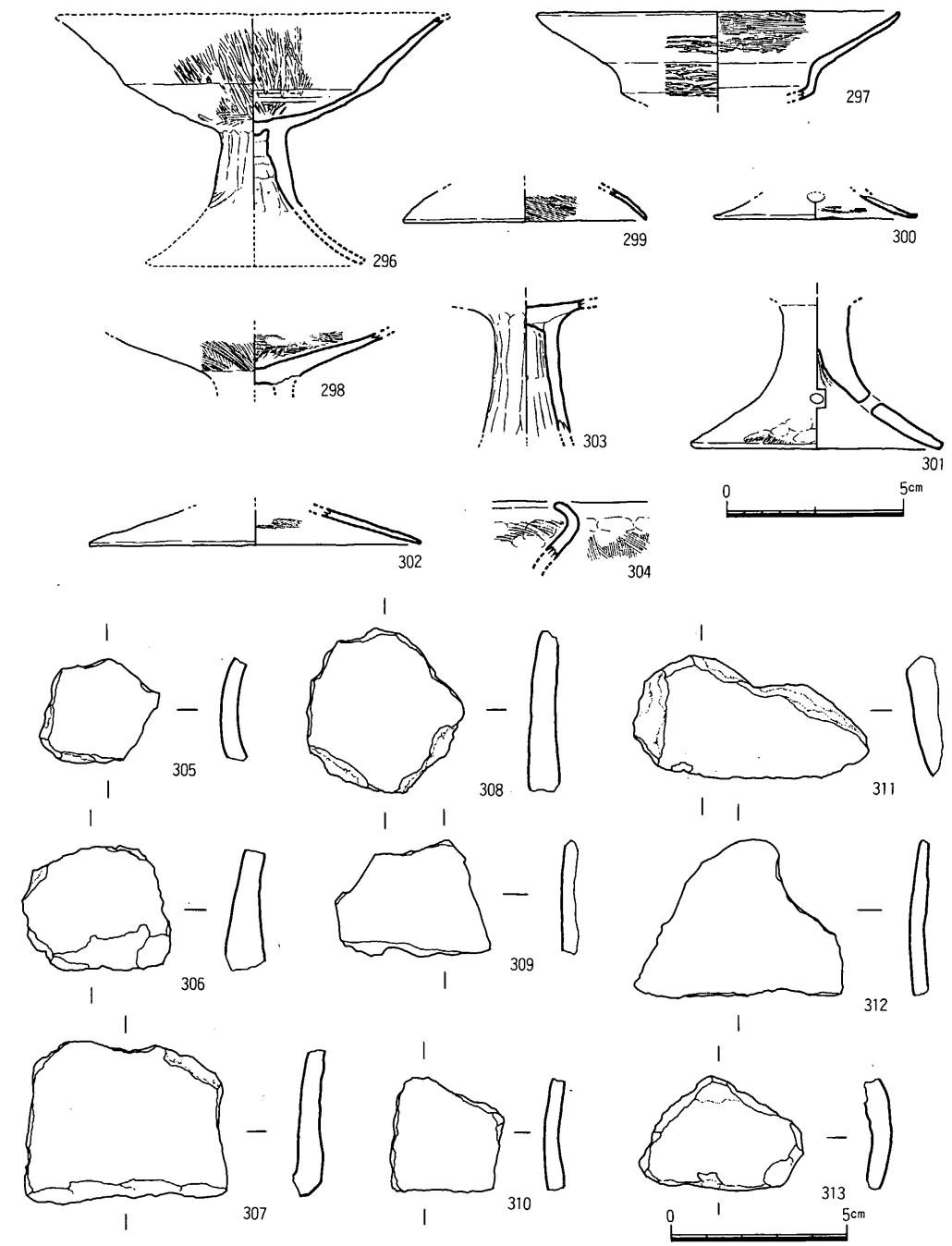


第32図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(4)(1/2)267～277



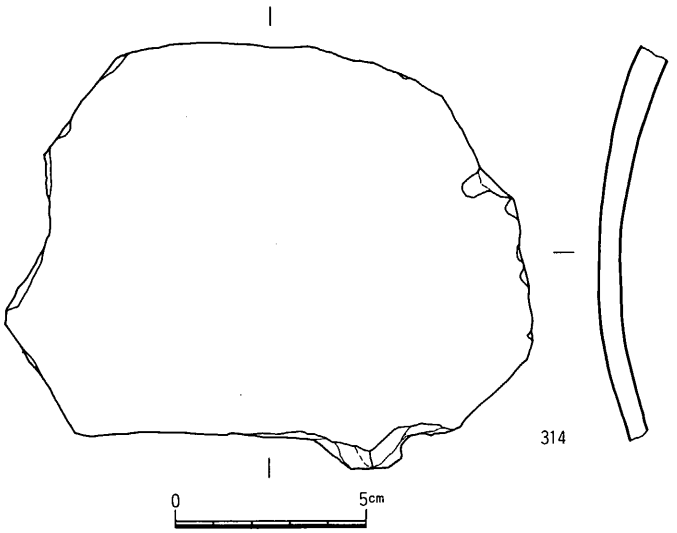
第33図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(5)(1/4)278～295

1SD110上層

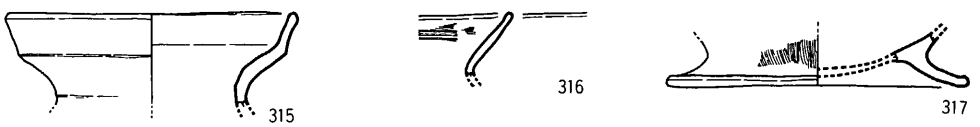


第34図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(6)(1/4・1/2)296～313

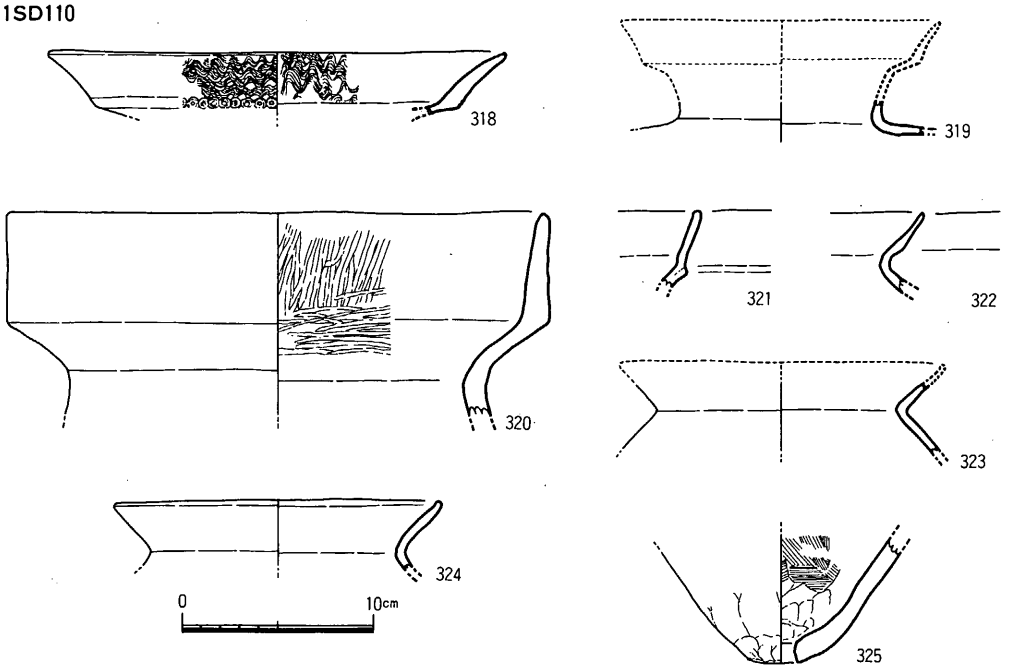
1SD110上層



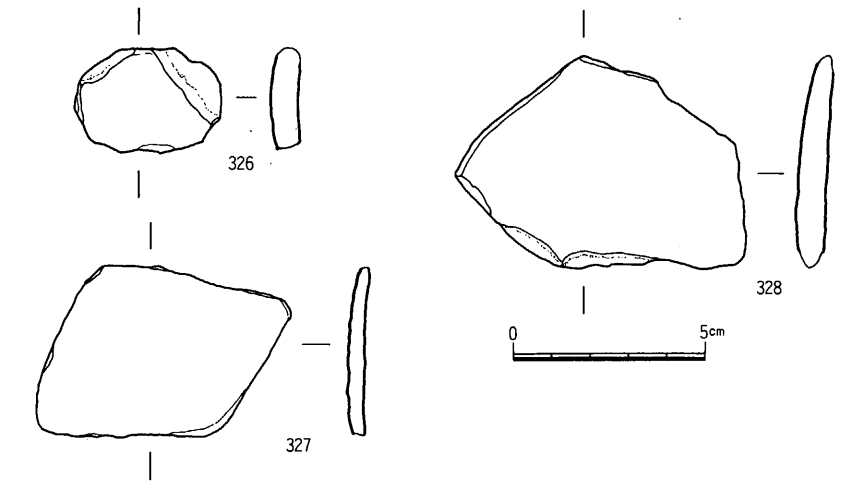
1SD110下層



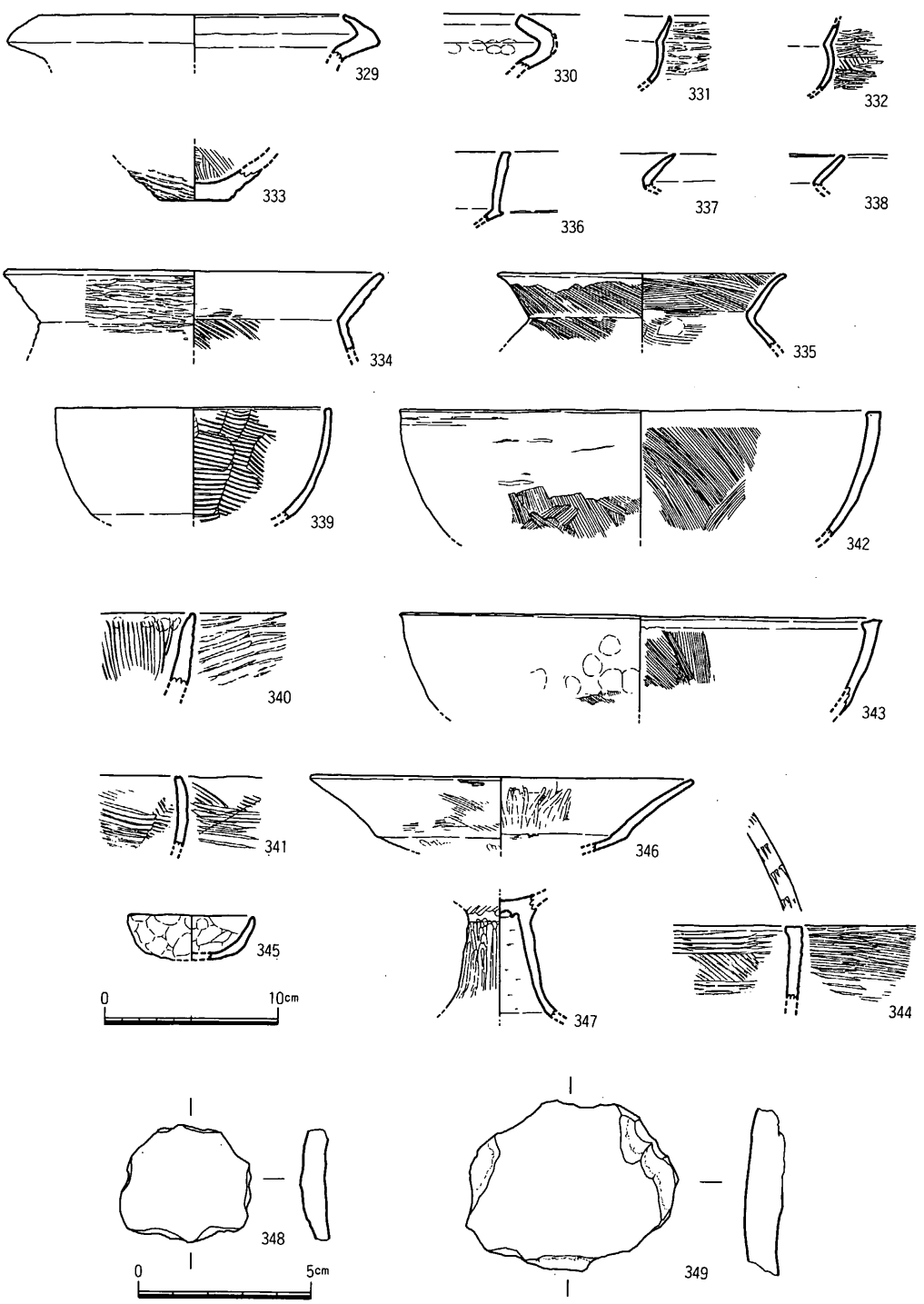
1SD110



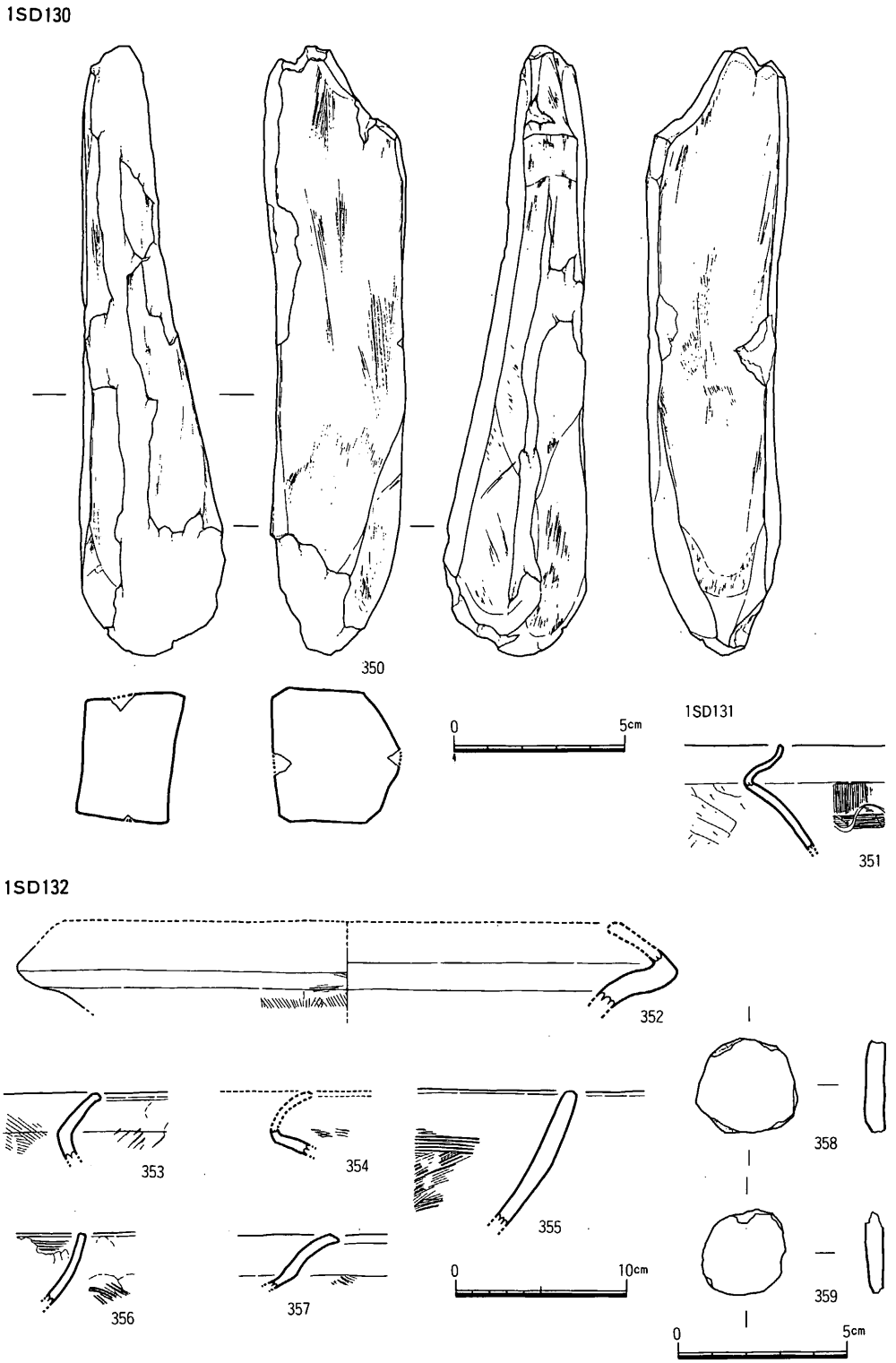
第35図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(7)(1/2・1/4)314～325



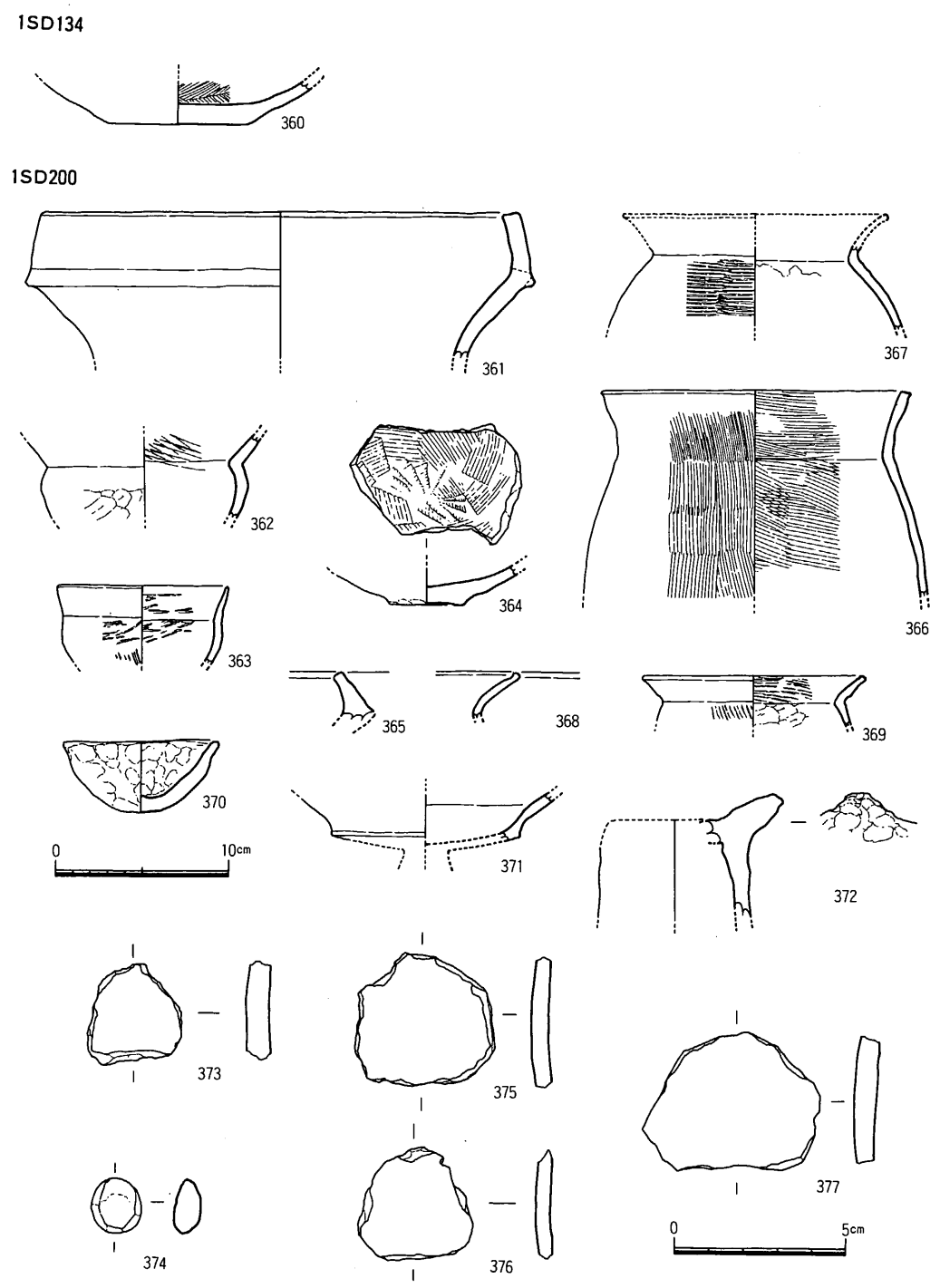
第36図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(8)(1/2)326～328



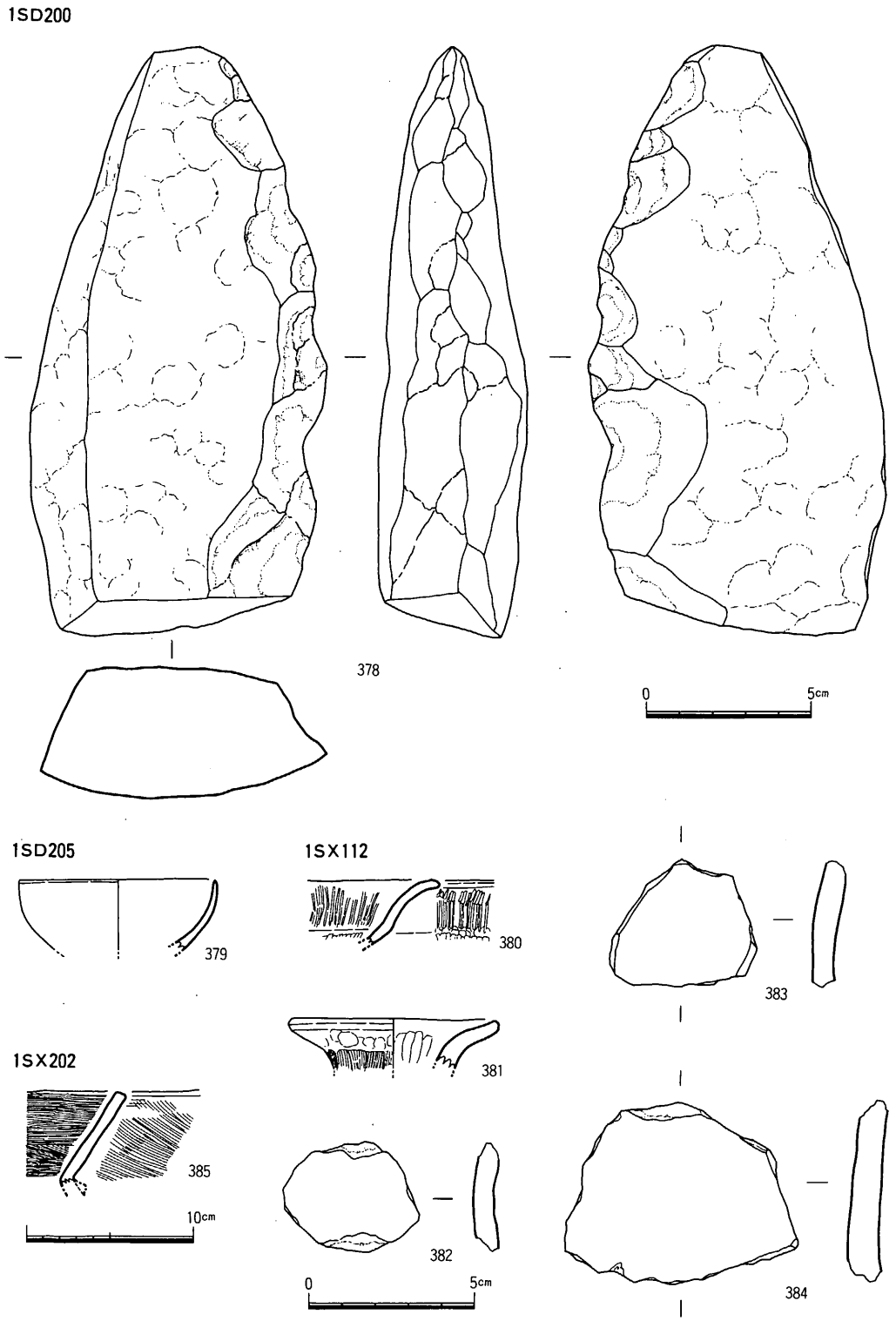
第37図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(9)(1/4・1/2)329～349



第38図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(10)(1/2・1/4)350～359

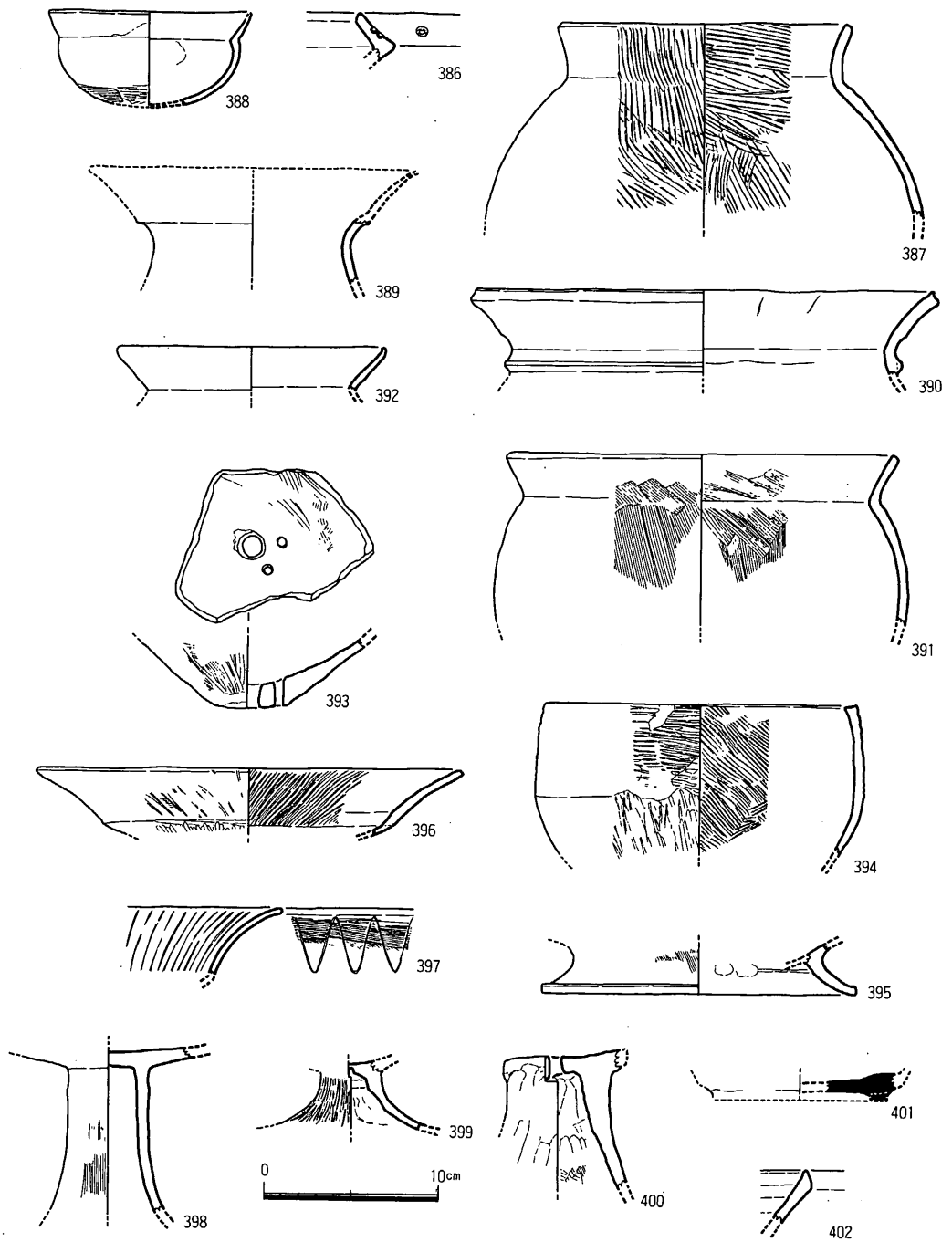


第39図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(11)(1/4・1/2)360～377



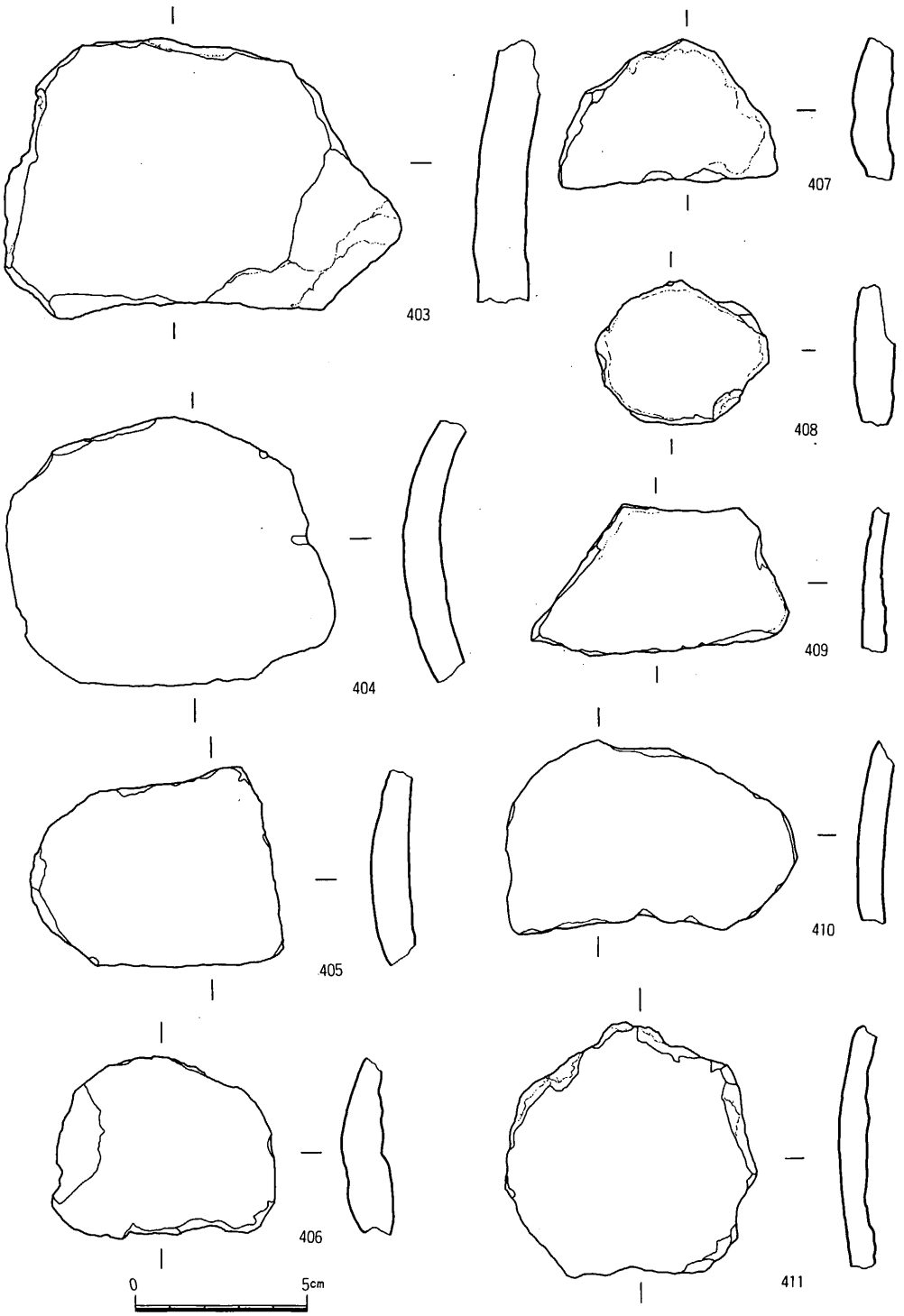
第40図　フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(12)(1/2・1/4)378
フケ遺跡第1次調査不明遺構出土遺物実測図(1/4・1/2)379～385

1灰色土



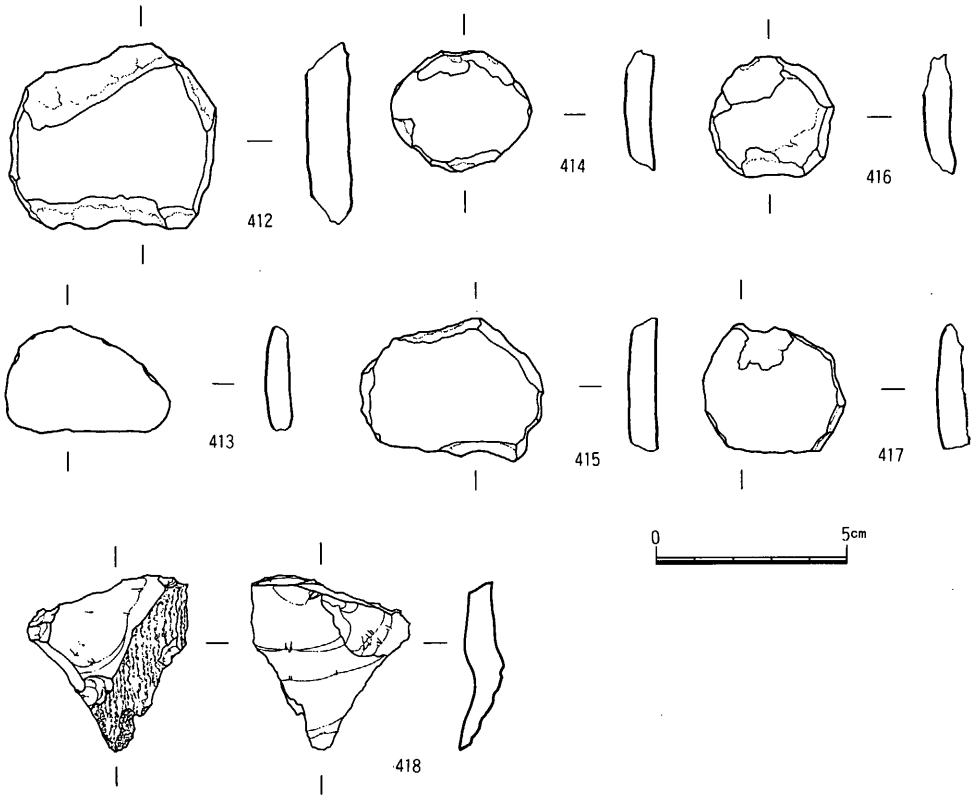
第41図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(1)(1/4)386～402

1灰色土



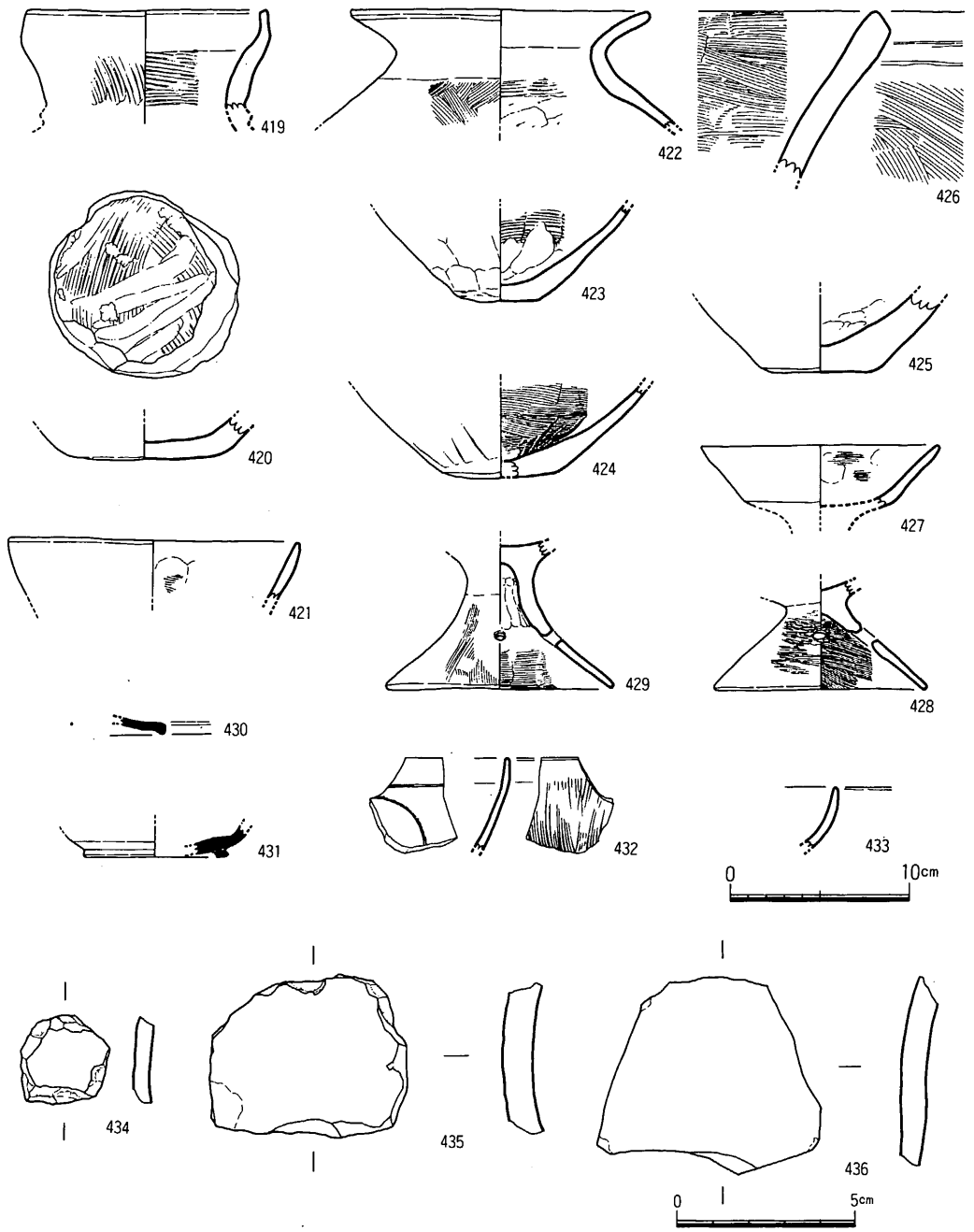
第42図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(2)(1/2)403～411

1灰色土



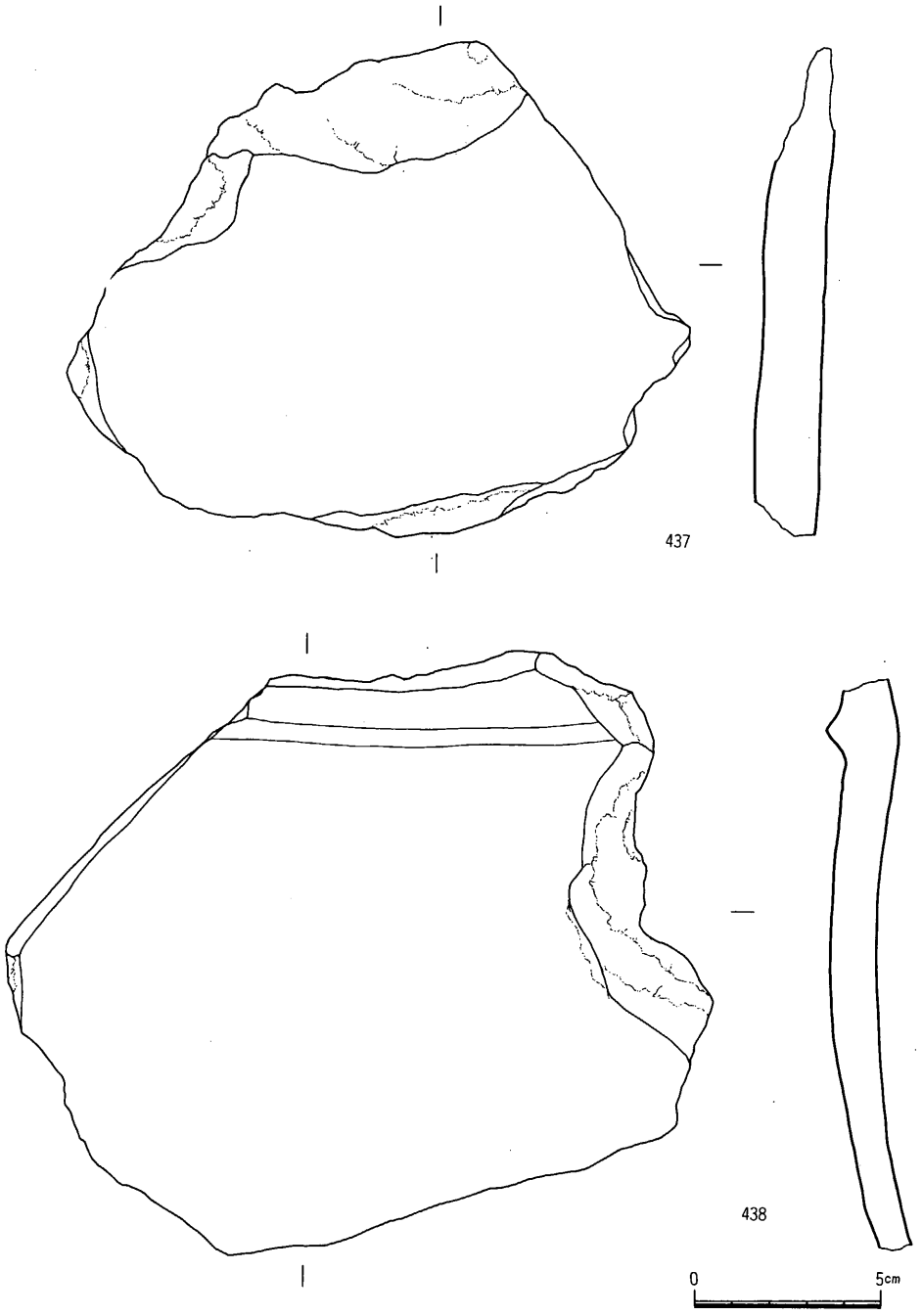
第43図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(3)(1/2)412～418

1表土

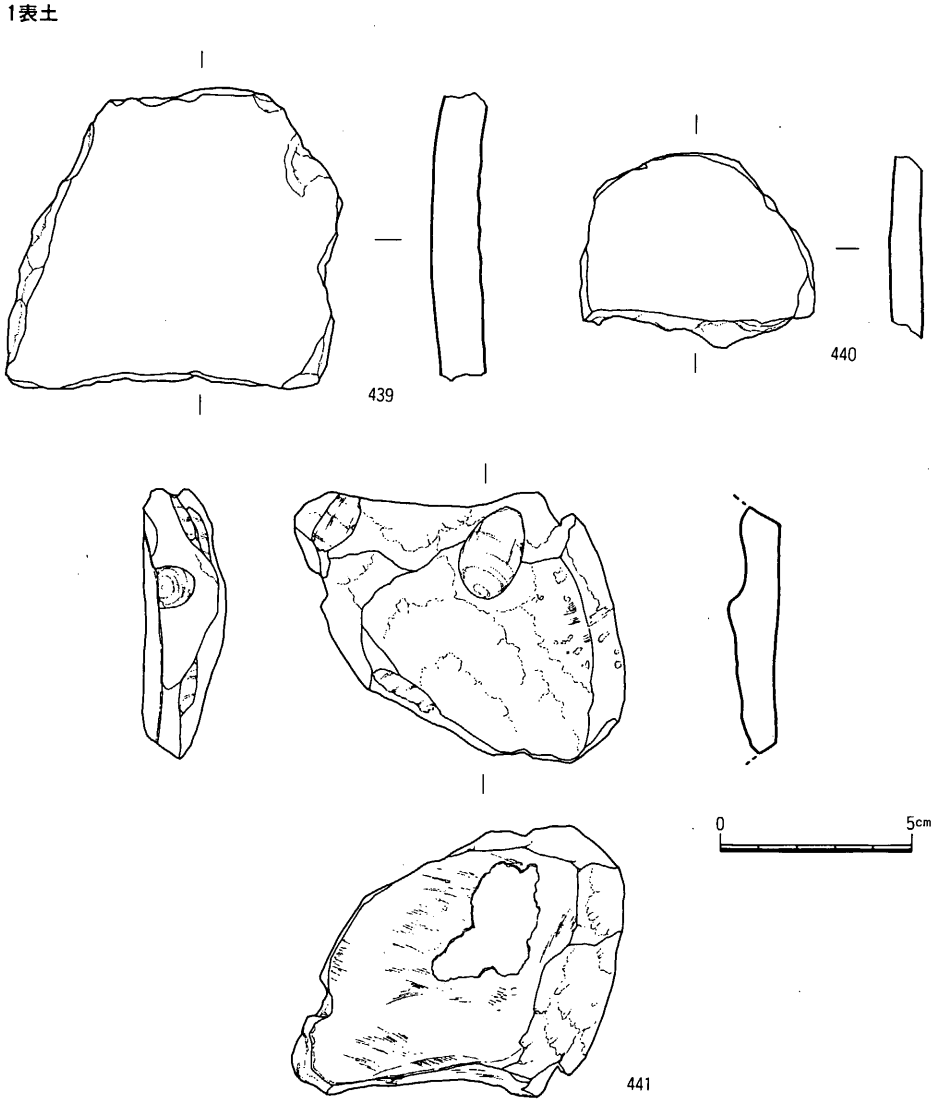


第44図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(4)(1/4・1/2)419～436

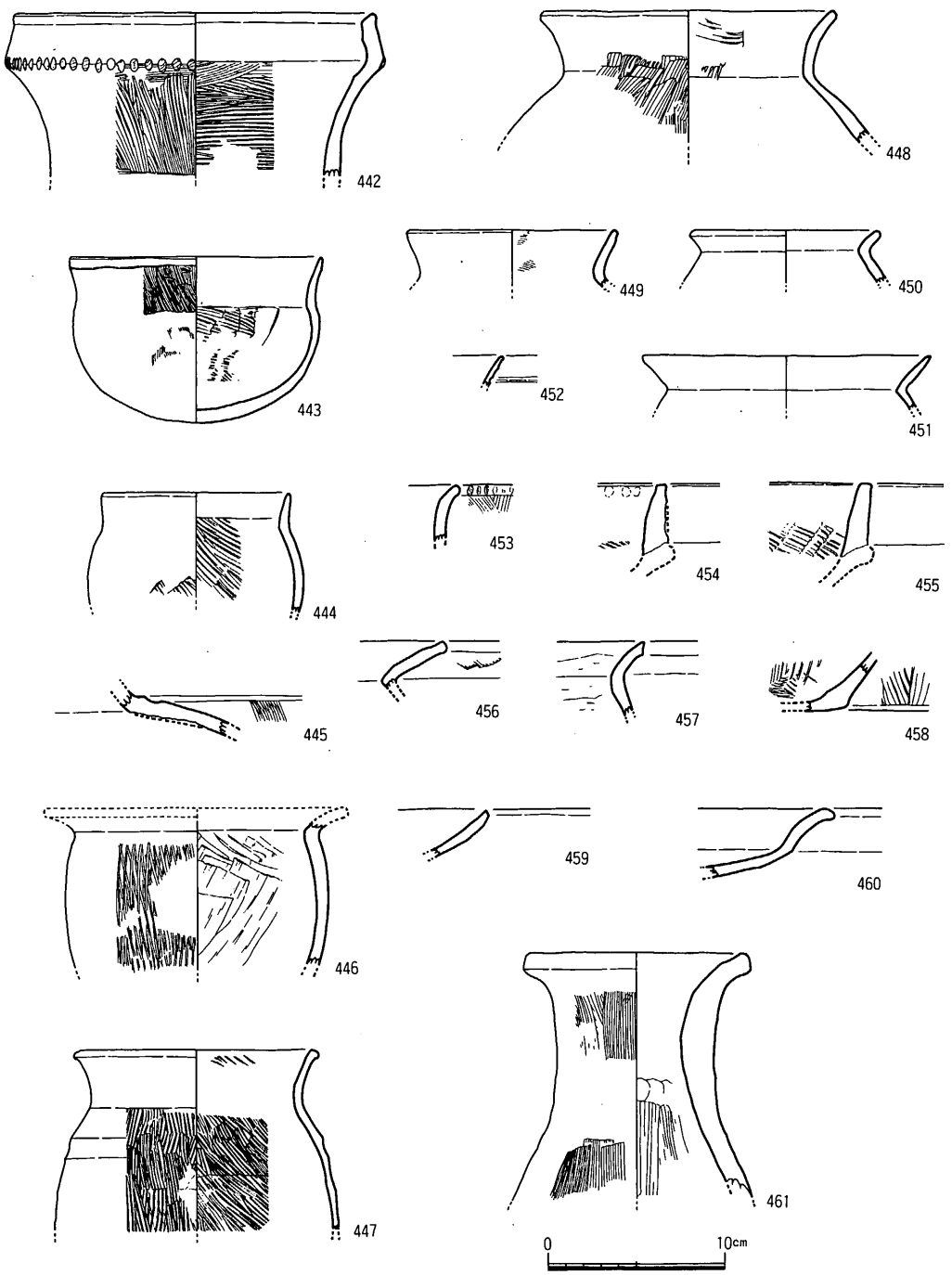
1表土



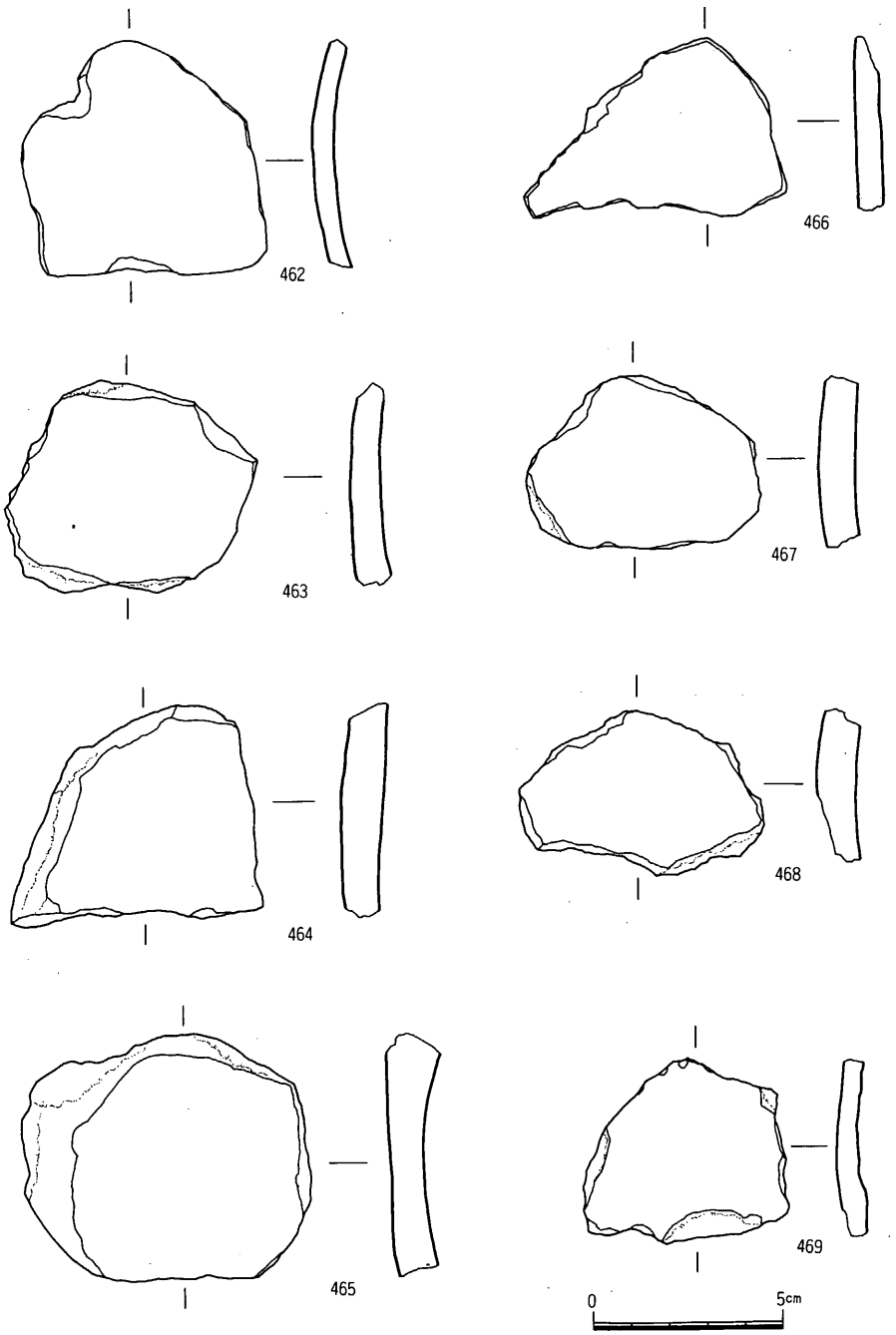
第45図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(5)(1/2)437・438



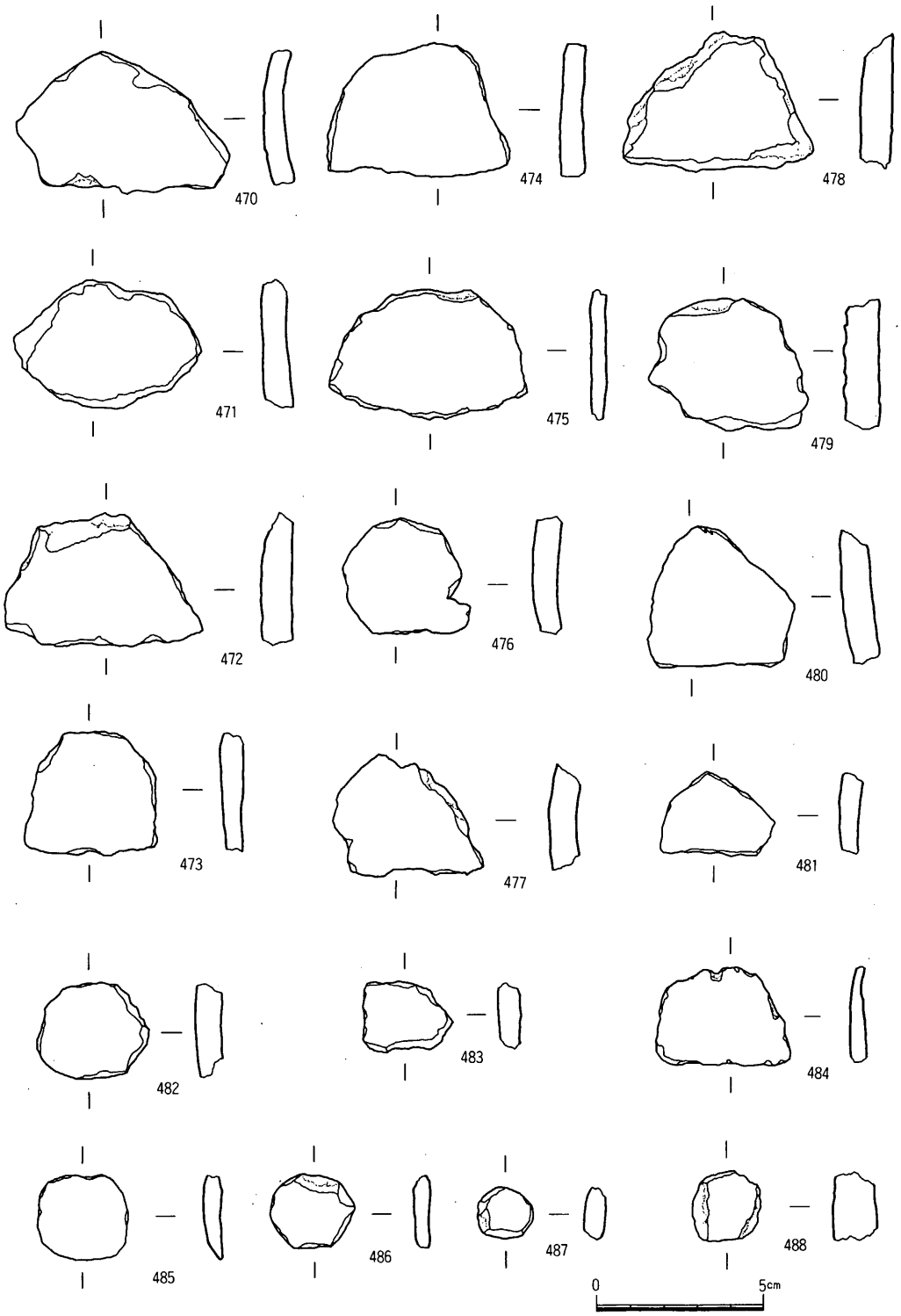
第46図　フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(6)(1/2)439～441



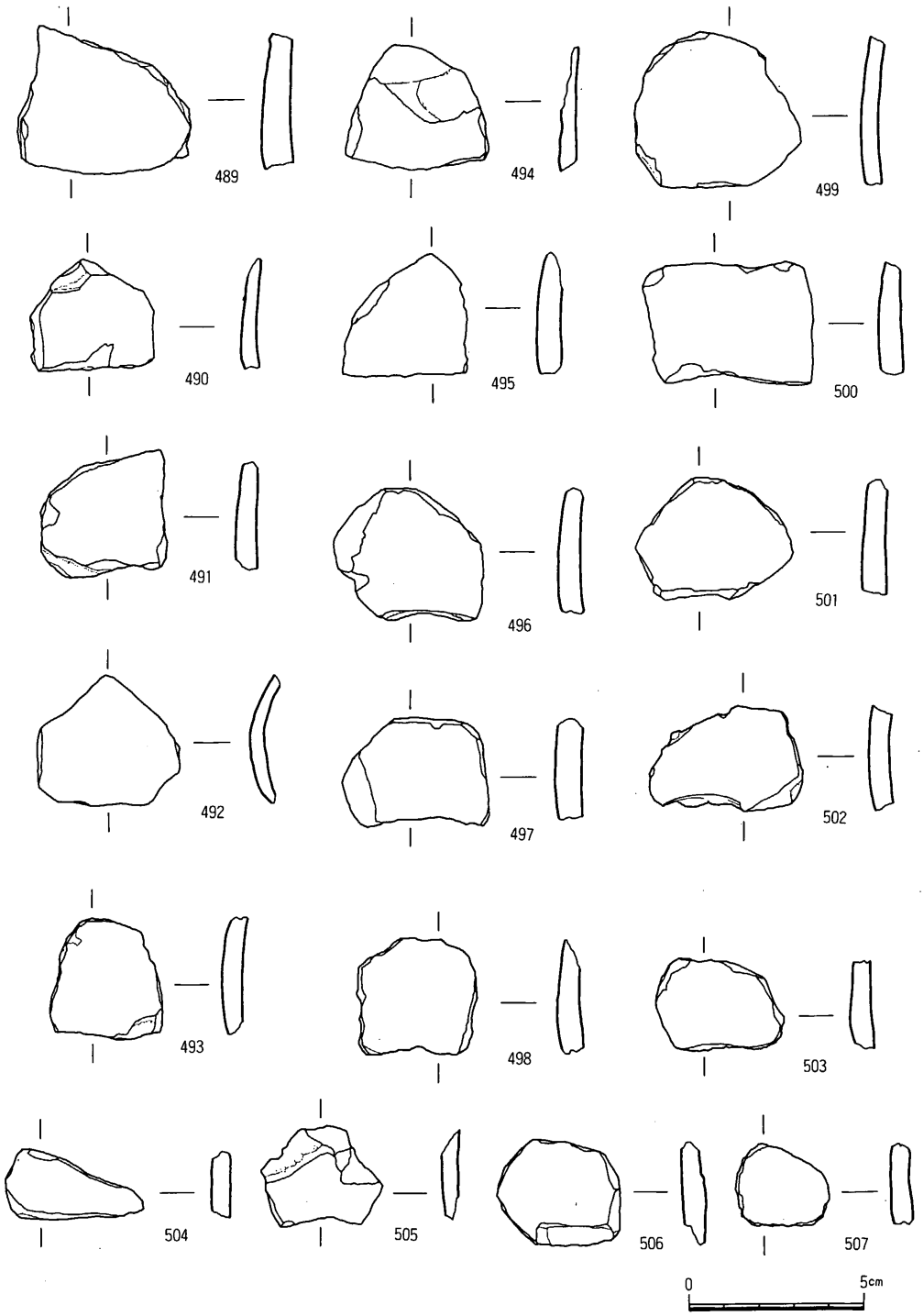
第47図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(1)(1/4)442～461



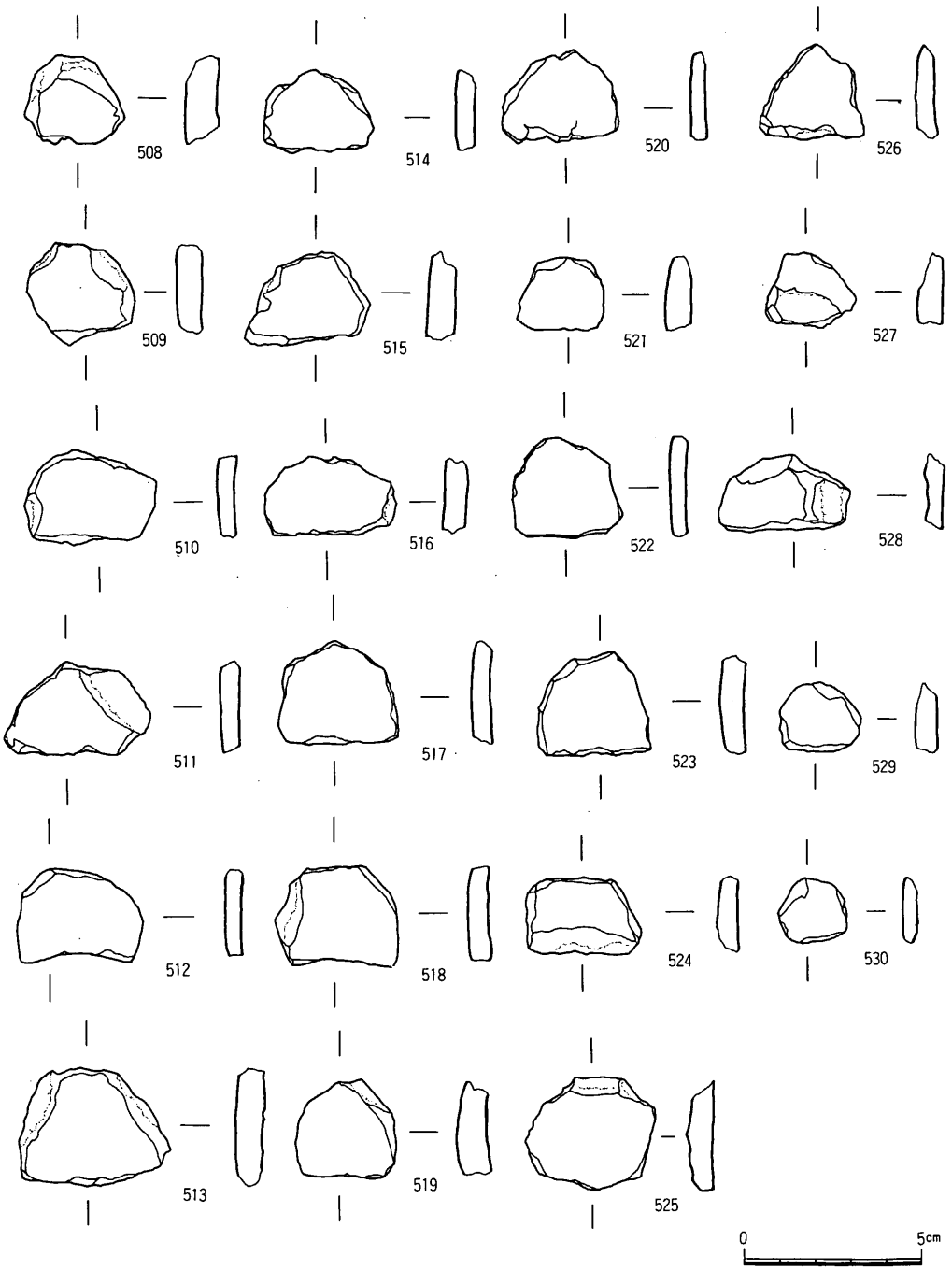
第48図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(2)(1/2)462～469



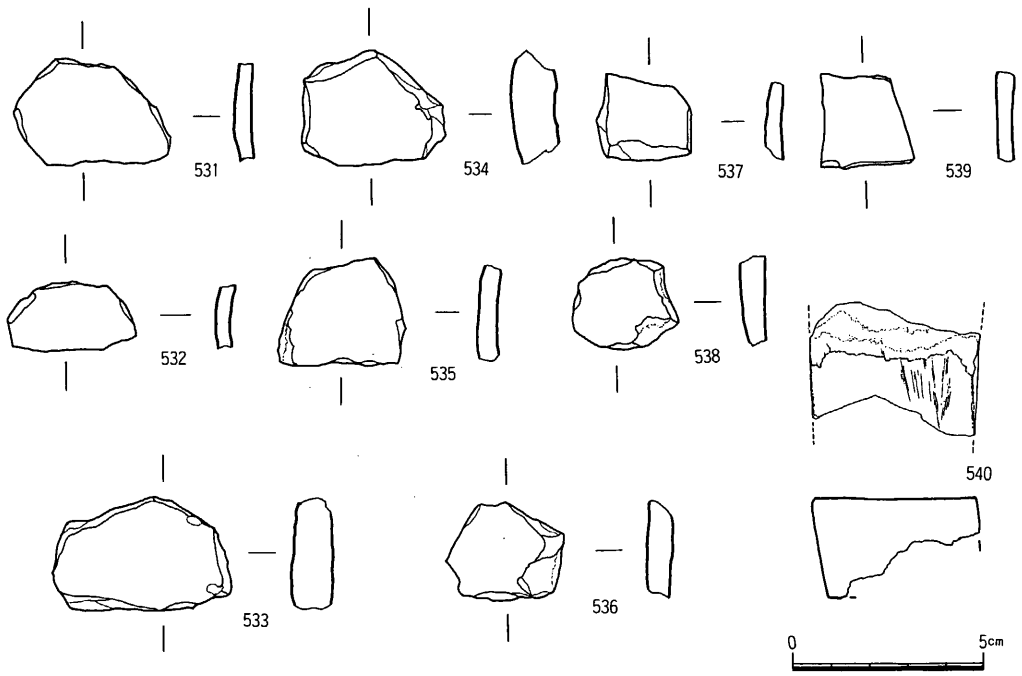
第49図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(3)(1/2)470～488



第50図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(4)(1/2)489～507



第51図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(5)(1/2)508～530



第52図　フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(6)(1/2)531～540

4．小結

古墳時代初頭の集落相について

フケ遺跡1次調査地点では各遺構が性格別に特定の場所に連続して形成された状況が想定しうる。すなわち北西側の大きなピット群＝掘立柱建物群であり、東側の南北の溝群、そして、南を限る大溝1SD200である。これらの遺構群が形成された時期は遺構埋土の共通した傾向や出土遺物の状況から弥生後期最終末から古墳時代前期の布留式土器古相段階という短い期間に限られると考えられる。1間×1間の建物は住居、1間×2間の建物は住居ないし蔵の可能性があると考えている。調査区の北側は遺構全体が多少削平された状況で検出されているので竪穴式住居の存在の可能性は否定できないが、基本的には竪穴式住居を含まない居住建物群と考えている。この住居エリアから東方向には多少の空間を隔てて円形周溝状遺構（祭祀関連遺構との指摘もある。）と土坑、溝群が集中するエリアへと移行している。このような集落の状況は本遺跡と大佐野川を挟んで存在する弥生後期前半から後半の継続集落である前田遺跡（未報告、存続時期は一部フケ遺跡と重複する）の竪穴式住居を集積するタイプの集落とは系譜が異なると考えられる。また、これら集落の北西にひかえる宮ノ本遺跡の前期古墳群は獣帯鏡を副葬品に持つ12号墳を頂点に布留式新相段階まで営まれる墳墓であり、これらの墳墓造営の契機に新興の畿内系の土器をふんだんに使用するフケ遺跡の集落の人々が関わっていたと考えられる。（宮ノ本遺跡「太宰府・佐野地区遺跡群IV」1993太宰府市教育委員会）　（山村）

第53図　フケ遺跡第2次調査遺構略測図(1/400)

フケ遺跡第2次調査遺構番号台帳

S－番号	遺構番号	種別	古→新	地区
1	2SD001	大溝		北半部
2		大溝内における溜まりの堆積		北半部
3	(2SD001)	大溝内における溜まりの堆積		北半部
4		大溝内における溜まりの堆積		北半部
5	2SX005	埋甕	5→1	V15
6		大溝内における溜まりの堆積		北半部
7		大溝内における溜まりの堆積		北半部
8	2SD008	溝		R18
9	2SX009	溜まり状遺構		S18
10	2SX010	コ字型溝　竪穴住居の壁溝か？		FG15
11	2SD011	溝	11→12	T19～R22
12	2SX012	貯蔵穴？	11→12	R21
13		撹乱？		Q23
14		ピット		S19
15	2SK015	土坑		G17
16	2SX016	ピット		R19
17		ピット		Q23
18		ピット	1→18	P23
19	(2SX021)	井戸状遺構		R10
20		溝　中世以降		H5～G10
21	2SX021	井戸状遺構		R10
22		土坑　6c代		S13
23	2SD023	溝　近代		R8～P14
24	(2SD025)	溝　調査区反転により仮番号変更		O13～L15
25	2SD025	溝		L15～I18
26	2SK026	土坑	26→21　26→27	R10
27	2SX027	溜まり状遺構		S10・11
28	2SD028	溝		I21・22
29		ピット群		J21
30		土坑？		I18
31	2SD031	溝		I20
32		ピット		
33	2SK033	土坑	36・34→33	U12
34	2SX034	ピット	34→33	U12
35	2SD035	溝		I20
36		ピット	36→33	U12
37	2SD037	溝		TU13
38		溝？　S-33上面から派生するが前後関係は不明		U12
39	2SD039	溝		S13～Q14
41		ピット群		U11他
42	2SD042	溝		Q12～14
43	2SD043	溝		S11～Q14
44	2SD044	ピット		U13
46		ピット		S10
47	2SX047	ピット		P10
48		不定形土坑		P10
49		ピット		P10
51		ピット群		P13他
52		土坑		L12
53	2SX053	ピット		Q13
54		ピット		C4
56		ピット		C5
57		ピット		C9
58		ピット群		C13他
59		ピット群		B17
61	2SX061	ピット　近世		C13
62		ピット群		C19他
63		ピット群		C18他
64		ピット		C18
66		ピット群		C18他

S－番号	遺構番号	種別	古→新	地区
67		ピット群		C17他
68		ピット群		C14他
69		ピット群		D21他
71		溝		D21
72		ピット群		D20
73		ピット群		D17
74	2SX074	ピット群		D13
76	2SX076	ピット群		D9
77		ピット		C13
78		ピット群		D17
79		ピット群		D18
80		溝？		F5
81		ピット群		E20
82		ピット群		E19
83		ピット群		E17
84		ピット		E13
86		ピット群		F5
87	暗灰色土層	包含層		E5
88		ピット群		F5
89		ピット群		F10
91		ピット群		F14
92		ピット群		F18
93		ピット群		G6
94		土坑？		G8
95	2SK095	土坑		H22
96		ピット群		G9
97	2SX097	ピット群		G11
98		ピット		G12
99	2SX099	ピット群		H7
101	2SX101	ピット群		H9
102		ピット		F11
103		ピット群		H13
104		ピット群		F16
105		ピット群		G18
106		ピット群		J8
107		ピット群		L8
108		ピット群		J12
109		溝		H17
111		ピット群		H21

第54図　フケ遺跡第2次調査遺構図(1/400)

(2) 第2次調査

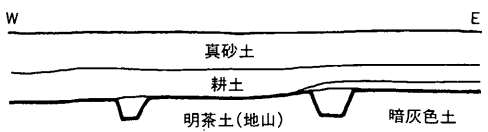
1. はじめに

調査地は、太宰府市大字大佐野字フケ106-1、107-1、107-2、1185-2で、1988年度に実施した尾崎遺跡第1次調査地の北側隣接地にあたる。尾崎遺跡の調査で多数の木製品を検出した1SD001とした東西方向の流路の北側に該当し、その折りの調査では流路の北側にも竪穴住居跡や土坑などを確認しており、今次の調査でもその続きとなる集落の一部が確認されるものと思われた。ただ同時に行った周辺部分の試掘調査では、今回の地点の東側隣接地に設定したトレンチで遺構が確認されず、遺構面が削平を受けている可能性も考えられた（『太宰府・佐野地区遺跡群III』1993　太宰府市教育委員会）。

さて今回の調査は区画整理事業の事前調査として実施し、調査地の北半分程度は県道長浜－太宰府線の一部となり、他の部分は宅地として利用される予定である。現地での発掘調査は1991年4月8日から実施したが、降雨が続いたことや残土置き場に制約があり反転作業に時間を要したこと、途中でフケ遺跡第3次調査と筑前国分寺跡第14次調査を行ったことなどから、最終的に器材を撤収したのは9月21日であった。調査対象面積は4,219㎡、調査面積は2,926㎡で、調査は狭川真一、塩地潤一が担当したが、測点移動や実測作業で中島恒次郎、山村信榮の協力を得た。整理作業は1996年度に行った。

2. 層位など

当該地点は調査に入る直前には大規模な駐車場として利用されており、そのため表面に強固なアスファルトが施されていたほか、道路面まで地上げするために1m程度の盛り土があり、その下に水田であったころの耕作土が検出されるという状況であった。この耕作土を除去すると明茶色土の地山が顔を出し、遺構はこの面から穿たれていた。耕作土と遺構面との間には顕著な包含層は存在せず、南東隅のごく一部で暗灰色土が薄く堆積していた程度である。この状況は、後世の大規模な削平を予想させるものであった。

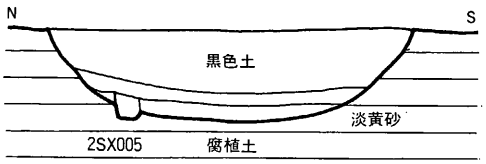


第55図　フケ遺跡第2次調査溝土層模式図

3.遺構

溝

2SD001　調査区を東西に蛇行しながら貫通する大きな流路である。検出長52m（直線距離）、幅7.5～21.0m、深さ0.3mを測る。第1次調査の1SD200の西側延長部分に該当する。埋土は検出上面から大半が黒色土で構成され、部分的に底部には流れによって形成されたとみられる窪みがあり、暗灰色粘土が堆積していた。黒色土と暗灰色粘土との間には薄く淡黄色砂層の確認できる部分があった。溝北側の肩は西側では自然な傾斜を呈しているが東側では一部オーバーハングする部分があり、急流であったときに抉られたものと推定される。南肩は概ね傾斜は急で



第56図　2SD001堆積土層模式図

砂層の確認できる部分があった。溝北側の方は西側では自然な傾斜を呈しているが東側では一部オーバーハングする部分があり、急流であったときに抉られたものと推定される。南肩は概ね傾斜は急であった。布留古相段階に位置付けられ、上面で近世までの遺物が混入している。

2SD008　2SD001の北側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、長さ5.3m（直線距離）、幅0.3～0.45m、深さ0.1m程度を測る。

2SD011　2SD001の北側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、途中で切れているが当初は一本の溝と理解して報告する。長さ約15m、幅0.3～0.6m、深さ0.1～0.2mを測る。埋土は大きく2層に分けられ、上位に黒色土、下位に暗灰色砂が堆積する。下位の層は全面には認められない。出土遺物から時期は古墳時代初頭の布留古相段階に限られる。

2SD020　東西方向の溝で、切り合い関係では周辺の遺構に比べてこの遺構が最も新しい。検出長19.0m、幅1.35～3.75m、深さ0.15m内外を測る。

2SD023　東西方向の溝で、長さ20.8m（直線距離）、幅0.9～2.0m、深さ0.05m内外を測る。埋土は暗灰色土の単一層で、部分的に上面に被る包含層と近似する埋土である。出土遺物から幕末から明治前半期に属するものとみられる。

2SD025　2SD001の南側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、長さ約27.5m、幅0.5～1.2m、深さ0.1m内外を測る。埋土は茶灰色土ないしは暗灰色粘質土で、方向性からみて2SD043と繋がっていたことも想定し得る。なお2SD023に切られている。

2SD028　調査区西端で検出したもので、長さ2.2m以上、幅0.7m、深さ0.1mを測る。さらに西側へ延びるものとみられる。6世紀後半までの遺物が出土する。

2SD031　調査区西端で検出したもので、長さ約3m、幅0.4m、深さ0.1mを測る。検出段階では連続していたが掘り下げると複数のピットが繋がったような形状を呈している。

2SD035　2SD031の南側にある小溝で、長さ2.7m、幅0.3～0.4m、深さ0.15～0.2mを測る。

2SD037　長さ3.7m、幅0.5m、深さ0.1mを測るもので、2SD001に沿うように穿たれている。

2SD039　長さ9.7m（直線距離）、幅0.15～0.3m、深さ0.01～0.05mを測るもので、2SD001に沿うように穿たれており、2SD025・043と2SD001の中間に位置する。

2SD042　L字型の溝で総長8.7m、幅0.15～0.3m、深さ0.03mを測る。2SX053より新しい。

2SD043　長さ7.0m、幅0.1～0.5m、深さ0.03～0.2mを測る小溝で、検出段階では一本の溝と確認できたが、掘り下げると複数のピットが連続するような形状となった。2SD025の北東延長部にあたると思われる。7世紀後半までの遺物が出土する。

土坑

2SK015　検出段階では隅丸長方形であったが、掘り下げるとやや規模が小さくなり長円形を呈する土坑となった。上面での規模は長さ1.1m、幅0.9m、深さ0.3mを測る。上面は茶灰色土、長円形部分の埋土は明茶灰色粘質土で、炭化物をブロック状に含むものである。

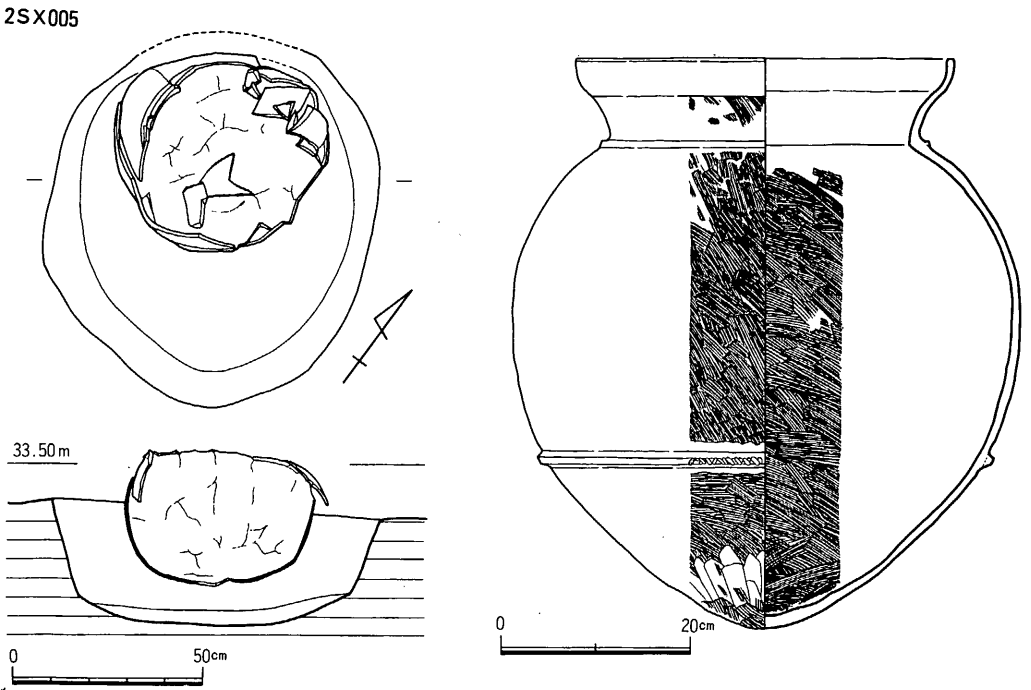
2SK026　2SX021に切られる土坑で、当初の規模は明らかではない。

2SK033　長さ1.4m、幅1.1m、深さ0.15mを測る土坑で、2SX034はこの下層で検出されたピットである。

2SK095　調査区西端で検出された略円形の土坑で、長さ0.85m、幅0.75m、深さ0.3mを測る。埋土は土坑の壁際で淡灰色粘質土が堆積し、その上面に薄く炭化物が認められた。これ以外の堆積は暗茶灰色粘質土である。

その他の遺構

2SX005（第57図、Pla.19）　長さ0.95m以上、幅0.85m、深さ0.30mを測る長円形土坑内に甕を埋置した遺構である。甕は土坑内の北寄りに、口縁部を上にしてほぼ正位置に据えられているが、底部は土坑底から0.1mほど浮いた位置にある。甕を埋める埋土は暗灰色粘質土、甕内は底部に黒灰色粘土、その上位に黒灰色砂が堆積していた。遺構の位置は2SD001北肩からやや下ったあたりと推定され、2SD001の底に堆積する腐植土の上面から切り込んでいた。したがって溝が機能している間に穿たれ、据えられたものと理解できる。この遺構は、埋甕としての性格の他に甕棺の可能性も考えておく必要があろう（塩地潤一「佐野を掘る6」『都府楼12号』1991古都太宰府を守る会　にこの遺構についての検討が掲載されているので参照されたい）。なお



第57図　2SX005実測図(1/20・1/8)

甕内の土壌から残存脂肪分析用サンプルを採集している。将来の分析結果を待って再度性格を検討したい。時期は古墳時代初頭の布留古相段階に位置付けられよう。

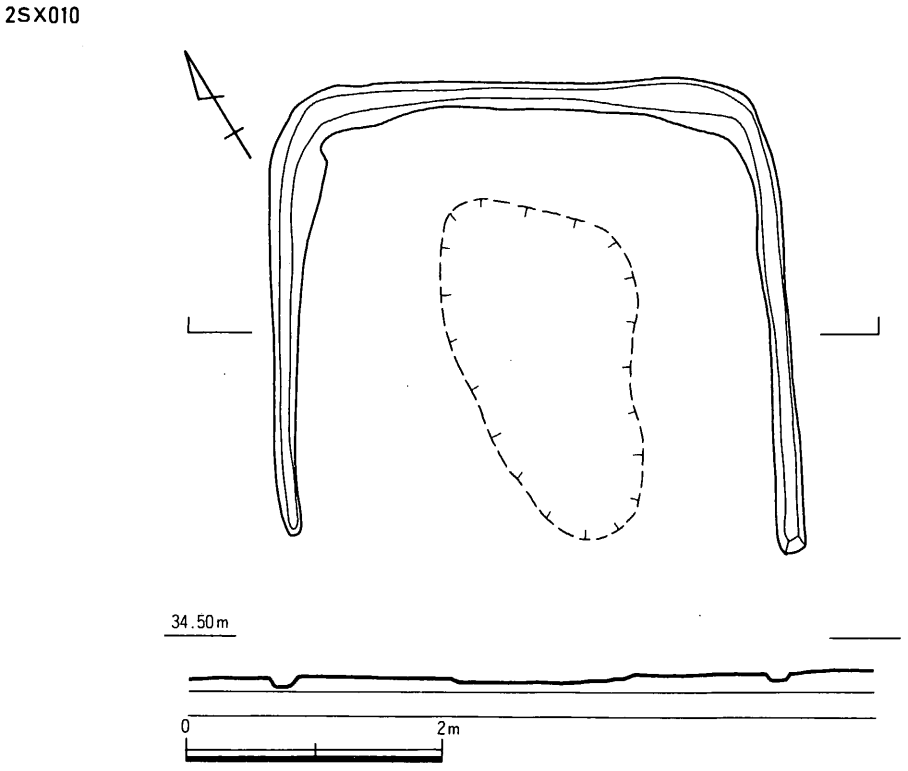
2SX009　2SD011と008の間にある窪み状の遺構で、長さ3.2m、幅1.7m、深さ0.02～0.10m。

2SX010（第58図、Pla.20.21）　4.05×3.8mのコ字型を呈する溝状遺構で、幅0.2～0.3m、深さ0.05～0.15mを測る。溝の一部に白色粘土の固まる部分が認められた。これを竪穴住居の壁溝と考えることも可能で、この場合溝によって囲まれた空間には小さなピットは多数あるが、柱穴になるようなピットは確認されていない。またこの空間の中央に2.8×1.55m、深さ0.05mの不定形な窪みがあり、溝遺構と一連のものである可能性も考えられる。遺物は6世紀代に位置付けられる土師器の坏片が出土している。

2SX012　2SD011に接するように穿たれた遺構で、2SD011が古い。遺構は略円形を呈し、長さ1.1m、幅0.8m、深さ0.45mを測る。形状から貯蔵穴の可能性も考えられる。埋土は黒色粘土の単一層で、遺物はその出土状況から南側から投棄されたものと考えられる。

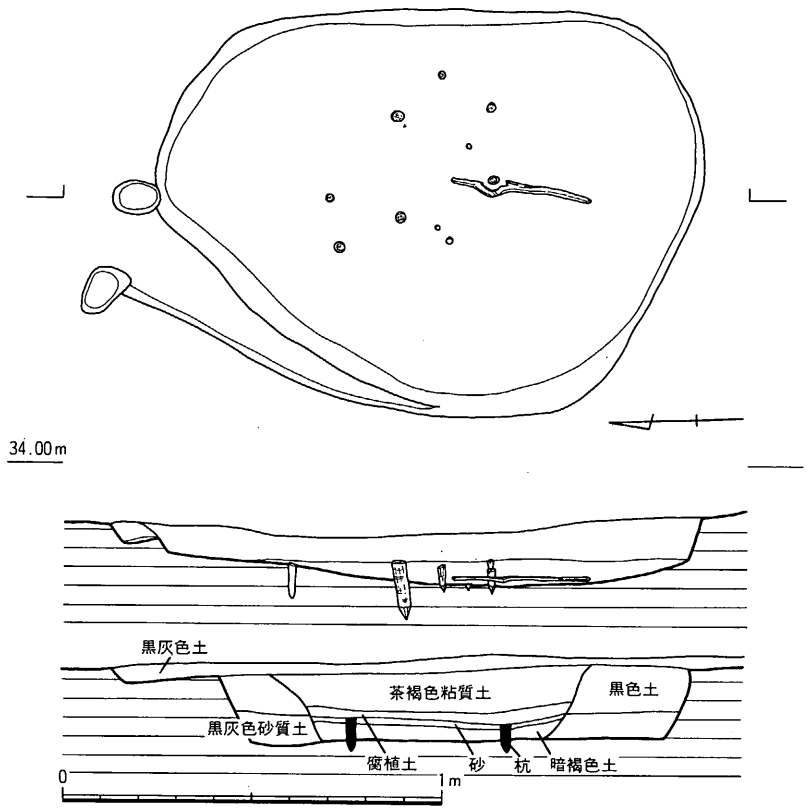
2SX016　2SD011の下層で検出されたピットで、径0.5m、深さ0.1mを測る。

2SX021（第59図、Pla.22）　長さ2.88m、幅2.16m、深さ0.33mを測る長円形の土坑状を呈している。上面に被る黒灰色土を除去すると土坑中央部に長さ1.5m、幅1.1mで不整円形のプランが検出された。プラン内を掘り下げると底部に杭が10本打ち込まれた状況で検出された。杭は



第58図　2SX010実測図(1/60)

2SX021



第59図　2SX021実測図(1/20)

土坑の中央部に集中して打ち込まれていた。埋土は杭の残存する底部付近で暗褐色土、その上位に薄く砂が被りさらに腐植土の堆積が観察される。最終埋没は茶褐色粘質土である。この不整円形プランの周囲は黒色土（下層は黒灰色砂質土）で構成される。杭の位置と内側のプランとの隙間は少なく、この間に板状のものが立てられていたとすると、周囲の黒色土は裏込土として理解できる。遺物は6世紀代に位置付けられる土師器の坏片が出土。

2SX027　2SX021の北側にある窪み状遺構で、長さ3.55m、幅2.3m、深さ0.1mを測る。

2SX030　2SD025と重複している土坑状遺構である。検出段階では埋土が近似し前後関係を明確にはできなかった。長さ2.25m、幅1.30m、深さ0.12mを測る。

2SX034　2SK033の下層で検出されたピットで、径0.6m、深さ0.2mを測る。2SK033と直接関連するものかどうかは明確でない。

2SX044　2SD037と2SK033の間に検出されたピットで、径0.45m、深さ0.15mを測る。

2SX047　2SD023の南側で検出されたピットで、径0.75m、深さ0.25mを測る。

2SX053　2SD042の下層で検出されたピットで、径0.5m、深さ0.2mを測る。

2SX058　調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

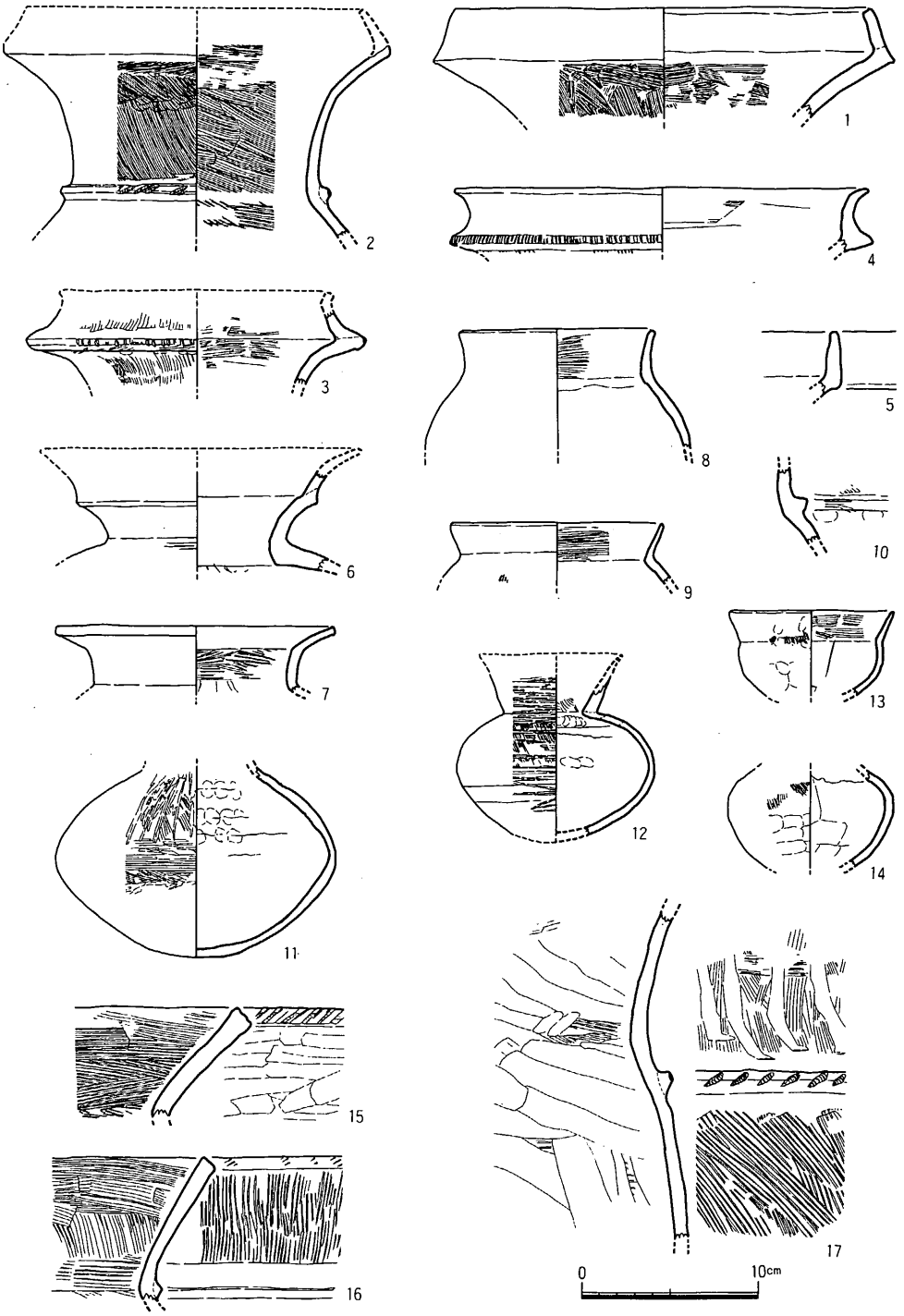
2SX061　径0.15m、深さ0.05mを測るピットである。

2SX074　調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

2SX076　調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

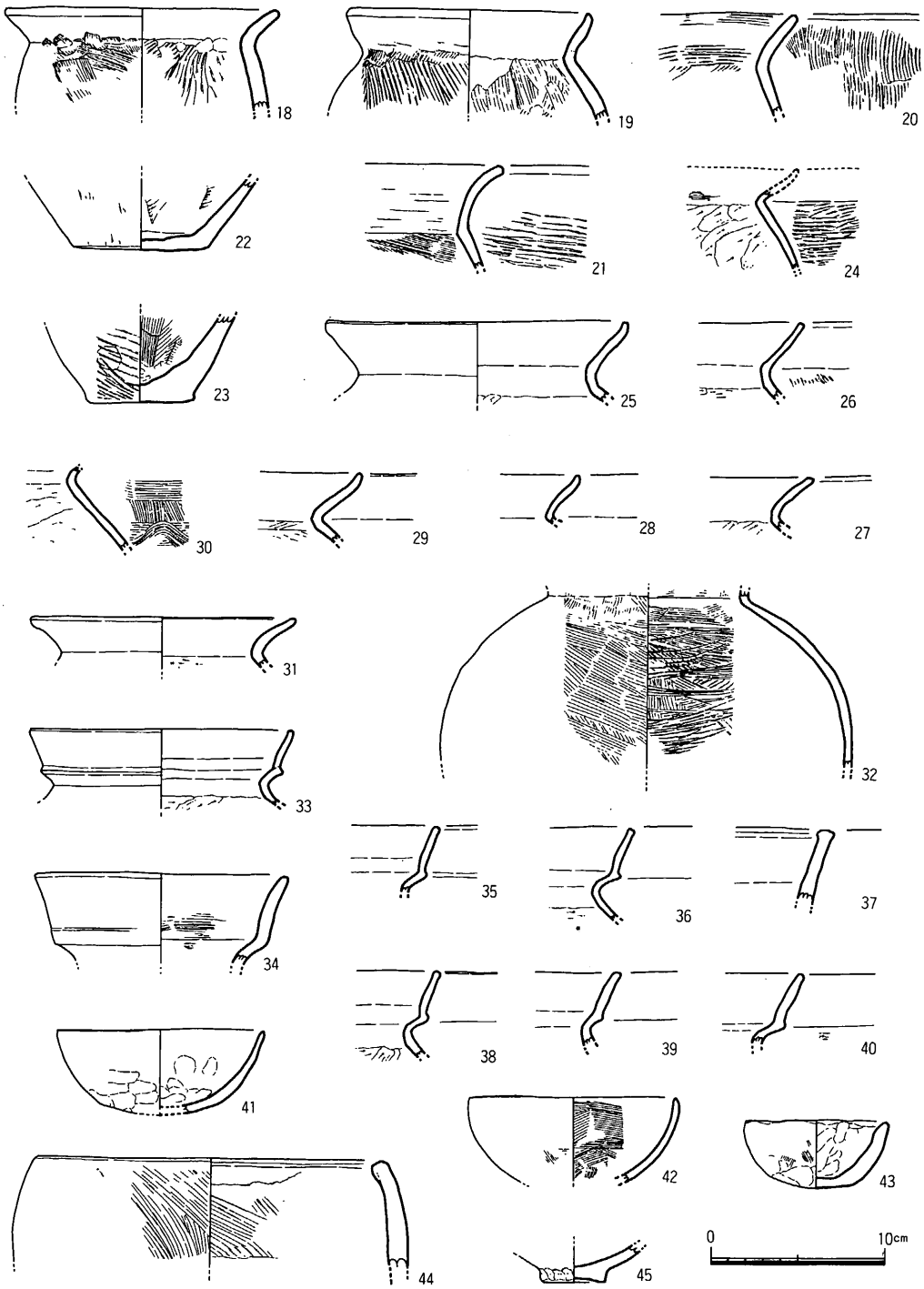
2SX097　調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

2SD001

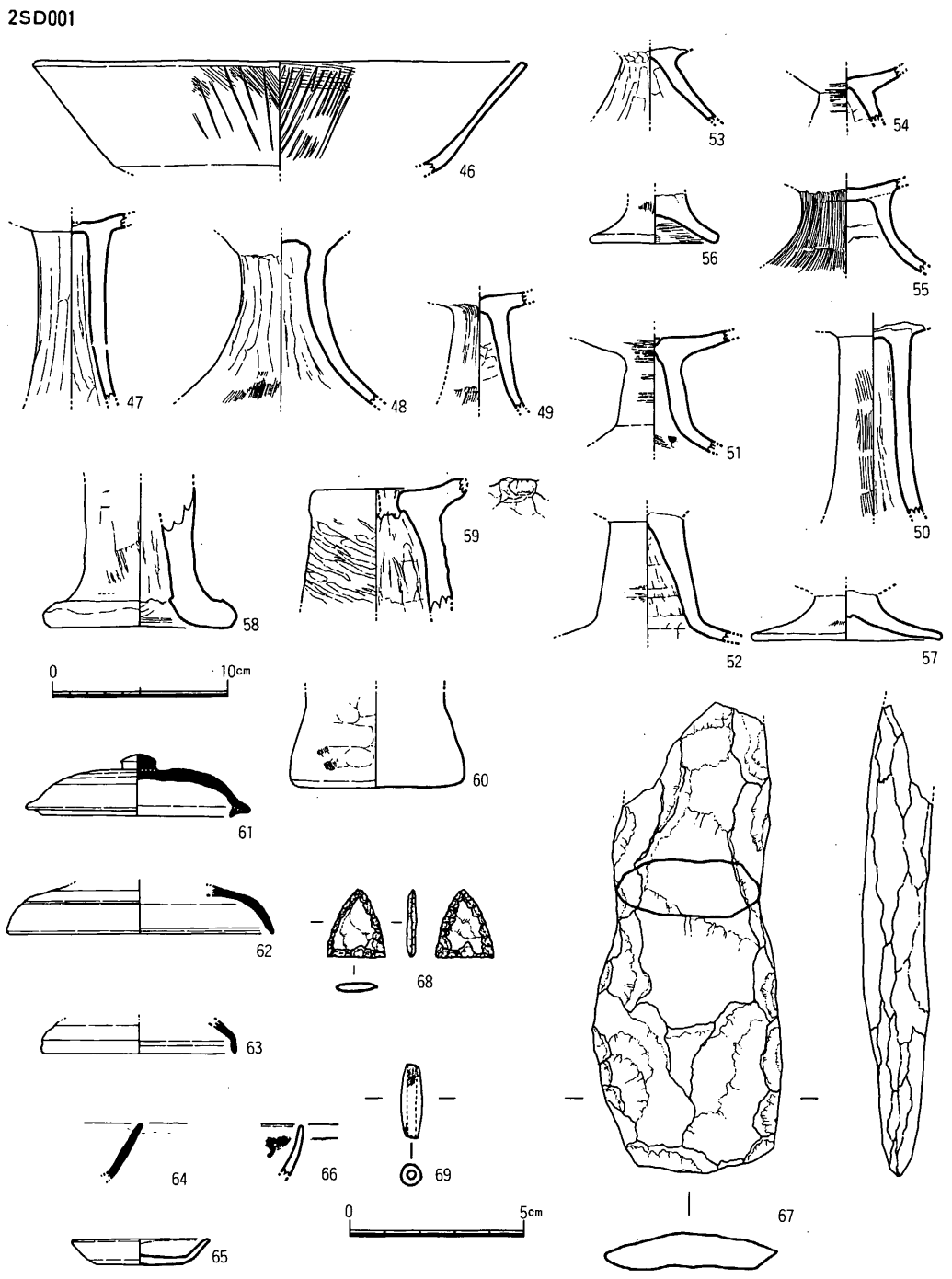


第60図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(1)(1/4)1～17

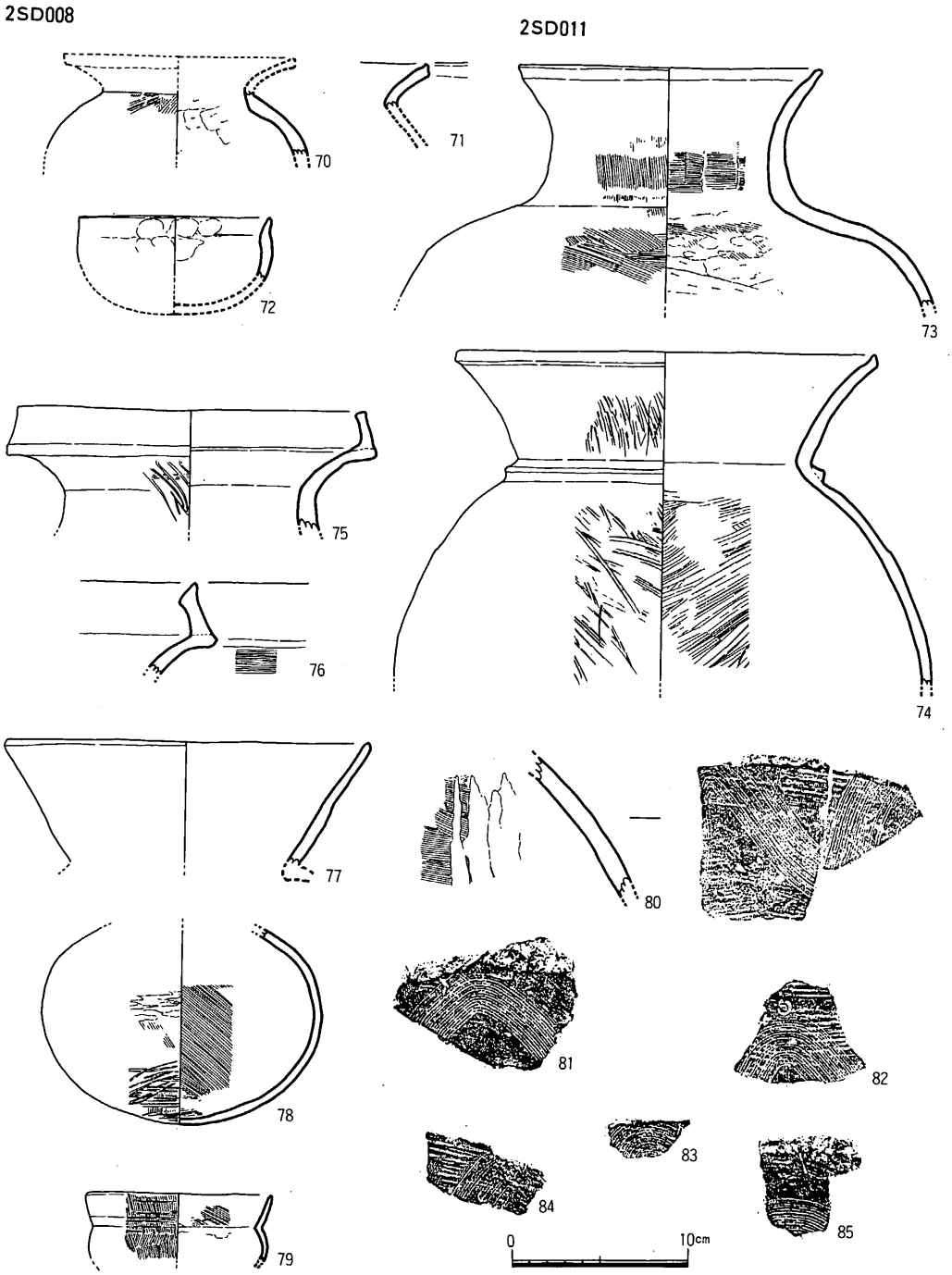
2SD001



第61図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(2)(1/4)18～45

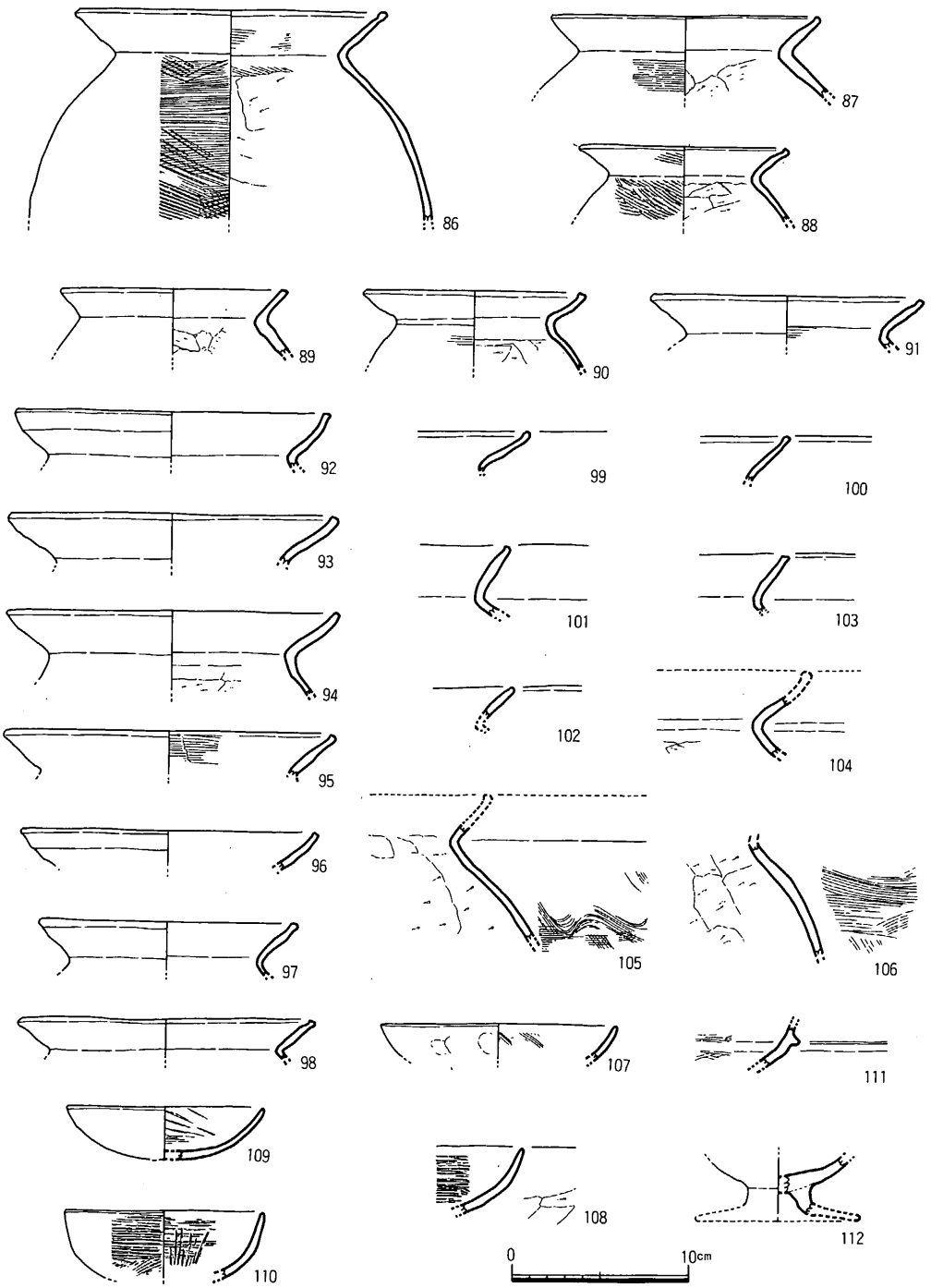


第62図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)46～69



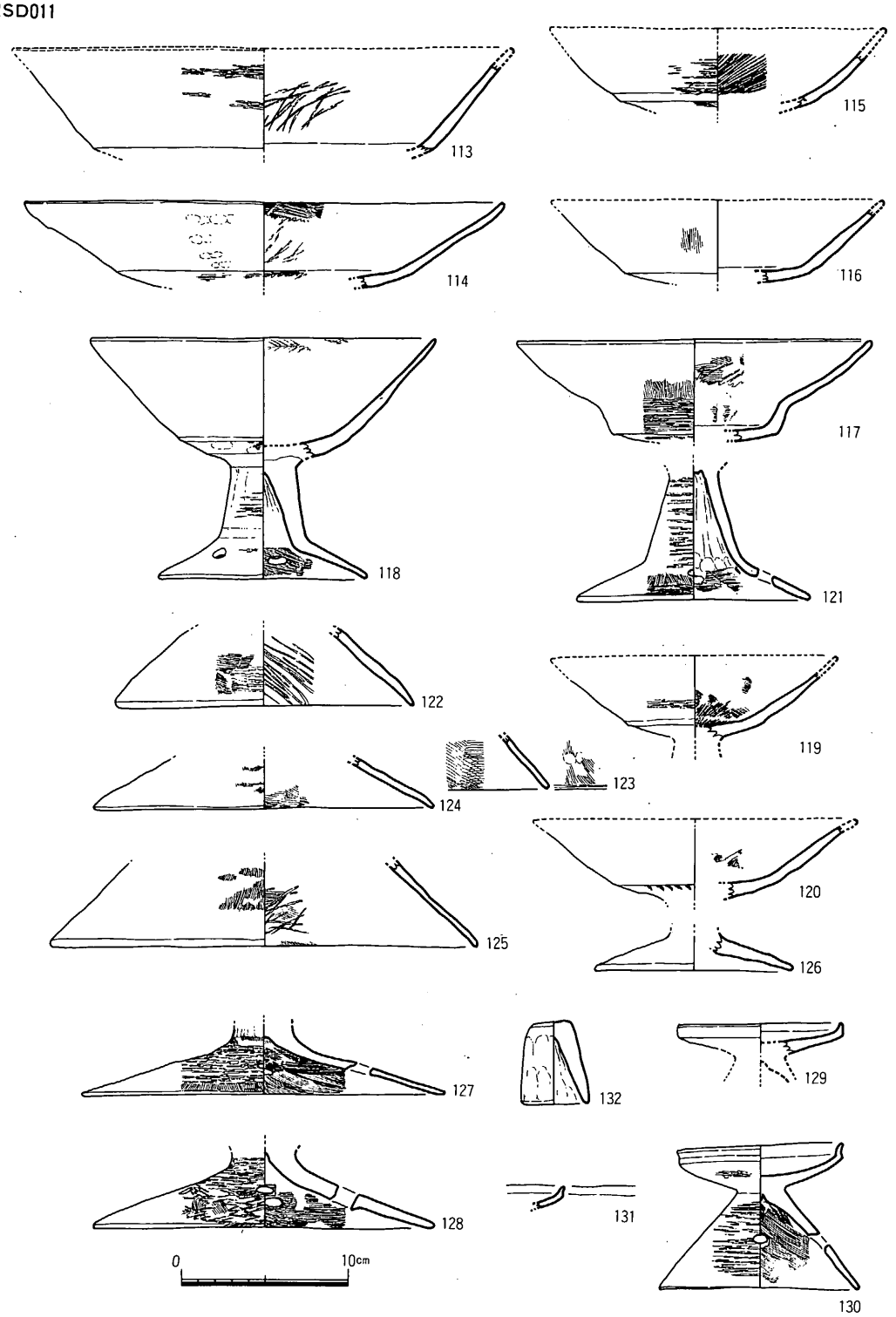
第63図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(4)(1/4)70～85

2SD011

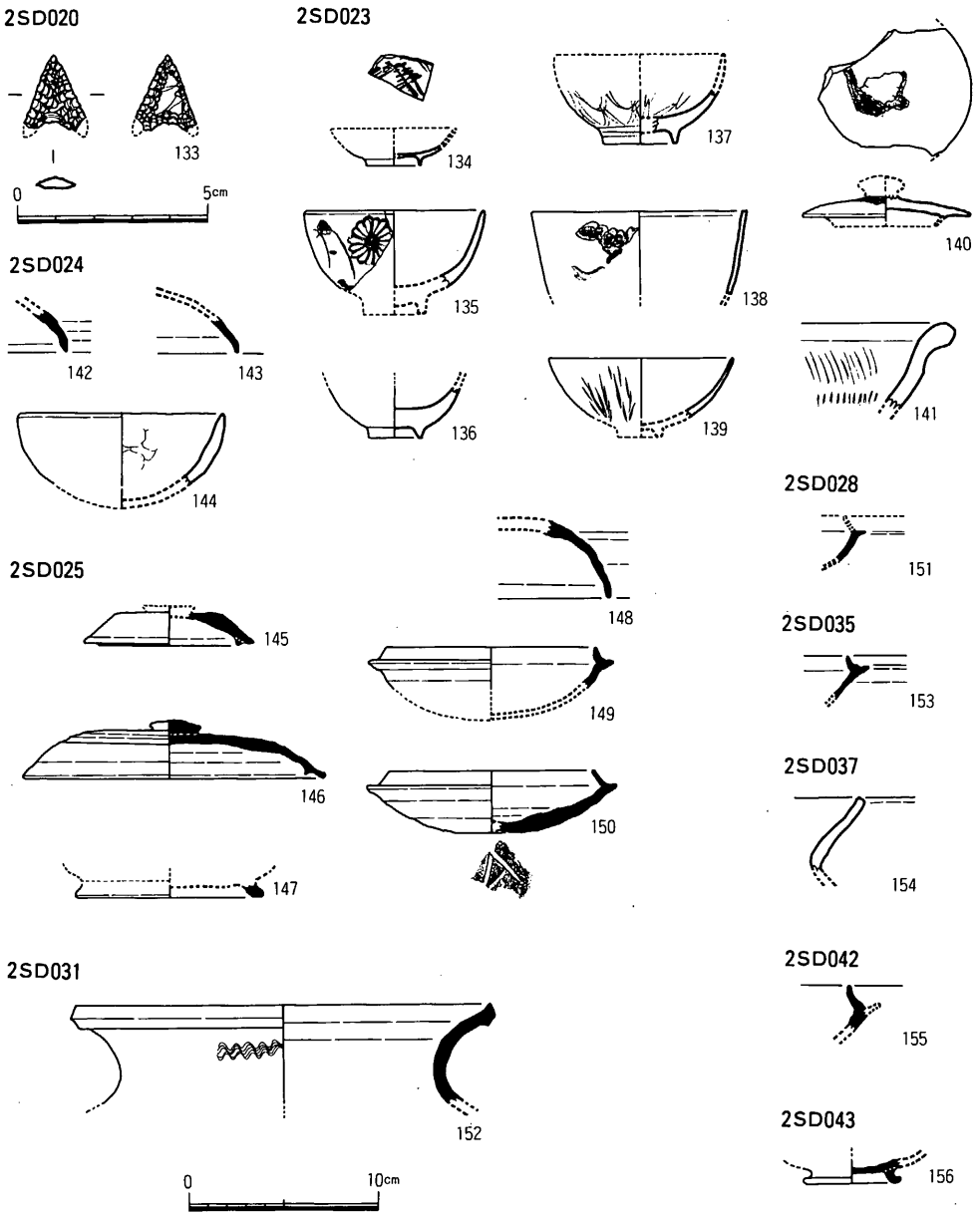


第64図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(5)(1/4)86～112

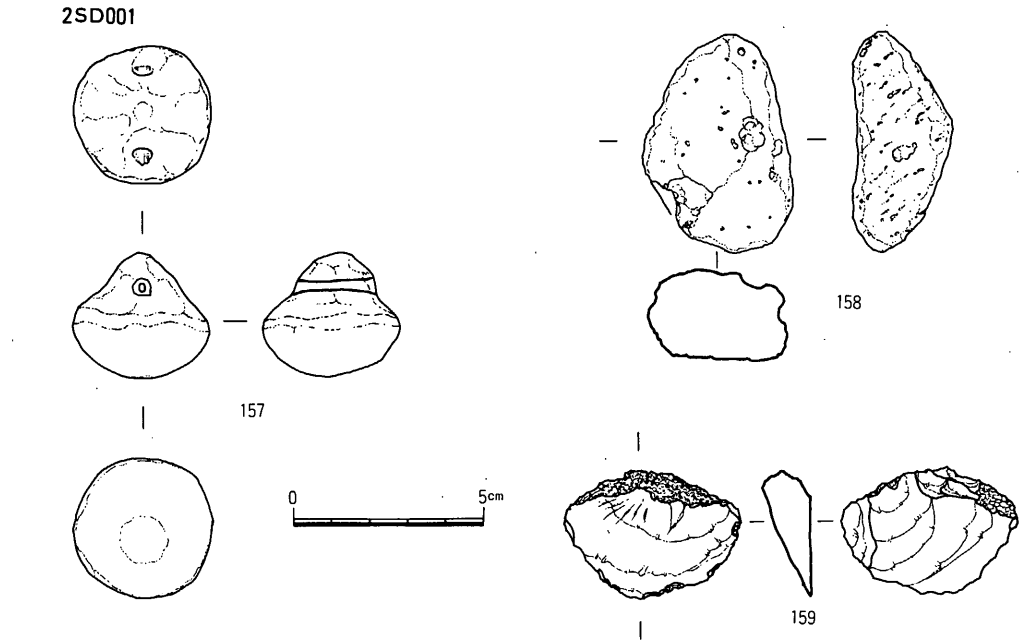
2SD011



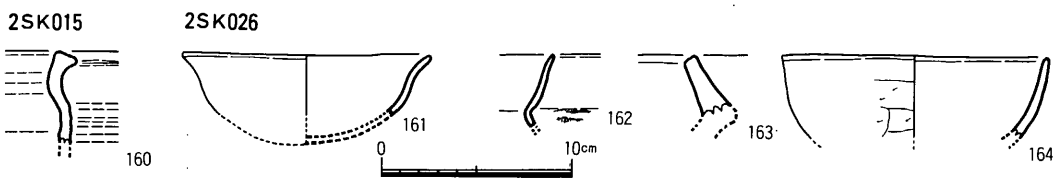
第65図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(6)(1/4)113～132



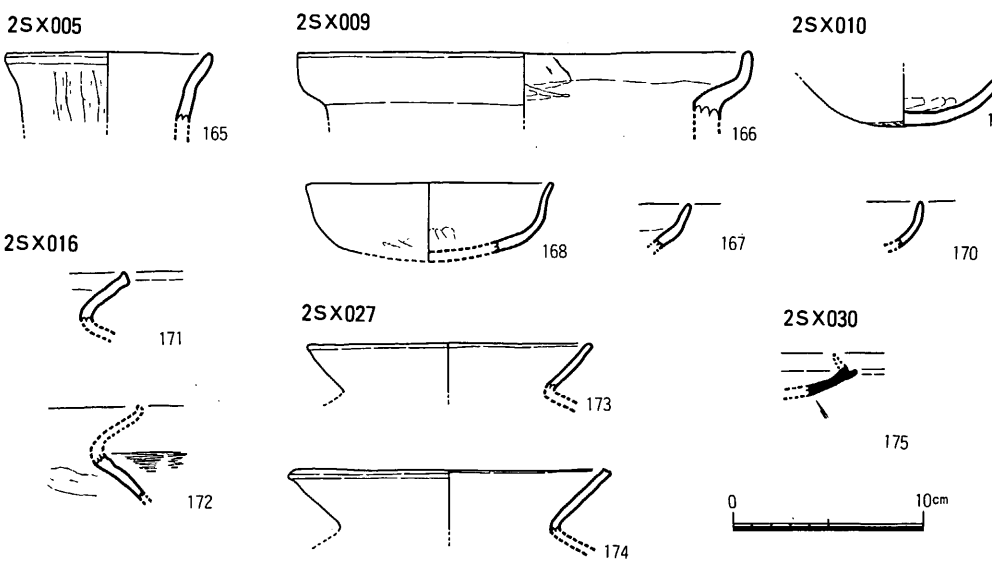
第66図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(7)(1/4・1/2)133～156



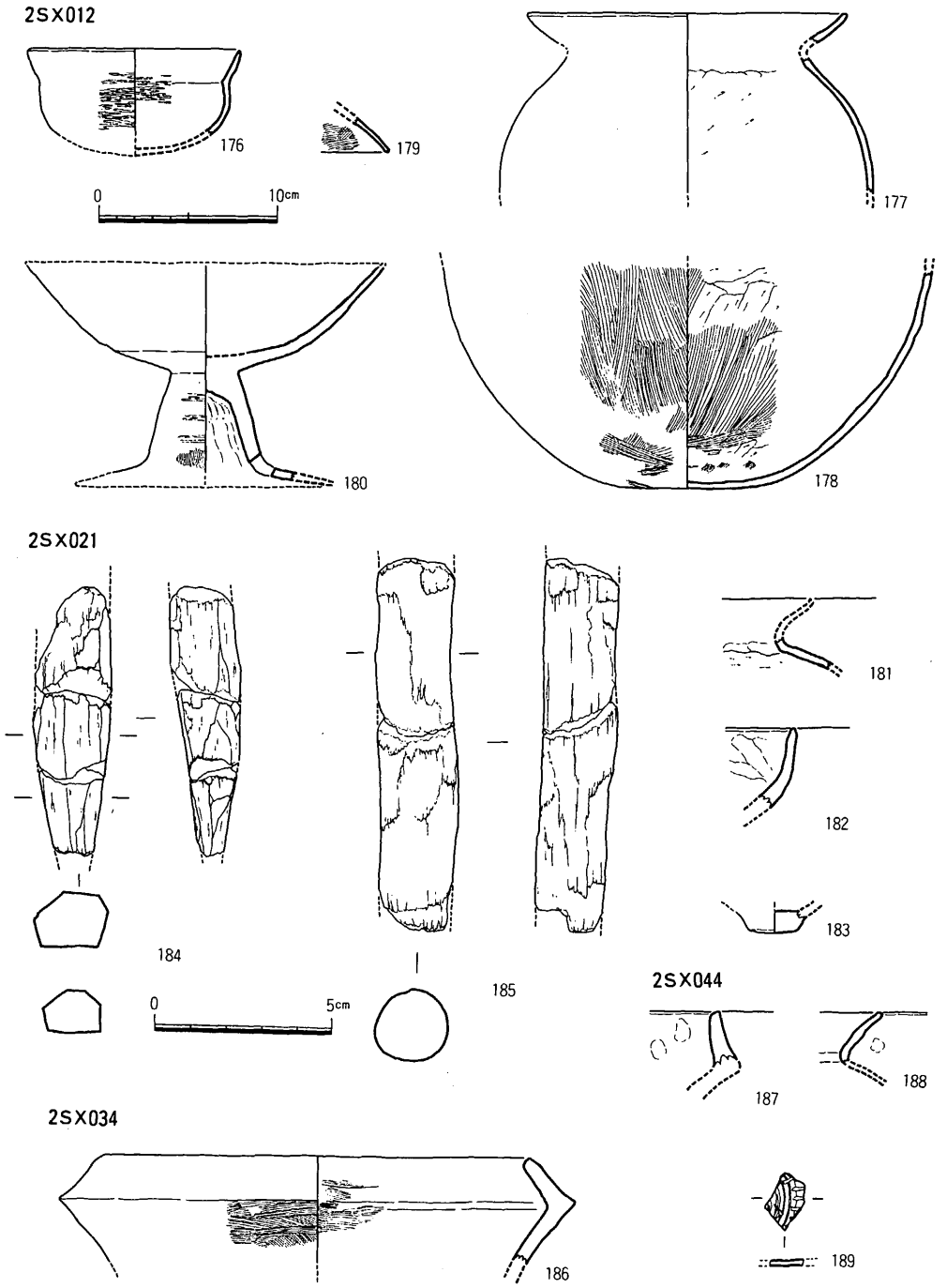
第67図　フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(8)(1/2)157～159



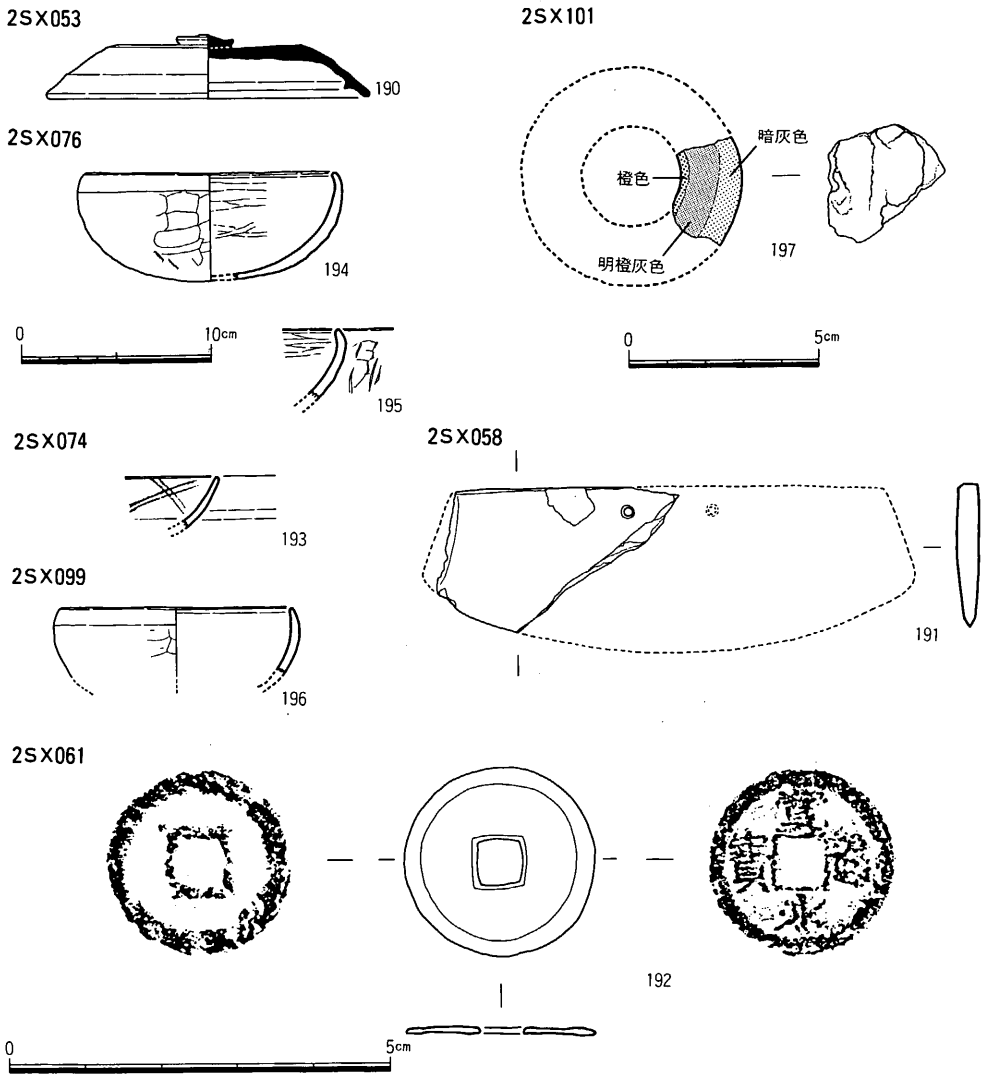
第68図　フケ遺跡第2次調査土壙出土遺物実測図(1/4)160～164



第69図　フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(1)(1/4)165～175



第70図　フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)176～189



第71図　フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(3)(1/4・1/2・1/1)190～197

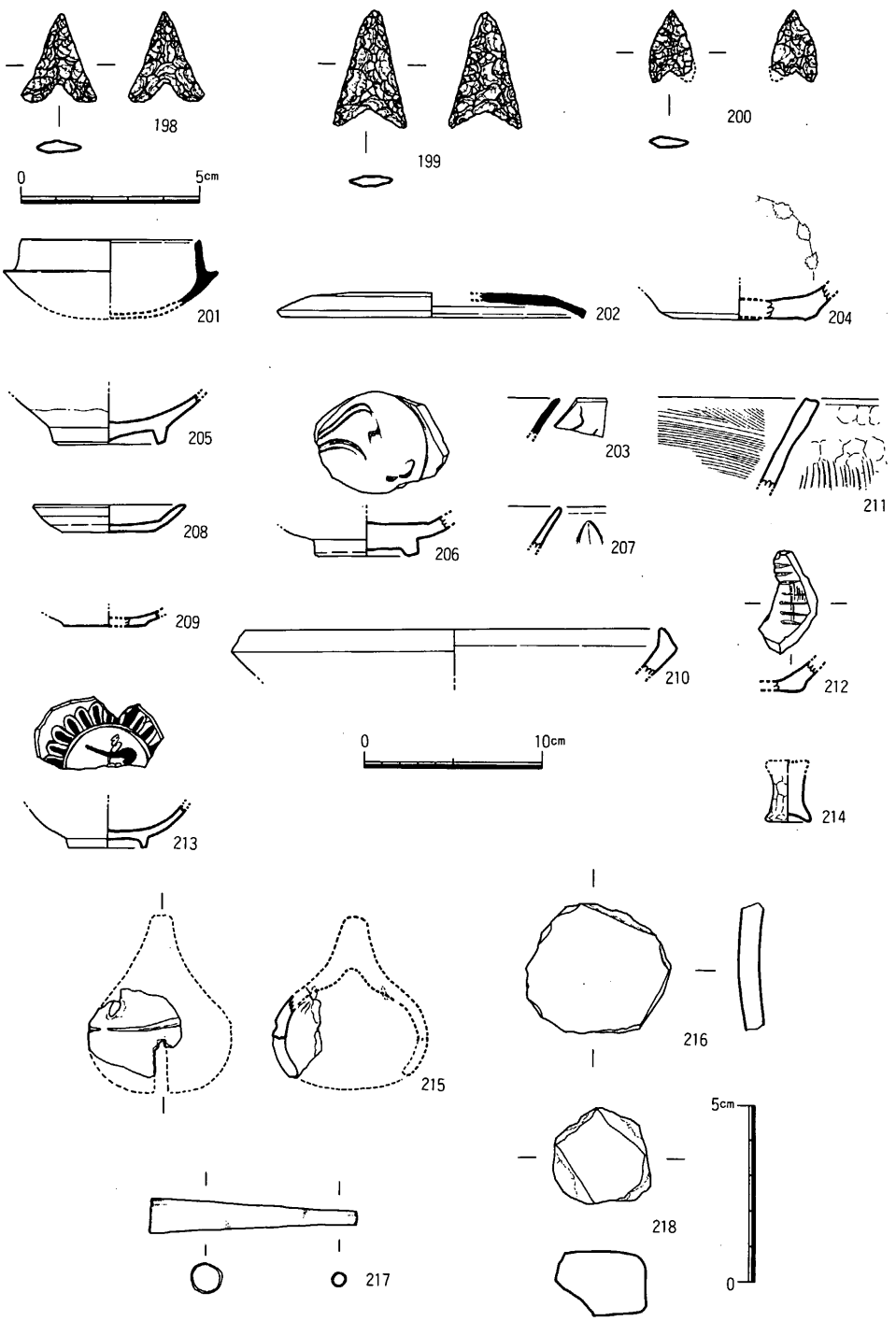
2SX099　調査区南半部の東端で検出されたピット群である。

2SX101　調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

小結

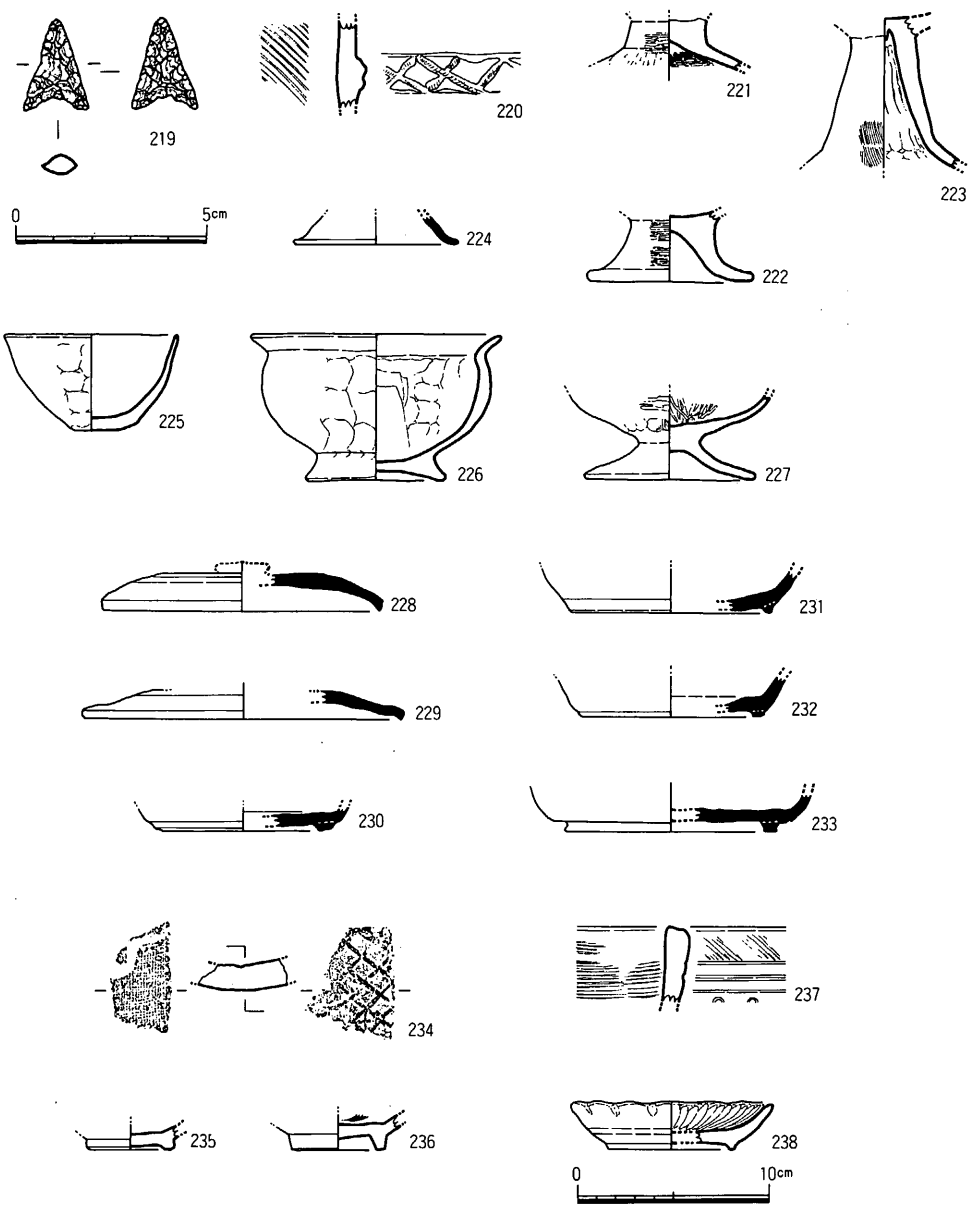
全体的な遺構の展開は、１次調査同様に古墳時代初頭の布留式土器古相段階の2SD001を中心に、引き続いて6世紀代の尾崎1次調査区周辺の集落の縁辺施設としての竪穴住居2SX010や7世紀後半の溝2SD025などが、多少時期的隔たりをもって形成されている。遺物からは古代の須恵器、越州窯系青磁、中世前半の中国製青磁・白磁、後半期の明染付、瓦質土器、近世末の陶磁器、寛永通宝などが散見され、緩慢に土地利用がおこなわれたことを示している。（狭川）

2暗灰色土

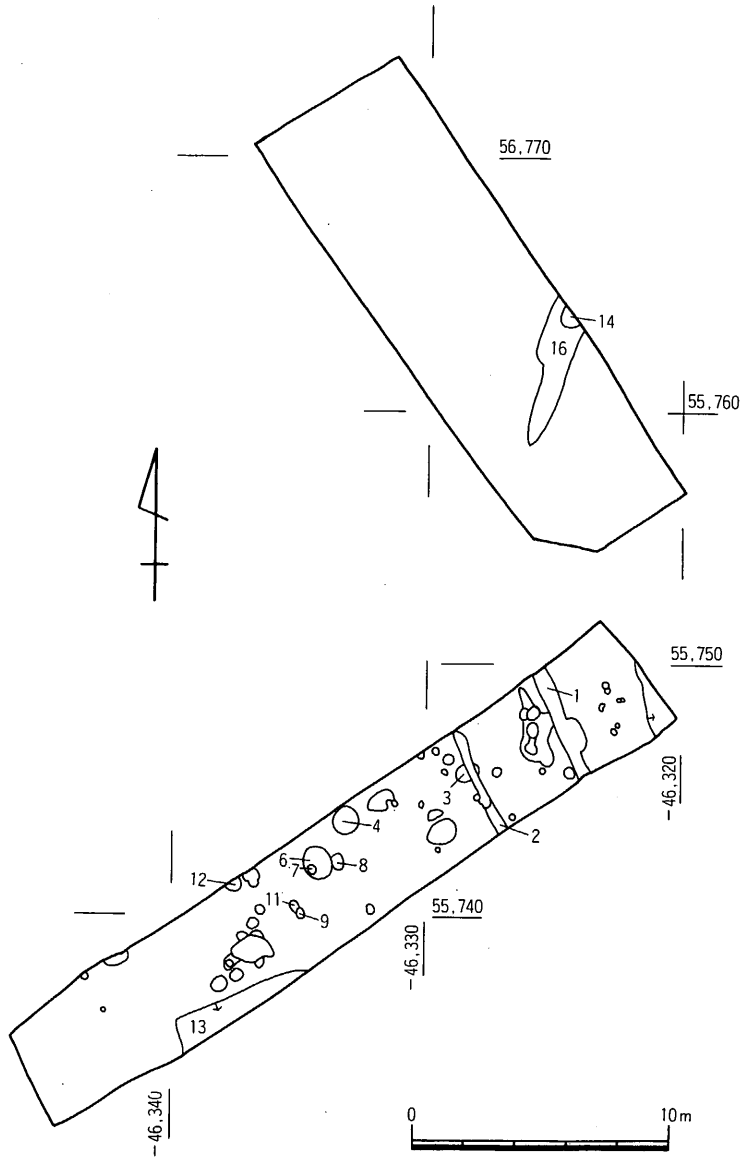


第72図　フケ遺跡第2次調査暗灰色土出土遺物実測図(1/4・1/2)198～218

2耕土



第73図　フケ遺跡第2次調査耕土出土遺物実測図(1/2・1/4)219～238

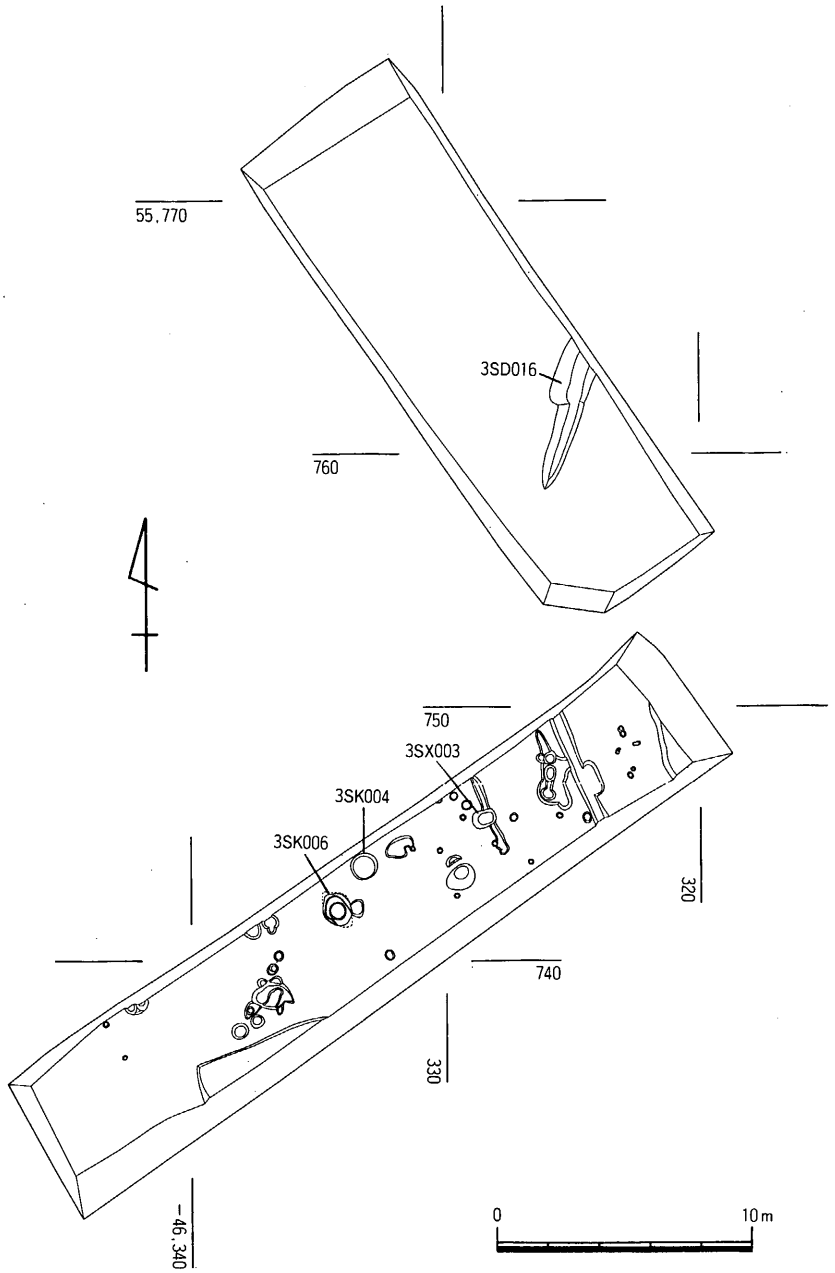


フケ遺跡第3次調査遺構番号台帳

S－番号	遺構番号	種別		古→新	地区
1		溝	淡灰色土埋土	新しい	
2		溝	淡灰色土埋土	3→2	
3		ピット	茶褐色土埋土、中位まで2本の杭跡あり		
4	3SK004	土坑	上層は茶褐色土、下層は黒灰色砂質土		
6	3SK006	土坑	中位は暗灰色土、下層は黒灰色砂質土	6→7	
7		ピット	暗茶褐色土埋土	6→7	
8		ピット	暗茶褐色土埋土	8→6	

S－番号	遺構番号	種別		古→新	地区
9		ピット	黒色土埋土		
11		ピット	黒色土埋土		
12		ピット	暗茶褐色土埋土		
13		ピット	淡灰色土埋土		
14		ピット	暗茶褐色土埋土	16→14	
16	3SD016	溝	上層は淡灰色土、下層は黒灰色土	16→14	

第74図　フケ遺跡第3次調査遺構略測図(1/300)

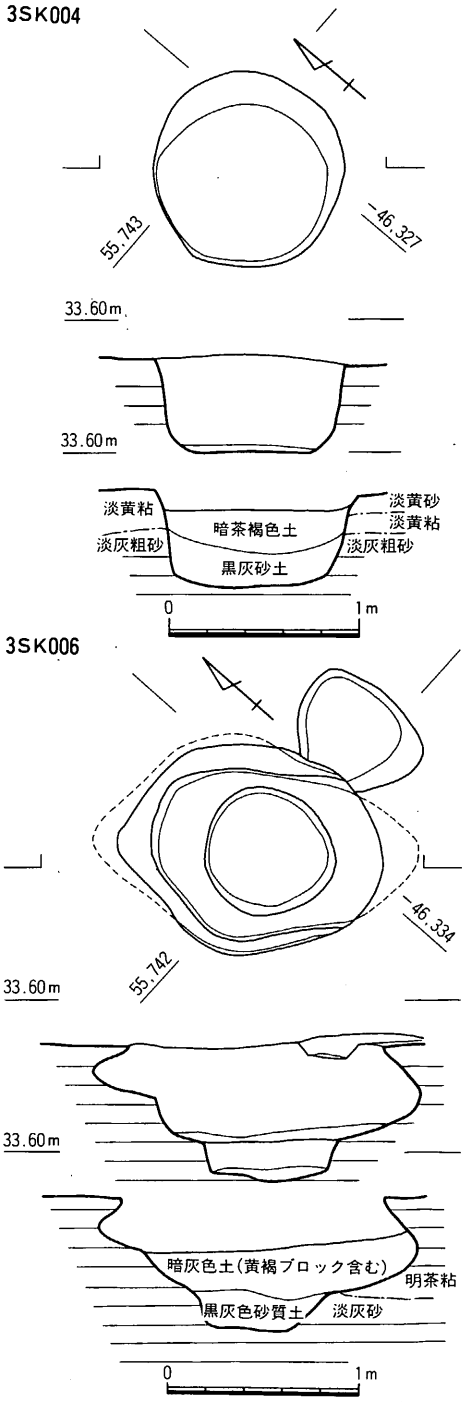


第75図　フケ遺跡第3次調査遺構図(1/300)

(3) 第3次調査

1. はじめに

調査地は太宰府市大字大佐野字フケ112-4で、第1次調査と道路を隔てた対面（北側）に当たり、調査前は大衆遊技場が建設されていた。道路面からは1m程度の盛り土が成されており、建物の基礎がある程度で止まっていた場合は遺構の残存している確率は高いものと考えていた。しかし多量の盛り土が存在することから調査を実施するにあたって排土の置く位置やその量、そして遺構の残存状況を把握する観点から、調査着手前に試掘調査を実施することとなった。試掘調査は平成3（1991）年5月7日～10日までの間に実施した。その結果、予想に反して遺構は希薄で、しかも深く且つ巨大な遊技場の基礎がそのまま残存していた。基礎の隙間には遺構は残存せず、その周囲にあけたトレンチから若干検出されたにとどまった。そこで遺構の確認されたトレンチは埋め戻さず、隣接地でフケ遺跡第2次調査を実施していたことからそのまま発掘調査を実施することとなった。調査は続く5月13日から第2次調査の作業のロス時間を縫って行い、最終的に埋め戻し作業が完了したのは6月19日であった。調査面積は267m²で、狭川真一、塩地潤一が担当した。



第76図　3SK004・006実測図(1/40)

2. 層位など

遊技場のアスファルトを除去し、盛り土を除去するとすぐに地山が顔を出す状況で、包含層はまったく確認されなかった。遺構の残存状況からみても大きく削平を受けたものと思われる。特に遺構が南側に偏って検出され、試掘調査部分を含めて北側ではほとんど認められないことから、北側が大きな削平を受けたものと理解しておきたい。

地山は南側のトレンチ中央部では淡灰色土、西側及び東側部分では淡茶灰色砂、東側のトレンチでは南側が淡灰色砂、北側へ淡茶灰色土、暗茶灰色砂と変化する。

3. 遺構

溝

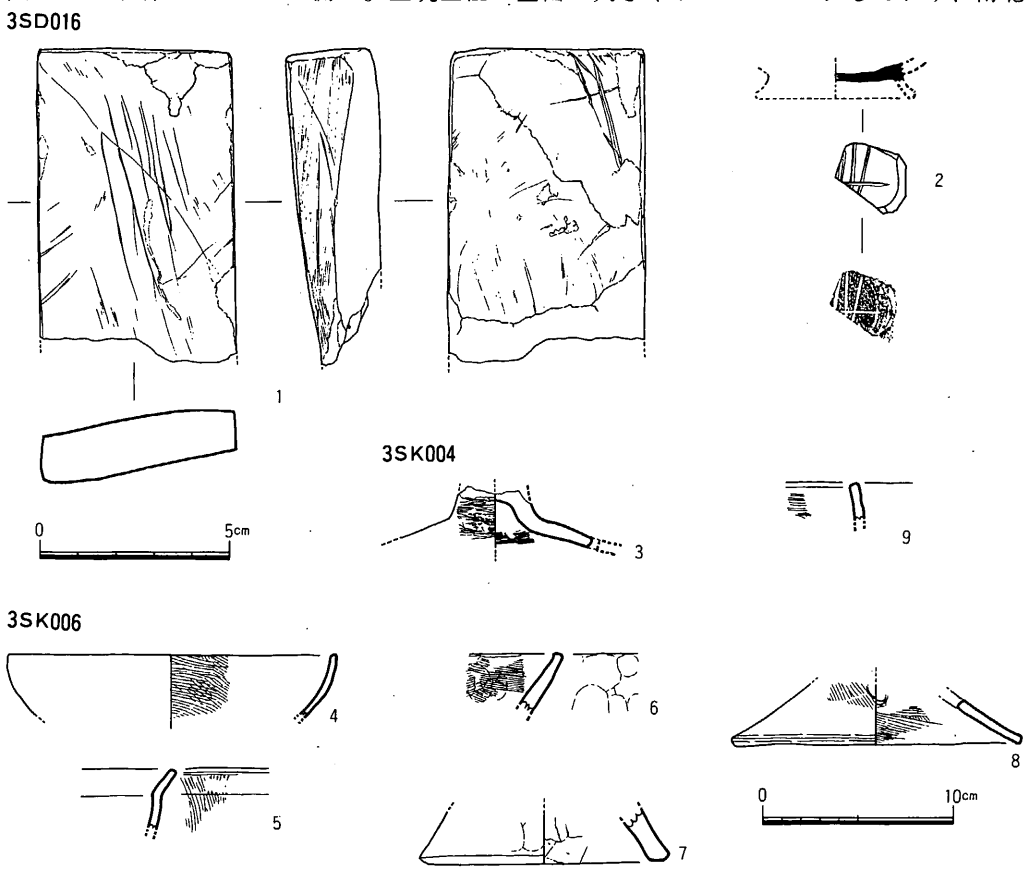
3SD016　東側に開けたトレンチで検出された遺構で、長さ6.0m以上、幅0.8～1.5m、深さ0.1m内外。埋土は上位が淡灰色土、下位が黒灰色土で構成される。7世紀代の須恵器が出土。

土坑

3SK003（Pla.32）　南側のトレンチで検出された遺構で、楕円形を呈する。長さ0.95m、幅0.68m、深さ0.15mを測り、検出上面で2つのピット状遺構が並んで検出された。ピットは埋土の中程で止まっている。埋土は暗茶褐色土で、新規の南北溝に切られる。

3SK004（Pla.32）　南側のトレンチで検出された遺構で、ほぼ円形を呈するもので1.03×1.00m、深さ0.5mを測る。埋土は上位が暗茶褐色土、下位が黒灰色砂質土である。布留式土器が出土。

3SK006（Pla.32）　南側のトレンチで検出された遺構で、検出面での大きさは南北1.40m、東西1.11m、深さは0.71mを測る。土坑上位の壁面は大きくオーバーハングしており、南北



第77図　フケ遺跡第3次調査出土遺物実測図(1/2・1/4)1～9

1.72mにもなる。埋土は上位が暗灰色土、下位が黒灰色砂質土である。弥生後期後半の所産か。

その他の遺構

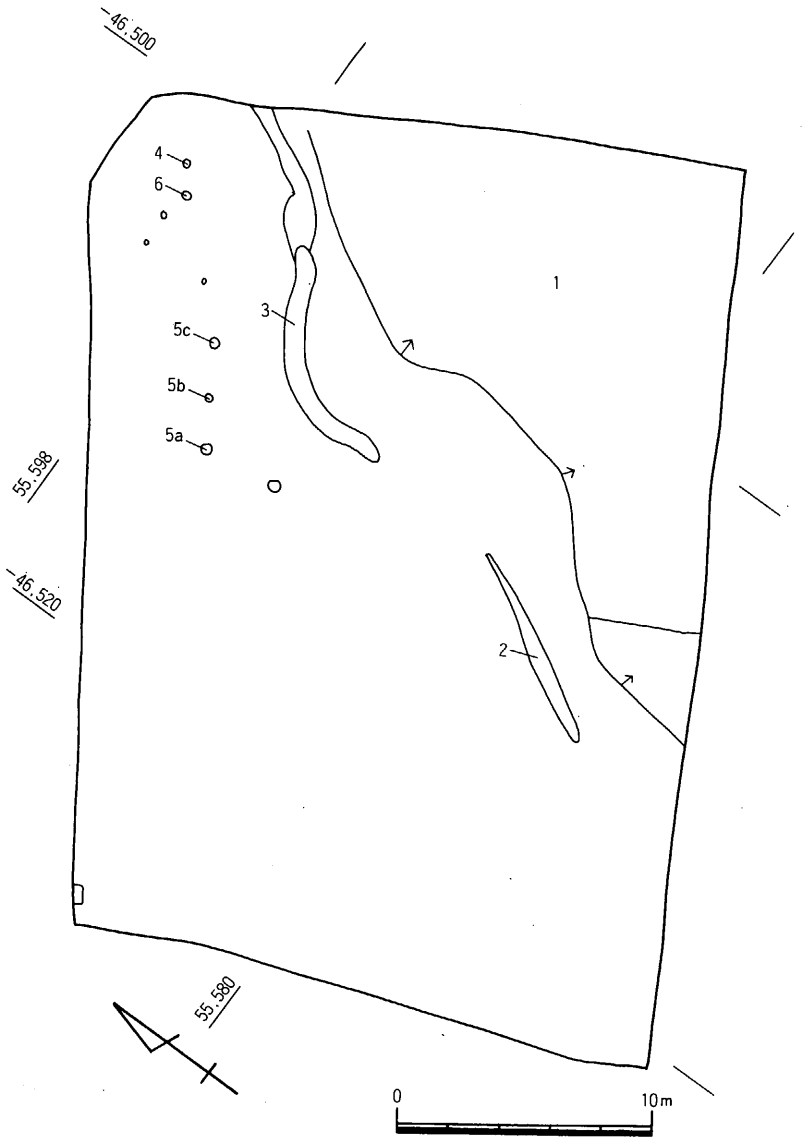
3SX008　南側のトレンチで検出されたピットで、0.7×0.55m、深さ0.13mを測る。3SK006より古い遺構である。

3SX009　南側のトレンチで検出されたピットで、きわめて浅い。

3SX012　南側のトレンチで検出されたピットで、径0.7m、深さ0.15mを測る。北半分は調査区外に延びている。

3.　出土遺物

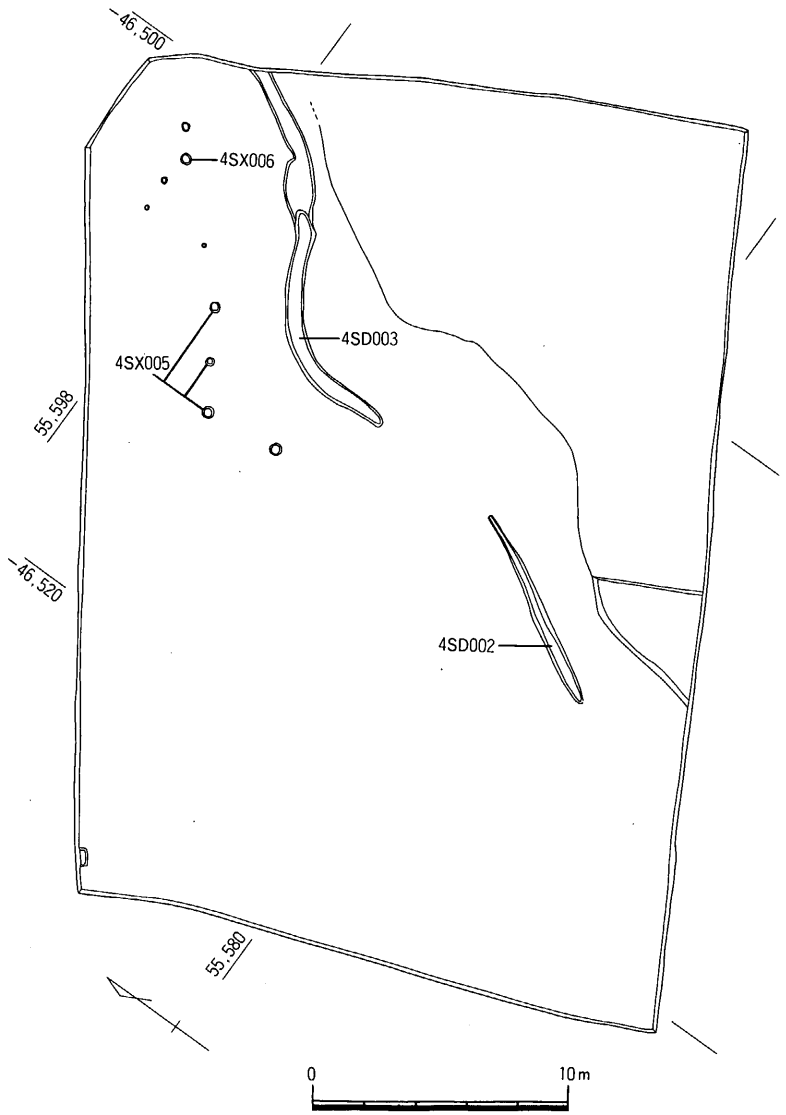
本文末の遺物観察表を参照のこと。　（狭川）



第78図　フケ遺跡第4次調査遺構略測図(1/300)

フケ遺跡第4次調査遺構番号台帳

S－番号	遺構番号	種別	古→新	地区
1	4SD001	大溝	上層灰色粘質土、下層腐植土	
2	4SD002	溝		
3	4SD003	溝		
4		ピット		
5	4SX005	ピット群	柵列の可能性あり。西からa・b・c	
6	4SX006	ピット	炭化物混入	



第79図　フケ遺跡第4次調査遺構図(1/300)

(4) 第4次調査

1. はじめに

調査地は太宰府市大字大佐野字フケ91-1、95-1で、佐野土地区画整理事業の一環として当該対象地を調査した。調査地は周辺の状況から遺構の残存している可能性が低いと考えられていたことから、事前に試掘調査を実施し遺構の有無あるいはその残存範囲を確定してから調査することとした。試掘調査は平成5（1993）年11月12日～15日まで実施した。その結果、対象地の南半分は流路となっていたため調査対象から除外し、若干の遺構を検出した北半分に主体を置き、流路の西肩を検出できる範囲で調査区を設定することとした。発掘調査は続く16日から表土除去を開始し、25日にはすべての作業を終了した。調査対象面積は2,687㎡、調査面積は831㎡である。現地での発掘調査は狭川真一が担当し、測量等で井上信正の協力を得た。

2. 層位など

調査前の状況は水田であったため、その耕作土及び床土を除去するとすぐに地山が顔を出す状況であった。地山は茶色砂質土あるいは灰白色粘土であった。遺構はこの地山から直接穿たれる形で検出され、床土との間に明確な包含層は確認されなかった。

3. 遺構

溝

4SD001　調査区の東側を略南北に流れる大溝で、溝の西肩を検出したものの東肩は調査区外に求められる。したがって検出部分から推定しても溝の幅は15m以上あったものと思われる。深さは調査した部分に限りがあるため15cm程度を確認したにとどまる。本来はさらに深くなることが予想される。溝の埋土は大きく3層に分けられ、上層から灰色粘土、茶色粘土、腐植土の順で堆積している。弥生中期末、6世紀、8世紀後半の遺物が出土している。

4SD002　長さ8.2m、幅0.2～0.6m、深さ0.1m内外で、当初は4SD003と一つであった可能性が強い。

4SD003　長さ15m、幅0.7～1.3m、深さ0.15m内外で、一部蛇行する部分がある。当初は4SD002と一つであった可能性が強い。この溝は4SD001大溝を意識して穿たれているものとみられ、大溝の西肩に沿う形で存在している。8世紀の須恵器の他、中近世陶器が出土している。

その他の遺構

4SX005　径0.3～0.45m、深さ0.13～0.21mのピット群で、ほぼ2.1mの間隔をおいて東西に並んでいる。2間の柵列である可能性が考えられる。

4SX006　炭化物が詰まったピットで、径0.4m、深さ0.3mを測る。

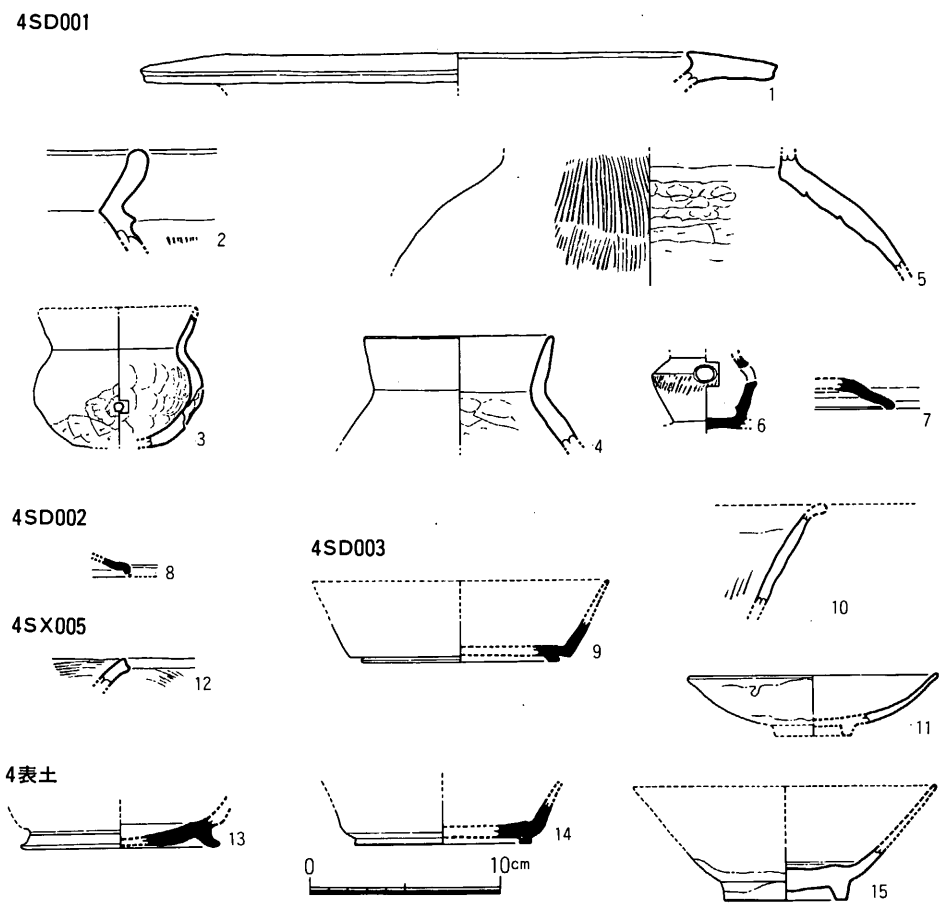
3.　出土遺物

本文末の遺物観察表を参照のこと。

4.　小結

報告したように当該地点は遺構が大きく削平されており、若干の遺構を検出したにとどまる。ただ大溝が古墳時代頃のものとみられ、フケ遺跡第1・2次調査で検出した大溝と繋がる可能性が考えられる（遺物は多少新しいものもある）。その確認の意味でも両者の中間地点での調査が要求されるところである。またこの大溝の肩に沿うように検出された小溝はやはり前記の2つの調査でも類似のものが知られており、この溝の性格について検討する必要性があろう。

（狭川）



第80図　フケ遺跡第4次調査出土遺物実測図(1/4)1～15

(5) 総括

今回は紙数の関係上各調査地点については充分な記述ができなかった。特に土器の情報については観察表のみの提示となり、不十分さは否めない。ここでは土器の出土傾向を含めて遺跡の動態を総括しておきたい。

弥生前期については板付IないしII式の土器片が尾崎1次やフケ1次（453）などで散見され、伐採具としての石斧素材も見られることから（フケ1次378)、前田遺跡の前期村落形成に係わって開発の機運が有ったのかも知れない。続く弥生中期についてはフケ4次調査で後半の高坏が出土しているに止まっている。尾崎2次の古墳時代の溝中から甕棺片が出ており、殿城戸1次で小児棺が検出されており丘陵裾に当該期に墳墓があったことを示している。

弥生後期は大佐野川を挟んだ北側の緩斜面にある前田遺跡では前半から住居が群で営まれ後半には掘立柱建物を複数ふくむ集落に発展する。川の南側でも雛川1次の土器の出土状況から前半の段階で低湿地に人の手が及び後半にそのピークが認められる。後半には吉備地域などの瀬戸内地域からの少量の土器の持ち込みが見られ、終末期から古墳時代初頭には畿内V様式系、庄内式系、布留式系（古相段階)、山陰系の日用、祭祀用土器が同時的に高比率で消費されるようになる。外来系土器が大半を占める段階ではあるが、平野北部沿岸の比恵、西新遺跡に比すると鼓型器台が欠落するなど、器種構成上受容されなかったものがあったことが指摘される。この時期に北西隣に接する宮ノ本遺跡で割竹形木棺を主体部に持つ前期古墳が出現する。フケ1次では竪穴住居を含まない掘立柱建物群が展開し、雛川1次では低湿地の水際で木製品を貯蔵し起耕具を中心とした農具が制作され、新規に農地の開発がおこなわれたと考えられる。また、この水場では銅釧を用いた祭祀がおこなわれた。反面、水際での堅果類の地下貯蔵施設が雛川1次、フケ1次で見つかり、福岡平野の複数の村落跡の様相と共通した食事情に不安定な事態があったことが想定される。この時点での対岸の前田遺跡の村落とフケ・雛川とがいかなる関係にあったかは資料不足であるが、少いながら雛川遺跡には布留の中、新相の土器片が継続して見られることから二者の終焉には時期差が考えられる。

古墳時代後期の村落はやや時期をおいて6世紀に展開している。尾崎遺跡などでは須恵器の九州編年で6世紀後半に位置づけられる段階に村落のピークがあり、若干、7世紀段階のものも見られるが、通時的な後期の集落変遷はまだ資料的には追えない。尾崎1・2次や脇道遺跡などでは扉をはじめとする建築部材が低湿地に集積された状況が確認されている。

古代前期には雛川遺跡を官道水城西門ルートが縦断しているはずであるが、積極的にその遺構を指摘し得ない。遺構は基本的に検出されずこの時期には耕作地化されたと見ているが、尾崎1次やフケ2次などでは越州窯系青磁椀のⅠ・Ⅱ類が出土している。

中世後期は宮ノ本7次やフケ2次で明染や李朝陶器が、フケでは土師器鍋、瓦質の擂鉢、火鉢、古瀬戸菊皿など14世紀から16世紀の遺物が散見され、肥前筑紫氏の「尾崎城」や「和久堂城」など近世村落跡の存在が気にかかるところであるが、具体的な生活遺構の検出は皆無である。

近世後半期から明治前半期には潅漑施設の新規構築などに関連する溝状遺構がフケ遺跡2、3次などで見られる。この時期にはため池の築造や修築がおこなわれた時期でもあり、開発史的視点から近郷農村における一つの変革期として見て取れる。

参考文献

尾崎遺跡第1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群III」1993 太宰府市教育委員会
宮ノ本遺跡第7-1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群IV」1993 太宰府市教育委員会
宮ノ本遺跡第7-2次調査「太宰府・佐野地区遺跡群V」1995 太宰府市教育委員会
雛川遺跡第1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群VI」1996 太宰府市教育委員会

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表　1

表土	
白磁	片（1）
瓦類	古代平？瓦片（1）
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ（1）
	泥岩製砥石（1）
弥生～土師器	甕、壺、器台、小型丸底壺
	高坏、鉢
灰色土	
須恵器	片
土師器	片
須恵質土器	東播系鉢（1）
陶器	現代鉄釉　鉢（1）
瓦類	現代瓦片（3）
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ（1）
弥生～土師器	鉢、壺、器台、小型丸底壺
	高坏、甕
S-1	
弥生～土師器	甕、鉢
S-2	
弥生～土師器	甕×壺（26）
S-3	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	高坏（1）、壺（6）
	甕×壺（16）
S-4	
弥生～土師器	片（2）
S-5	
土製品	メンコ（2）
石製品	辰砂？
弥生～土師器	壺（6）、高坏（5）、器台(2)
	甕×壺（12）

S-6	
弥生～土師器	壺（1）、高坏（1）
	布留系甕（5）、甕×壺（36）
S-7	
弥生～土師器	甕×壺（74）、高坏（4）
	壺（2）
S-8	
土師器	甕（1）
弥生～土師器	壺（2）、鉢（2）、支脚（1）
	甕×壺（53）
S-9	
弥生～土師器	片（7）
S-10	
弥生～土師器	布留系甕、高坏、小型丸底壺
S-10灰色粘	
弥生～土師器	布留系甕、高坏
S-10炭層直下	
弥生～土師器	布留系（1）、片（4）
S-10炭層以下	
土製品	メンコ（13）
弥生～土師器	壺×甕（19）、高坏（1）
	壺（1）、布留系甕（13）
S-10最下層	
弥生～土師器	布留系甕
S-11	
弥生～土師器	片（18）

※□は個体数、（　）は破片数を示している。

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表　2

S-12	
弥生～土師器	甕×壺（17）
S-13	
弥生～土師器	布留系甕（1）、片（17）
S-14	
弥生～土師器	甕□
S-15	
弥生～土師器	壺□(S-15柱痕と接合)、片(3)
S-15柱痕	
弥生～土師器	甕（1）、片（3）
S-15掘方	
弥生～土師器	高坏(3)、壺(1)、甕×壺(60)
S-16	
弥生～土師器	高坏（1）、甕×壺（6）
S-17	
弥生～土師器	甕×壺（8）
S-18	
土製品	メンコ（4）
弥生～土師器	片（22）
S-19	
弥生～土師器	甕（2）、片（23）
S-20	
須恵器	坏蓋？（1）
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	壺（2）、高坏（1）、器台(1)
	片（18）

S-21	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	高坏（11）、甕×壺（50）
	片（1）
S-22	
弥生～土師器	鉢（1）
S-23	
弥生～土師器	高坏□、片（10）
S-24	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（17）、鉢（1）
	脚(1)、在地甕(叩き有)（1）
S-25	
弥生～土師器	甕(叩き有るもの有)×壺(39)
S-26	
弥生～土師器	甕×壺（17）、鉢（1）
S-27	
弥生～土師器	甕×壺（3）
S-28	
弥生～土師器	板I甕（1）
S-29	
弥生～土師器	壺（1）、甕（1）、片（6）
S-30	
弥生～土師器	甕×壺（56）、布留系甕（1）
	器台（1）

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表　3

S-31	
弥生～土師器	在地系壺×甕（42）、甕（2）
	布留系（7）、高坏（1）
S-32	
弥生～土師器	甕（1）、甕×壺（9）
S-33	
弥生～土師器	鉢（1）、甕(叩き有)（1）
	甕×壺（21）、高坏□
S-34	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	片（6）
S-35	
石製品	緑色片岩片（1）
弥生～土師器	甕（1）、布留系？甕（1）
	壺（3）、壺×甕（69）
	鉢（3）、平底壺（1）
	複合口縁壺□
S-36	
土製品	メンコ（6）
弥生～土師器	甕（3）、壺（2）
	甕×壺（118）
S-37	
弥生～土師器	片（6）
S-38	
弥生～土師器	甕×壺（12）、高坏？（1）
	甕(叩き有)（1）
S-39	
弥生～土師器	甕（1）、片（1）

S-40	
弥生～土師器	甕×壺（34）、壺（1）
	高坏（1）、鉢（1）
	布留系甕（1）
S-41	
弥生～土師器	甕×壺（4）
S-42	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	甕×壺（12）、高坏（1）
	甕（1）
S-43	
弥生～土師器	甕（3）、甕×壺（17）
	壺（1）
S-44	
須恵器	片？（1）
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	高坏（1）、甕×壺（40）
	鉢（1）
S-45	
土製品	メンコ（4）
弥生～土師器	甕×壺（33）、支脚（1）
	壺（1）、甕（2）
S-46	
弥生～土師器	高坏（1）、壺×甕（18）
	平底壺（1）、器台（1）
S-47	
弥生～土師器	壺（1）、鉢（1）、片（10）
S-48	
弥生～土師器	甕×壺（4）、布留系（2）

S-49	
石製品	石英片（1）
弥生～土師器	甕（1）、片（10）
S-50	
弥生～土師器	甕×壺（8）、手づくね（1）
	壺（3）
S-51	
弥生～土師器	甕×壺（4）
S-52	
弥生～土師器	甕×壺（22）
S-53	
弥生～土師器	甕×壺（42）、甕（2）
S-54	
土製品	メンコ
弥生～土師器	甕×壺（70）、大甕（1）
	器台（1）、高坏（1）
	甕（2）、壺（1）
S-56	
弥生～土師器	片（6）
S-57	
弥生～土師器	器台（1）、壺×甕（3）
	壺（1）
S-58	
弥生～土師器	小壺（1）、甕×壺（32）
S-59	
土製品	メンコ（5）
弥生～土師器	甕×壺（25）、高坏（1）
	小壺（1）

S-60	
土製品	メンコ（2）
弥生～土師器	壺（1）、器台（1）、甕（2）
	甕(叩き有)（1）、片（26）
S-61	
弥生～土師器	片（3）
S-63	
弥生～土師器	壺×甕片（5）
S-64	
弥生～土師器	甕×壺（10）
S-65	
土製品	杓子型（1）
弥生～土師器	壺×甕（43）、甕[3]
	甕(叩き有)（4）
	壺(叩き有)（2）
S-66	
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-67	
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-68	
弥生～土師器	壺（2）、片（4）
S-69	
弥生～土師器	甕×壺（10）
S-70	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺(叩き有)（10）
	壺（3）、甕（2）、高坏（1）

S-71	
弥生～土師器	甕×壺（11）、壺（1）
S-72	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	片（5）
S-73	
弥生～土師器	甕×壺（31）、大甕（1）
	高坏（1）、壺（4）、甕[1]
S-74	
弥生～土師器	甕×壺（10）、布留系甕（1）
	甕（1）、鉢（1）
S-75	
弥生～土師器	手づくね坏（1）、甕（2）
	甕×壺（18）
S-76	
土製品	メンコ（6）
石製品	泥岩製砥石（1）
弥生～土師器	甕×壺（1）、高坏（1）
	壺（1）、鉢（1）、器台（1）
S-77	
弥生～土師器	甕×壺（19）、壺（1）
S-78	
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-79	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（15）、壺（1）

S-80	
土製品	メンコ（5）
弥生～土師器	甕×壺（39）、高坏（2）
	甕(平行叩き有)(1)、壺(1)
S-81	
弥生～土師器	甕×壺（3）、甕[1]
S-82	
弥生～土師器	甕×壺（7）
S-83	
弥生～土師器	甕×壺（3）、壺（1）
S-84	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（5）、高坏（3）
S-85	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	甕×壺（20）、高坏（8）
	甕[3]
S-86	
土製品	メンコ（10）
石製品	石英製台石（1）
弥生～土師器	布留系（3）、甕×壺（556）
	高坏（8）うち布留系(1)有り
	甕（12）、鉢（3）、壺（3）
	大甕（1）、器台（2）
S-87	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	在地系鉢（1）、甕×壺（8）
S-88	
弥生～土師器	甕（1）、片（2）

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表　6

S-89	
弥生～土師器	甕×壺（29）
S-90	
弥生～土師器	高坏（2）、甕×壺（20）
	甕（2）
S-91	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（61）、高坏（1）
	布留系（2）、壺（1）
	甕（1）
S-92	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	甕×壺（23）、支脚（1）
	複合口縁壺（1）、器台（1）
S-93	
弥生～土師器	大甕（3）、甕×壺（20）
	甕（1）
S-94	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（12）
S-95	
弥生～土師器	甕×壺（79）、鉢（1）
	甕(叩き有)（3）
S-96	
土製品	メンコ（5）
弥生～土師器	高坏（3）、壺（3）、甕（4）
	布留系（40）、甕×壺（148）
	小型丸底壺（1）
	器台(叩き有)（1）

S-97	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	布留系（3）、支脚（1）
	甕×壺（94）、高坏（1）
	甕（1）
S-98	
弥生～土師器	甕（1）、壺（1）
	甕×壺（80）
S-99	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	布留系（3）、高坏（1）
	大甕（1）、甕×壺（66）
S-100	
弥生～土師器	庄内系（3）、甕×壺（26）
	甕（1）、壺（1）
S-102	
弥生～土師器	甕×壺（7）
S-103	
弥生～土師器	甕×壺（19）、布留系（3）
S-104	
弥生～土師器	甕×壺（14）、布留系（1）
S-105	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	壺（2）、甕×壺（63）
S-106	
土製品	メンコ（2）
弥生～土師器	甕×壺（24）、器台（1）

S-107		S-110下層L5区	
弥生～土師器	甕×壺（10）、器台（4）	弥生～土師器	布留系甕（14）、高坏（1）
	甕（1）、壺（1）		坏（1）、複合口縁壺（3）
			甕×壺（32）
S-108			
		S-111	
土製品	絵画土器（1）		
弥生～土師器	器台(1)、甕×壺(82)、甕(2)	白磁	碗(近代)（1）
		弥生～土師器	壺（2）、小壺（1）
S-109			甕×壺（74）
弥生～土師器	庄内系甕（1）、短頸壺（1）	S-112	
	甕（3）、複合口縁壺（1）		
	甕×壺（55）、高坏（1）	土製品	メンコ（3）
	大甕（1）	弥生～土師器	庄内系（1）、甕×壺（92）
			高坏（1）、甕（2）叩き有(1)
S-110 I4区			
		S-113	
弥生～土師器	布留系甕(164)、甕×壺(172)		
	壺（7）、甕（1）、器台（1）	弥生～土師器	甕×壺（18）
	支脚（1）、高坏（2）		
	山陰系甕（1）、甑（1）	S-114	
	庄内系壺(波状文)①		
		弥生～土師器	甕×壺（27）、器台（1）
S-110 L5区			高坏（1）、庄内系？（1）
			甕（2）
弥生～土師器	布留系甕（3）、甕×壺（22）		
	壺（3）、鉢（1）	S-115	
S-110上層5ﾗｲﾝ		弥生～土師器	甕×壺（21）、甕（1）
土製品	メンコ（1）	S-116	
弥生～土師器	布留系甕（377）③、鉢（3）		
	高坏（24）、小鉢（1）	土製品	メンコ（1）
	壺（1）、小型丸底壺（1）③	弥生～土師器	甕（1）、片（5）
	支脚（3）、甕（1）、坏（2）		
	庄内系甕(1)、庄内系壺(1)	S-117	
	布留系在地甕（2）		
	甕×壺（884）	弥生～土師器	甕×壺（5）
S-110下層5ﾗｲﾝ		S-118	
弥生～土師器	布留系甕（54）、器台（1）	弥生～土師器	甕×壺（4）、器台（2）
	山陰系甕（1）、高坏（2）		甕（2）
	在地甕（2）、壺（3）		
	甕×壺（166）		

S-119	
弥生～土師器	甕×壺（14）
S-120	
土製品	メンコ（7）
弥生～土師器	布留系（7）、庄内系甕（2）
	甕（4）、高坏（2）、鉢（1）
	器台（6）、甕×壺（453）
	複合口縁壺（1）
S-121	
弥生～土師器	複合口縁壺（1）、器台（1）
S-122	
弥生～土師器	片（7）
S-123	
弥生～土師器	甕×壺（6）
	甕（2）うち叩き有（1）
S-124	
弥生～土師器	布留系甕（1）、大甕（2）
	甕×壺（4）
S-125	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（31）、庄内系（1）
	手づくね坏（1）
S-126	
弥生～土師器	高坏（1）、布留系（2）
	甕（1）、甕×壺（14）
S-126下層	
弥生～土師器	布留系（8）、甕×壺（11）
	甕（1）

S-127	
弥生～土師器	器台（1）、甕×壺（11）
	高坏（2）
S-128	
弥生～土師器	支脚（1）、甕×壺（13）
	器台（1）
S-129	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺(4)、甕(叩き有)（3）
S-130	
石製品	泥岩製砥石（1）
S-130 I11区	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	布留系（97）、甕×壺（649）
	甕（10）、壺（19）、鉢（6）
	高坏（12）、支脚（2）
	器台（1）
S-130 H13区	
弥生～土師器	布留系（35）、甕×壺（258）
	高坏（7）、壺（9）、鉢（3）
	甕（7）、小型丸底壺（3）
	支脚（1）
S-130 H14区	
弥生～土師器	布留系（30）、甕×壺（221）
	高坏（3）、壺（8）、鉢（2）
	甕（1）
S-130 10ﾗｲﾝ	
弥生～土師器	布留系（10）、甕×壺（149）
	高坏（2）、壺（7）、鉢（1）

S-130 I10区		S-136	
弥生～土師器	布留系（4）、甕×壺（233）	弥生～土師器	器台（1）、甕×壺（8）
	高坏（2）、壺（1）、甕（1）		甕(叩き有)（1）
S-131		S-137	
弥生～土師器	高坏（4）、布留系甕（21）	弥生～土師器	片（9）
	器台（1）、甕×壺（47）		
	壺（3）	S-138	
S-132		弥生～土師器	小型丸底壺（1）、布留系(8)
			甕×壺（28）
土製品	メンコ（2）		
弥生～土師器	布留系甕（25）、鉢（3）	S-139	
	壺（3）、壺×甕（201）		
	甕（2）、庄内系甕？（1）	弥生～土師器	片（4）
S-133		S-141	
弥生～土師器	布留系甕（17）、壺（2）	弥生～土師器	器台（1）、庄内系（1）
	甕×壺（68）、高坏（1）		壺（1）、甕×壺（20）
S-134		S-142	
弥生～土師器	甕×壺（4）、壺（1）	弥生～土師器	布留系（1）、甕×壺（5）
S-135		S-143	
弥生～土師器	布留系甕③、大甕片	弥生～土師器	片（5）
	高坏小、大		
		S-144 I3区	
S-135黒灰色土			
		弥生～土師器	甕×壺（2）
弥生～土師器	布留系甕、甑、高坏小、大		
	東九州系複合口縁壺	S-144 L5区	
	庄内系甕、小型丸底壺		
		弥生～土師器	片（3）
S-135黒灰色粘			
		S-146	
弥生～土師器	布留系甕、高坏小、大、器台		
		弥生～土師器	壺×甕（11）、高坏（1）
S-135灰色粘			
		S-147	
弥生～土師器	山陰系甕、甕×壺		
		弥生～土師器	器台（1）、片（4）

S-148		S-161	
弥生～土師器	布留系（2）、壺×甕（11）	弥生～土師器	壺（1）、片（19）
	壺（3）		
		S-162	
S-149			
		弥生～土師器	壺×甕（43）、高坏（1）
弥生～土師器	壺×甕（4）		壺（5）、絵画土器？（2）
S-151		S-163	
弥生～土師器	壺（1）、壺×甕（7）	弥生～土師器	甕×壺（7）
S-152		S-164	
弥生～土師器	布留系（14）、壺×甕（26）	土製品	メンコ（4）
	壺（4）、鉢（1）、甕（1）	弥生～土師器	甕（3）、甕×壺（36）
S-153		S-166	
弥生～土師器	片（16）	土製品	メンコ（1）
		弥生～土師器	甕×壺（6）
S-154			
		S-167	
弥生～土師器	甕×壺（58）、甕（1）		
	布留系高坏（1）	土製品	メンコ（2）
		弥生～土師器	壺（1）、片（1）
S-156			
		S-168	
弥生～土師器	壺×甕（21）、短頸壺（1）		
	鉢（1）	土製品	メンコ（1）
		弥生～土師器	壺（1）、甕×壺（48）
S-157			甕（1）
弥生～土師器	庄内系甕（1）、甕（1）	S-169	
	片（13）		
		弥生～土師器	片（6）
S-158			
		S-171	
弥生～土師器	高坏（1）、甕×壺（6）		
		弥生～土師器	壺×甕（18）
S-159			
		S-172	
弥生～土師器	器台（1）		
		土製品	メンコ（2）
		弥生～土師器	甕×壺（10）、布留系壺（3）
			器台（1）、壺（1）

S-173	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（10）
S-174	
土製品	メンコ（2）
弥生～土師器	布留系甕、片（5）
S-176上面	
弥生～土師器	複合口縁壺（1）
S-177	
弥生～土師器	布留系（1）、甕×壺（6）
	壺（1）
S-178	
弥生～土師器	鉢（1）、甕(叩き有)（1）
	片（2）
S-179	
弥生～土師器	器台（2）、甕(叩き有)（2）
	甕（1）、片（4）
S-181	
弥生～土師器	甕(叩き有)（6）、甕×壺（5）
	甕（1）、壺（1）
S-182	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	小壺（1）、甕×壺（13）
	壺（1）
S-183	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕(叩き有)（1）、甕×壺(15)

S-184	
弥生～土師器	高坏（1）、甕(叩き有)（1）
	甕×壺（19）、布留系（1）
S-186	
弥生～土師器	鉢（1）、布留系甕（1）
	甕×壺（7）
S-187	
弥生～土師器	高坏（1）、甕(叩き有)（2）
	器台（1）、甕×壺（46）
S-188	
弥生～土師器	高坏（1）、甕×壺（5）
	甕（1）
S-189	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	甕×壺(3)
S-191	
弥生～土師器	甕×壺（9）、布留系（1）
S-192	
土製品	メンコ（3）
弥生～土師器	甕×壺(24)、高坏（1）
	器台（1）、壺（1）
S-193	
土製品	メンコ（4）
弥生～土師器	甕×壺(76)、高坏（2）
	布留系（23）、庄内系甕(1)
	器台(叩き有)（4）、甕（2）
S-194	
土製品	メンコ（2）
弥生～土師器	甕×壺(29)、器台（2）
	甕（2）

S-196	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺(3)、甕（2）
S-197	
弥生～土師器	布留系甕（2）、庄内系（2）
	甕×壺（26）
S-198	
弥生～土師器	甕×壺（11）、布留系（2）
S-199	
弥生～土師器	甕×壺（8）
S-200 F13区	
弥生～土師器	壺（4）、壺×甕（17）
	布留系甕（3）、高坏（1）
S-200 F14区	
弥生～土師器	壺×甕（16）、布留系（4）
	壺（2）
S-200 G11区	
土製品	メンコ（2）、瓦玉（1）
弥生～土師器	壺×甕（170）、布留系甕(9)
	壺（14）、甕（2）、甑（1）
	高坏（4）、庄内系壺（1）
	器台（1）、小型丸底壺（1）
S-200 G12区	
土製品	メンコ（3）
石製品	軽石（1）
弥生～土師器	壺×甕（90）、布留系甕（1）
	壺（6）、甕（2）、高坏（2）
	器台（2）、鼓型器台（1）
	鉢（1）

S-200 灰色土	
石製品	玄武岩製大型刃器（1）
弥生～土師器	甕×壺（23）、甕（1）
S-201	
弥生～土師器	壺（2）、甕×壺（3）
S-202	
弥生～土師器	高坏（2）、甕×壺（16）
	壺（1）
S-203	
弥生～土師器	甕×壺（32）、支脚？（1）
	鉢？（1）
S-204	
弥生～土師器	甕×壺（15）、甕（1）
S-205	
弥生～土師器	高坏（2）、甕×壺（55）
	鉢（2）
S-206	
弥生～土師器	甕×壺（17）、壺（1）
S-207	
土製品	メンコ（3）
石製品	安山岩製ﾌﾚｰｸ（1）
弥生～土師器	高坏（4）、布留系甕（3）
S-208	
弥生～土師器	甕×壺（12）、高坏（1）
S-209	
弥生～土師器	甕×壺（21）、甕（2）

S-210	
弥生～土師器	布留系甕（1）、庄内系甕（2）
	甕×壺（23）、高坏（1）
S-211	
弥生～土師器	高坏（3）、甕×壺（14）
S-212	
弥生～土師器	甕×壺（3）
S-213	
弥生～土師器	片（1）
S-214	
弥生～土師器	高坏（1）、甕？（1）
S-216	
弥生～土師器	壺（1）、片（1）
S-217	
弥生～土師器	甕（2）、甕×壺（7）
	壺（2）
S-218	
土製品	メンコ（1）
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ（1）
弥生～土師器	甕×壺（20）、庄内系甕（1）
	壺（1）、高坏（1）、甕（1）
S-219	
弥生～土師器	庄内系（1）、甕×壺（21）
	甕（1）
S-221	
弥生～土師器	高坏（2）、壺×甕（3）

S-222	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	片（1）
S-223	
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-224	
弥生～土師器	甕×壺（2）
S-226	
弥生～土師器	甕×壺（2）
S-301	
弥生～土師器	甕×壺（44）、布留系甕（1）
	在地布留系（1）、器台（1）
	壺（1）
S-302	
弥生～土師器	壺×甕（7）、甕（1）、鉢(1)
S-304	
弥生～土師器	壺×甕（12）、壺（1）
S-305	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（1）
S-306	
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-307	
弥生～土師器	壺（2）、甕×壺（5）
S-308	
弥生～土師器	大甕（1）、布留系甕（1）

S-309	
弥生～土師器	片（5）
S-310	
土製品	メンコ（2）
弥生～土師器	甕×壺（13）
S-311	
弥生～土師器	甕×壺（4）
S-312	
弥生～土師器	鉢（1）、甕×壺（6）
	甕（1）

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表　1

耕土		S-1	
須恵器	坏c3、甕	土製品	メンコ（2）
越州窯系青磁	片	弥生～土師器	高坏（4）、布留系（5）
龍泉窯系青磁	碗I片、III（1）		壺胴部片（1）
同安窯系青磁	碗片		
	皿片	S-1 黒色土	
白磁	皿III		
瓦質土器	鉢	須恵器	坏蓋IV、IIIB
陶器	ハケ手　坏（近世～）	土師器	坏、脚付坏
	緑釉　土瓶（近代）	白磁	皿IX
	古瀬戸　菊皿	青花	肥前系染付皿
	白釉　徳久利（近世～）	石製品	管玉（1）、鏃
青花	肥前系皿		安山岩製ﾌﾚｰｸ、黒曜石製ﾌﾚｰｸ
	明染付碗	弥生～土師器	壺（15）うち在地（1）
瓦類	平（格子叩き）		甕（19）、甕×壺（1）
石製品	鏃（1）		小型丸底壺（1）、高坏(12)
弥生～土師器	高坏、布留系甕		支脚（2）、壺×鉢（1）
			手づくね鉢（2）、器台（1）
暗灰色土			小壺（2）、鉢（3）
須恵器	坏蓋c1、c2（IIIB）、甕、高坏	S-2 腐食土	
土師器	甑、甕、手づくね鼓型		
瓦器	碗、壺	石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ
越州窯系青磁	碗II片	弥生～土師器	片
龍泉窯系青磁	碗I片		
	皿片	S-3 腐食土	
同安窯系青磁	碗片		
土製品	メンコ(近世～近代陶器)、瓦玉	弥生～土師器	ひさご型壺（1）
白磁	碗VIII、IV		
	片	S-5 黒灰色粘	
土師質土器	鍋		
瓦質土器	スリ鉢	弥生～土師器	甕×壺片
陶器	褐釉　甕（近世～）		
	スリ鉢（近世～）	S-5 埋土	
	盤（近世～）		
	小壺(新安期中国産か)	弥生～土師器	庄内系甕、短頸壺
青花	肥前系碗、皿		
	赤絵碗	S-8	
	印版手碗		
瓦類	丸、平	弥生～土師器	布留系甕片、小坏、小壺
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ、安山岩製ﾌﾚｰｸ		複合口縁壺
	鏃（2）		
弥生～土師器	甕	S-9	
		弥生～土師器	布留系甕片、高坏、坏

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表　2

S-10	
弥生～土師器	布留系甕、平底甕、坏
S-10 黒灰色土	
弥生～土師器	甕片
S-11 黒色土	
土製品	当て具？
石製品	安山岩製ﾌﾚｰｸ
弥生～土師器	甕、高坏、丸底壺、山陰系甕
	小型特殊器台、坏
S-12 黒色粘	
土製品	焼土塊
石製品	砂岩製砥石
弥生～土師器	布留系甕、壺、小型丸底壺
	高坏
S-13 黒灰色砂	
須恵器	坏c3、c2
陶器	ナマコ釉　皿（近代～現代）
	碗
青花	肥前系丸碗
弥生～土師器	布留系甕、小型丸底壺、小壺
	小型特殊器台
S-14	
弥生～土師器	布留系甕、大甕
S-15	
土師器	片
陶器	炻器　鉢？
S-16	
弥生～土師器	庄内系甕、布留系甕
S-17	
弥生～土師器	布留系甕、高坏

S-18	
弥生～土師器	布留系甕片、高坏片
S-19 黒灰色土	
須恵器	甕（内面すり消し）
弥生～土師器	布留系甕、大甕(叩き有)
	高坏
S-19 茶褐色粘	
土師器	坏
弥生～土師器	布留系甕片
S-19 暗褐色土	
弥生～土師器	布留系片
S-20	
白磁	碗IV（1）
石製品	黒曜石製鏃
弥生～土師器	甕片、壺片
S-20 黒色土	
須恵器	壺片、甕片、坏a
土師器	片
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ
弥生～土師器	高坏
S-21 黒色土	
弥生～土師器	甕、布留系甕、庄内系壺
S-22	
弥生～土師器	片
S-23	
土師器	片
白磁	小碗（近世～現代）
弥生～土師器	片

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表　3

S-23 暗灰色土	
須恵器	坏蓋2、3、甕、坏c3
白磁	皿VI
陶器	褐釉　大甕
	アメ釉　大皿、小碗
	雑釉　急須蓋
	炻器　スリ鉢
	ハケ手　大皿（唐津系）
青花	肥前系　丸碗、徳久利
	印版手　碗
石製品	石英
S-24 茶灰色土	
須恵器	坏蓋、甕（内面すり消し）
土師器	坏
S-25	
須恵器	坏c1、坏蓋c1、坏（IVB、IIB）
土師器	片
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ
弥生～土師器	甕片
S-26	
弥生～土師器	布留系甕片、小坏片
S-27	
弥生～土師器	布留系甕、壺
S-28	
須恵器	坏（IV？）
弥生～土師器	山陰系甕片、布留系甕片、壺
S-29	
土師器	片
S-30	
須恵器	坏（IVB）？片
弥生～土師器	布留系甕片

S-31	
須恵器	壺
弥生～土師器	甕
S-32	
弥生～土師器	片
S-33	
弥生～土師器	布留系甕、小型丸底壺
	山陰系甕、在地高坏片
S-34	
弥生～土師器	複合口縁壺
S-35	
須恵器	甕、鉢？、坏（IVB）
土師器	壺
弥生～土師器	片
S-36	
弥生～土師器	高坏片
S-37	
石製品	安山岩製ﾌﾚｰｸ
弥生～土師器	庄内系甕、布留系甕、長頸壺
S-38	
弥生～土師器	布留系片
S-39	
弥生～土師器	布留系片、手づくね坏片
S-41	
弥生～土師器	布留系片、山陰系？

S-42		S-54	
須恵器	坏（IIIB～IVA）	土師器	片
弥生～土師器	布留系		
		S-56	
S-43			
		弥生～土師器	布留系？
須恵器	坏c1、坏（IVA？）、壺		
弥生～土師器	甕×壺片、布留系片	S-57	
S-44		土師器	甕片
弥生～土師器	布留系甕、山陰系甕	S-58	
S-46		土師器	甕？片
		土製品	焼土？片
弥生～土師器	布留系甕底部片	石製品	石包丁（1）
S-47		S-59	
瓦質土器	スリ鉢片	土師器	甕片
弥生～土師器	片	陶器	常滑×備前（1）
S-48		S-62	
須恵器	甕片	須恵器	坏
土師器	片	黒色土器A	片
S-49		S-63	
土師器	甕片	須恵器	壺片
		土師器	片
S-51			
		S-64	
須恵器	片		
土師器	片	土師器	片
		陶器	ナマコ釉　坏？片
S-52			
		S-66	
弥生～土師器	片		
		土師器	甕？片
S-53		陶器	天目　碗？（美濃か？）
須恵器	坏蓋c1	S-67	
		土師器	甕？片

S-68	
土師器	片
S-69	
須恵器	片
土師器	甕片
S-71	
土師器	甕片
石製品	泥岩片（もと砥石か）
S-72	
白磁	片
弥生～土師器	壺片
S-73	
土師器	片
弥生～土師器	布留系片
S-74	
須恵器	坏片、甕片
土師器	片
陶器	褐釉　瓶
	雑釉　坏
青花	肥前系小皿
S-76	
土師器	坏
S-77	
土師器	片
石製品	輝緑凝灰岩製石包丁
S-78	
須恵器	坏c3
土師器	片

S-79	
土師器	片
青花	肥前系染付片
S-80	
須恵器	甕片
白磁	碗片
弥生～土師器	大甕片
S-81	
須恵器	坏片
土師器	坏片
S-82	
土師器	片
弥生～土師器	片
S-83	
土師器	片
弥生～土師器	片
S-84	
須恵器	片
土師器	片
S-86	
土師器	片
弥生～土師器	片
S-87	
須恵器	甕片、坏c
土師器	坏a×b
龍泉窯系青磁	碗I-5-b
瓦質土器	土鈴、スリ鉢

S-88	
須恵器	甕片
土師器	片
弥生～土師器	片
S-89	
弥生～土師器	甕×壺片
S-91	
須恵器	甕×壺片
土師器	片
白磁	片
青花	肥前系？片
弥生～土師器	片
S-92	
須恵器	甕片（内面すり消し）
土師器	片
金属製品	鉱滓
S-93	
土師器	片
弥生～土師器	布留系
S-94	
須恵器	坏（III～IV？）
S-95 淡灰色粘	
弥生～土師器	壺片
S-95 暗茶灰色粘	
土師器	坏、高坏
S-96	
弥生～土師器	甕×壺

S-97	
須恵器	坏？片、甕片
石製品	軽石片
弥生～土師器	片
S-98	
須恵器	甕片
S-99	
土師器	坏
S-101	
須恵器	片
土製品	ふいご羽口
石製品	黒曜石製ﾌﾚｰｸ
弥生～土師器	片
S-102	
土師器	甕片
S-103	
石製品	珪化木片
弥生～土師器	甕×壺片
S-104	
弥生～土師器	高坏、坏、甕×壺片
S-105	
青花	肥前系碗
S-106	
須恵器	坏蓋c1
弥生～土師器	高坏
S-107	
白磁	坏IX
土師質土器	スリ鉢

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表　7

S-108	
須恵器	甕片
弥生～土師器	甕×壺片
S-109	
土師器	小皿イト
青花	肥前系碗
S-111	
土師器	片
青花	肥前系そば猪口片
Z	
弥生～土師器	大甕（口縁部）

フケ遺跡第3次調査出土遺物一覧表

表土	
須恵器	坏？（1）
S-1	
須恵器	片（3）
土師器	片（5）
陶器	現代陶器片（1）
弥生？	片（1）
S-2	
須恵器	甕片（2）
弥生～土師器	小型丸底壺（1）
S-4	
弥生～土師器	甕×壺（14）、低脚高坏（1）
S-4 暗茶褐色土	
弥生～土師器	甕×壺（7）
S-4 黒灰色砂土	
弥生～土師器	布留系（1）、甕×壺（5）
S-6	
弥生～土師器	甕（1）、器台（1）
	手づくね鉢（1）、布留系甕(1)
	甕×壺（34）
S-6 暗灰色土	
弥生～土師器	甕×壺(32)、山陰系？甕片(1)
	高坏（3）、壺（2）、鉢（2）
	甕(3)うち内面ｹｽﾞﾘ(1)、叩き(1)
	器台（3）

S-7	
弥生～土師器	高坏（1）
S-8	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（6）
S-9	
土製品	メンコ（1）
弥生～土師器	甕×壺（2）
S-11	
弥生～土師器	片（2）
S-12	
弥生～土師器	鉢（1）
S-13	
陶器	褐釉　片（1）
	鉄釉　片（1）
弥生～土師器	片（3）
S-16	
須恵器	坏c（ヘラ記号有）
陶器	雑釉　片（近世～近代）
瓦類	片（近代か？）
石製品	泥岩製砥石（1）
S-16 黒灰色土	
須恵器	甕片（1）
弥生～土師器	片（7）

フケ遺跡第4次調査出土遺物一覧表

表土		S-5a	
須恵器	甕、坏、坏c2、坏c3、壺	弥生～土師器	甕×壺(10)、甕(叩き有)（1）
土師器	坏aイト（1）		
龍泉窯系青磁	碗片（1）	S-5b	
白磁	碗VIII		
陶器	褐釉　壺（近現代）（1）	土製品	メンコ（1）
青花	染付碗、小皿	弥生～土師器	片（3）
石製品	安山岩製ﾌﾚｰｸ		
弥生～土師器	高坏(1)、甕、高坏、長頸壺	S-5c	
大溝		弥生～土師器	布留系（1）、庄内系（1）
			器台？（1）、甕（1）、片(9)
須恵器	子持器台（1）、坏（1）		
土師器	小壺		
弥生～土師器	高坏（1）、甕、高坏、壺		
S-1 灰色粘			
須恵器	坏蓋3（1）、壺（1）、片(4)		
金属製品	滓（1）		
弥生～土師器	甕、小壺		
S-2			
須恵器	坏蓋3（1）		
土師器	片（1）		
S-3			
須恵器	坏3(1)、甕(3)、壺(1)、片(6)		
白磁	近世～（2）		
陶器	スリ鉢(近現代)（1）、坏（2）		
S-4			
弥生～土師器	布留系（1）、片（1）		

フケ1次遺物観察表 (1)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたき目	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
1	弥生 甕	1SB215 (S-90)			001	17.6*	3.5+	-											
2	〃 甕	〃 (S-80)			006	-	3.0+	-			○								
3	〃 壺	〃 (S-60)			001	-	3.8+	-			○					○			
4	〃 鉢	〃 (S-60)			006	-	3.2+	-											手捏ね
5	〃 器台	〃 (S-60)			007	-	5.1+	-											
22	〃 壺	1SB220 (S-92)			002	-	2.3+	-				○							
23	〃 壺	〃 (S-40)			002	-	2.5+	-											
24	〃 壺	〃 (S-15 柱痕)			001	15.8*	7.0+	-		○					○	○			
25	〃 甕	〃 (S-108)			001	-	5.5+	-		○	○					○			
26	〃 甕×壺	〃 (S-15)			007	-	6.3+	-			○	○				○			
27	〃 鉢	〃 (S-40)			004	23.8*	4.7+	-		○						○			
28	〃 鉢	〃 (S-111)			001	7.9*	4.4+	-		○				○	○				
29	〃 器台	〃 (S-92)			001	-	7.3+	-			○						○		
30	〃 高坏	〃 (S-40)			003	-	2.4+	-											
31	〃 高坏	〃 (S-15 掘方内)			001	-	4.0+	-			○							○	
32	〃 器台	〃 (S-108)			002	-	3.5+	-	○		○				○				
46	〃 壺	1SB225 (S-20)			002	-	3.3+	-		○	○				○	○			
47	〃 壺×甕	〃 (S-70)			003	-	2.3+	-		○					○				
48	〃 甕	〃 (S-85)			001	17.0*	13.7+	-	○		○					○			
49	須 坏蓋	〃 (S-20)			003	-	1.7+	-											
50	弥生 高坏	〃 (S-85)			002	-	4.4+	-			○			○				○	
54	〃 甕	1SB230 (S-65)	12	15-1	003	16.8	17.7	6.6			○					○			
55	〃 甕	〃 (S-65)	12	15-1	004	14.6*	10.5+	-		○	○	○			○	○			
56	〃 甕	〃 (S-75)			001	-	2.5+	-		○	○					○			
57	〃 鉢	〃 (S-125)	12	15-1	002	10.2*	5.3	-							○				手捏ね
58	〃 坏	〃 (S-75)			002	-	3.4+	-											手捏ね
59	〃 器台	〃 (S-128)			001	-	7.4+	13.0*		○									
60	〃 ひしゃく	〃 (S-65)	12	15-1	005	11.8	6.2	-		○	○				○				
71	〃 壺	1SB235 (S-54)			004	-	7.7+	-		○	○				○	○			
72	〃 壺	〃 (S-54)			003	-	3.7+	-									○		
73	〃 甕	〃 (S-54)			002	-	2.0+	-		○					○				
74	〃 器台	〃 (S-114)			002	-	3.3+				○					○			
75	〃 高坏	〃 (S-114)			001	-	2.9+												
76	〃 器台	〃 (S-54)			001	-	6.9+	-		○									
85	〃 壺	1SB245 (S-35)			002	-	3.9+	-		○					○				
86	〃 壺	〃 (S-109)			003	-	3.7+	-											
87	〃 壺	〃 (S-35)			003	-	5.6+	-											
88	〃 壺	〃 (S-109)			002	-	4.1+	-		○	○				○				
89	古土師 甕	〃 (S-35)			005	-	3.1+	-			○				○				
90	弥生 壺	〃 (S-109)			006	-	4.4+	-			○				○				
91	〃 壺	〃 (S-109)			005	-	2.6+	7.1							○				

フケ1次遺物観察表 (2)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
92	弥生 壺	1SB245 (S-109)			004	-	1.7+	5.6*			○				○				
93	〃 壺×甕	〃 (S-35)			001	-	2.8+	6.6*			○				○				
94	〃 甕	〃 (S-50)			001	-	2.3+	6.9*		○					○				
95	古土師 鉢	〃 (S-35)			004	14.7*	5.0+	-		○					○				
96	〃 鉢	〃 (S-109)			001	-	2.3*	19.6*											
98	弥生 壺	1SX105 (S-105)			006	-	2.3+												
104	古土師 壺×高坏	1SK001 (S-1)			010	-	2.2+	-											
105	〃 壺	〃 (S-1)			011	-	1.7+	-		○						○			
106	〃 甕	〃 (S-1)			009	-	2.0+	-			○	○					○		
107	弥生 甕	〃 (S-1)			007	-	2.4+	10.0*		○						○			
108	〃 甕	〃 (S-1)	19	13-1	001	18.0*	18.4+	7.4*			○		○		○	○			
109	〃 甕	〃 (S-1)	19	13-1	002	28.0*	16.9+	-								○			
110	〃 甕	〃 (S-1)	19	13-1	003	26.0*	22.6+	-			○	○	○			○			
111	〃 甕	〃 (S-1)	19	13-1	006	27.9*	22.7+	-								○			
112	〃 鉢	〃 (S-1)	19	13-1	004	14.4	5.2	5.1			○	○			○				
113	〃 鉢	〃 (S-1)	19	13-1	005	14.5*	6.0	-			○	○			○				
114	〃 鉢	〃 (S-1)			008	-	3.9+	-			○				○				
117	〃 壺	1SK010 (S-10灰粘)			012	18.0*	6.2+	-			○				○				
118	古土師 小形丸底壺	〃 (S-10灰粘)			011	-	5.1+	-						○					
119	弥生 甕	〃 (S-10灰粘)			009	-	3.9+	-								○			
120	古土師 甕	〃 (S-10灰粘)			013	-	4.5+	-		○					○		○		
121	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			005	18.0*	6.5+	-				○					○		外面ヘラ書文
122	〃 小形丸底壺	〃 (S-10灰粘)			015	13.0*	3.0+	-											
123	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			006	15.8*	4.1+	-		○					○		○		
124	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			002	17.6*	2.9+	-											
125	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			001	17.4*	3.7+	-				○					○		
126	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			003	15.8*	2.5+	-											
127	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			004	14.5*	4.2+	-									○		
128	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			007	-	5.5+	-			○	○					○		
129	〃 甕	〃 (S-10灰粘)			010	-	7.9+	-			○	○			○		○		
130	弥生 高坏	〃 (S-10灰粘)			017	-	0.9+	14.0*						○		○			
131	古土師 高坏	〃 (S-10灰粘)			008	21.0*	5.4+	-		○				○	○	○			
132	弥生 高坏	〃 (S-10灰粘)			014	-	6.5+	-											
133	〃 高坏	〃 (S-10灰粘)			016	-	2.0+	-			○								
137	古土師 甕	〃 (S-10最下層)			001	18.0*	10.3+	-			○	○					○		
138	〃 小形丸底壺	〃 (S-10)	21	13-2	004	12.3	9.4+	-			○		○	○					
139	〃 甕	〃 (S-10)	21	13-2	003	16.0	22.4+	-			○	○					○		
140	〃 甕	〃 (S-10)	21	13-2	002	15.6	17.4+	-		○	○	○					○		
141	〃 甕	〃 (S-10)	21	13-2	001	15.0	12.6+	-			○	○					○		

フケ1次遺物観察表 (3)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
142	古土師 甕	1SK010 (S-10)			007	-	8.8+	-			○	○					○		
143	〃 甕	〃 (S-10)			006	-	4.0+	-											
144	〃 高坏	〃 (S-10)	21	13-2	005	-	3.9+	9.0			○			○					
152	弥生 壺	1SK135 (S-135 黒灰土)			005	-	8.3+	-			○				○	○			外面櫛描文
153	古土師 小形丸底壺	〃 (S-135 黒灰土)			004	9.0*	5.6+	-			○			○					
154	〃 小形丸底壺	〃 (S-135 黒灰土)			006	13.2*	4.4	-						○	○	○			
155	〃 甕	〃 (S-135 黒灰土)			003	-	2.5+	-											
156	弥生 脚付鉢	〃 (S-135 黒灰土)			001	-	4.5+	22.2*			○								
157	〃 鉢	〃 (S-135 黒灰土)	23	14-1	002	13.6*	9.5	3.4		○					○	○			
158	古土師 高坏	〃 (S-135 黒灰土)			007	-	3.2+	-						○				○	
159	〃 高坏	〃 (S-135 黒灰土)			009	-	7.6+	-			○			○					
160	弥生 高坏	〃 (S-135 黒灰土)	23	14-1	008	-	12.7+	-			○			○	○	○			
161	古土師 甕	1SK135 (S-135 黒灰粘)			007	16.5*	4.2+	-		○					○				
162	弥生 甕	〃 (S-135 黒灰粘)			008	-	5.1+	3.8*		○					○	○			
163	〃 壺	〃 (S-135 黒灰粘)			005	-	3.9+	-			○				○				
164	〃 鉢	〃 (S-135 黒灰粘)			006	-	3.7+	-		○						○			
165	古土師 高坏	〃 (S-135 黒灰粘)			002	20.4*	5.4+	-		○				○		○		○	
166	〃 高坏	〃 (S-135 黒灰粘)	23	14-1	001	-	7.6+	11.5						○		○			
167	〃 高坏	〃 (S-135 黒灰粘)			003	-	1.9+	18.8*						○		○			
168	弥生 高坏	〃 (S-135 黒灰粘)			004	-	1.8+	-		○	○					○			
169	古土師 壺	〃 (S-135)	24	14-1	037	15.1	29.7	-			○			○		○			
170	〃 小形丸底壺	〃 (S-135)			028	-	3.5+	-		○				○	○	○			
171	〃 甕	〃 (S-135)	24	14-1	018	17.3	28.0	-		○	○	○			○		○		外面ヘラ書文
172	弥生 壺	〃 (S-135)			031	-	3.0+	-		○	○					○			
173	〃 甕	〃 (S-135)			029	-	3.6+	-	○		○					○			
174	〃 甕	〃 (S-135)			030	-	3.7+	-	○							○			
175	〃 甕	〃 (S-135)			032	-	2.3+	-		○									
176	〃 鉢?	〃 (S-135)			024	-	3.5+	-			○			○		○		○	
177	〃 鉢?	〃 (S-135)			026	-	2.7+	-						○				○	
178	〃 鉢	〃 (S-135)			025	-	2.9+	-		○						○			
179	〃 高坏	〃 (S-135)			027	-	3.3+	-			○					○			
180	古土師 高坏	〃 (S-135)			023	-	4.8+	-			○			○		○		○	
181	弥生 高坏	〃 (S-135)	24	14-1	019	-	10.4+	11.8			○			○	○	○			
182	古土師 高坏	〃 (S-135)	24	14-1	020	-	5.8+	-						○	○	○			
183	弥生 高坏	〃 (S-135)			021	-	8.5+	-			○				○				
184	〃 高坏	〃 (S-135)			022	-	4.0+	-						○					
185	〃 高坏?	〃 (S-135)			033	-	1.7+	-											
206	〃 甕	1SK217 (S-217)			001	17.6*	3.9+	-			○					○			
208	〃 甕	1SK218 (S-218)			007	-	4.5+	-	○							○			
209	〃 甕	1SK218 (S-218)			001	-	6.7+	-			○				○	○			
215	古土師 小形丸底壺	1SD120 (S-96)			002	12.8*	4.8+	-			○			○	○	○			

フケ1次遺物観察表 (4)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
216	弥生 甕	1SD120 (S-194)			001	-	5.1+	9.0*		○					○				
217	〃 甕	〃 (S-96)			001	18.0*	6.6+	-		○	○					○			
218	〃 甕	〃 (S-194)			002	-	3.8+	-		○	○					○			
219	古土師 甕	〃 (S-120)			009	-	1.2+	-	○	○						○	○		
220	〃 甕	〃 (S-120)			010	-	1.5+	-	○	○						○	○		
221	弥生 坏	〃 (S-96)			004	7.6*	1.7												手捏ね
222	古土師 小型特殊器台	〃 (S-96)			003	-	2.9+			○									
223	弥生 器台	〃 (S-120)			011	-	5.0+	11.0*			○					○			
224	〃 器台	〃 (S-120)			005	-	6.3+	20.0*	○		○					○			
248	〃 壺	1SD036 (S-36)			003	11.9*	3.4+	-						○	○			○	
255	〃 甕	1SD086 (S-86)			009	-	2.7+	5.6*		○						○			
256	〃 甕	〃 (S-86)			013	-	6.3+	-			○					○			
257	〃 甕	〃 (S-86)			012	-	7.8+	-			○					○			
258	〃 鉢	〃 (S-86)			003	-	5.6+	-			○					○			
259	〃 鉢	〃 (S-86)			011	15.0*	4.1+	-			○		○		○				
260	〃 鉢	〃 (S-86)			020	-	2.7+	-											
261	〃 高坏	〃 (S-86)			001	24.1*	4.2+	-		○				○		○		○	
262	〃 高坏	〃 (S-86)	31	15-1	002	-	12.9+	16.1*			○				○	○			
263	〃 高坏	〃 (S-86)			008	-	5.8+	15.4*			○			○		○			
264	〃 高坏	〃 (S-86)			007	-	10.4+	-						○		○	○		
265	〃 器台	〃 (S-86)			015	16.8*	5.2+	-		○	○					○			
266	〃 器台	〃 (S-86)			014	16.7*	4.2+	-		○	○					○			
277	〃 鉄斧	〃 (S-86)	32	30-1	024	4.1	3.0	1.0											
	土塊				023														
278	弥生 壺	1SD110 (S-110 上層)			009	-	2.5+	-		○					○				
279	〃 壺	〃 (S-110 上層)			014	-	4.3+	-	○						○				
280	〃 壺	〃 (S-110 上層)			032	-	3.6+	-			○				○	○			
281	古土師 小形丸底壺	〃 (S-110 上層)			025	11.3*	4.0+	-		○						○			
282	〃 小形丸底壺	〃 (S-110 上層)			010	-	4.2+	-						○	○	○			
283	〃 小形丸底壺	〃 (S-110 上層)	33	14-2	024	9.7*	5.0+	-		○	○		○			○			
284	〃 小形丸底壺	〃 (S-110 上層)			037	-	3.5+	-		○	○				○				
285	弥生 甕	〃 (S-110 上層)			011	21.6*	10.0+	-			○					○			
286	古土師 甕	〃 (S-110 上層)	33	14-2	006	18.2*	14.3+	-		○	○	○			○		○		
287	〃 甕	〃 (S-110 上層)	33	14-2	033	15.6*	10.3+	-							○				
288	〃 甕	〃 (S-110 上層)			008	14.7*	3.6+	-		○					○		○		
289	〃 甕	〃 (S-110 上層)			035	17.4*	3.4+	-		○					○				
290	〃 甕	〃 (S-110 上層)			007	15.4*	3.2+	-		○					○		○		
291	弥生 壺	〃 (S-110 上層)			023	-	3.4+	-		○				○		○			
292	古土師 甕	〃 (S-110 上層)			012	14.5*	2.0+	-		○					○				
293	〃 甕	〃 (S-110 上層)			034	15.0*	3.5+	-		○						○	○		
294	弥生 坏	〃 (S-110 上層)	33	14-2	001	12.8*	3.2	-					○		○	○			

フケ1次遺物観察表 (5)

No.	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
295	弥生 坏	1SD110 (S-110上層)			002	12.6*	3.7	-		○			○			○			
296	古土師 高坏	〃 (S-110上層)	34	14-2	013	-	11.1+	-					○	○		○	○	○	
297	弥生 高坏	〃 (S-110上層)			027	20.8*	5.2+	-						○	○	○			
298	〃 高坏	〃 (S-110上層)			031	-	2.9+	-			○					○			
299	〃 高坏	〃 (S-110上層)			005	-	1.9+	14.0*		○						○			
300	〃 高坏	〃 (S-110上層)			004	-	1.3+	11.6*		○						○			
301	〃 高坏	〃 (S-110上層)	34	14-2	036	-	8.7+	14.4*											
302	〃 高坏	〃 (S-110上層)			026	-	2.1+	19.0*								○			
303	〃 高坏	〃 (S-110上層)			028	-	7.2+	-		○							○		
304	〃 器台	〃 (S-110上層)			003	-	3.3+	-			○					○			
315	古土師 壺	〃 (S-110下層)			001	15.4*	4.8+	-		○					○				
316	〃 甕	〃 (S-110下層)			003	-	3.4+	-		○					○	○			
317	弥生 脚付鉢	〃 (S-110下層)			002	-	2.8+	16.0*		○	○								
318	古土師 甕	〃 (S-110)	35	14-2	002	24.2*	3.3+	-		○					○				
319	〃 甕	〃 (S-110)			009	-	1.7+	-											
320	〃 甕	〃 (S-110)			001	28.6*	10.7+	-		○					○			○	
321	〃 甕	〃 (S-110)			006	-	4.1+	-		○					○				
322	弥生 甕	〃 (S-110)			004	-	4.3+	9.0		○					○				
323	古土師 甕	〃 (S-110)			008	-	3.8+	-		○									
324	〃 甕	〃 (S-110)			007	17.4*	3.4+	-		○					○				
325	弥生 鉢	〃 (S-110)			003	-	6.7+	-		○					○	○			
329	〃 壺	1SD130 (S-130)			017	17.4*	3.0+	-		○					○				
330	〃 壺	〃 (S-130)			009	-	3.2+	-		○					○				
331	〃 壺	〃 (S-130)			005	-	4.1+	-		○				○	○				
332	〃 壺	〃 (S-130)			006	-	3.9+	-			○			○	○				
333	〃 壺?	〃 (S-130)			008	-	1.9+	4.2	○							○			
334	〃 甕	〃 (S-130)			011	22.0*	4.2+	-	○	○					○	○			
335	〃 甕	〃 (S-130)			001	16.8*	4.4+	-		○	○				○	○			
336	古土師 壺	〃 (S-130)			018	-	4.1+	-		○					○				
337	弥生 甕	〃 (S-130)			021	-	2.0+	-											
338	古土師 甕	〃 (S-130)			019	-	1.9+	-											
339	弥生 鉢	〃 (S-130)			004	16.0*	6.6+	-		○						○			
340	〃 鉢	〃 (S-130)			012	-	4.3+	-	○							○			
341	〃 鉢	〃 (S-130)			016	-	4.2+	-	○	○	○				○	○			
342	〃 鉢	〃 (S-130)			013	28.0*	7.5+	-		○	○					○			
343	〃 鉢	〃 (S-130)			007	28.0*	5.7+	-		○	○					○			
344	〃 鉢	〃 (S-130)			015	-	4.4+	-	○							○			
345	〃 坏	〃 (S-130)			002	7.4*	2.6	-							○				手捏ね
346	〃 高坏	〃 (S-130)			003	20.4*	4.3+	-		○	○			○	○			○	
347	〃 高坏	〃 (S-130)			010	-	7.1+	-						○			○	○	
350	石製品 砥石	〃 (S-130)			020	18.0	3.9	3.9											

フケ1次遺物観察表 (6)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
351	古土師 甕	1SD131 (S-131)			001	-	3.8+	-			○	○					○		外面に波状文
352	弥生 壺	1SD132 (S-132)			008	-	3.7+	-			○		○		○				
353	〃 壺	〃 (S-132)			007	-	3.9+	-	○							○			
354	古土師 甕	〃 (S-132)			005	-	1.5+	-	○										
355	弥生 鉢	〃 (S-132)			006	-	8.2+	-								○			
356	〃 鉢	〃 (S-132)			004	-	4.2+	-			○					○		○	
357	〃 高坏	〃 (S-132)			003	-	3.2+	-			○							○	
360	〃 甕	1SD134 (S-134)			001	-	2.4+	7.8*								○			
361	〃 壺	1SD200 (S-200)			001	28.0*	8.6+	-		○					○				
362	古土師 小型丸底壺	〃 (S-200)			010	-	4.7+	-		○			○		○	○			
363	〃 小型丸底壺	〃 (S-200)			006	10.0*	4.5+	-						○				○	
364	弥生 壺	〃 (S-200)			004	-	2.2+	-		○						○			
365	〃 壺	〃 (S-200)			016	-	2.4+	-											
366	〃 甕	〃 (S-200)			003	18.0*	11.8+	-			○					○			
367	古土師 甕	〃 (S-200)			011	-	4.2+	-	○						○				
368	〃 甕	〃 (S-200)			009	-	2.6+	-											
369	古土師 甕	1SD200 (S-200)			005	13.0*	2.8+	-			○					○	○		
370	弥生 鉢	〃 (S-200)			002	9.0*	4.1+	-											手捏ね
371	古土師 高坏	〃 (S-200)			007	-	2.8+	-		○									
372	弥生 器台	〃 (S-200)			008	-	7.3+	-											
374	石製品 不明製品	〃 (S-200)			018	1.4	1.7	0.75											
378	〃 石斧	〃 (S-200)			017	17.9	9.0	4.0											
379	弥生 鉢	1SD205 (S-205)			001	12.0*	4.2+	-											
380	〃 高坏	1SX112 (S-112)			001	-	4.1+	-		○				○				○	
381	〃 器台	〃 (S-112)			002					○	○				○				
385	〃 甕	1SX202 (S-202)			001	-	5.7+	-			○					○			
386	〃 壺	灰色土 (灰色土)			015	-	2.9+	-											竹管文あり
387	〃 壺	〃 (灰色土)			002	17.0*	11.4+	-			○					○			
388	古土師 小型丸底壺	〃 (灰色土)			007	11.8*	5.4+	-		○	○				○				
389	〃 壺	〃 (灰色土)			033	-	4.0+	-		○					○	○			
390	弥生 甕	〃 (灰色土)			019	27.0*	5.0+	-		○					○	○			
391	〃 甕	〃 (灰色土)			005	22.7*	10.0+	-		○	○					○			
392	古土師 甕	〃 (灰色土)			027	15.6*	2.5+	-											
393	弥生 壺	〃 (灰色土)			008	-	4.3+	-			○				○	○			
394	〃 鉢	〃 (灰色土)			031	18.1*	8.9+	-	○				○			○			
395	〃 鉢	〃 (灰色土)			017	-	3.0+	-		○	○				○	○			
396	〃 高坏	〃 (灰色土)			003	24.6*	3.9+	-		○	○			○				○	
397	〃 高坏	〃 (灰色土)			004	-	4.0+	-		○	○								内外面に暗文
398	〃 高坏	〃 (灰色土)			006	-	9.7+	-			○							○	
399	〃 高坏	〃 (灰色土)			016	-	3.9+	-			○			○	○	○			
400	〃 支脚	〃 (灰色土)	41	15-1	009	6.9+	7.9+	-		○					○	○			

フケ1次遺物観察表 (7)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
401	須 壺×坏c	灰色土 (灰色土)			001	-	1.7+	7.4*											
402	須賀 鉢	〃 (灰色土)			018	-	3.0+	-											
418	石製品 剝片	〃 (灰色土)			032	4.6	4.2	1.15											安山岩
419	弥生 壺	表土 (表土)			008	13.6*	5.6+	-		○	○				○	○			
420	〃 甕	〃 (表土)			013	-	2.1+	8.4*							○				
421	〃 鉢	〃 (表土)			017	16.5*	3.2+	-		○					○				
422	〃 壺	〃 (表土)			001	17.0*	6.5+	-		○			○		○	○			
423	古土師 甕	〃 (表土)			003	-	5.3+	5.5						○				○	
424	〃 甕	〃 (表土)			005	-	5.0+	5.6*		○						○			
425	弥生 甕	〃 (表土)			004	-	4.0+	6.4*											
426	〃 甕	〃 (表土)			012	-	9.5+	-			○					○			
427	〃 高坏	〃 (表土)			002	13.4*	3.6+	-	○						○				
428	古土師 小型特殊器台	〃 (表土)	44	15-1	006	-	6.1+	12.0*		○					○				
429	弥生 高坏	〃 (表土)			007	-	8.3+	13.0*		○			○		○	○			
430	須 蓋3	〃 (表土)			018	-	1.0+	-											
431	〃 坏c	〃 (表土)			019	-	1.9+	8.2*											
432	青磁 碗	〃 (表土)			016	-	5.2+	-											同安窯系
433	陶器 碗	〃 (表土)			015	-	3.5+	-											近世
441	石製品 砥石	〃 (表土)			023	7.2	8.7	1.4											
442	弥生 壺	その他 (S-176)			001	20.6*	9.4+	-		○	○					○			刻目文
443	〃 丸底壺	〃 (S-44)	47	15-1	001	14.4*	9.5	-		○	○				○	○			
444	古土師 小型丸底壺	〃 (S-47)			001	14.0*	6.1+	-			○					○			
445	弥生 壺	〃 (S-176)			002	-	2.6+	-		○	○					○			
446	〃 甕	〃 (S-116)			001	-	8.1+	-		○	○				○				
447	〃 甕	〃 (S-73)			001	13.9*	10.4	-		○	○				○	○			
448	〃 甕	〃 (S-74)			001	16.8*	7.5+	-		○	○				○	○			
449	〃 甕	〃 (S-14)			002	12.0*	3.3+	-		○						○			
450	〃 壺	〃 (S-39)			001	10.8*	3.1+	-			○					○			
451	古土師 甕	〃 (S-219)			001	16.4*	3.0+	-											
452	〃 壺?	〃 (S-8)			002	-	1.1+	-			○					○			
453	弥生 甕	〃 (S-28)			001	-	3.2+	-			○								刻目文
454	〃 壺	〃 (S-6)			001	-	3.2+	-		○					○	○			
455	弥生 壺	〃 (S-3)			001	-	4.2+	-		○					○	○			
456	〃 甕	〃 (S-8)			001	-	2.7+	-			○				○				
457	〃 甕	〃 (S-196)			001	-	4.3+	-								○	○		
458	〃 壺	〃 (S-176)			003	-	2.8+	-			○					○			手捏ね
459	〃 鉢	〃 (S-74)			002	-	2.7+	-		○			○		○				
460	〃 高坏	〃 (S-112)			001	-	4.1+	-		○				○					
461	〃 器台	〃 (S-159)			001	12.9*	13.4+	-		○	○				○	○	○		
540	石製品 砥石	〃 (S-76)			008	2.6	4.4	2.2											

フケ2次遺物観察表(1)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
1	弥生 壺	2SD001 (S-1)黒色土	60	24-1	007	23.8*	6.4+	-			○					○			
2	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	004	22.0*	11.1+	-		○	○				○	○			刻目
3	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	011	-	4.4+	-			○					○			刻目
4	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	003	23.7*	3.7+	-		○	○				○				刻目
5	〃 壺	〃 (S-1)黒色土			010	-	3.8+	-											
6	古土師 壺	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	008	-	5.8+	-		○					○		○		
7	弥生 壺	〃 (S-1)黒色土			005	15.7*	3.9+	-							○	○			
8	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	067	11.2*	6.8+	-		○					○	○			
9	〃 壺	〃 (S-1)黒色土			066	12.1*	3.6+	-			○					○			
10	〃 壺	〃 (S-3)腐植土			001	-	4.5+	-			○								
11	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	23-1	016	-	11.1+	-		○	○	○		○	○				
12	〃 壺	〃 (S-1)黒色土	60	23-1	036	-	9.4+	-			○		○	○	○	○			
13	古土師 小型丸底壺	〃 (S-1)黒色土			017	9.4*	5.0+	-			○				○	○			
14	弥生 壺	〃 (S-1)黒色土			039	-	5.7+	-			○		○	○	○				
15	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	002	-	6.3+	-		○						○			
16	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	001	-	8.2+	-		○	○					○			
17	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			006	-	19.0+	-			○			○	○	○			刻目
18	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			054	16.0*	5.9+	-		○	○				○				
19	古土師 甕	〃 (S-1)黒色土			056	13.9*	6.0+	-		○	○				○	○			
20	弥生 甕	〃 (S-1)黒色土			055	-	5.8+	-			○				○	○			
21	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			013	-	5.9+	-	○	○					○	○			
22	〃 壺×甕	〃 (S-1)黒色土			014	-	4.3+	7.8*			○					○			
23	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			020	-	5.0+	6.3	○							○			
24	古土師 甕	〃 (S-1)黒色土			057	-	4.4+	-	○							○	○		
25	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	053	17.6*	4.7+	-		○					○		○		
26	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	050	-	4.4+	-		○	○				○		○		
27	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	61	24-1	051	-	3.2+	-		○					○		○		
28	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			052	-	2.8+	-		○					○				
29	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			049	-	4.1+	-		○						○	○		
30	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			059	-	4.7+	-		○		○			○		○		波状文
31	弥生 甕	〃 (S-1)黒色土			015	15.4*	2.9+	-		○						○			
32	古土師 甕	〃 (S-1)黒色土			012	-	10.3+	-			○				○	○			
33	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	61	24-1	062	15.4*	4.5+	-		○					○		○		
34	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	60	24-1	064	14.8*	5.2+	-		○					○	○			
35	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			060	-	3.9+	-		○					○				
36	〃 甕	〃 (S-1)黒色土	61	24-1	061	-	5.3+	-		○					○		○		
37	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			065	-	4.3+	-											
38	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			059	-	4.9+	-		○					○		○		
39	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			063	-	4.3+	-		○					○				
40	〃 甕	〃 (S-1)黒色土			009	-	4.2+	-		○	○								
41	〃 鉢	〃 (S-1)黒色土	61	23-1	024	12.0*	4.8+	-		○			○		○				手捏ね

フケ2次遺物観察表(2)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
42	弥生 鉢	2SD001 (S-1)黒色土			038	12.0*	4.9+	-		○	○					○			
43	〃 鉢	〃 (S-1)黒色土	61	23-2	025	8.0	4.0	-			○								手捏ね
44	〃 鉢	〃 (S-1)黒色土			068	20.6*	6.4+	-			○					○			
45	古土師 壺×鉢	〃 (S-1)黒色土	61	23-2	021	-	2.2+	3.7							○				
46	弥生 高坏	〃 (S-1)黒色土			034	28.4*	6.3+	-			○			○		○		○	
47	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	035	-	10.6+	-					○						
48	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	037	-	9.5+	-			○				○				
49	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	022	-	6.7+	-			○				○		○		
50	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	030	-	11.1+	-			○								
51	古土師 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	028	-	6.8+	-			○			○	○	○			
52	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	029	-	7.4*	-					○	○	○				
53	弥生 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	023	-	4.2+	-		○					○				
54	古土師 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	032	-	3.0+	-						○			○		
55	弥生 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	031	-	5.3+	-			○				○				
56	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	018	-	2.5+	7.4		○	○					○			
57	〃 高坏	〃 (S-1)黒色土	62	23-2	027	-	2.5+	11.0*			○				○				
58	〃 器台	〃 (S-1)黒色土			026	-	8.3+	11.1*		○	○					○			
59	〃 支脚	〃 (S-1)黒色土	62	23-1	019	-	7.7+	-	○										
60	〃 支脚	〃 (S-1)黒色土			033	-	5.6+	10.0*		○	○								
61	須 坏蓋c1	〃 (S-1)黒色土			043	12.9	3.5	-											
62	〃 坏蓋	〃 (S-1)黒色土	62	24-2	042	15.1+*	2.8+	-											
63	〃 坏蓋	〃 (S-1)黒色土			044	11.2*	1.9+	-											
64	〃 坏a×c	〃 (S-1)黒色土			041	-	3.3+	-											
65	白磁 皿IX-1	〃 (S-1)黒色土	62	24-2	040	7.9*	1.5	5.2											中国磁器
66	染付 丸碗	〃 (S-1)黒色土			045	-	3.0	-											肥前系磁器
67	石製品 石斧	〃 (S-1)黒色土	62	30-1	048	13.5	5.4	1.7											緑色片岩製
68	〃 石鏃	〃 (S-1)黒色土			046	1.9	1.7	0.25											
69	〃 管玉	〃 (S-1)黒色土	62	30-1	069	2.2	0.6	0.6											
157	土製品 不明土製品	〃 (S-1)黒色土	67	25-1	072	3.7	3.6	3.3											
158	石製品 浮子	〃 (S-1)黒色土	67	30-1	047	5.8	4.0	2.4											軽石
70	古土師 甕	2SD008 (S-8)			003	-	3.3+	-			○						○		
71	弥生 甕	〃 (S-8)			002	-	2.6+	-											
72	〃 丸底壺	〃 (S-8)			001	11.0*	3.3+	-		○					○				
73	土師 壺	2SD011 (S-11)黒色土	63	25-2	052	17.3*	18.4+	-			○				○	○	○		
74	弥生 壺	〃 (S-11)黒色土	63	25-2	048	24.1*	18.7+	-			○					○			
75	〃 壺	〃 (S-11)黒色土			006	-	4.8+	-						○	○				
76	〃 壺	〃 (S-11)暗灰砂			004	-	2.2+	-			○						○		
77	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	25-2	009	20.7*	6.9+	-		○									
78	古土師 壺	〃 (S-11)黒色土	63	25-2	035	-	11.2+	-			○			○		○			
79	〃 小型丸底壺	〃 (S-11)黒色土	63	25-2	003	10.6	3.7+	-			○			○	○	○			
80	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	25-2	042	-	7.7+	-	○	○					○	○			櫛描文

フケ2次遺物観察表(3)

	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
81	古土師 壺	2SD011 (S-11)黒色土	63	26-2	053														拓本のみ
82	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	26-2	055														〃
83	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	26-2	057														〃
84	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	26-2	056														〃
85	〃 壺	〃 (S-11)黒色土	63	26-2	054														〃
86	〃 甕	〃 (S-11)黒色土	64	25-2	016	17.9*	11.9+	-	○	○					○	○	○		
87	〃 甕	〃 (S-11)黒色土	64	26-2	020	15.4*	5.7+	-	○								○		
88	〃 甕	〃 (S-11)黒色土	64	26-2	023	12.0*	4.2+	-	○								○		
89	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			025	13.0*	31.+	-		○					○		○		
90	〃 甕	〃 (S-11)暗灰砂			008	12.8*	4.2+	-				○				○			
91	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			024	15.6*	2.7+	-		○						○			
92	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			018	18.0*	3.0+	-											
93	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			034	18.8	2.8+	-											
94	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			033	19.0*	4.3+	-							○		○		
95	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			030	18.9*	2.3+	-								○			
96	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			031	17.0*	2.1+	-											
97	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			032	14.8*	2.9+	-							○				
98	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			037	17.0*	2.2+	-							○				
99	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			038	-	2.2+	-							○				
100	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			039	-	2.6+	-		○					○				
101	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			029	-	4.0+	-							○				
102	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			040	-	1.7+	-		○									
103	〃 甕	〃 (S-11)黒色土			041	-	3.2+	-		○									
104	〃 甕	〃 (S-11)暗灰砂			007	-	3.3+	-									○		
105	〃 甕	〃 (S-11)黒色土	64	26-2	001	-	6.6+	-			○	○					○		波状文
106	〃 甕	〃 (S-11)黒色土	64	26-2	002	-	6.2+	-			○						○		平行条線
107	〃 坏	〃 (S-11)黒色土			044	13.5*	1.9+	-							○	○			
108	〃 坏	〃 (S-11)黒色土			046	-	3.8+	-		○			○					○	
109	〃 坏	〃 (S-11)黒色土	64	25-2	043	11.2*	3.0+	-		○					○			○	
110	〃 坏	〃 (S-11)黒色土	64	25-2	045	11.4*	3.8+	-					○	○				○	
111	弥生 鉢	〃 (S-11)黒色土			007	-	2.3+	-		○								○	
112	古土師 鉢	〃 (S-11)黒色土			017	-	3.1+	-		○					○				
113	弥生 高坏	〃 (S-11)黒色土			060	-	5.0+	-						○				○	
114	古土師 高坏	〃 (S-11)黒色土			014	29.2*	5.1+	-		○	○					○		○	
115	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			013	-	3.5+	-						○		○		○	
116	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			012	-	4.4+	-			○								
117	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			010	21.5*	6.1+	-		○	○			○		○		○	
118	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土	65	26-1	050	21.0	14.5+	12.6						○				○	
119	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			015	-	3.5+	-		○				○	○	○		○	
120	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			011	-	4.4+	-			○							○	
121	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土	65	26-1	021	-	8.2+	14.2*		○				○	○	○		○	

フケ2次遺物観察表(4)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
122	古土師 高坏	2SD011 (S-11)黒色土			019	-	4.7+	18.0*			○					○		○	
123	弥生 高坏	〃 (S-11)暗灰砂			003	-	3.0+	-		○	○					○			
124	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			059	-	3.0+	20.6*		○	○				○	○			
125	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土			026	-	5.1+	26.0*			○			○		○		○	
126	古土師 高坏	〃 (S-11)黒色土			028	-	3.8+	12.0*		○						○			
127	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土	65	26-1	005	-	4.2+	22.0*			○			○		○			
128	〃 高坏	〃 (S-11)黒色土	65	26-1	004	-	5.0+	20.6*			○			○		○			
129	〃 小型特殊器台	〃 (S-11)黒色土			027	10.0*	1.8+	-											
130	〃 小型特殊器台	〃 (S-11)黒色土	65	26-1	022	10.0	7.7	12.1			○			○		○			
131	〃 小型特殊器台	〃 (S-11)黒色土			008	-	1.3+	-											
132	弥生 脚状土製品	〃 (S-11)黒色土			032	-	5.1	4.2		○									
159	石製品 剣片	〃 (S-11)黒色土			047	3.4	4.6	1.3											安山岩
133	〃 石鏃	2SD020 (S-20)			001	2.0	1.7	0.3											黒曜石
134	染付 碗	2SD023 (S-23)暗灰土	66	27-2	006	-	1.1+	3.0*											肥前磁器 近代
135	〃 碗	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	004	9.6*	4.1+	-											肥前磁器
136	〃 小碗	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	001	-	2.7+	2.9											肥前磁器 染付?
137	〃 碗	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	005	-	2.9+	4.0*											肥前磁器
138	〃 鉢	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	003	11.5*	4.4+	-											肥前磁器
139	青磁 碗	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	002	9.8*	3.2+	-											肥前磁器
140	陶器 褐釉 蓋	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	007	8.9*	1.4+	-											国産陶器
141	〃 擂鉢	〃 (S-23)暗灰土	66	27-2	008	-	4.6+	-											国産陶器
142	須 坏蓋	2SD025 (S-24)茶灰土			003	-	2.4+	-											
143	〃 坏蓋	〃 (S-24)茶灰土			002	-	2.0+	-											
144	弥生 坏	〃 (S-24)茶灰土			001	11.0*	3.9+	-							○				弥生×土師器
145	須 坏蓋	〃 (S-25)			005	9.0*	1.7+	-											
146	〃 蓋	〃 (S-25)	66	28-1	006	16.0	3.2	-											
147	〃 坏c 高台	〃 (S-25)			003	10.0*	0.8+	-											
148	〃 蓋	〃 (S-25)			001	-	4.1+	-											
149	〃 坏	〃 (S-25)	66	28-2	002	13.0*	2.2+	-											
150	〃 坏身	〃 (S-25)	66	28-2	004	13.2*	3.3	-											ヘラ記号あり
151	〃 坏身	2SD028 (S-28)	66	28-2	001	-	1.8+	-											
152	〃 甕	2SD031 (S-31)			001	21.8*	5.3+	-											
153	〃 坏身	2SD035 (S-35)			001	-	2.3+	-											
154	古土師 甕	2SD037 (S-37)			001	-	4.0+	-							○				黒色顔料
155	須 坏	2SD035 (S-35)			001	-	-	-											
156	〃 坏	2SD043 (S-43)			001	-	1.3+	5.2*											
160	陶器 褐釉 鉢×甕	2SK015 (S-15)暗茶土			001	-	5.0+	-											国産陶器
161	古土師 鉢	2SK026 (S-26)			001	13.2*	3.1+	-											
162	古土師 小型丸底壺	2SK033 (S-33)			002	-	3.8+	-		○	○				○				
163	弥生 壺	〃 (S-33)			001	-	3.3+	-		○									
164	土師 坏	2SK095 (S-95)暗茶灰粘			001	14.0*	4.3+	-					○						

フケ2次遺物観察表(5)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
165	弥生 壺	2SX005 (S-5)埋土			001	10.9*	3.7+	-		○									
166	〃 不明	2SX009 (S-9)			002	24.1*	3.7+	-										○	
167	〃 不明	〃 (S-9)			003	-	2.3+	-											
168	土師 坏	〃 (S-9)			001	12.9	3.1+	-		○			○		○				
169	弥生 甕	2SX010 (S-10)			001	-	2.8+	-			○				○				
170	土師 鉢	〃 (S-10)			002	-	2.5+	-											
171	〃 壺	2SX016 (S-16)			002	-	2.6+	-											
172	古土師 甕	〃 (S-16)			001	-	2.6+	-	○								○		
173	弥生 甕	2SX027 (S-27)			002	15.0*	3.5+	-											
174	〃 甕	〃 (S-27)			001	17.0*	3.3+	-											
175	須 坏	2SX030 (S-30)			001	1.7+	-	-											
176	古土師 小型丸底壺	2SX012 (S-12)黒色粘	70	27-1	006	12.0*	4.8+	-						○				○	
177	〃 甕	〃 (S-12)黒色粘	70	27-1	003	18.0*	10.2	-									○		
178	弥生 甕	〃 (S-12)黒色粘	70	27-1	005	-	12.5+	-		○	○					○			
179	古土師 高坏	〃 (S-12)黒色粘			004	-	-	-								○			
180	〃 高坏	〃 (S-12)黒色粘	70	27-1	001	-	12.1+	-			○			○					
181	弥生 壺	2SX021 (S-21)黒色土			002	-	2.1+	-		○	○						○		
182	土師 鉢	〃 (S-19)茶褐粘			001	-	3.5+	-							○		○		
183	弥生 壺	〃 (S-21)黒色土			001	13.0+	2.7	-											
184	木製品 杭	〃 (S-19)杭			001	4.4	4.0												
185	〃 杭	〃 (S-19)杭			002	4.7	4.0												
186	弥生 壺	2SX034 (S-34)			001	23.8*	6.1+	-		○	○				○	○			
187	〃 壺	2SX044 (S-44)			001	-	3.1+	-							○				
188	古土師 甕	〃 (S-44)			002	-	3.1+	-		○								○	
189	瓦質 擂鉢	〃 (S-47)			001	-	0.4+	-											
190	須 蓋	2SX053 (S-53)	71	28-1	001	17.1	3.4	-											
191	石製品 石包丁	2SX058 (S-58)	71	30-1	001	3.8	6.4	0.6											
192	金属 銅銭	2SX061 (S-61)	71	30-1	001	2.5	2.5	0.1											
193	磁器 染付皿	2SX074 (S-174)			001	-	2.8+	-											肥前磁器
194	土師 坏	2SX076 (S-76)			001	13.2*	5.7+	-					○					○	黒色顔料内面塗布
195	〃 坏	2SX076 (S-76)			002	-	3.9+	-					○					○	
196	〃 坏	2SX099 (S-99)			001	12.2*	3.7+	-					○		○				
197	土製品 フイゴ羽口	2SX101 (S-101)			001	3.1	3.2	1.8											
198	石製品 石鏃	暗灰色土 暗灰色土	72	30-2	016	2.5	2.1	0.4											
199	〃 石鏃	〃 暗灰色土	72	30-2	017	3.8	2.1	0.4											
200	〃 石鏃	〃 暗灰色土	72	30-2	010	2.1	1.2	0.3											安山岩
201	須 坏	〃 暗灰色土			015	10.1*	3.7+	-											
202	〃 坏	〃 暗灰色土			018	17.5*	1.4	-											
203	〃 甕	〃 暗灰色土			003	-	2.2+	-											ヘラ描き
204	青磁 碗	〃 暗灰色土	72	29	008	-	1.9+	9.0*											越州窯系青磁
205	白磁 碗	〃 暗灰色土	72	29	002	-	2.8+	6.4*											中国磁器

フケ2次遺物観察表(6)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたき	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
206	青磁 碗	暗灰色土 暗灰色土	72	29	002	-	2.3+	6.0*											龍泉窯系青磁
207	〃 碗	〃 (S-87)			001	9.0*	4.1+	-											龍泉窯系青磁
208	白磁 皿IX-1	〃 暗灰色土	72	29	005	8.6*	1.5	5.2*											中国磁器
209	〃 皿VII	〃 暗灰色土			006	-	0.9+	4.2*											中国磁器
210	須賀 鉢	〃 暗灰色土	72	29	001	25.2*	2.7+	-											
211	土師質 鍋	〃 暗灰色土	72	29	014	-	5.1+	-											
212	須賀 鉢	〃 (S-87)			002	-	1.6+	-											
213	染付 碗	〃 暗灰色土	72	29	009	-	2.4+	4.4											明染付
214	古土師 器台模造品	〃 暗灰色土			012	-	2.8+	2.6*											手捏ね
215	瓦質 鈴	〃 (S-87)	72	30-1	003	2.5	2.6	0.3											
217	金属 キセル	〃 暗灰色土	72	30-1	004	1.0	5.9	-											
218	瓦 瓦玉	〃 暗灰色土			013	2.7	2.8	1.9											
219	石製品 石鏃	耕土 耕土			021	2.4	1.7	0.5											
220	弥生 大甕	〃 耕土			017	-	4.4+	-		○									
221	古土師 高坏	〃 耕土			011	-	2.7+	-					○	○		○			
222	〃 脚付鉢?	〃 耕土			013	-	-	-						○	○				
223	〃 高坏	〃 耕土			012	-	8.0+	-			○				○		○		
224	須 脚付鉢	〃 耕土			009	-	1.5+	8.8*											
225	弥生 鉢	〃 耕土			014	9.2*	5.0	3.4											手捏ね
226	土師 鉢	〃 耕土	73	28-2	015	13.3*	7.7	7.4											
227	〃 脚付鉢	〃 耕土			010	-	4.5+	9.0*			○			○	○			○	
228	須 蓋	〃 耕土			008	14.8*	2.0+												
229	〃 蓋	〃 耕土			018	17.0*	1.4+												
230	〃 坏	〃 耕土			005	-	1.2+	9.3*											
231	〃 坏	〃 耕土			006	-	2.4+	10.6*											
232	〃 坏	〃 耕土			004	-	2.2+	9.8*											
233	〃 坏	〃 耕土			007	-	2.0+	11.2*											
234	瓦 平瓦	〃 耕土			020														格子叩
235	白磁 皿IV	〃 耕土	73	29	003	-	1.3+	4.6*											中国磁器
236	青磁 碗	〃 耕土	73	29	002	-	1.8+	5.0											同安窯系青磁
237	瓦質 火鉢	〃 耕土			019	-	3.9+	-											
238	陶器 皿	〃 耕土	73	29	001	10.6*	2.5	6.6*											古瀬戸

フケ3次遺物観察表

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面						内面				備考 (+は欠損、＊は復原値)
									たたき	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	
1	石製品 砥石	3SD016 (S-16)			002	8.3	5.2	1.9											
2	須恵器	〃 (S-16)			001	-	1.0+	-											
3	古土師 高坏	3SK004 (S-4)			001	-	2.8+	-			○			○	○	○			
4	〃 鉢	3SK006 (S-6)暗灰色土			001	17.2*	3.2+	-		○			○			○			
5	〃 丸底壺	〃 (S-6)			002	-	3.2+	-		○	○					○			
6	弥生 器台	〃 (S-6)			003	-	3.2+	-								○			
7	古土師 器台	〃 (S-6)			001	-	2.8+	13.2*		○							○		
8	〃 高坏	〃 (S-6)暗灰色土			002	-	3.2+	15.3*		○	○					○			
9	弥生 鉢	3SX012 (S-12)			001	-	2.3+	-		○						○			

フケ4次遺物観察表

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
1	弥生 高坏	4SD001 (S-1)灰色粘土			003	33.7*	1.6+	-											
2	〃 甕	〃 (S-1)灰色粘土			004	-	5.1+	-		○	○				○				
3	土師 丸底坏	〃 (S-1)灰色粘土			005	-	7.1+	-					○		○				
4	〃 壺	〃 (S-1)灰色粘土			001	10.0*	5.9+	-		○			○				○		
5	〃 甕	〃 (S-1)灰色粘土			006	-	6.1+	-											
6	須 器型土器	〃 (S-1)灰色粘土			002	-	3.9+	3.8											
7	〃 坏蓋	〃 (S-1)灰色粘土			001	-	1.6+	-											
8	〃 坏蓋	4SD002 (S-2)			001	-	0.8+	-											
9	〃 坏	4SD003 (S-3)			002	-	2.1+	10.2+											
10	陶器 擂鉢	〃 (S-3)			001	-	4.6+	-											国産陶器
11	〃 皿	〃 (S-3)			003	13.2*	2.5+	-											国産陶器 近世
12	弥生 甕	4SX005 (S-5c)			004	-	1.4+	-			○					○			
13	須 壺	表土 表土			001	-	1.5+	10.4*											
14	弥生 坏	〃 表土			003	-	2.3+	9.2*											
15	白磁 碗 VIII	〃 表土			002	-	2.8+	6.5*											中国磁器

フケ1次加工土器片観察表(1)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
6	加工土器片	1SB215 (S-60)			003	5.7	6.6	0.7	70	加工土器片	1SB230 (S-65)			012	2.6	3.3	0.7
7	〃	〃 (S-90)			002	4.1	5.4	0.8	77	〃	1SB235 (S-162)			001	4.6	6.3	0.6
8	〃	〃 (S-95)			001	3.6	5.1	0.9	78	〃	〃 (S-54)			008	5.1	6.1	1.1
9	〃	〃 (S-80)			002	4.6	5.1	0.7	79	〃	〃 (S-114)			003	4.3	5.4	0.6
10	〃	〃 (S-80)			001	5.3	5.7	0.7	80	〃	〃 (S-54)			007	2.2	3.3	0.7
11	〃	〃 (S-80)			003	3.4	4.8	1.0	81	〃	〃 (S-54)			006	3.1	3.5	0.8
12	〃	〃 (S-95)			004	2.8	4.3	0.8	82	〃	〃 (S-54)			009	3.3	2.6	0.5
13	〃	〃 (S-60)			002	2.5	4.3	0.8	83	〃	〃 (S-162)			002	2.5	3.1	0.7
14	〃	〃 (S-95)			006	2.2	2.9	0.5	84	〃	〃 (S-54)			005	3.1	4.1	1.0
15	〃	〃 (S-95)			005	2.5	3.6	0.8	97	〃	1SB245 (S-109)			007	3.9	5.2	1.2
16	〃	〃 (S-80)			005	2.0	2.0	0.5	99	〃	1SX105 (S-105)			002	4.1	4.5	0.8
17	〃	〃 (S-60)			005	2.3	2.6	0.8	100	〃	〃 (S-105)			001	4.0	5.0	0.6
18	〃	〃 (S-60)			004	2.5	3.4	0.9	101	〃	〃 (S-105)			004	1.9	3.0	0.7
19	〃	〃 (S-95)			002	2.3	3.1	0.6	102	〃	〃 (S-105)			003	3.2	4.7	0.6
20	〃	〃 (S-95)			003	2.1	2.1	0.6	103	〃	〃 (S-105)			005	2.3	3.7	0.6
21	〃	〃 (S-80)			004	2.7	3.1	0.7	115	〃	1SK001 (S-1)			012	2.8	3.0	0.6
33	〃	〃 (S-30)			001	2.7	3.6	0.6	116	〃	〃 (S-1)			013	2.4	3.4	0.6
34	〃	〃 (S-15)			003	2.8	3.6	0.7	134	〃	1SK010 (S-10炭層以下)			001	4.1	4.9	0.9
35	〃	〃 (S-15)			002	2.6	3.9	0.7	135	〃	〃 (S-10炭層以下)			002	4.2	4.8	0.6
36	〃	1SB220 (S-108)			003	2.3	3.8	0.7	136	〃	〃 (S-10炭層以下)			003	1.9	2.1	0.6
37	〃	〃 (S-92)			003	5.7	7.8	1.4	145	〃	1SK135 (S-135黒灰色粘)			018	3.9	6.1	0.9
38	〃	〃 (S-15)			004	2.2	4.0	0.7	146	〃	〃 (S-135黒灰色粘)			016	4.6	5.7	1.0
39	〃	〃 (S-94)			001	2.2	3.4	0.7	147	〃	〃 (S-135黒灰色粘)			017	4.3	5.3	1.0
40	〃	〃 (S-15)			005	2.1	3.2	0.8	148	〃	〃 (S-135黒灰色粘)			015	5.5	6.1	0.7
41	〃	〃 (S-15)			006	1.9	4.1	0.6	149	〃	〃 (S-135灰色粘)			002	5.0	6.3	0.6
42	〃	〃 (S-92)			005	2.0	3.3	0.9	150	〃	〃 (S-135灰色粘)			001	5.3	5.9	1.0
43	〃	〃 (S-92)			004	3.5	4.5	0.8	151	〃	〃 (S-135灰色粘)			003	5.1	7.0	0.9
44	〃	〃 (S-15)			001	3.1	3.1	0.9	186	〃	〃 (S-135)			034	6.3	8.0	0.7
45	〃	〃 (S-40)			001	3.7	5.0	0.9	187	〃	〃 (S-135)			008	5.9	7.1	1.0
51	〃	1SB225 (S-70)			001	3.6	4.3	1.5	188	〃	〃 (S-135)			002	4.4	5.7	0.8
52	〃	〃 (S-20)			001	4.1	5.1	1.3	189	〃	〃 (S-135)			003	6.0	7.4	0.9
53	〃	〃 (S-70)			002	3.7	5.3	0.9	190	〃	〃 (S-135)			004	4.2	6.3	0.7
61	〃	1SB230 (S-65)			006	4.8	4.9	0.6	191	〃	〃 (S-135)			017	4.0	5.5	1.0
62	〃	〃 (S-65)			010	3.8	5.0	0.6	192	〃	〃 (S-135)			035	3.8	4.7	0.6
63	〃	〃 (S-65)			009	3.2	5.2	0.6	193	〃	〃 (S-135)			036	4.5	5.1	0.6
64	〃	〃 (S-65)			002	4.2	4.8	0.8	194	〃	〃 (S-135)			001	4.6	4.7	1.2
65	〃	〃 (S-65)			007	4.8	6.9	0.6	195	〃	〃 (S-135)			005	4.5	5.6	0.8
66	〃	〃 (S-65)			008	4.4	5.0	0.7	196	〃	〃 (S-135)			016	3.7	4.4	0.4
67	〃	〃 (S-65)			011	3.3	4.1	0.8	197	〃	〃 (S-135)			010	4.6	4.9	0.5
68	〃	〃 (S-125)			001	3.2	3.5	1.0	198	〃	〃 (S-135)			009	2.8	4.0	0.8
69	〃	〃 (S-65)			001	2.2	1.9	0.8	199	〃	〃 (S-135)			011	3.8	4.0	0.6

フケ1次加工土器片観察表(2)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
200	加工土器片	1SK135 (S-135)			006	4.3	4.3	0.9	267	加工土器片	1SD086 (S-86)			005	5.6	5.3	1.5
201	〃	〃 (S-135)			013	3.2	4.2	0.5	268	〃	〃 (S-86)			022	4.8	5.2	0.9
202	〃	〃 (S-135)			012	3.9	4.7	0.8	269	〃	〃 (S-86)			021	3.4	4.0	0.8
203	〃	〃 (S-135)			007	3.3	4.4	0.4	270	〃	〃 (S-86)			004	4.1	4.5	0.6
204	〃	〃 (S-135)			014	2.9	3.3	0.8	271	〃	〃 (S-86)			010	4.2	4.7	0.7
205	〃	〃 (S-135)			015	3.2	3.7	0.5	272	〃	〃 (S-86)			016	3.5	4.8	0.7
207	〃	〃 (S-217)			002	7.8	10.1	1.3	273	〃	〃 (S-86)			018	2.9	4.4	0.9
210	〃	〃 (S-218)			004	5.7	9.8	0.8	274	〃	〃 (S-86)			017	2.4	2.6	0.5
211	〃	〃 (S-218)			003	7.3	12.3	0.8	275	〃	〃 (S-86)			019	2.1	4.3	0.8
212	〃	〃 (S-218)			006	11.5	11.8	0.9	276	〃	〃 (S-86)			006	2.1	2.6	1.2
213	〃	〃 (S-218)			002	11.0	1.4	1.5	305	〃	1SD110 (S-110上層)			030	3.0	3.5	0.6
214	〃	〃 (S-218)			005	3.3	3.7	0.7	306	〃	〃 (S-110上層)	34	14-2	019	3.5	4.3	1.1
225	〃	1SD120 (S-193)			004	5.0	5.4	1.3	307	〃	〃 (S-110上層)			017	4.6	5.8	0.8
226	〃	〃 (S-120)			002	5.0	6.6	1.2	308	〃	〃 (S-110上層)	34	14-2	029	4.6	4.4	0.9
227	〃	〃 (S-193)			001	5.4	6.8	0.6	309	〃	〃 (S-110上層)			022	3.3	4.5	0.5
228	〃	〃 (S-120)			006	4.7	6.8	1.6	310	〃	〃 (S-110上層)			016	3.3	3.3	0.6
229	〃	〃 (S-120)			001	5.9	7.6	0.7	311	〃	〃 (S-110上層)			021	3.6	6.8	0.8
230	〃	〃 (S-194)			004	6.2	7.6	0.9	312	〃	〃 (S-110上層)			018	4.5	6.0	0.5
231	〃	〃 (S-193)			003	3.5	4.2	0.5	313	〃	〃 (S-110上層)			020	3.2	4.8	0.7
232	〃	〃 (S-193)			002	3.5	4.7	0.6	314	〃	〃 (S-110上層)	35	14-2	015	11.3	13.9	0.8
233	〃	〃 (S-96)			008	3.2	4.2	0.5	326	〃	〃 (S-110上層)			005	2.8	3.9	0.8
234	〃	〃 (S-120)			008	3.8	4.1	0.5	327	〃	〃 (S-110上層)			011	4.5	6.7	0.5
235	〃	〃 (S-120)			003	4.1	4.6	0.6	328	〃	〃 (S-110上層)			010	5.7	7.7	0.8
236	〃	〃 (S-96)			006	4.0	4.6	0.9	348	〃	1SD130 (S-130)			022	3.5	3.8	0.8
237	〃	〃 (S-96)			005	4.1	5.1	1.4	349	〃	〃 (S-130)			014	5.0	6.1	1.1
238	〃	〃 (S-96)			007	3.5	4.4	0.8	358	〃	1SD132 (S-132)			001	2.8	3.0	0.6
239	〃	〃 (S-97)			001	3.2	4.2	0.8	359	〃	〃 (S-132)			002	2.5	2.5	0.5
240	〃	〃 (S-120)			007	3.0	3.5	0.7	373	〃	1SD200 (S-200)			015	2.9	2.7	0.7
241	〃	〃 (S-97)			002	3.6	3.8	0.9	375	〃	〃 (S-200)			013	3.9	4.0	0.5
242	〃	〃 (S-120)			004	2.9	3.2	0.5	376	〃	〃 (S-200)			014	3.9	3.4	0.4
243	〃	〃 (S-97)			003	3.3	3.9	1.6	377	〃	〃 (S-200)			012	4.0	5.2	0.7
244	〃	〃 (S-96)			010	2.5	3.1	0.5	382	〃	1SX112 (S-93)			001	3.3	4.2	0.8
245	〃	〃 (S-96)			011	2.0	3.6	0.7	383	〃	〃 (S-112)			004	3.9	4.5	0.8
246	〃	〃 (S-194)			003	4.9	6.5	0.9	384	〃	〃 (S-112)			003	5.6	7.1	1.0
247	〃	〃 (S-96)			009	2.9	3.6	0.5	403	〃	灰色土 (灰色土)			020	7.9	11.5	1.5
249	〃	1SD036 (S-36)			004	2.2	2.3	0.3	404	〃	〃 (灰色土)			022	7.8	9.2	1.1
250	〃	〃 (S-36)			007	1.8	1.9	0.6	405	〃	〃 (灰色土)			023	5.8	7.2	1.1
251	〃	〃 (S-36)			006	2.1	2.0	0.5	406	〃	〃 (灰色土)			013	5.2	6.4	1.3
252	〃	〃 (S-36)			005	1.8	2.2	0.4	407	〃	〃 (灰色土)			021	4.1	6.4	1.1
253	〃	〃 (S-36)			001	2.7	3.4	0.5	408	〃	〃 (灰色土)			010	4.2	5.0	1.2
254	〃	〃 (S-36)			002	2.9	5.0	0.8	409	〃	〃 (灰色土)			012	4.4	7.3	0.7

フケ1次加工土器片観察表(3)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
410	加工土器片	灰色土 (灰色土)			014	5.3	8.4	0.8	488	加工土器片	その他 (S-5)			004	2.1	2.0	1.3
411	〃	〃 (灰色土)			024	7.2	7.3	0.8	489	〃	〃 (S-189)			003	4.3	5.0	0.9
412	〃	〃 (灰色土)			011	4.7	5.3	1.2	490	〃	〃 (S-42)			003	3.2	3.5	0.5
413	〃	〃 (灰色土)			026	2.7	4.3	0.7	491	〃	〃 (S-45)			003	3.7	3.6	0.6
414	〃	〃 (灰色土)			029	3.2	3.7	0.7	492	〃	〃 (S-21)			002	3.8	4.1	4.0
415	〃	〃 (灰色土)			025	3.5	4.8	0.8	493	〃	〃 (S-5)			003	3.4	3.2	0.6
416	〃	〃 (灰色土)			030	3.1	3.1	0.7	494	〃	〃 (S-182)			002	3.6	4.2	0.5
417	〃	〃 (灰色土)			028	3.4	3.7	0.8	495	〃	〃 (S-173)			001	3.5	3.6	0.7
434	〃	表土 (表土)			020	5.0	4.9	1.0	496	〃	〃 (S-21)			001	3.8	4.2	0.6
435	〃	〃 (表土)			010	4.6	5.5	0.9	497	〃	〃 (S-167)			001	3.1	4.2	0.8
436	〃	〃 (表土)			011	5.1	6.2	0.7	498	〃	〃 (S-179)			002	3.3	3.4	0.7
437	〃	〃 (表土)			021	13.4	16.8	1.8	499	〃	〃 (S-5)			002	4.5	4.8	0.5
438	〃	〃 (表土)			022	16.4	19.0	2.0	500	〃	〃 (S-59)			001	3.6	4.9	0.7
439	〃	〃 (表土)			014	7.9	8.9	1.3	501	〃	〃 (S-34)			001	3.4	4.5	0.7
440	〃	〃 (表土)			009	5.1	6.2	0.9	502	〃	〃 (S-192)			002	3.1	4.5	0.7
462	〃	その他 (S-76)			002	6.1	6.2	0.6	503	〃	〃 (S-24)			001	2.6	3.6	0.7
463	〃	〃 (S-116)			002	5.6	6.7	0.9	504	〃	〃 (S-14)			001	2.0	3.8	0.6
464	〃	〃 (S-166)			001	5.6	6.7	1.1	505	〃	〃 (S-44)			002	2.9	3.5	0.5
465	〃	〃 (S-179)			001	6.5	7.7	1.4	506	〃	〃 (S-106)			001	3.0	3.6	0.6
466	〃	〃 (S-76)			001	4.6	6.9	0.7	507	〃	〃 (S-167)			002	2.4	2.7	0.7
467	〃	〃 (S-305)			001	4.5	6.1	1.0	508	〃	〃 (S-59)			006	2.5	2.9	1.0
468	〃	〃 (S-222)			001	4.4	6.5	1.1	509	〃	〃 (S-91)			001	2.9	3.1	0.7
469	〃	〃 (S-192)			001	4.9	5.4	0.7	510	〃	〃 (S-192)			004	2.6	3.7	0.5
470	〃	〃 (S-76)			004	4.1	5.9	0.7	511	〃	〃 (S-172)			002	2.6	4.1	0.6
471	〃	〃 (S-182)			001	3.9	5.6	0.8	512	〃	〃 (S-79)			001	2.6	3.6	0.7
472	〃	〃 (S-189)			002	4.0	5.9	0.9	513	〃	〃 (S-45)			002	3.4	4.3	0.9
473	〃	〃 (S-174)			001	3.7	4.0	0.7	514	〃	〃 (S-42)			002	2.4	3.1	0.6
474	〃	〃 (S-172)			001	4.0	5.5	0.7	515	〃	〃 (S-99)			001	2.7	3.5	0.9
475	〃	〃 (S-187)			001	4.0	5.9	0.4	516	〃	〃 (S-196)			002	2.2	3.8	0.7
476	〃	〃 (S-98)			001	3.5	3.3	0.9	517	〃	〃 (S-164)			001	3.0	3.4	0.6
477	〃	〃 (S-192)			003	3.6	4.5	0.8	518	〃	〃 (S-72)			001	2.7	3.5	0.6
478	〃	〃 (S-189)			001	4.2	5.7	0.9	519	〃	〃 (S-164)			002	2.8	2.9	0.9
479	〃	〃 (S-76)			005	4.0	4.6	1.1	520	〃	〃 (S-42)			001	2.7	3.3	0.5
480	〃	〃 (S-168)			001	4.3	4.4	0.9	521	〃	〃 (S-99)			002	2.1	2.4	0.7
481	〃	〃 (S-45)			004	2.6	3.4	0.6	522	〃	〃 (S-207)			001	2.9	3.1	0.9
482	〃	〃 (S-310)			001	2.9	3.4	0.8	523	〃	〃 (S-106)			002	2.9	3.2	0.8
483	〃	〃 (S-207)			002	2.1	2.7	0.7	524	〃	〃 (S-59)			003	2.2	3.3	0.7
484	〃	〃 (S-76)			003	2.9	4.0	0.5	525	〃	〃 (S-76)			006	3.2	3.5	0.8
485	〃	〃 (S-310)			002	2.5	2.7	0.5	526	〃	〃 (S-76)			007	2.7	2.9	0.6
486	〃	〃 (S-3)			001	2.2	2.6	0.5	527	〃	〃 (S-164)			003	2.1	2.5	0.8
487	〃	〃 (S-164)			004	1.6	1.7	0.6	528	〃	〃 (S-187)			002	2.2	3.7	0.6

フケ1次加工土器片観察表(4)

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
529	加工土器片	その他 (S-99)			003	2.0	2.3	0.7
530	〃	〃 (S-84)			001	1.9	1.9	0.5
531	〃	〃 (S-59)			002	2.8	4.1	0.5
532	〃	〃 (S-183)			001	1.8	3.4	0.4
533	〃	〃 (S-52)			001	3.0	4.7	1.1
534	〃	〃 (S-45)			001	3.0	2.8	1.3
535	〃	〃 (S-174)			002	2.9	3.3	0.6
536	〃	〃 (S-59)			004	2.6	3.1	0.7
537	〃	〃 (S-59)			005	2.3	2.5	0.5
538	〃	〃 (S-44)			004	2.4	2.8	0.7
539	〃	〃 (S-44)			003	2.5	2.5	0.5

フケ2次加工土器片観察表

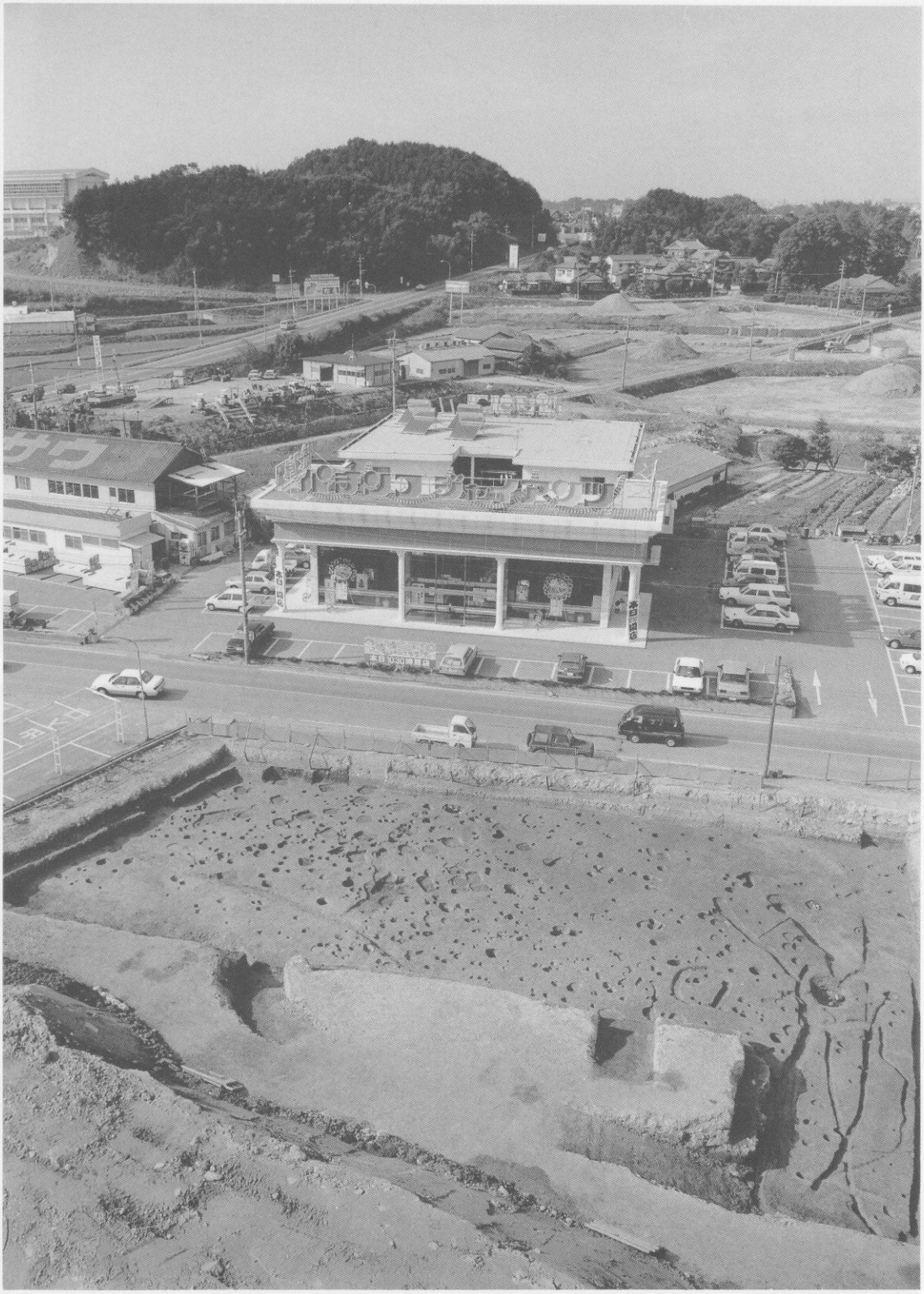
No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	2SD001 (S-1黒色土)			070	4.1	6.4	1.1
	〃	〃 (S-1黒色土)			071	4.3	4.7	0.4
	〃	〃 (S-1)			001	3.9	6.1	0.8
	〃	2SD008 (S-8)			004	3.2	5.1	0.5
	〃	〃 (S-8)			005	4.2	5.8	0.8
	〃	2SD011 (S-11黒色土)			061	3.4	3.3	0.3
	〃	〃 (S-11暗灰砂)			001	5.3	7.7	0.4
	〃	〃 (S-11暗灰砂)			002	4.3	4.1	0.8
	〃	〃 (S-11暗灰砂)			003	6.5	9.2	0.8
	〃	〃 (S-11暗灰砂)			004	7.1	5.5	0.8
	〃	2SD037 (S-37)			002	3.0	3.8	0.8
	〃	〃 (S-37)			003	2.9	4.7	0.7
	〃	2SD042 (S-42)			002	3.4	4.4	0.8
	〃	〃 (S-42)			003	3.4	4.3	0.6
216	加工陶器片	暗灰色土 暗灰色土	72	29-1	007	3.6	4.1	0.6

フケ3次加工土器片観察表

No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	3SK006 (S-16)			004	4.3	5.1	0.5
	〃	3SX008 (S-8)			001	2.4	2.8	0.5
	〃	3SX009 (S-9)			001	2.3	2.6	0.85

フケ4次加工土器片観察表

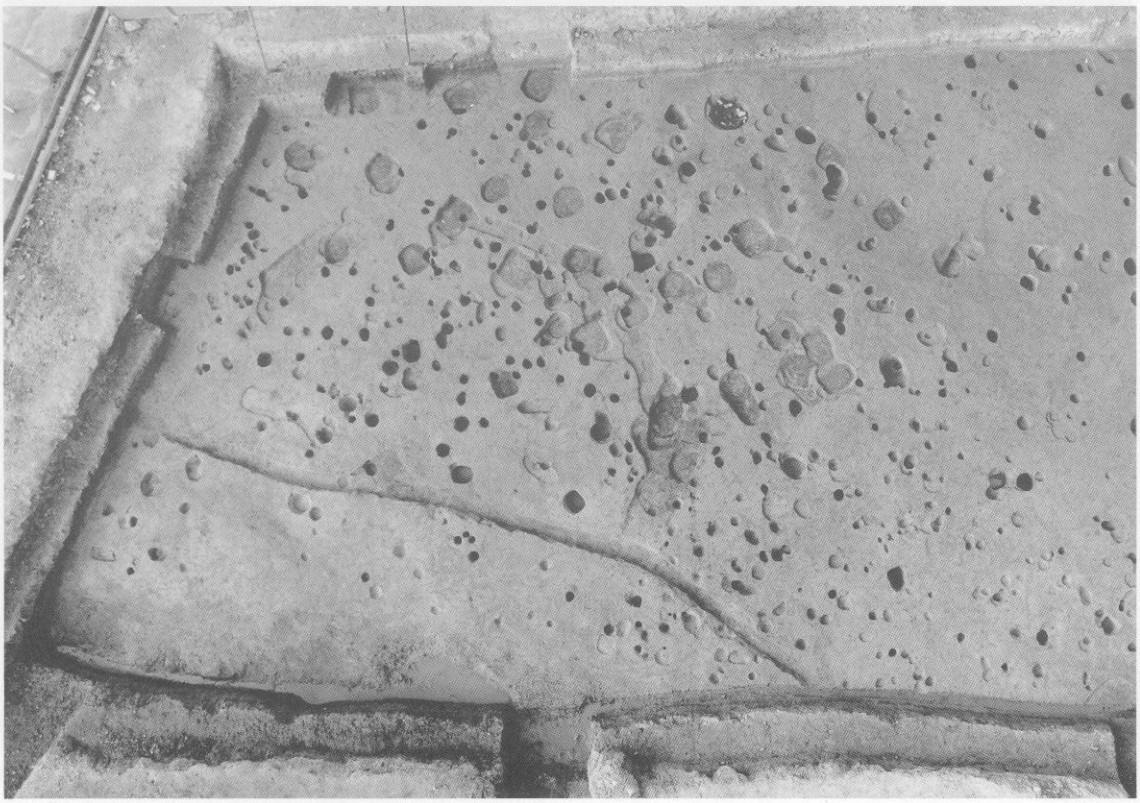
No,	器種	遺構	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	4SX005 (S-5a)			001	6.5	7.4	0.9
	〃	〃 (S-5c)			001	2.4	4.2	0.3
	〃	〃 (S-5c)			002	2.5	3.1	0.5
	〃	〃 (S-5c)			003	4.7	6.2	0.8



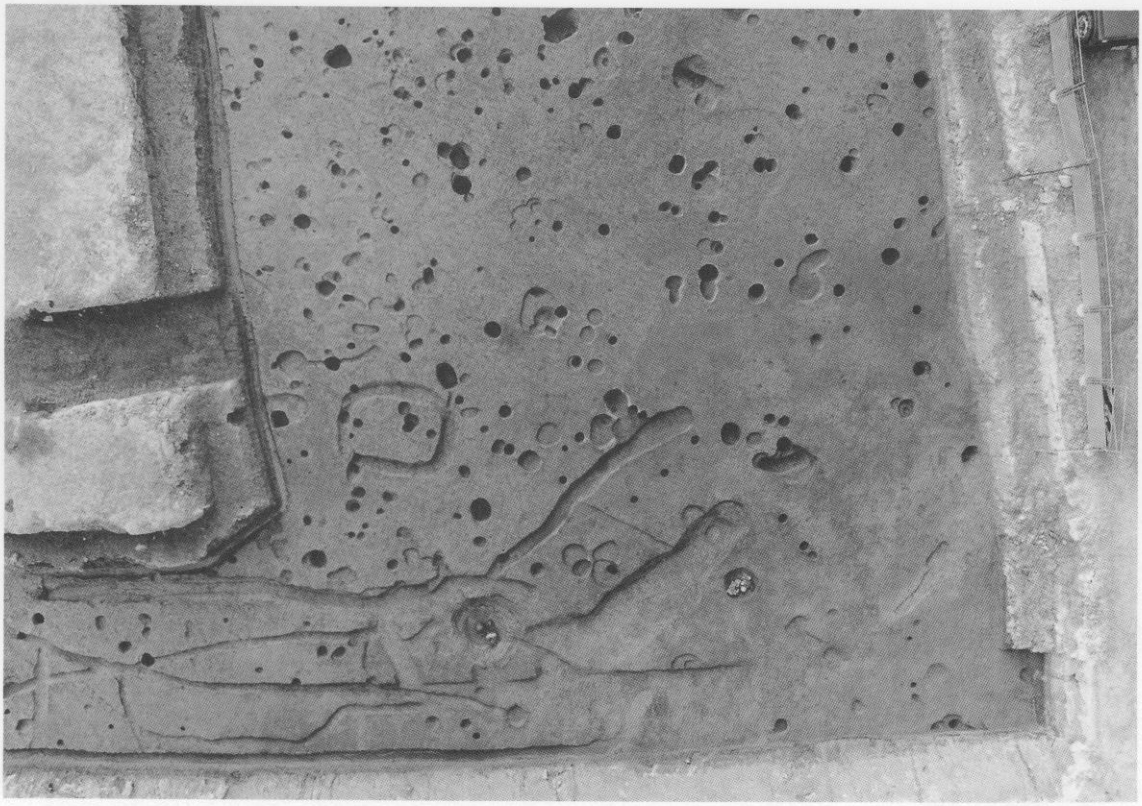
1. フケ遺跡第1次調査全景（南東から）

図版　2

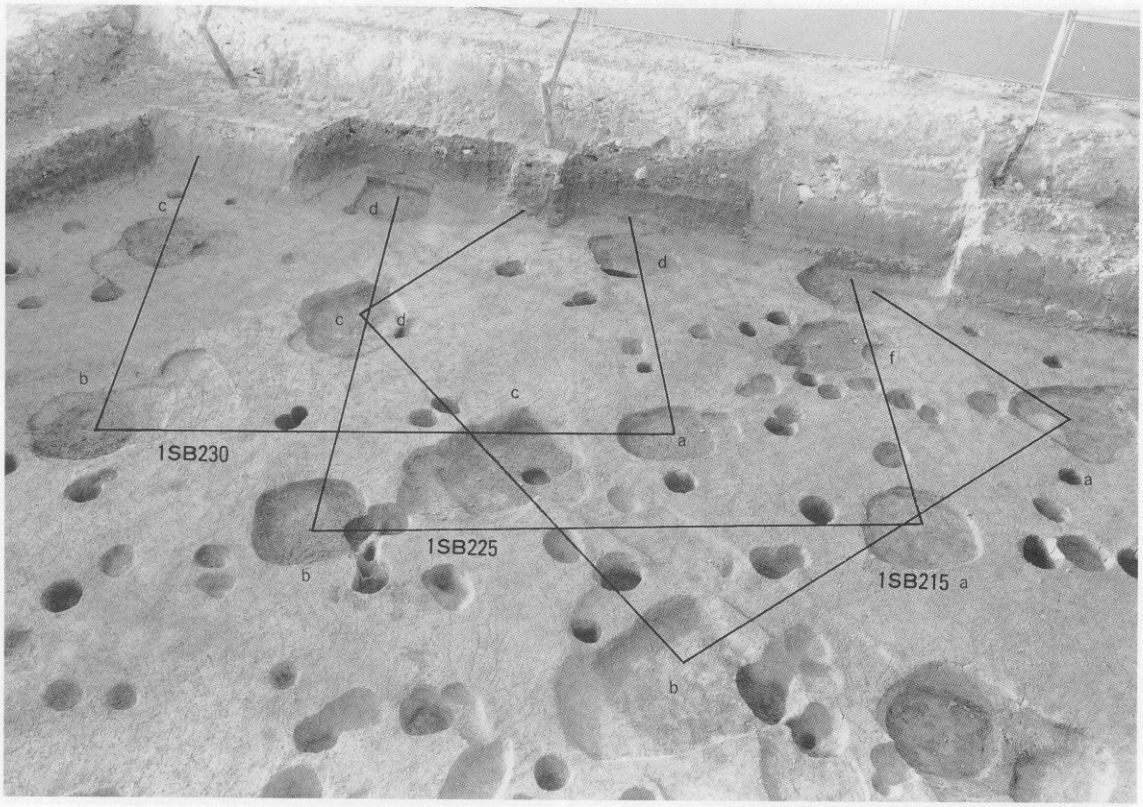
1.　フケ遺跡第1次調査全景（南東から）



2.　フケ遺跡第1次調査区西側建物群（南東から）

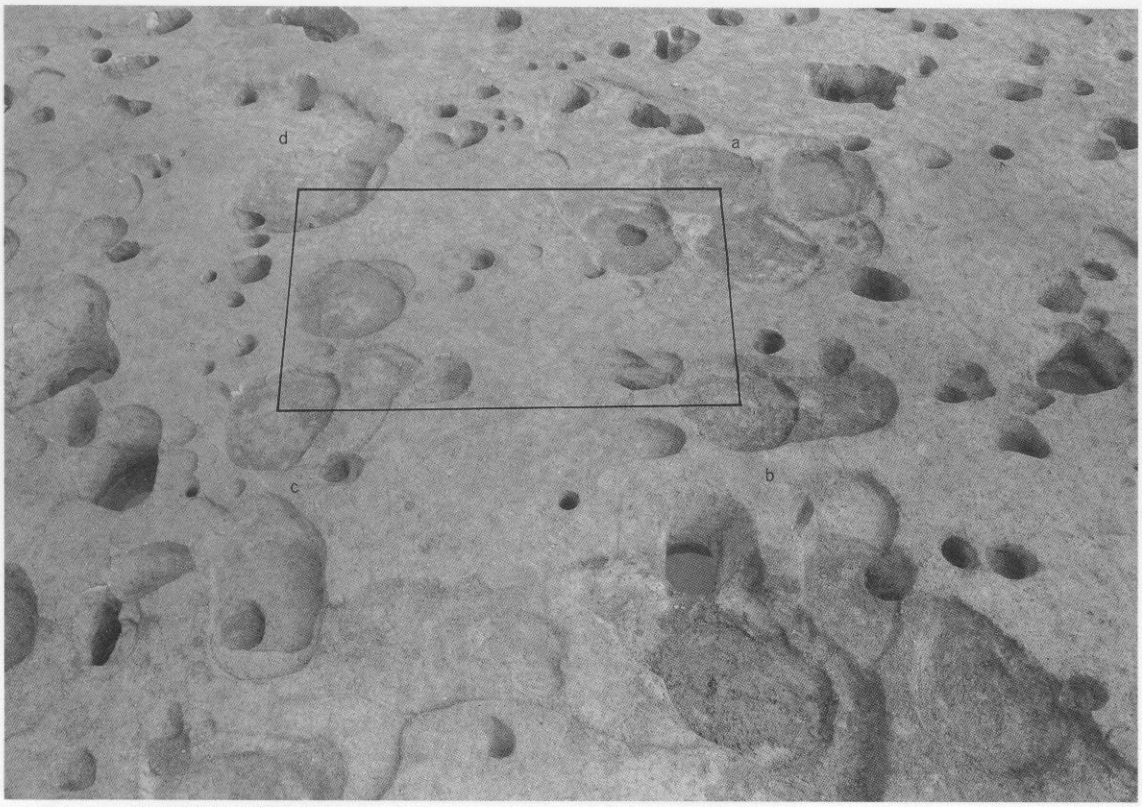


1. フケ遺跡第1次東側調査区（東北から）

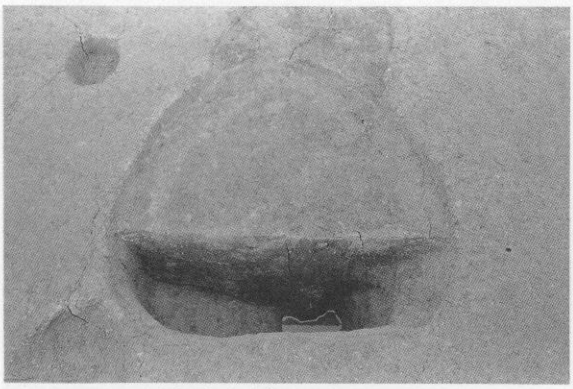


2. フケ遺跡第1次掘立柱建物群（東から）

図版　4

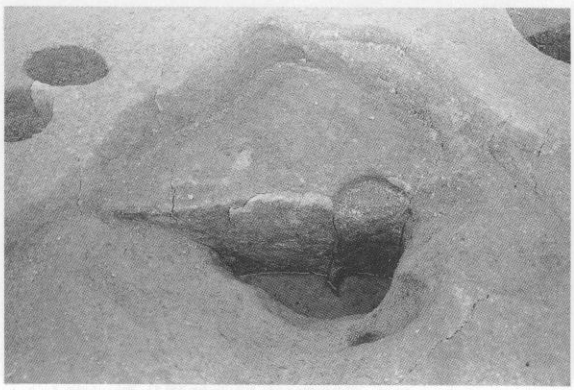


1.　1SB245検出状況（南から）

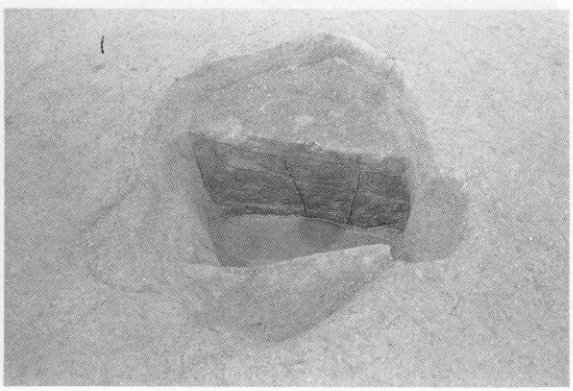


2.　1SB215a土層断面（南から）

3.　1SB215b土層断面（南東から）



4.　1SB215c土層断面（南から）



5.　1SB215d土層断面（東から）

1.　1SB215f土層断面（南から）

2.　1SB220a土層断面（東から）

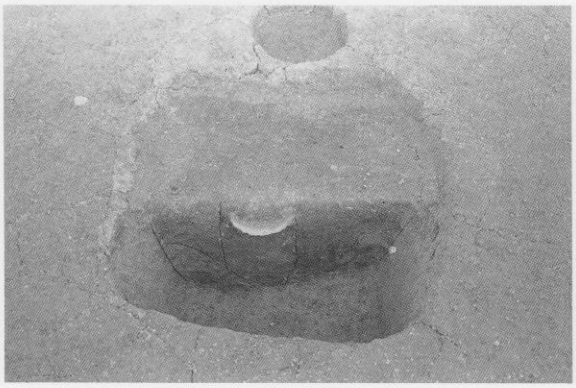
3.　1SB220b土層断面（南から）

4.　1SB220c土層断面（南から）

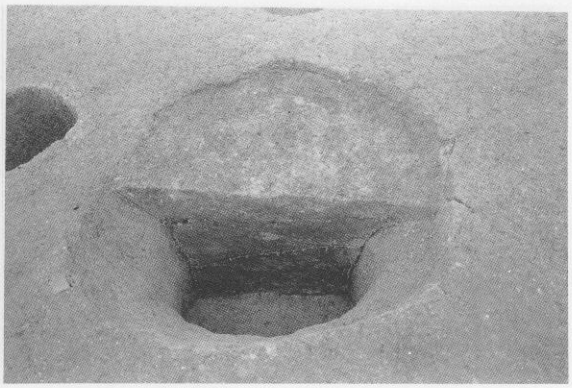
5.　1SB220d土層断面（南から）

6.　1SB220e土層断面（南から）

図版　6



1.　1SB220f土層断面（東から）



2.　1SB225a土層断面（南から）

3.　1SB225b土層断面（南から）

4.　1SB225d土層断面（南から）

5.　1SB225f土層断面（東から）

6.　1SB230b土層断面（南東から）

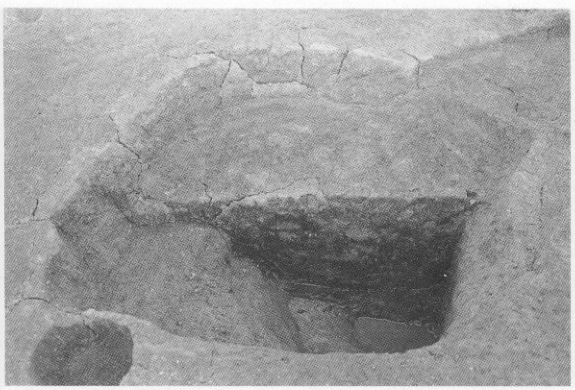
1.　1SB230c土層断面（東から）

2.　1SB230d土層断面（南東から）

3.　1SB245a土層断面（南から）

4.　1SB245b土層断面（南から）

5.　1SB245c土層断面（南から）



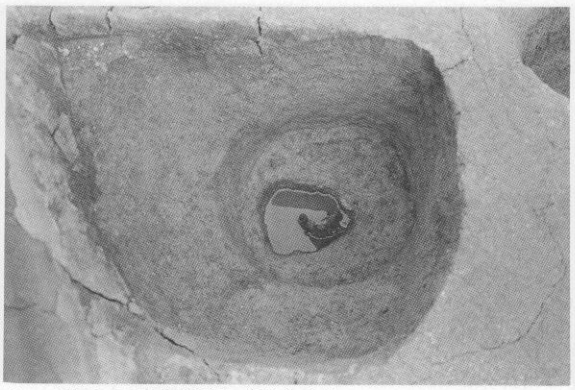
6.　1SB245d土層断面（南から）

図版　8

1.　1SB215a完掘状況（西から）

2.　1SB215b完掘状況（南から）

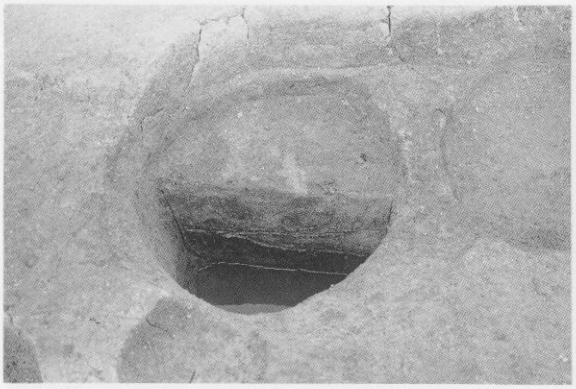
3.　1SB215c完掘状況（南から）



4.　1SB215f完掘状況（西から）

5.　1SB230c土層断面（南から）

6.　1SX093土層断面（南から）

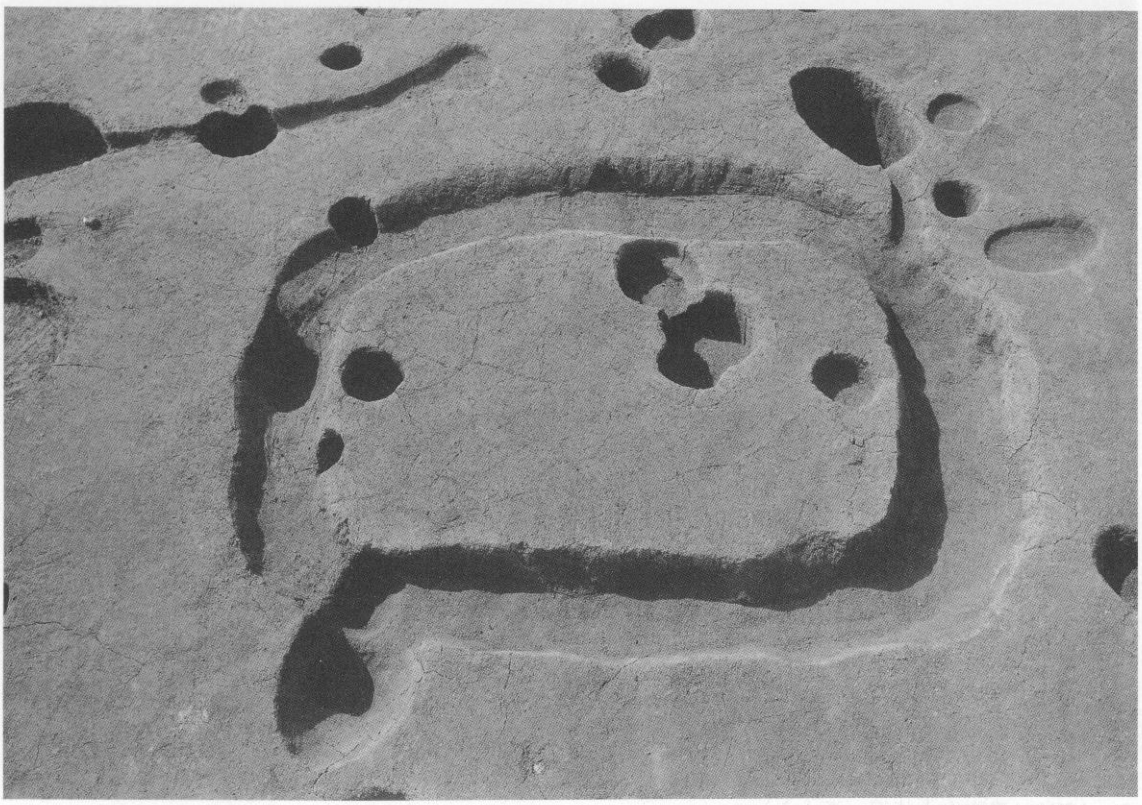


1. 1SX202土層断面（南から）

2. 1SX210土層断面（西から）

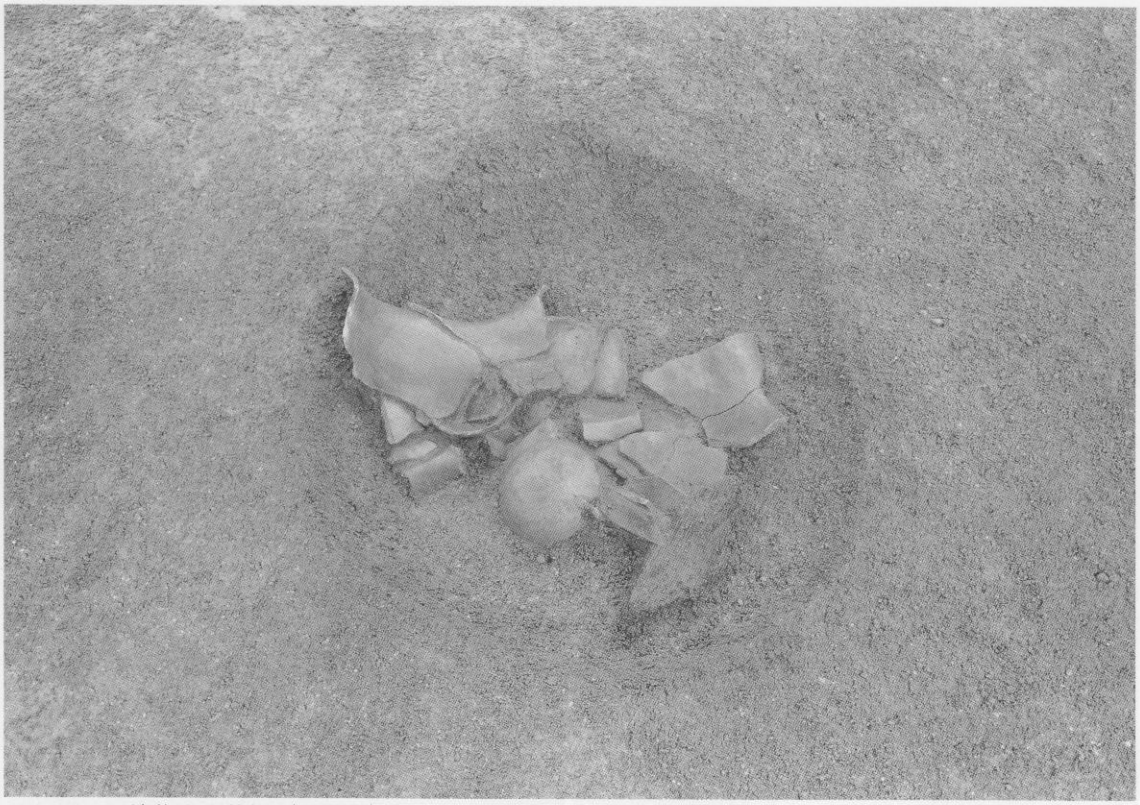
3. 1SX302土層断面（南から）

4. 1SX302完掘状況（南から）



5. 1SX105完掘状況（東から）

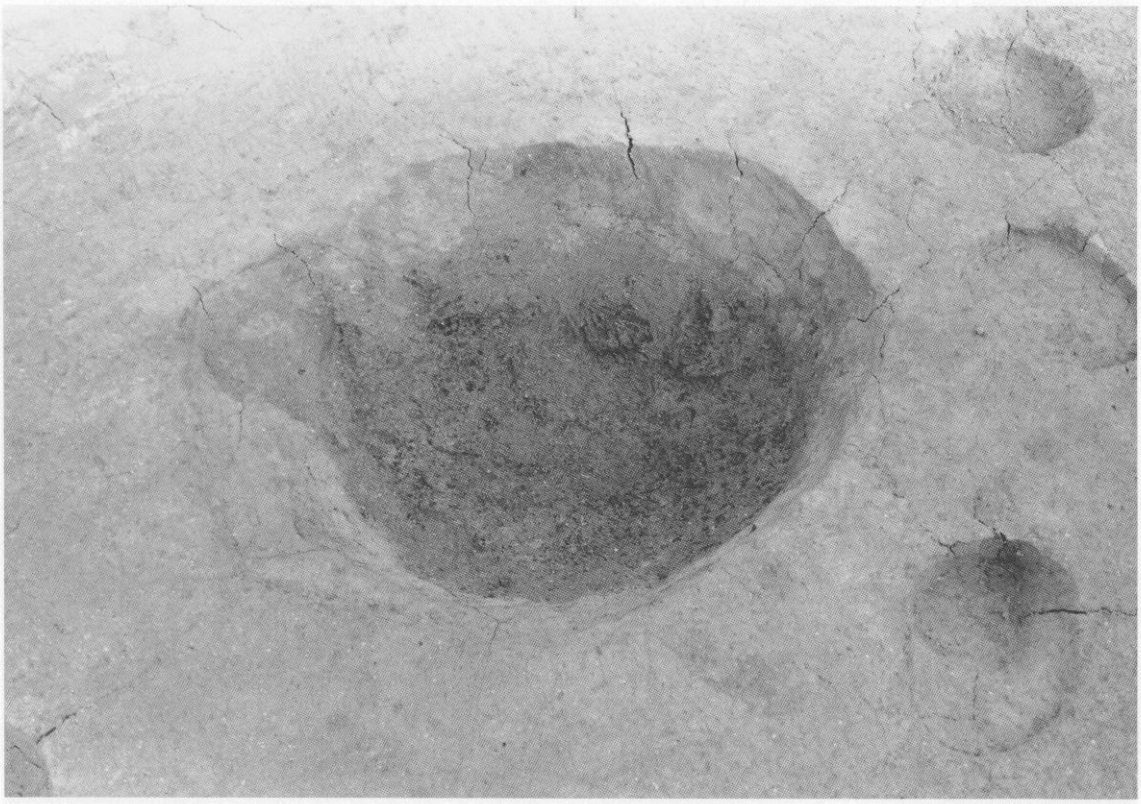
図版　10



1.　1SK001遺物出土状況（北から）

2.　1SK001遺物出土状況（西から）

1.　1SK010遺物出土状況（南から）



2.　1SK010完掘状況（南から）

図版　12

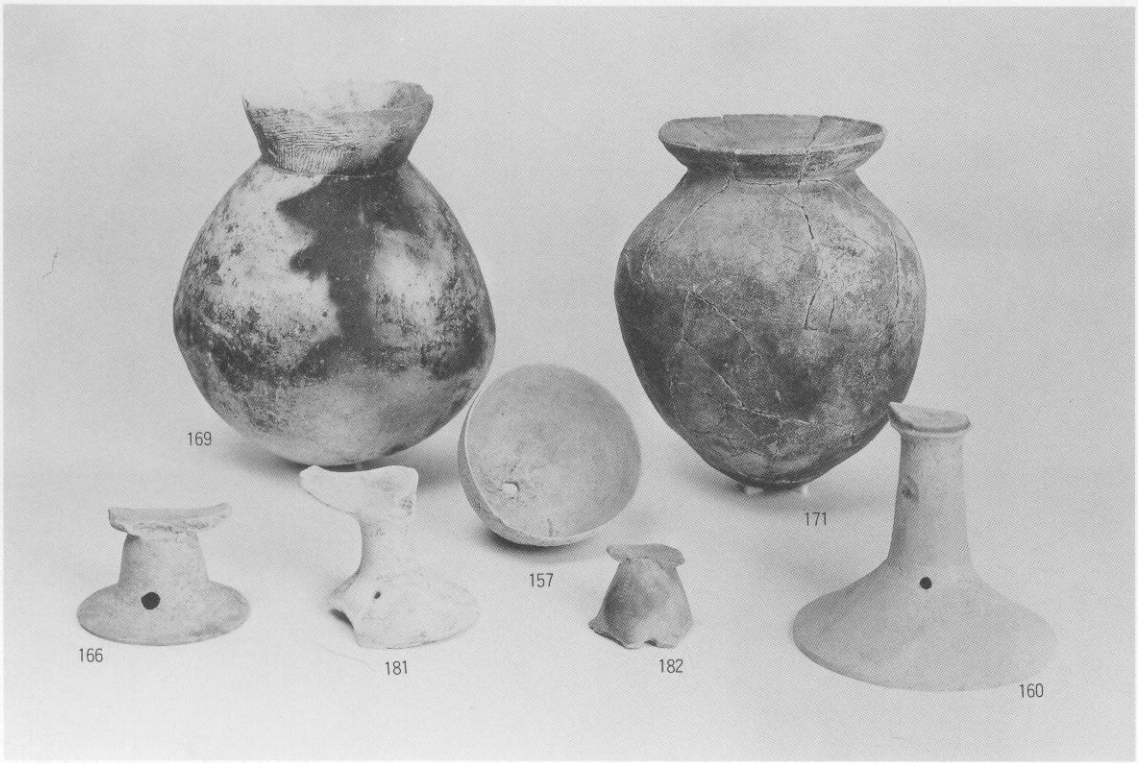
1.　1SK135遺物出土状況（南から）

2.　1SK135完掘状況（東から）

1.　フケ1次　SK001出土遺物

2.　フケ1次　SK010出土遺物

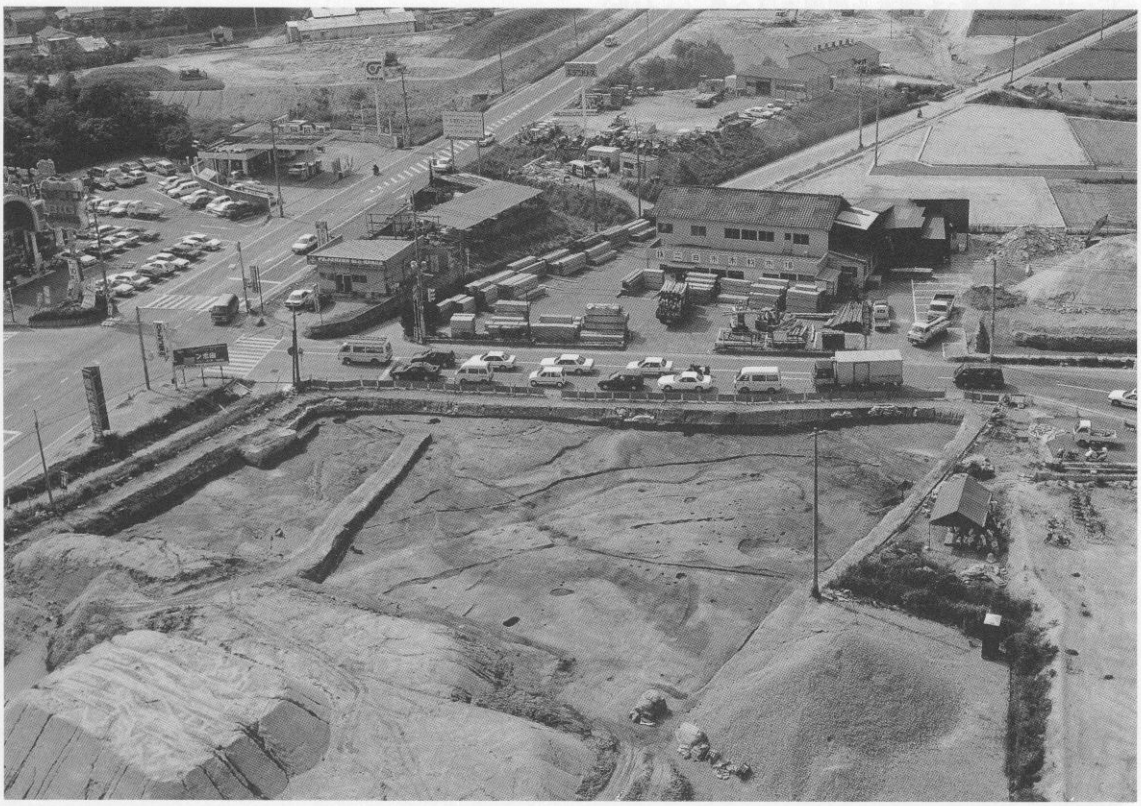
図版　14



1.　フケ1次　SK135出土遺物

2.　フケ1次　SD110出土遺物

1. フケ1次調査出土遺物（54.55.57.60はSB230出土遺物）

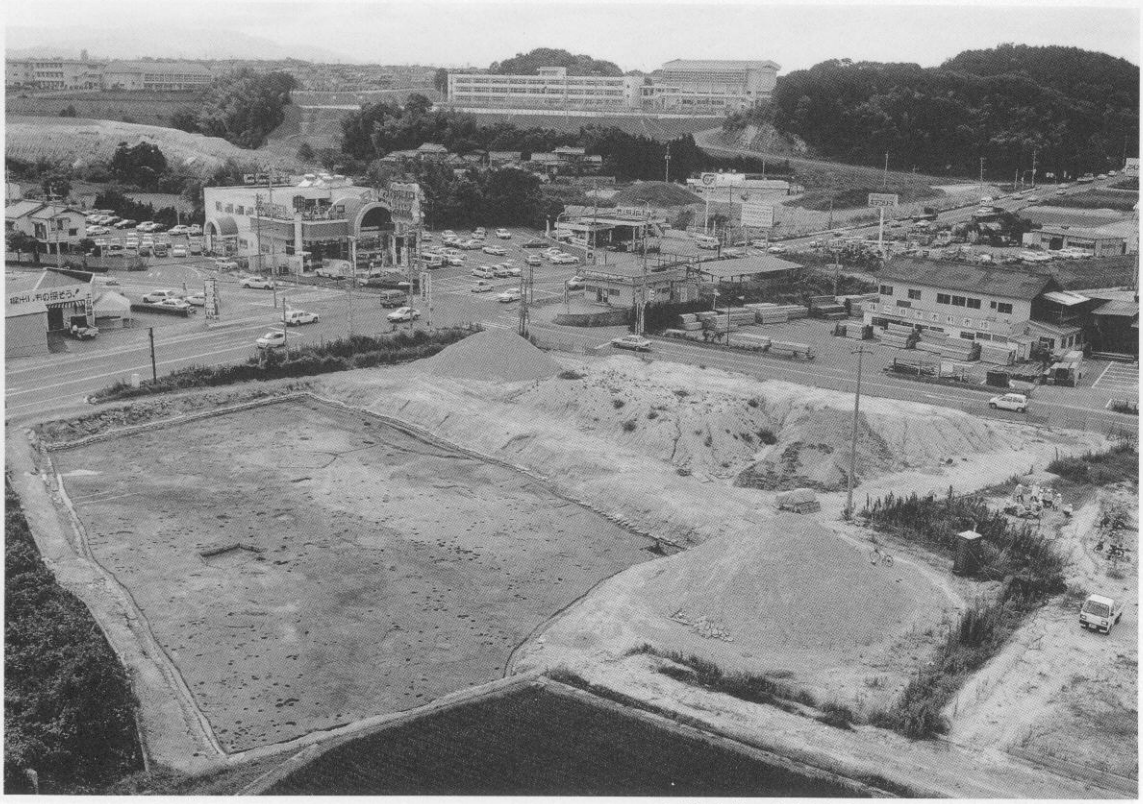


2. フケ遺跡第2次調査周辺航空写真（南東から）

図版　16

1.　フケ遺跡第2次調査北側調査区全景（上が北）

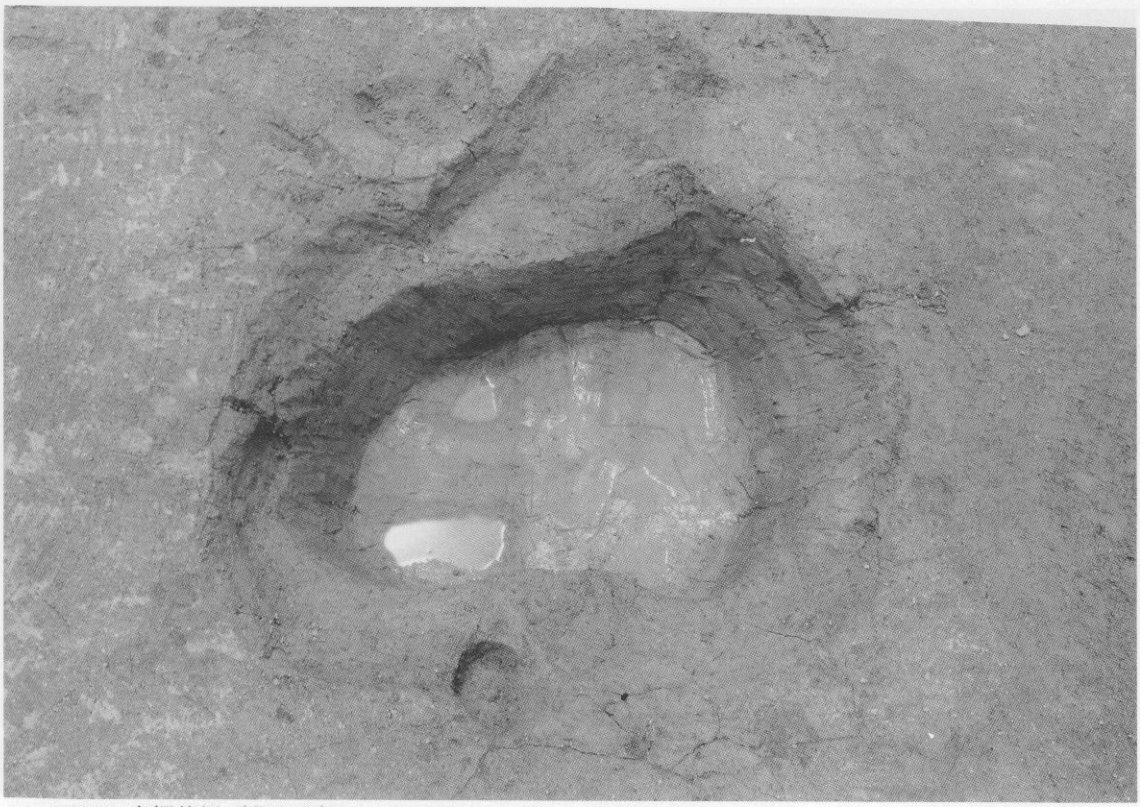
2.　フケ遺跡第2次調査北側調査区全景（南東から）



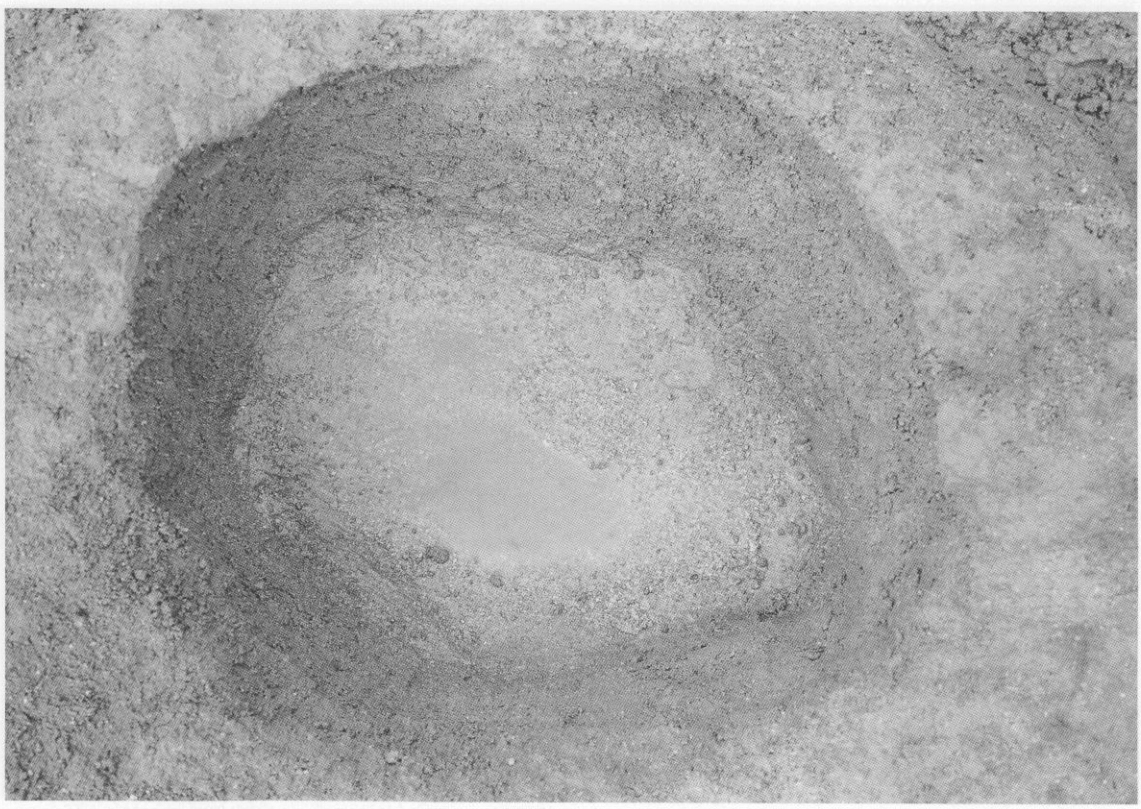
1. フケ遺跡第2次調査南側調査区全景（南東から）

2. フケ遺跡第2次調査南側調査区全景（空中写真・上が北）

図版　18

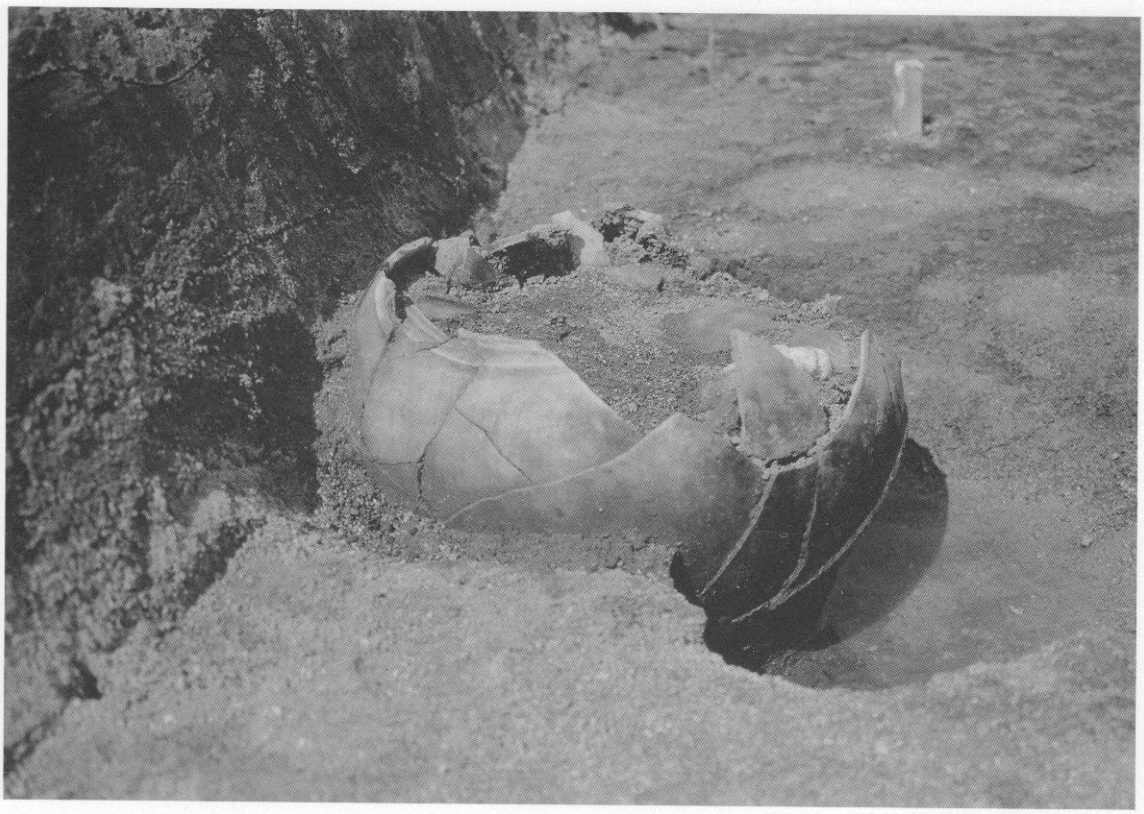


1.　2SK015完掘状況（北から）



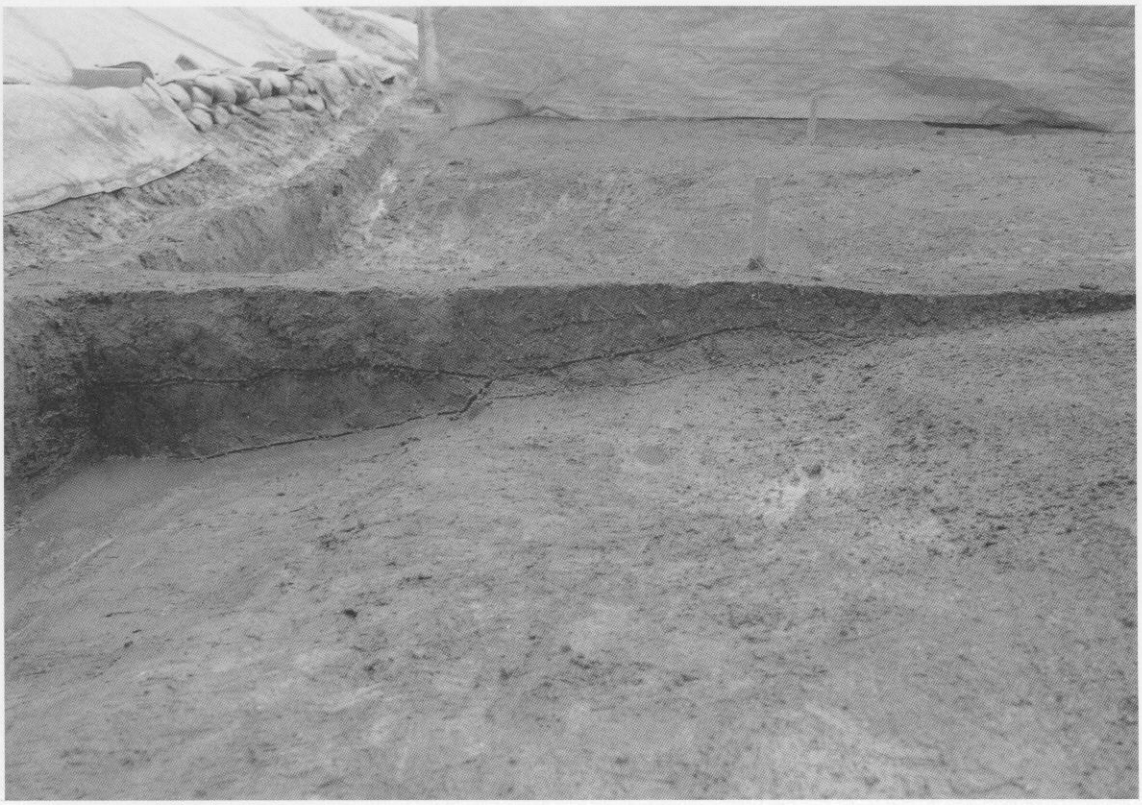
2.　2SK095完掘状況（東から）

1.　2SX005甕検出状況（南から）

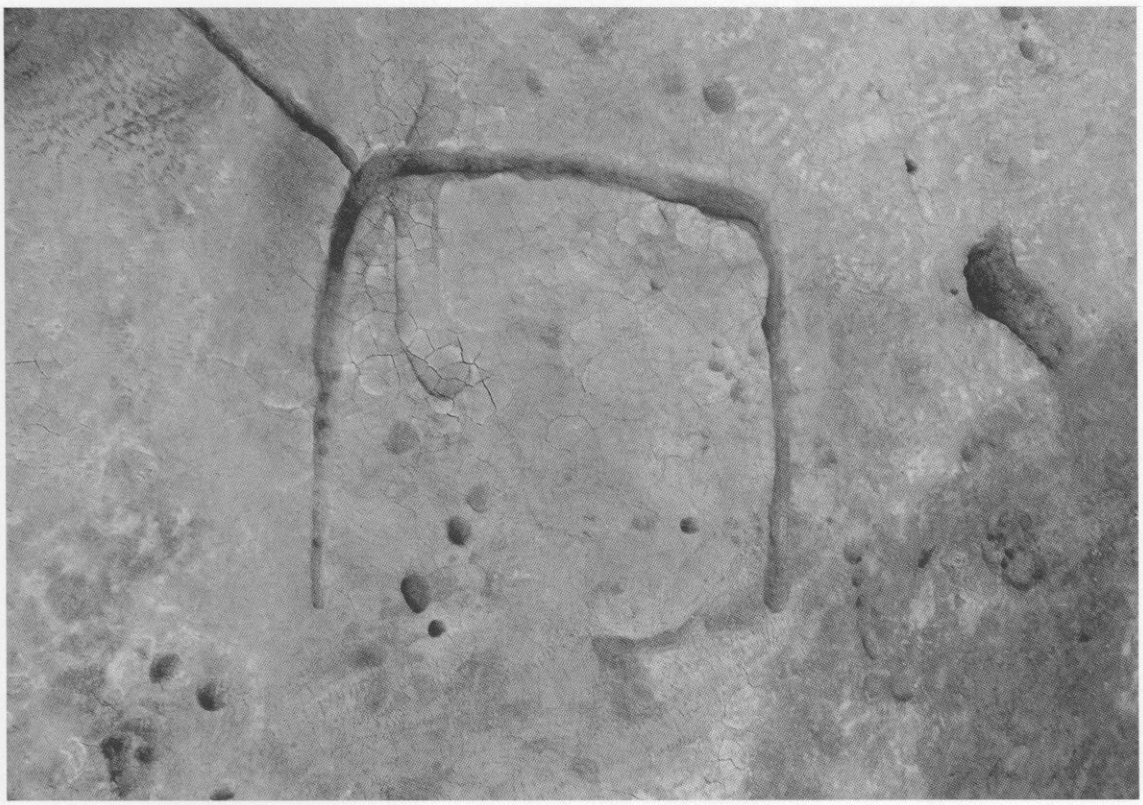


2.　2SX005甕検出状況（西から）

図版　20



1.　2SD001土層観察（西から）



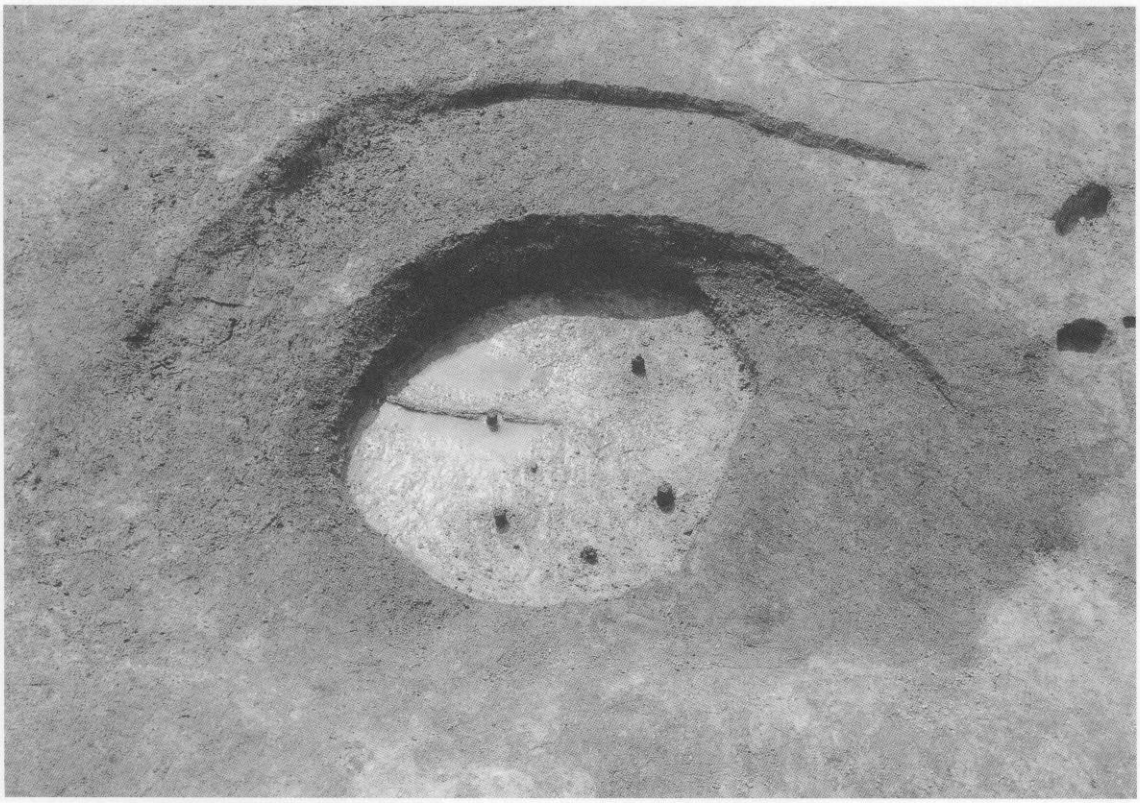
2.　2SX010完掘状況（真上から）

1.　2SX010検出状況（北東から）

2.　2SX010完掘状況（北東から）

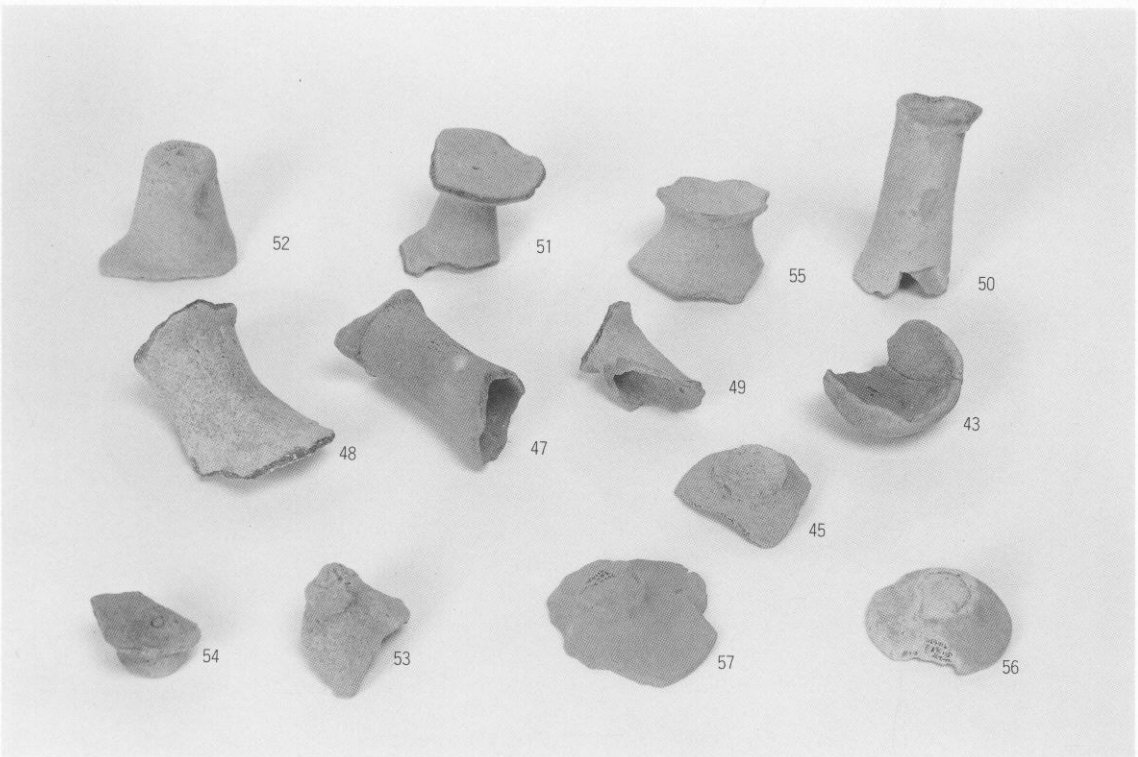
図版　22

1.　2SX012土器検出状況（北から）



2.　2SX021杭検出状況（東から）

1.　フケ2次　SD001出土遺物



2.　フケ2次　SD001出土遺物

図版　24

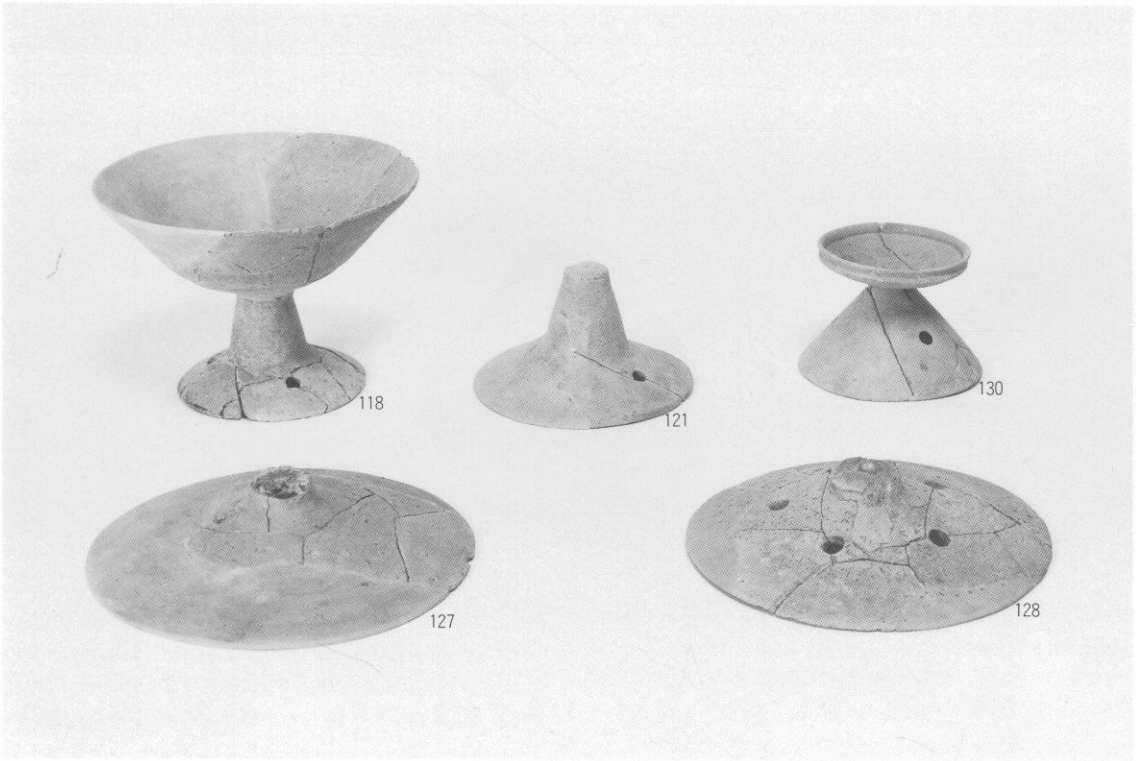
1.　フケ2次　SD001出土遺物

2.　フケ2次　SD001出土遺物

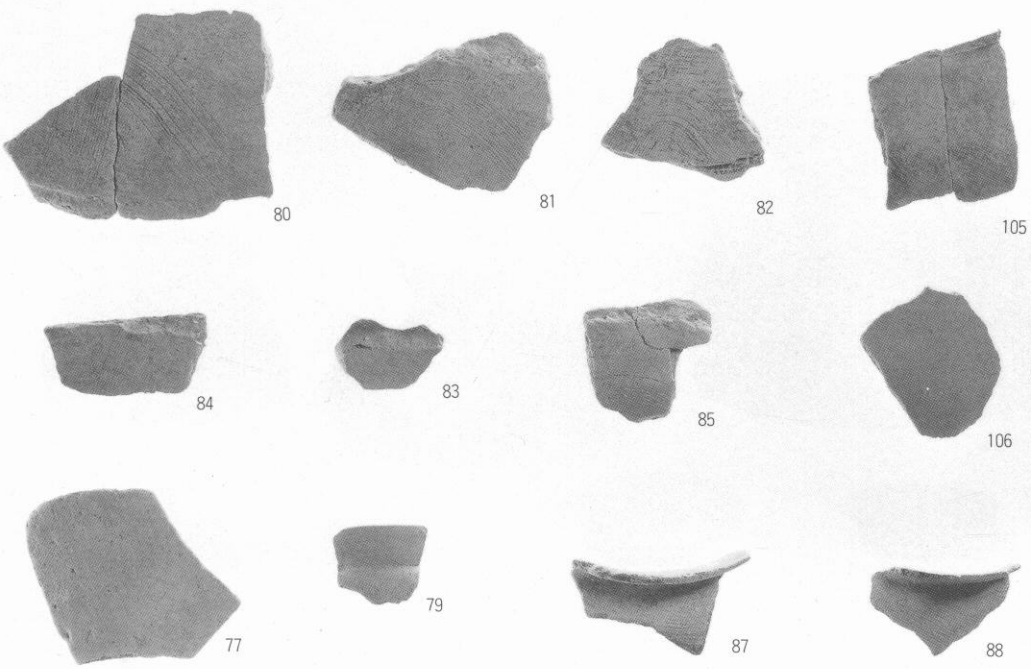
1.　フケ2次　SD001出土遺物

2.　フケ2次　SD011出土遺物

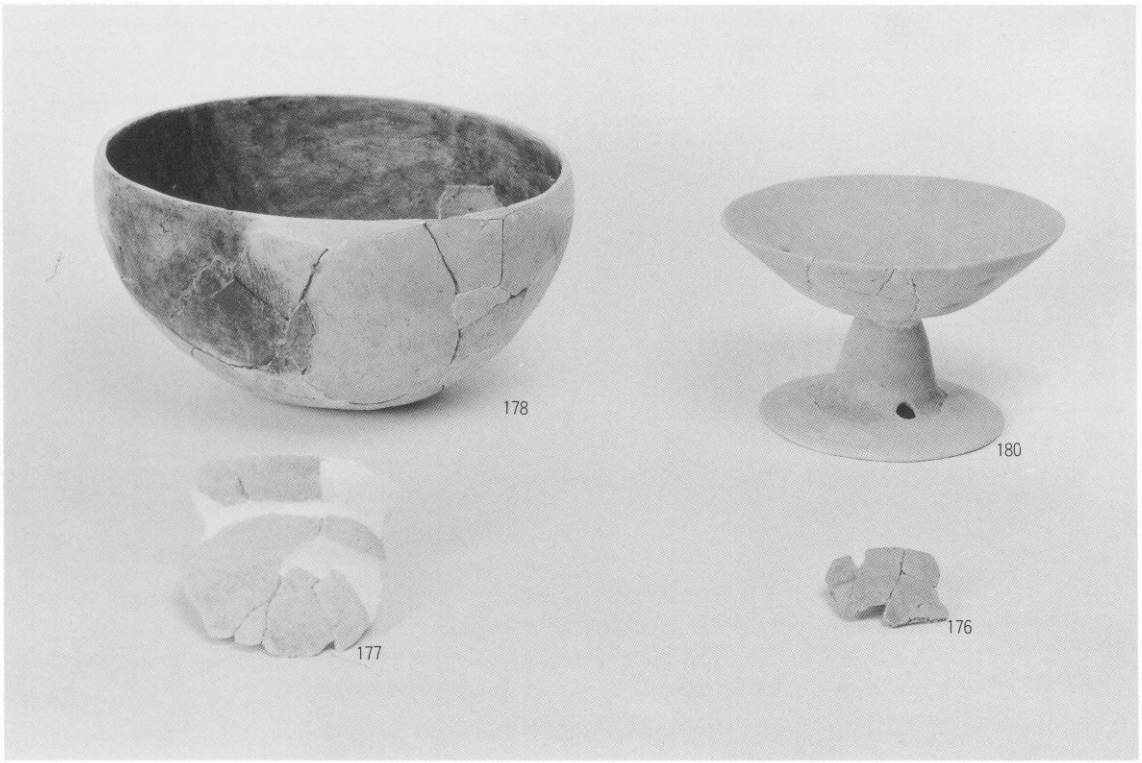
図版　26



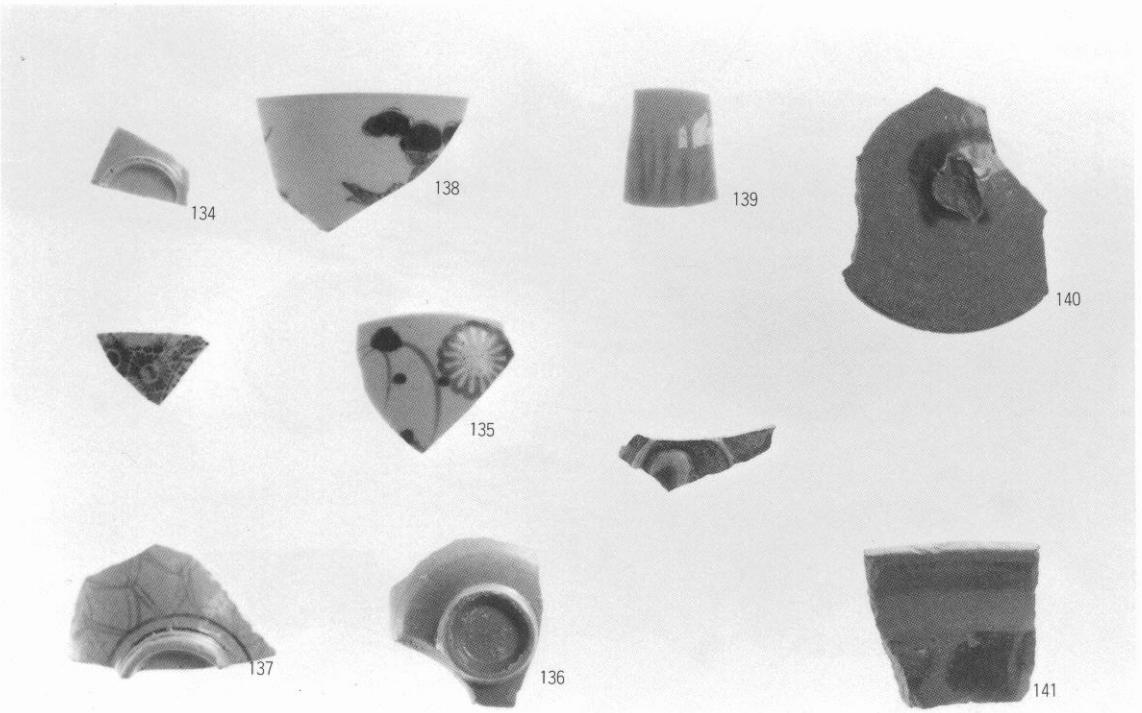
1.　フケ2次　SD011出土遺物



2.　フケ2次　SD011出土遺物

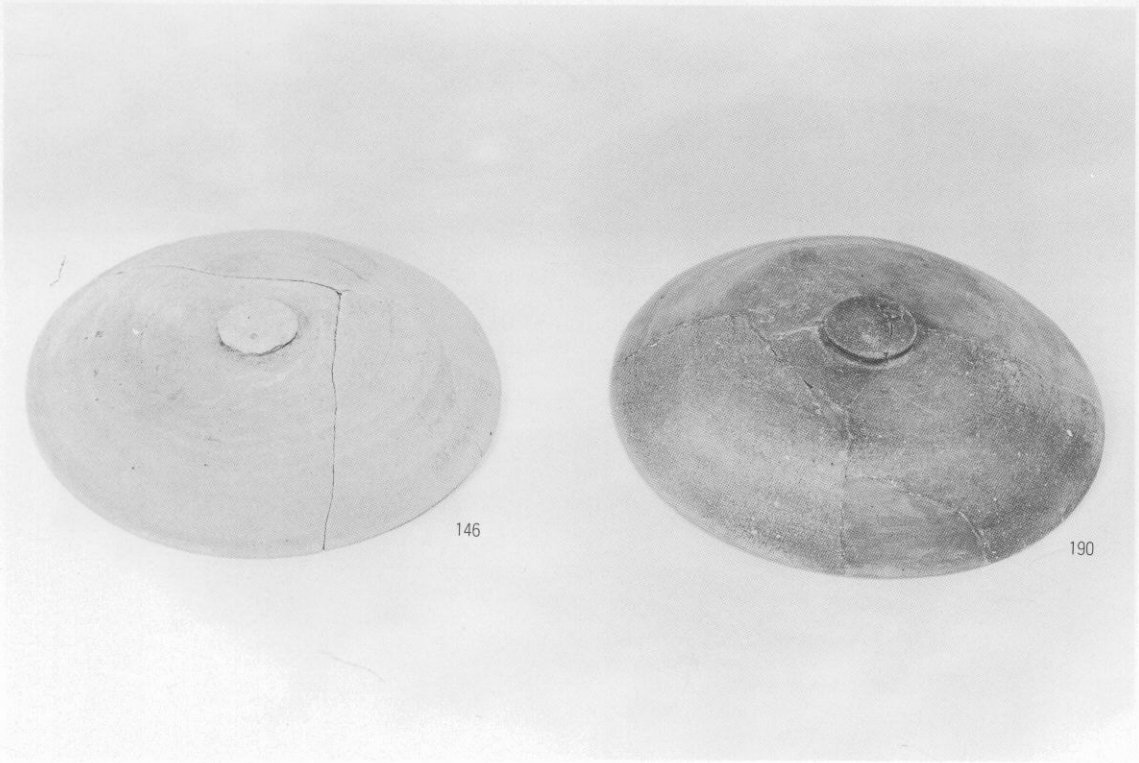


1.　フケ2次　SX012出土遺物



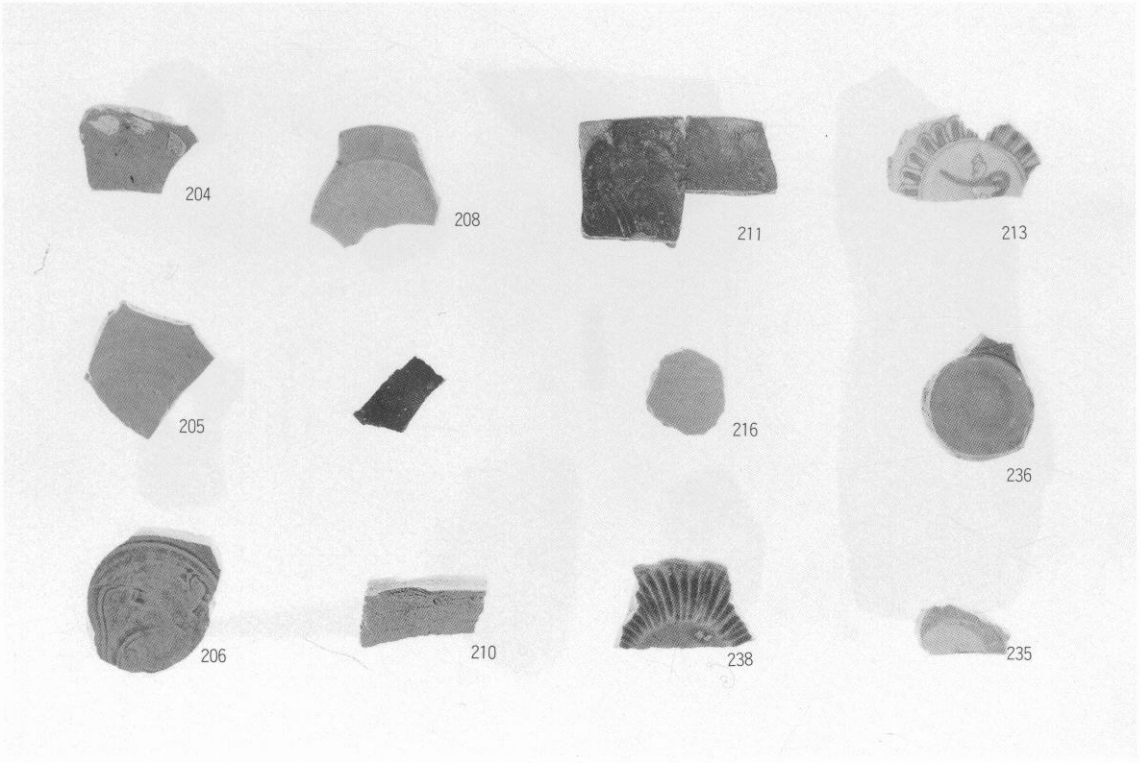
2.　フケ2次 SD023出土遺物

図版　28

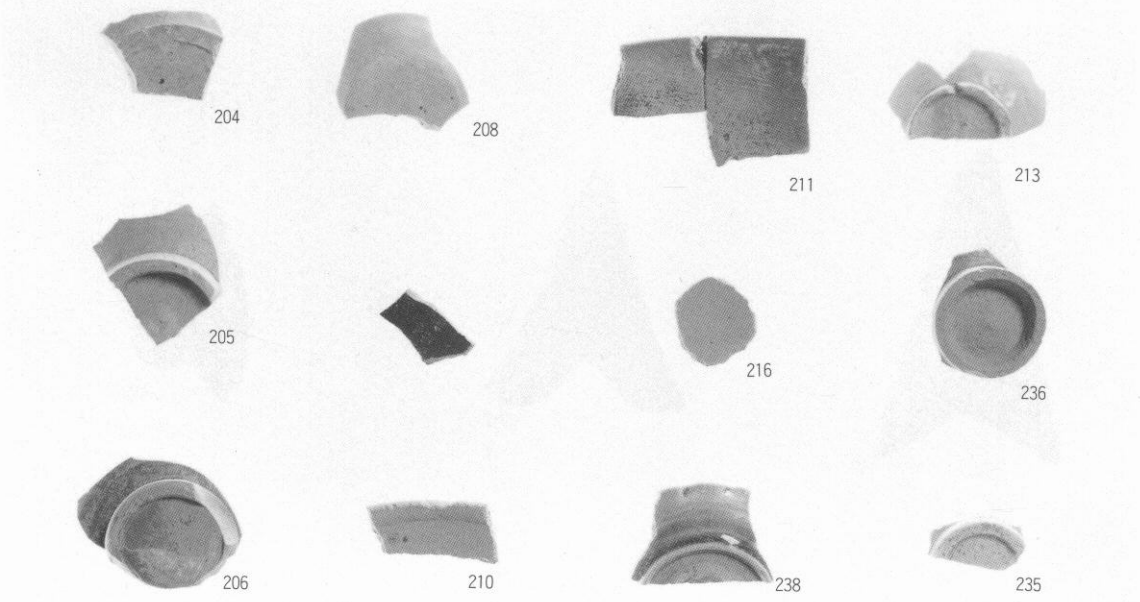


1.　フケ2次調査出土遺物

2.　フケ2次調査出土遺物

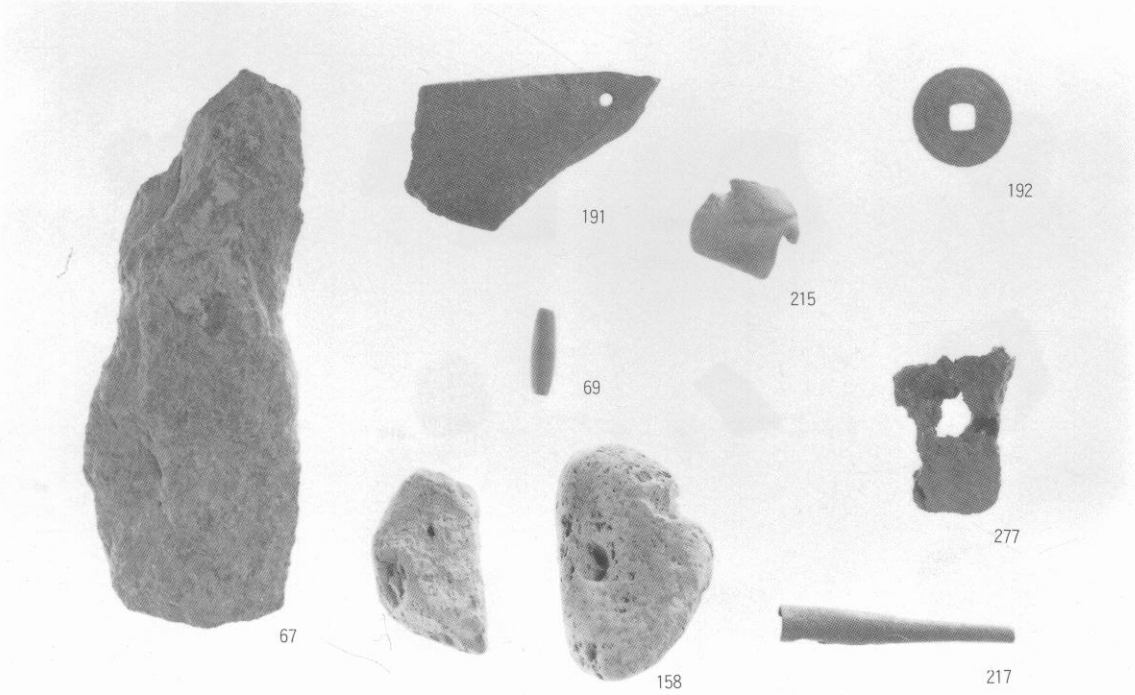


1.　フケ2次　暗灰土・耕土出土遺物



2.　フケ2次　暗灰土・耕土出土遺物

図版 30



1. フケ1・2次石製品・鉄製品出土遺物

2. フケ2次 暗灰土出土遺物

1. フケ遺跡第3次調査全景（南東から）

2. フケ遺跡第3次南側トレンチ全景（空中写真・真上から）

図版　32

1.　3SK003ピット検出状況（北から）

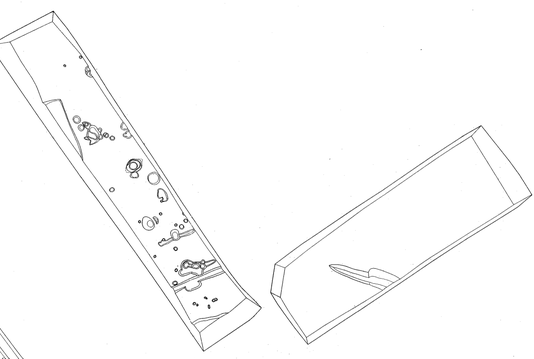
2.　3SK003土層断面（北から）

3.　3SK004土層断面（南から）

4.　3SK006土層断面（東から）

1.　フケ遺跡第4次調査全景（南から）

2.　フケ遺跡第4次調査全景（西から）



−46,400

−46,350

−46,300

0 10 20m

+55,600

+55,650

+55,700

「太宰府・佐野地区遺跡群Ⅶ」1997 太宰府市教育委員会（1/500）

太宰府・佐野地区遺跡群VII
-フケ遺跡第1.2.3.4次調査報告-
太宰府市の文化財　第35集
1997年3月
編集　太宰府市教育委員会
発行　太宰府市観世音寺1-1-1
印刷　福博綜合印刷株式会社